

関連情報・データ資料集

## 医学部入試の実際に関するウェブ・資料調査

平成 28 年度～平成 31 年度 科学研究費基盤研究 (B) (一般)

「わが国の医学部における入学者選抜の妥当性と改善策に関する  
総合的国際共同研究」

研究代表者 大滝純司

2019 年 3 月 15 日

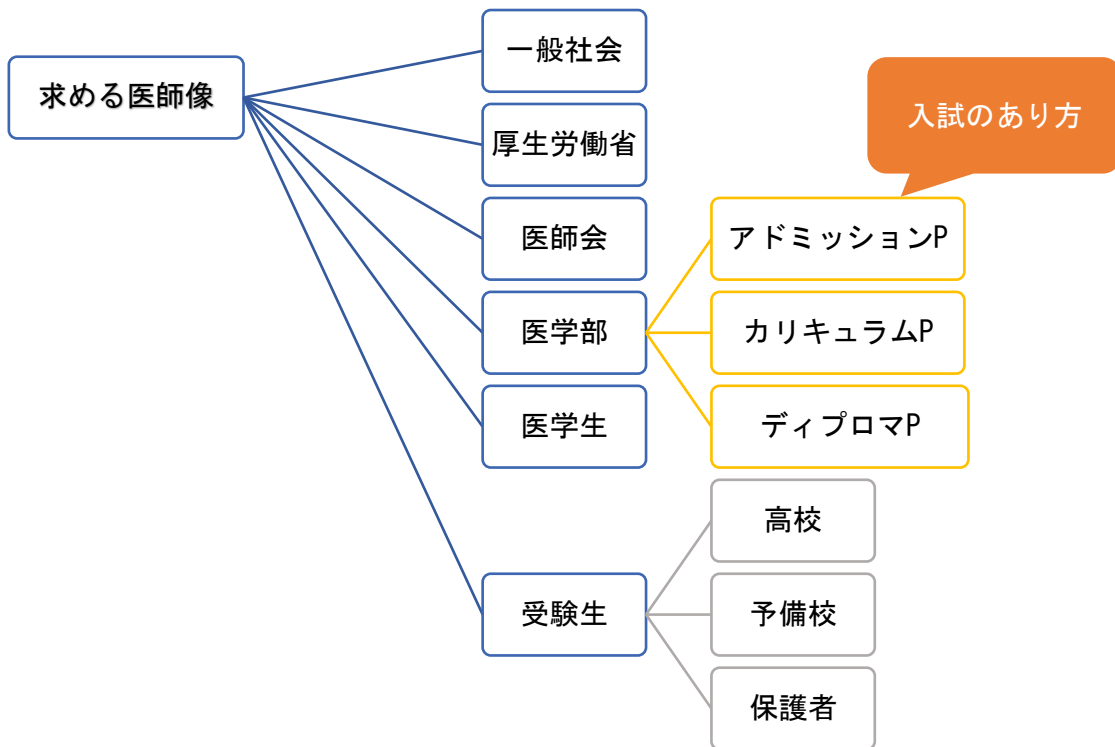
目次	頁
はじめに	3
I 各大学ウェブページにおけるデータ一覧	4
1. アドミッションポリシー一覧	4
2. 面接試験内容一覧	68
II 各大学へのアンケート結果	230
1. 合格基準	230
2. 集団面接	233
2-1. 形式	233
2-2. 試験名	234
3. 面接試験の主な目的	235
4. 面接試験での特別な試み	239
5. 地域枠特別入学者について	241
5-1. 卒業後の地域医療勤務の動向	241
5-2. 卒業後の地域医療勤務の地域社会への貢献	243
5-3. 卒業後の地域医療勤務の実態のフィードバック	247
5-4. 「入学者地域枠」制度に対する今後の方針	248
III 医学部入試・医師不足に関する新聞記事の動向	253
1. 朝日新聞	254
2. 毎日新聞	258

## はじめに

本資料集は、わが国の大学において実施されている医学部入試について、その妥当性を研究するために、基礎作業の一環として、大学医学部のHP（2017年10月～2018年2月）、予備校HP（2017年度分）、全国医学部長病院長会議『わが国の大学医学部・医科大学白書2016』、医学部に関する新聞記事（1970～2019年）などから収集したデータを簡潔にまとめ、一覧にしたものである。

全体としての記述には、特に引用符「」を用いてはいないが、出典の記載にまったく加工を施さずに、媒体からそのまま抜粋してパソコン入力したものである。なお、予備校HPと新聞記事のデータについてのみ、研究補助者の手によって数量化され、グラフとして視覚化されている。

編集責任：研究分担者 渡邊洋子（新潟大学人文社会科学系 創生学部）



## I 各大学ウェブページにおけるデータ一覧

### 1. アドミッション・ポリシー一覧（2018年2月現在）

#### (1) 国立

##### 北海道大学

- ・強い学習意欲と多様な科目を履修していく基礎学力をもつ学生
- ・積極性、堅実性ととともに他者との協調性をもつ学生
- ・多様な事象に対し興味、理解力をもち、共感とともに批判する能力をもつ学生

生

<https://www.med.hokudai.ac.jp/sch-med/philosophy.html>

##### 旭川医科大学

医師・看護職者としての適性ととともに地域社会への関心を持ち、自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力を持つ学生

（具体例

「医師・看護職者としての適性」

- ・病める人に限らず、他者を思いやる心を持つ学生
- ・人命に限らず、全ての生命の尊厳を理解し、社会的規範・道徳に沿って、自らの行動を律することのできる学生
- ・他者を尊重し、良好な関係を築くことのできる社会的能力を持つ学生
- ・幅広い分野の教養を身につける努力をしている学生
- ・最新の知識や技術を身につけるため、学習し続ける学生

「地域社会への関心」

- ・自らの居住地域及びその住民に対して愛着を持つ学生
- ・広い地域（北海道や他の都府県、国、世界レベル）の事柄に対して関心を持つ学生
- ・医療に限らず、広く地域社会一般の事象に対して関心を持つ学生

「自らが問題を見つけ解決する意欲と行動力」

- ・新たな事象に対して、自ら持つ知識・技術を独創的な視点から論理的に応用し、自らにとって未知の問題点を抽出できる学生

- ・未知の問題点を解決するために行動し、新たに学ぶことのできる学生
- ・豊富な知識量のみならず、他の領域への応用など、自らの持つ知識を活用することのできる学生

([http://www.asahikawamed.ac.jp/bureau/nyusi/contents/admission\\_policy.php](http://www.asahikawamed.ac.jp/bureau/nyusi/contents/admission_policy.php))

## 弘前大学

・医学教育を受けるに十分な素養で、入学後に修める教養教育と専門教育の基礎となる学

力

- ・他人を思いやるやさしさと社会性を持ちながら、高度で先端的な医療を地域社会と連携しながら実践してゆく行動力
- ・生涯にわたり医師として医療・医学に貢献したいという明確な目的を持ち、何事にも前向きに取り組み、知的・人格的に成長していこうとする意欲

### ◆入学者選抜方法

〈前期日程〉

大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書の結果を総合して選抜する。

主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、個別学力検査では、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価します。面接では医療人としての適性を評価する。

〈A0 入試Ⅱ〉

出願書類、大学入試センター試験、面接、模擬講義に関する筆記試験、ケーススタディの自学自習、ワークショップの結果を総合して選抜する。主として大学入試センター試験の成績では基礎学力を、模擬講義に関する筆記試験、ケーススタディの自学自習及びワークショップでは、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価する。

面接では医療人としての適性を評価する。

〈学士編入学（第2年次）〉

出願書類、TOEFL、基礎自然科学・数学、ワークショップ、面接の結果を総合して選抜する。TOEFL、基礎自然科学・数学では基礎学力を、ワークショップでは、考察力、推理力、論理的思考力、記述力を評価する。面接では

医療人としての適性を評価する。

([http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/entrance\\_igakubu.html](http://www.med.hirosaki-u.ac.jp/web/entrance_igakubu.html))

## 東北大学

〈一般入試〉

科学の分野に対する優れた理解力・学習能力とともに、生命現象や医療の問題への関心・探究心を持ち、医学や医療を通じて人類の福祉に貢献したいという目的意識があり、病める人の立場になって問題解決のできる人間性を備え、国際的視野で行動できる人

〈A0 入試Ⅱ期〉

人を対象とする生命科学や医学・医療に関わる学問に強い関心を持ち、旺盛な探究心と創造的な思考能力と高い倫理観を有する人。東北大学で学部・大学院教育を受けることを希望し、大学や研究所で研究医として世界的な活躍をめざす情熱と積極性を有する人。筆記試験、書類審査、面接試験によって、医学・医療に関わる学問への関心、探究心、思考能力、倫理観などを評価

〈A0 入試Ⅲ期〉

将来、医学・医療の指導者として世界で活躍をめざす人。東北大学で医学教育を受けることを熱望し、対話による相互理解力と医学への強い学習意欲と探究心を持ち、リーダーシップを発揮できる人。大学入試センター試験の成績に加え、筆記試験、書類審査、面接試験によって、医学・医療に関わる学問への関心、探究心、思考能力、倫理観などを評価

(<http://www.med.tohoku.ac.jp/admissions/medical/outline/index.html>)

## 秋田大学

〈一般選抜入学者〉

・前期日程試験

論理的思考能力と国際性に優れ、医師としての適性を備えた学生を選抜。特に、地域医療への理解、医学に対する知的関心と学習意欲、社会貢献への意欲を有する学生を求める。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別 学力試験等として、英語及び数学の2教科と面接を課して「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協調性」「将来

性」を評価する。

・後期日程試験

幅広い人間的視野を備え、人間性・創造性豊かな医師や医学研究者となりうる適性、資質、意欲を備えた人材を求める。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力試験等として、小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」「協調性」「将来性」を評価する。

〈特別選抜入学者〉

・推薦入学Ⅱ試験

高等学校において学業その他に優れた成績を修め、感性豊かな人間性を持ち、他者に対するいたわりと共感する心を有するとともに、医療・医学への研究志向を有する知的好奇心に満ちた学生を求める。

そのため、大学入試センター試験で「知識・教養」「思考力・判断力」を評価し、個別学力試験等として、小論文と面接を課して「関心・意欲・態度」「表現力」「知識・教養」「思考力・判断力」「協調性」「将来性」を評価する。

地域枠による選抜については、秋田県修学資金受給の意思、卒業後に秋田県内の公的医療機関に勤務する意欲、地域医療の充実と向上に貢献する気概と意欲の有無を重視して選抜する。

〈私費外国人留学生試験〉

日本の高等学校卒業者と同等の十分な基礎学力を有し、本医学科の教育に耐え得る日本語能力を有し、将来の医学分野の国際交流に貢献できる学生を求める。

そのため、日本語留学試験に加え、個別学力試験等として、英語及び数学の2教科と面接を課して「知識・教養」「思考力・判断力」「表現力」「関心・意欲・態度」「協調性」「将来性」を評価する。

(<http://www.med.akita-u.ac.jp/selection/md/admission-igakubu.html>)

## 山形大学

「3つのC」

Challenge : 科学的研究心が強く、現代の保健医療が抱える諸問題の解決に自ら考え、粘り強い学習意欲を持って挑戦できる人

Cooperation : 医療人に求められる高度な倫理観と豊かな人間性を備えていることに加え、医療活動がチームで行われることをよく理解して共に働く人々と良好な人間関係を形成できる人

Contribution : 世界水準の医学看護学を背景に、高度な地域医療の実践を通じて人類の健康福祉に貢献する意欲をもつ人

- ・生物学・医科学分野に対する広い興味を持ち、科学的探求心が強く、旺盛で持続的な学習意欲を持つ人
- ・心身ともに健康で、柔軟性に富み、倫理性の高い人
- ・協同作業を行う人々と円滑な人間関係を形成できる高いコミュニケーション能力を持つ人
- ・地域医療を含め、幅広く医療に貢献することへの志と強い使命感を持つ人

#### ◆入学者選抜方法

〈一般入試〉

##### ・前期日程

大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。個別学力検査では、国語、英語、数学、理科（物理・化学・生物から2科目を選択）を課し、本学科の修学に必要なより高い学力を検査する。面接では論理的な思考能力とともに医療人としての適性を総合的に評価する。地域枠については、面接及び「志望の動機」において、山形県内で医療に従事する強い意志も評価する。

##### ・後期日程

大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに医療人としての適性を総合的に評価する。

〈推薦入試Ⅱ〉

特に優れた学習成績や人間性をもとに高等学校長が推薦する高等学校卒業見込み者に対して選抜を行う。大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。個別学力検査の面接では論理的な思考能力とともに医療人としての適性を総合的に評価する。

(<https://www.yamagata-u.ac.jp/jp/files/7514/9749/2032/H30sen-12.pdf>)



## 筑波大学

自然科学、語学等の十分な基礎学力と豊かな創造性、探究心を有し、高い倫理観、協調性、コミュニケーション能力を持って、生涯にわたり人類の健康と福祉に貢献する強い意思を持つ人材。医科学の分野に強い関心をいだき、医科学分野の研究や医学・医療分野の検査技術において国際的に活躍する意欲を持つとともに、チーム医療での役割を理解し、行動することができる柔軟性を持った人材。

(<http://www.tsukuba.ac.jp/admission/undergrad/pdf/h30.pdf>)

## 群馬大学

・高い倫理観と豊かな学識に立脚し、自立して研究を行う能力を身に付ける意欲のある人

・身に付けた知識や技能を生かし、医学・医療・福祉の分野で高度専門職業人として社会の発展に貢献する意欲のある人

・身に付けた知識や技能を更に発展させ、博士課程に進学し、生命医科学分野の研究者・教育者を目指す人

### ◆選抜方法

本専攻で求める能力・資質に合致した意欲のある学生を選抜するために、一般入試では筆記試験と口述試験を行い、出身大学等の成績と併せて総合して合否を判定する。筆記試験では異なる分野の学生に対応するため、医学・生物学的内容と生物物理学的内容の問題から選択できるようにしている。また、学修機会の拡大のため、10月入学の制度を設けている。

(<http://www.med.gunma-u.ac.jp/admissions/grad/seimeigaku/policy.html>)

## 防衛医科大学

・本校の設立目的を十分に理解し、自衛隊医官として我が国の平和と安全、国民の生命と幸せな暮らしを守るという志をもち、高い倫理観と健康な身体を有する者

・規律ある団体生活を通してコミュニケーション能力と協調性を高め、将来、医療や医学研究の分野において指導的役割を担うために、他者を尊重しつつ自らの行動を律することができる者

- ・幅広い国際的な視野をもち、国内外において要請される多様な活動を遂行するために必要な、医学・医療に関する専門的知識・技能を主体的、積極的に獲得しようとする者

([http://www.ndmc.ac.jp/admission/sh\\_test001igakuka/](http://www.ndmc.ac.jp/admission/sh_test001igakuka/))

## 千葉大学

- ・創造性に溢れた論理的な思考のできる人
- ・高い倫理観と強い使命感を持つ人
- ・世のため人のために誠心誠意尽くすことのできる人
- ・将来の日本および世界の医学をリードするような高い志を有する人

### ◆入学者選抜の基本方針

千葉大学医学部では本学部の教育理念・目標に合致した学生を選抜するため以下のとおり入学者選抜を実施している。

#### 〈一般入試〉

##### ・前期日程

大学入試センターの成績（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）、個別学力検査（数学、理科、外国語（英語）、面接）の成績及び調査書の内容を総合して評価する。

##### ・後期日程

大学入試センターの成績（国語、地理歴史・公民、数学、理科、外国語）、個別学力検査（数学、理科、外国語（英語）、面接）の成績及び調査書の内容を総合して評価する。

#### 〈特別入試〉

##### ・私費外国人留学生入試

日本留学試験の成績及び本学で実施する学力検査等の成績並びに提出された成績証明書の内容を総合して評価する。

##### ・3年次編入学

出願者が提出した自己推薦書、成績証明書並びに学力検査、小論文及び面接の成績を総合して評価する。

(<http://www.chiba-u.ac.jp/exam/9igaku.pdf>)

## 東京大学

東京大学は、教育理念に共鳴し、皆強い意欲を持って学ぼうとする志の高い人材を、日本のみならず世界の各地から積極的に受け入れたいと考えている。東京大学が求めているのは、本学の教育研究環境を積極的に最大限活用して、自ら主体的に学び、各分野で創造的役割を果たす人間へと成長していこうとする意志を持った学生である。何よりもまず大切なのは、上に述べたような本学の使命や教育理念への共感と、本学における学びに対する旺盛な興味や関心、そして、その学びを通じた人間的成長への強い意欲である。そうした意味で、入学試験の得点だけを意識した、視野の狭い受験勉強のみに意を注ぐ人よりも、学校の授業の内外で、自らの興味・関心を生かして幅広く学び、その過程で見出されるに違いない諸問題を関連づける広い視野、あるいは自らの問題意識を掘り下げて追究するための深い洞察力を真剣に獲得しようとする人を東京大学は歓迎する。

([http://www.u-tokyo.ac.jp/stu03/e01\\_01\\_17\\_j.html](http://www.u-tokyo.ac.jp/stu03/e01_01_17_j.html))

## 東京医科歯科大学

〈一般入試、私費外国人留学生特別入試〉

- ・医学・医療に深い関心を持ち、生涯にわたり学習し、知識と技能を向上させる意志を有している
- ・卓越した知的能力、科学的思考能力とそれを発展させる潜在力を有している
- ・優秀な能力を他者・社会のために活用する利他・奉仕の心を有している
- ・多彩な情報から問題点を抽出し、解決に導く意欲と能力を備えている
- ・他者への思いやりや協調性のもと、国内外の多種多様な状況を理解する力と未来への想像力を備えている
- ・一般言語能力と、将来、国際語を駆使できる能力を有している

〈地域特別枠推薦入試〉

- ・医学・医療に深い関心を持ち、生涯にわたり学習し、知識と技能を向上させる意志を有している
- ・卓越した知的能力、科学的思考能力とそれを発展させる潜在力を有している

- ・優秀な能力を他者・社会のために活用する利他・奉仕の心を有している
- ・多彩な情報から問題点を抽出し、解決に導く意欲と能力を備えている
- ・他者への思いやりや協調性のもと、国内外の多種多様な状況を理解する力と未来への想像力を備えている

- ・一般言語能力と、将来、国際語を駆使できる能力を有している
- ・当該地域の医療に継続して貢献する熱意と能力を有している

〈2年次学士編入学試験〉

- ・医学・医療に深い関心を持ち、生涯にわたり学習し、知識と技能を向上させる意志を有している

- ・卓越した知的能力、科学的思考能力とそれを発展させる潜在力を有している
- ・優秀な能力を他者・社会のために活用する利他・奉仕の心を有している

- ・多彩な情報から問題点を抽出し、解決に導く意欲と能力を備えている

- ・他者への思いやりや協調性のもと、国内外の多種多様な状況を理解する力と未来への想像力を備えている

- ・一般言語能力と、将来、国際語を駆使できる能力を有している

- ・学士としての知識と経験や社会活動に基づく成熟した人格を有している

- ・常に新しい医療環境に対応し、医学・医療の発展に寄与する次世代指導者としての資質を有している

- ・多様な分野が関与する現代医学の中で、独自性の高い分野で活躍し、新しい分野を開拓する能力を有している

〈特別選抜Ⅰ（推薦入試）〉

- ・医学・医療に深い関心を持ち、高い基礎学力と倫理観を備えている

- ・協調性とコミュニケーション能力に優れ、患者の思いを慮ることができるバランスのとれた人格を備えている

- ・創造性とチャレンジ精神に富み、自然科学領域におけるきわめて優れた特性・学科能力または国内外の課外活動などにおける特筆すべきリーダーシップ能力を備えている

〈特別選抜Ⅰ（国際バカロレア入試）〉

- ・医学・医療に深い関心を持ち、高い基礎学力と倫理観を備えている

- ・協調性に優れ、患者の思いを慮ることができるバランスのとれた人格を備え

ている

- ・創造性とチャレンジ精神に富み、自然科学領域におけるきわめて優れた特性・学科能力

または国内外の課外活動などにおける特筆すべきリーダーシップ能力を備えている

- ・日本語および英語を用いたコミュニケーション能力に優れ、領域横断的な思考に基づく高い問題解決能力を備えている

〈特別選抜Ⅱ（帰国生入試）〉

- ・医学・医療に深い関心をもち、高い基礎学力と倫理観を備えている
- ・協調性とコミュニケーション能力に優れ、患者の思いを慮ることができるバランスのとれた人格を備えている
- ・創造性とチャレンジ精神に富み、きわめて優れた語学力と豊かな国際感覚を有している

#### ◆入学試験の基本方針

学力検査以外の評価方針を記載する。

〈一般入試、私費外国人留学生特別入試〉

面接では、医学・医療への関心と医療人としての適性、コミュニケーション能力、積極性および協調性を評価する。

特に、一般入試（後期日程）では、小論文により、論理的思考能力や文章構成能力などを評価し、面接により、基礎・臨床医学への興味・関心および社会や大学に貢献する意志・能力などを評価する。

〈地域特別枠推薦入試〉

面接および提出書類により、当該地域の医療に貢献する熱意、能力を高く評価する。

〈2年次学士編入学試験〉

面接および提出書類により、大学以降の学習や研究成果を踏まえて、論理的思考能力、リーダーシップ能力、コミュニケーション能力などを評価し、特に、医学・医療の発展に貢献する潜在性や熱意、独自の視点などを確認する。

〈特別選抜Ⅰ（推薦入試）〉

小論文では、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力に加えて、課題を整理・要約し、自らの考えを提示する能力などを評価する。

面接および提出書類では、優れた科学的思考能力やコミュニケーション能力、リーダーシップ能力などを高く評価する。

〈特別選抜 I（国際バカロレア入試）〉

小論文では、問題発見および解決に必要な批判的・創造的・協働的思考力に加えて、課題を整理・要約し、自らの考えを提示する能力などを評価する。

面接および提出書類では、科学的思考能力やコミュニケーション能力、リーダーシップ能力、日本語・外国語能力などを評価する。

〈特別選抜 I（帰国生入試）〉

面接および提出書類により、コミュニケーション能力、日本語・外国語能力、国際的視点などを評価する。

([http://www.tmd.ac.jp/admissions/faculty2/8\\_58d206b807ff2/index.html](http://www.tmd.ac.jp/admissions/faculty2/8_58d206b807ff2/index.html))

## 山梨大学

- ・単に病気やけがを治すだけでなく、一人一人に最良の医療を提供するために、努力を惜しまない人
- ・健康問題に興味があり、地域医療や国際医療に貢献したいと考えている人
- ・疾患の原因を解明し、治療法を開発したいと考えている人
- ・深い人間愛と広い視野を持ちコミュニケーション能力が高い人

([https://www.yamanashi.ac.jp/about\\_institution/423#m6](https://www.yamanashi.ac.jp/about_institution/423#m6))

## 新潟大学

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力を十分に有する人
- ・医学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有する人
- ・良き医療人・医学者になるための強い学習意欲と科学的探求心を有する人
- ・協調性に富み、豊かな教養と人間性を有する人
- ・広い視野を有し、積極的に行動できる人

### ◆入学者選抜の基本方針

#### 〈一般入試（前期日程）〉

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力を持ち、医学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有し、意欲的で協調性に富み行動力に溢れる学生を選抜する。
- ・大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、基礎学力を評価する。個別学力検査では、英語、数学、理科（物理・化学・生物から2科目選択）を課し、理解力や応用力などを評価する。面接試験では、理解力や判断力とともに人間性、倫理観、協調性や向学心を評価する。

#### 〈推薦入試〉

- ・高等学校卒業レベルの基礎学力を持ち、医学を学ぶ上で重要な科目への高い理解力と応用力を有し、意欲的で協調性に富み行動力に溢れる学生を選抜する。
- ・大学入試センター試験では、5教科7科目の試験を課し、基礎学力を評価する。調査書、志願理由書および面接試験では、理解力や判断力とともに人間性、倫理観、協調性や向学心を評価する。
- ・推薦入試（地域枠）では、推薦入試（一般）と同様のほか、とくに面接試験において新潟県で医療を担う強い意志を有することを評価する。

[\(https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/policy/medicine/\)](https://www.niigata-u.ac.jp/admissions/faculty/policy/medicine/)

### 信州大学

- ・医師となる明確な目的意識を持っている（1）
- ・大学入学前の高等学校の課程等を能動的に幅広く学び、国語、地理歴史、公民、数学、理科、外国語で学習したことを身につけ、医学を学んでゆくにあたって必要な基礎学力がある（2）
- ・医師となるのにふさわしい協調性、決断力、積極性を持っている（3）
- ・病める人を救う情熱、思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている（4）
- ・将来の人類のために創造的な医学研究を志向するに必要な思考力・判断力の

#### 素養

と探究心を持っている（5）

#### 〈一般入試（前期日程）〉

前期日程では、（2）に対しては大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課すとともに、個別学力検査では2と5を重視して、

数学、理科及び英語の教科による思考力・判断力・論述力を重視した個別学力試験を課し、(1)と(3)～(5)に対しては面接を課す。

〈推薦入試Ⅱ（センター試験を課す入試）〉

推薦入試Ⅱでは、(2)に対しては「高等学校の学習成績概評が○A又はA段階」を出願条件とし大学入試センター試験で国語、地理歴史・公民、数学、理科、英語を課し、(1)と(3)～(5)に対しては面接を課す。さらに、提出書類の内容などを加えて総合的に合否を判定する。

〈私費外国人留学生入試〉

外国人であって私費により本学科に入学を希望する方には、私費外国人留学生入試を行う。私費外国人留学生入試では日本語での大学教育を受けられる日本語能力と、(2)に相当する素養を身につけているかどうかを判断するために日本留学試験を課しており、出願にはその得点が680点以上であることが必要である。また英語外部試験の受験も課しており、TOEFL PETSで540点以上か TOEFL iBT で72点以上、もしくはTOEICで700点以上の得点を持つことが出願には必須である。また(2)と(5)に対応した評価を行うために学力試験（英語、数学、理科）を課すとともに、(1)及び(3)～(5)に対しては面接を課す。

面接では(1)と(3)～(5)を中心にして、将来医師として活躍できる資質、適性や倫理観を備えているかなどの判定を行い、提出書類などを加えて総合的に合否を判定する。

[http://www.shinshu-u.ac.jp/ad\\_portal/items/ap5-1\\_m.pdf](http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/items/ap5-1_m.pdf)

## 富山大学

- ・基礎学力があり医学に深い関心を持つ人

医師は患者さんに対する思いやりを専門的知識・技能を通じて発揮する存在である。広範囲な医学の修得のためには、基礎学力と医学に対する深い関心が必要である。

加えて、学力だけでなく、思考力、協調性、積極性並びに将来医師として社会に貢献していこうという強い意欲が必要である。

- ・公的精神が豊かで創造力のある意欲的な人

公的精神とは、広い心で人々のことを公平に考えるということであり、医学は未知なことが多い分野である。その解決には創造力と日進月歩の医学を学



び続ける意欲が必要である。

(<https://www.u-toyama.ac.jp/outline/policy/index.html>)

## 金沢大学

- ・ 高度専門職業人として、研究心を持った医師を目指す人
- ・ 地域の医療に貢献する医師を目指す人
- ・ 国際的に活躍できる医学研究者を目指す人
- ・ 厚生医官、法務医官、自治体、保健所など医療行政の分野で活躍したい人
- ・ 世界保健機構などで医学医療の分野で国際貢献したい人
- ・ 医薬開発、医療器械開発、バイオ技術開発などのビジネス領域で活躍したい人

人

### ◆選抜の基本方針

#### 〈一般入試〉

高等学校教育で求められるすべての科目における基礎知識・技能に加え、医学にとって基本的科目である数学・物理・化学・英語の学力、そして面接においては勉学意欲・コミュニケーション能力・資質・向上心等を重視する。

#### 〈推薦入試〉

生命科学と人類の幸福に高い志を持ち、出身高等学校長等による責任ある推薦を受けた者を対象とする。特に、推薦入試の特別枠は、将来、石川県並びに富山県の地域医療をリードする指導的人材の育成を目的としており、石川県又は富山県の地域医療に貢献する強い意志を持った者を対象とする。

#### 〈帰国子女入試〉

日本の高等学校教育で求められるすべての科目における基礎知識・技能と相当のものを習得していることに加え、医学にとって基本的科目である数学・物理・化学・英語に関して十分な学力をもったものを対象とする。面接においては勉学意欲・コミュニケーション能力・資質・向上心等を重視する。

#### 〈私費外国人留学生入試〉

医学を学ぶのに必要な日本語の読解・筆記能力を有しているとともに、医学にとって基本的科目である数学・物理・化学・英語に関して十分な学力をもったものを対象とする。面接においては勉学意欲・コミュニケーション能力・資質・向上心等を重視する。

(<https://www.kanazawa->

## 福井大学

医師となるにふさわしい豊かな人間性、周囲との協調性、奉仕の精神を持ち、医学教育内容を十分理解するために必要な幅広い基礎学力と応用能力に富み、医学・医療を通じて広くグローバル社会に貢献しようとする強い情熱と意欲を持った人を求める。

そして、先端的生命科学に強い関心を持ち医学研究者になることを希望する人や、医師として地域医療に貢献したいという人も求める。

### ◆選抜方法

#### 〈一般入試（前期日程・後期日程）〉

高等学校卒業生及びそれに準ずる学力を持った者に対し、大学入試センター試験、個別学力検査及び面接の成績によって選抜を行う。大学入試センター試験に加え、個別学力検査を課し、医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価する。

#### 〈特別入試（推薦入試Ⅱ：全国枠）〉

学習成績や人格に優れた者とした高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者に対し、書類審査、大学入試センター試験及び面接の成績によって選抜を行う。大学入試センター試験の成績で医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査によって「求める学生像」に相応しい人の選抜を行う。

#### 〈特別入試（推薦入試Ⅱ：地域枠）〉

学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する福井県内の高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒業した者等に対し、書類審査、大学入試センター試験及び面接の成績によって選抜を行う。大学入試センター試験の成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価する。

#### 〈特別入試（推薦入試Ⅱ：福井健康推進枠）〉

学習成績や人格に優れ、福井県内において医療に従事する強い意思を有し、かつ高等学校長の推薦する高等学校卒業見込み者及び1年前に高等学校を卒

業した者に対し、書類審査、大学入試センター試験及び面接の成績によって選抜を行う。大学入試センター試験の成績では医学を学び生かす基礎学力や科学的、論理的思考力を評価すると共に、面接と書類審査では福井県内の医療に従事する強い意思を評価する。

#### 〈学士編入学〉

大学卒業者及びそれに準ずる学力を持った者に対し、書類審査、個別学力検査及び面接の成績によって選抜を行う。個別学力検査では理系大学教養課程修了に相当する基礎学力（生命科学関連、英語等）を評価する。面接では学士としての見識と経験、医学を学ぶ目的と強い意欲を判断する。合格者は2年次前期（4月）に編入する。

([https://www.u-fukui.ac.jp/user\\_admission/examination/admi\\_policy/med01/](https://www.u-fukui.ac.jp/user_admission/examination/admi_policy/med01/))

### 岐阜大学

- ・広い視野と豊かな教養を持ち、医学の修得に必要な基礎知識と学習スキルを持つ人
- ・自ら考えて積極的に行動し、その結果を省察できる人
- ・協調性に富み、相手の立場を尊重しつつ、自らの考えを表現できる人
- ・向上心を持ち、仲間とともに生涯にわたり学ぶ意欲と探究心を持つ人
- ・地域や国際社会で貢献する意志を持つ人
- ・責任感と倫理感が強く、人間性豊かで、生命に対する畏敬の念を持つ人

学力の3要素 選抜方法及び入試区分		知識・技能	思考力・判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度		
					(a)	(b)	(c)
センター試験	一般、推薦Ⅱ	○	○				
個別学力試験	一般	○	○				
面接	一般、推薦Ⅱ		○	○	○	○	○
小論文	推薦Ⅱ	○	○	○	○		○
調査書等	一般、推薦Ⅱ	○			○	○	○

([https://www.gifu-u.ac.jp/admission/f\\_applicant/policy.html#医学部医学科](https://www.gifu-u.ac.jp/admission/f_applicant/policy.html#医学部医学科))

### 浜松医科大学

医学部医学科では、本学の建学の理念を尊重し、将来、臨床医や医学研究者として社会に貢献できる以下の人材を求めており、志願者の資質と能力を総

合的に評価して選抜する。

- ・医学を学ぶために必要な基礎学力と応用できる資質を有する人
- ・生涯を通して学修する意欲と向上心を有する人
- ・他者への思いやりと協調性、倫理観を有し、社会的規範に基づく行動がとれる人
- ・自然科学への好奇心が旺盛で、豊かな創造力と論理的思考能力を有する人
- ・国際社会や地域社会の情勢に関心を持ち、社会的要請に応えようとする意欲がある人

#### ◆入学者選抜の基本方針

アドミッション・ポリシーに沿った人材を選抜するために、医学科では、一般入試、推薦入試、帰国子女入試及び私費外国人留学生入試を実施している。また、医学以外の学問分野を経験した人を対象に2年次への学士編入学試験を実施している。

##### 〈一般入試（前期日程・後期日程）〉

前期日程は、大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書、後期日程は、大学入試センター試験、小論文、面接及び調査書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定する。

##### 〈特別入試（推薦入試）〉

推薦入試は、大学入試センター試験、小論文、適性検査、面接、推薦書、志願理由書及び調査書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定する。

##### 〈特別入試（帰国子女入試）〉

帰国子女入試は、小論文、適性検査、面接、成績証明書、推薦書、志願理由書及び調査書に加えて各国の教育制度による国家試験等の統一試験により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定する。

##### 〈特別入試（私費外国人留学生入試）〉

私費外国人留学生入試は、独立行政法人日本学生支援機構が実施する「日本留学試験」、個別学力検査及び面接により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定する。

##### 〈第2年次編入学試験〉

第2年次編入学試験は、個別学力検査、小論文、面接、成績証明書、推薦書及び志願理由書により学力や資質を総合的に評価し、合格者を決定する。

<https://www.hama-med.ac.jp/admission/adm-policy/medicine.html>

## 名古屋大学

基礎的な学力とそれを活用する能力、さらにそれを発展させようとする意欲や態度を備える人

(<http://www.nuqa.nagoya-u.ac.jp/organization/docs/3policy.pdf>)

## 三重大学

- ・人間性に優れた人
- ・困難に立ち向かう力強さを備えた人
- ・人類の健康と福祉の向上のため、地域および国際社会に貢献する人

(<http://www.medic.mie-u.ac.jp/admission/adpolicy.php>)

## 滋賀医科大学

- ・医学の修得に必要な幅広い基礎学力と応用力を有する者
- ・十分なコミュニケーション能力を持ち、協調性や他者への思いやりのある者
- ・大いなる好奇心を持って、自ら考え自ら解決する気概のある者
- ・地域医療に深い関心を持ち、特に滋賀県の医療に貢献する意欲を持つ者
- ・国内外における医学・医療研究の実践及び発展のために、生涯を通じて真摯に取り組む者

### ◆入学者選抜の基本方針

「求める学生像」に沿った人材を選抜するために、一般入試、推薦入試（滋賀県枠を含む）、第2年次後期学士編入学試験（地域枠を含む）を行っている。滋賀県枠、地域枠では、滋賀県の医療に情熱を持って従事しようとする者を望んでいる。

#### 〈一般入試（前期日程）〉

大学入試センター試験、個別学力検査、面接及び調査書を総合して選抜を行う。大学入試センター試験では幅広い基礎学力を測り、個別学力検査では、「数学」、「理科」、「外国語（英語）」を課すことにより、自然科学分野における幅広い教養と深い知識、応用力とともに、理解力、読解力、語学力を測る。面接及び調査書では意欲、協調性、倫理観、コミュニケーション能力等を評価する。

#### 〈推薦入試〉

学校長の推薦書、調査書、志願理由書並びに大学入試センター試験、小論文、

面接を総合して選抜を行う。大学入試センター試験では幅広い基礎学力を測り、小論文では理解力、思考力及び表現力を評価し、調査書などの提出書類と面接では地域医療への意欲、協調性、自己表現力、リーダーシップ、倫理観、コミュニケーション能力等を評価する。

〈第2年次後期学士編入学試験〉

学力試験（第1次試験）の合格者に、第2次試験（小論文及び面接）を行い、第1次試験の結果と総合して選抜を行う。学力試験では、大学教養教育修了程度の総合問題（生物学、物理学、化学及び統計学）及び外国語（英語）を課す。小論文及び面接では、意欲、論理的思考力、問題解決能力、倫理観、コミュニケーション能力、協調性、リーダーシップ、自己表現力等を評価する。

(<https://www.shiga-med.ac.jp/education-and-support/education/medical-school>)

## 京都大学

・自ら課題を発掘する好奇心や探究心、それを解決しようとする主体性を持っている人

- ・高い倫理性と豊かな人間性を備え、他者との協調性を持っている人
- ・優れた知的能力とともに、国際的視野を持っている人

入学する学生には高等学校等において、教育課程の教科・科目の習得による基礎学力に加え、分析力や俯瞰力により、これを高度な学びへと展開できる向学心を培うことを求める。医学部医学科が望む学生を選抜するために、一般入試（前期日程）は、大学入試センター試験並びに個別学力審査及び面接試験により、総合的に合格者を決定する。

また、医学・生命科学に深い関心を持ち、真摯な姿勢、強い熱意を持って真理を探究し、世界の医学をリードする医学研究者としての資質・適性を持つ人材を求め、特色入試を実施する。高等学校での成績および英語能力において所定の基準を満たす学生を対象に、高等学校での取り組みや医学研究に対する考えに関する報告書等の提出書類並びに小論文試験及び面接試験により、合格者を決定する。（[http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/policy/ad\\_policy/undergrad/igaku.html](http://www.kyoto-u.ac.jp/ja/education-campus/policy/ad_policy/undergrad/igaku.html)）



## 大阪大学

- ・物事の本質を見極め適切な判断を迅速に下せる人
- ・自由な発想と豊かな想像力により独創的な提案のできる人
- ・倫理をわきまえ豊かな人間性を身につけて社会と交流できる人
- ・自らの信念を貫徹する強い意志と他人の考えも受け入れる柔軟性を併せ持つ人

このような学生を適正に選抜するために、一般入試（前期日程）では、大学入試センター試験並びに 個別学力検査の成績（数学、理科、外国語）に基づき、面接の内容も加味して入学候補者を決定する。また、世界適塾入試では、大学入試センター試験並びに小論文試験の成績及び面接結果を総合的に評価する。さらに、私費外国人留学生特別入試、海外在住私費外国人留学生特別入試や、学士編入学試験など、多様な選抜方法を実施する。

( [http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/announcement/main/policies/f-medicine\\_policy.html](http://www.osaka-u.ac.jp/ja/guide/announcement/main/policies/f-medicine_policy.html) )

## 神戸大学

- ・明確な目的意識と旺盛な学習意欲を持った学生
- ・ひとに対する深い思いやりと協調性、優れたコミュニケーション能力を持った学生
- ・自ら問題を発見し、解決にあたることのできる学生
- ・保健医療・健康科学を学ぶために必要な自然科学および社会科学の基礎知識と日本語・外国語の基礎学力を備えた学生

以上のような学生を選抜するために、医学部保健学科では、大学入試センター試験により総合的な基礎学力を測り、個別学力検査では「数学」「理科」「外国語」（後期日程にあつては、「外国語」「面接」）を課すことにより、自然科学分野における幅広い教養と深い知識とともに、理解力、読解力、語学力、倫理観、協調性等を測る。

( <http://www.kobe-u.ac.jp/admission/undergrad/requirement/index.html#i> )

## 鳥取大学

- ・生命の営みに関心のある人

- ・科学的な思考能力のある人
- ・医学に対する学習意欲と適性のある人
- ・人と協調できる柔軟性のある人
- ・山陰地方の風土と生活に関心のある人
- ・医学・医療と保健・福祉の進歩に貢献できる人

(<http://www.admissions.adm.tottori-u.ac.jp/admission/policy-med>)

## 島根大学

### 「知識・技能」

- ・高等学校で履修する英語、数学、理科、社会、国語において、入学後の医学部の修学に支障がないレベルの知識を有している

### 「思考力・判断力・表現力」

- ・人のために尽くそうとする明確な意志を有している
- ・地域医療を担う意欲と使命感を有している
- ・生命及び人に対する尊厳と倫理観及び理論的な思考力を備えている
- ・探究心が豊かであり、未知の分野に挑戦しようとする情熱を有している
- ・異文化や自分と異なる考えを受け入れ、広い視野で物事を判断し思考できる
- ・自分の意見や考えをわかりやすく言葉や文章で表現できる能力を有している

### 「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

- ・コミュニケーション能力に長けている
- ・相手の気持ちを理解するとともに支持し、周囲の人々と協調性を持って行動できる

## ◆入学者選抜の基本方針

### 〈一般入試（前期日程）〉

大学入試センター試験では、英語、数学、理科、社会、国語において、入学後の医学部の修学に支障がないレベルの基礎学力を有しているかを評価する。

個別学力試験では、数学、英語の筆記試験を課し、これらの科目の知識、思考力、判断力、表現力を評価し、さらに面接では、医療人として必要な豊かな人間性、幅広い教養と高い倫理観、コミュニケーション能力、主体的な行動力、問題を自ら発見し解決を図る能力、情報収集能力及びチームとして協働できる能力などを評価する。



なお、県内定着枠では、卒業後は島根大学医学部附属病院を含む島根県内の病院の臨床研修プログラムにより初期及び後期の臨床研修を受けるとともに、島根県の地域医療に貢献する意欲・使命感を面接によって評価する。

〈特別選抜〉

・推薦入試Ⅱ

大学入試センター試験では、英語、数学、理科、社会、国語において、入学後の医学部の修学に支障がないレベルの基礎学力を有しているかを評価する。

小論文では、出題された文章等に対し、主として論述式により解答する問題を課し、知識、物事の判断、論理的思考、分析・考察、問題解決等の能力を評価する。

面接では、医療人として必要な豊かな人間性、幅広い教養と高い倫理観、コミュニケーション能力、主体的な行動力、問題を自ら発見し解決を図る能力、情報収集能力及びチームとして協働できる能力などを評価する。

・地域枠推薦入試

出願前にへき地医療機関等で医療福祉体験活動を行い、適性評価を受けるとともに、市町村長等による面接を受ける。この面接は、志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに、医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極める。

小論文では、物事の判断、論理的思考、分析・考察、問題解決等の能力を評価する。

面接では、医療人として必要な豊かな人間性、幅広い教養と高い倫理観、コミュニケーション能力、主体的な行動力、問題を自ら発見し解決を図る能力、情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに、志願者が故郷の地域医療に貢献したいという強い意志を評価する。

・緊急医師確保対策枠推薦入試

出願前に県内医療機関等で医療体験活動を行い、適性評価を受けるとともに、島根県担当者による面接を受ける。この面接は、志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を持っていることを確認するとともに、医師となるにふさわしい資質を備えているかを多面的に見極める。

小論文では、物事の判断、論理的思考、分析・考察、問題解決等の能力を評価する。

面接では、医療人として必要な豊かな人間性、幅広い教養と高い倫理観、コ

コミュニケーション能力、主体的な行動力、問題を自ら発見し解決を図る能力、情報収集能力及びチームとして協働できる能力とともに、志願者が島根県の地域医療に貢献したいという強い意志を評価する。

◆選抜試験における評価項目と評価方法

〈一般入試（前期日程：一般枠、県内定着枠）〉

一般枠、県内定着枠

選抜方法	知識	思考力・判断力・表現力	コミュニケーション・協調性	地域医療に対する意欲・使命感
大学入試センター試験	◎	○		
個別学力試験（数学，英語）	◎	○		
面接	○	○	◎	◎

特別選抜【推薦入試Ⅱ、地域枠推薦入試、緊急医師確保対策枠推薦入試】

区分	選抜方法	知識	思考力・判断力・表現力	コミュニケーション・協調性	地域医療に対する意欲・使命感
推薦入試Ⅱ	推薦書・調査書	★	★	★	★
	大学入試センター試験	◎	○		
	小論文	○	◎		
	面接	○	○	◎	◎
地域枠推薦入試，緊急医師確保対策枠推薦入試	推薦書・調査書	★	★	★	★
	大学入試センター試験	◎	○		
	小論文	○	◎		
	面接	○	○	◎	◎
	地域医療等に関する論文	★	★	★	★
	地域の医療機関における適性評価	★	★	★	★
	学外第三者*による面接	★	★	★	★

★ 参考とするもの

◎、○ 評価を点数化し、合否判定に用いる（◎評価する上で重視するもの ○評価に用いるもの）

\* 市町村長等または県担当者

(<http://www.med.shimane-u.ac.jp/medicine/outline/ap.html>)

## 岡山大学

- ・医師に必要な使命感、豊かな人間性、高い倫理観、コミュニケーション能力を持っている人
- ・医学・医療の進歩に対応するために必要な、幅広い基礎的学力と語学力、問題解決能力を持っている人
- ・知的探究心が強く、とくに生命科学に対して深い関心を持っている人

### ◆選抜の基本方針

#### 〈一般入試(前期日程)〉

5教科7科目の大学入試センター試験を課し、高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。個別学力試験では数学・理科2科目・英語を課し、医学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度を評価する。また面接により、将来の医学・医療の担い手としての適性を重視する。

#### 〈推薦入試Ⅱ(大学入試センター試験を課すもの)〉

地域枠コースとして募集、選抜を行う。調査書・志願所信書等の書類審査と面接試験で、志望する各県の出願要件をみだし、各県が貸与する奨学金を受給し、かつ当該県内での医療に従事する強い意思を確認し、将来の医学・医療の担い手としての適性を総合的に判断する。入学後の学修のため、5教科7科目の大学入試センター試験を課し、基準点(概ね780点)以上の者から選抜する。

#### 〈私費外国人留学生特別入試〉

本学の定めた出願資格を満たしている者に対して、書類審査、日本留学試験(日本語、数学コース2、生物および他1科目理科)を課し、日本の高等学校卒業レベルの基礎学力を評価する。個別学力試験では数学・理科2科目・英語を課し、医学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度を評価する。さらに面接を課し、将来の医学・医療の担い手としての適性を総合的に評価する。

#### 〈アドミッション・オフィス入試(国際バカロレア入試)〉

国際バカロレア資格(IB最終成績評価39/45点以上)を有し、日本語(言語Aで成績評価4以上)、理科2科目および数学(所定の成績評価以上)を修得した者に対して、書類審査を行い、日本の高等学校卒業レベルの基礎学力および医学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度を評価する。さらに面接を課し、将来の医学・医療の担い手としての適性を総合的に評価する。

〈その他（編入学試験(学士入試)）〉

本学の定めた出願資格を満たしている学士に対して、書類（TOEFL-iBT 成績証明含む）審査を行い、課題作文で論理的思考能力と生命科学に対する理解度を評価する。学力試験では生物学、科学英語を課し、医学を学ぶ上で基盤となる科目への理解度を評価する。さらに面接を課し、将来の医学・医療の担い手としての適性を総合的に評価する。

<https://www.okayama-u.ac.jp/tp/admission/policy20.html>

## 広島大学

「知識・技能」

- ・生命科学に深い関心がある人
- ・高等学校で学習するすべての教科の学力を幅広く身につけている人
- ・特に理科や英語において高い学力を有する人

「思考力・判断力・表現力等」

- ・自ら問題点をみつけて、解決しようとする人
- ・情報を客観的かつ的確に判断することができる人
- ・積極的に問題の解決にあたる人
- ・グローバルな視点を持ち、国際交流に積極的な人

「主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度」

- ・人と関わることが好きで、人の痛みに共感できる人
- ・医療を通して地域・社会に貢献しようとする意欲と情熱のある人
- ・高いコミュニケーション能力を持ち、周囲の人と良好な関係を築くことができる人
- ・責任を持って周囲の人と協調して働くことができる人

◆ 入学者選抜における重点評価項目

区分	関心・意欲・態度		知識・技能		思考力・判断力・表現力		主体性・協働性	
	○		○		○		○	
一般入試 (前期日程)	○	面接	○	大学入試センター試験、個別学力検査	○	大学入試センター試験、個別学力検査	○	面接
一般入試 (後期日程)	○	面接	○	大学入試センター試験、面接	○	大学入試センター試験、面接	○	面接
AO入試 (総合評価方式Ⅱ型)	○	面接、調査書、自己推薦書、出願要件を証明できる書類	○	小論文、面接、大学入試センター試験	○	小論文、面接、大学入試センター試験	○	面接、調査書、自己推薦書、出願要件を証明できる書類
AO入試 (国際バカロレア入試)	○	面接	○	面接	○	面接	○	面接
推薦入試	○	面接、調査書、志望理由書、推薦書	○	大学入試センター試験	○	大学入試センター試験、面接、調査書、志望理由書、推薦書	○	面接、調査書、志望理由書、推薦書
私費外国人留学生入試 (前期日程)	○	面接	○	日本留学試験、TOEFL又はTOEIC、個別学力検査	○	個別学力検査	○	面接

◆ 入学者受入れの基本方針

〈一般入試（前期日程）〉

大学入試センター試験（5教科7科目。900点満点）及び個別学力検査（数学、理科及び外国語。1、800点満点）の総合点並びに面接（段階評価）で評価する。

なお、個別学力検査はA配点（理科重視型）とB配点（一般型）があり、A配点は数学300点、理科1200点、外国語300点、B配点は数学600点、理

科 600 点、外国語 600 点である。

「関心・意欲・態度」

将来医師として医療に携わる者としての問題意識、意欲・態度を面接で評価する。

「知識・技能」

高等学校段階での基礎的・基本的な知識を習得していることを確認し、医学プログラムのカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、大学入試センター試験及び個別学力検査で評価する。

「思考力・判断力・表現力」

知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力がはぐくまれているかを、個別学力検査で評価する。大学入試センター試験でも思考力を評価する。

「主体性・協働性」

将来医師として他の医療従事者とのチーム医療を推進するために必要な主体性、協働性を面接で評価する。

〈一般入試（後期日程）

大学入試センター試験（5 教科 7 科目。900 点満点）及び面接（100 点満点）の総合点で評価する。

「関心・意欲・態度」

将来医師として医療に携わる者としての問題意識、意欲・態度を面接で評価する。

「知識・技能」

高等学校段階での基礎的・基本的な知識を幅広く習得していることを確認し、医学プログラムのカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、大学入試センター試験及び面接で評価する。

「思考力・判断力・表現力」

知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力がはぐくまれているかを面接で評価する。大学入試センター試験でも思考力を評価する。

「主体性・協働性」

将来医師として他の医療従事者とのチーム医療を推進するために必要な

主体性、協働性を面接で評価する。

#### 〈A0 入試（総合評価方式 II型）〉

第1次選考として出願書類（調査書、自己推薦書及び出願要件を証明できる書類。100点満点）で評価する。最終選考は小論文（100点満点）、面接（200点満点）の合計点を総合して評価する。

なお、最終合格者となるには、大学入試センター試験（5教科7科目。900点満点）の合計点が合格基準点（720点）以上であることが必要である。

##### 「関心・意欲・態度」

医学研究者を養成する MD-PhD コースに進学し、医学研究者を目指すことについて、関心、意欲・態度を面接、調査書、自己推薦書、出願要件を証明できる書類で評価する。

##### 「知識・技能」

医学研究者を養成する MD-PhD コースに進学するために必要な学識を有しているかについて、小論文及び面接で評価する。

また、高等学校段階での基礎的・基本的な知識を幅広く習得していることを確認し、医学プログラムのカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、大学入試センター試験に合格基準点がある。

##### 「思考力・判断力・表現力」

医学研究者を養成する MD-PhD コースに進学するために必要な思考力、問題解決能力、論理的な表現力を小論文及び面接で評価する。大学入試センター試験でも思考力を評価する。

##### 「主体性・協働性」

医学研究者を目指すために必要な主体性及び協働性を面接、調査書、自己推薦書、出願要件を証明できる書類で評価する。

#### 〈A0 入試（対象別評価方式、国際バカロレア入試）〉

面接により評価する。出願書類（IB 最終試験 6 科目の成績評価証明書、及び志望理由書）は、面接評価をする上で、参考資料として用いている。

##### 「関心・意欲・態度」

将来医師として医療に携わる者としての問題意識、意欲・態度を面接で評価する。

##### 「知識・技能」

高等学校段階での基礎的・基本的な知識を幅広く習得していることを確認

し、医学プログラムのカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、面接で評価する。

「思考力・判断力・表現力」

知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力がはぐくまれているかを面接で評価する。

「主体性・協働性」

将来医師として他の医療従事者とのチーム医療を推進するために必要な主体性、協働性を面接で評価する。

〈推薦入試〉

面接（200点満点）、大学入試センター試験（5教科7科目。900点満点）及び出願書（調査書、志望理由書及び推薦書。100点満点）の得点を総合的に評価する。

「関心・意欲・態度」

広島県又は岡山県の地域医療に関する問題意識、将来地域に定着する意欲・態度を面接、調査書、志望理由書、推薦書で評価する。

「知識・技能」

高等学校で学習するすべての教科の学力を幅広く身につけているか、大学入試センター試験で評価する。

「思考力・判断力・表現力」

地域医療に取り組むことに関する思考力、問題解決能力、論理的な表現力を面接、調査書、志望理由書、推薦書で評価する。大学入試センター試験でも思考力を評価する。

「主体性・協働性」

将来医師として他の医療従事者とのチーム医療を推進するために必要な主体性、協働性を面接、調査書、志望理由書、推薦書で評価する。

〈私費外国人留学生入試（前期日程）〉

日本留学試験（3教科4科目）及びTOEFL又はTOEICの得点に個別学力検査（数学、理科及び外国語。1、800点満点）の得点を加えた総合点並びに面接（段階評価）で評価する。

なお、個別学力検査はA配点（理科重視型）とB配点（一般型）があり、A配点は数学300点、理科1200点、外国語300点、B配点は数学600点、理科600点、外国語600点である。



「関心・意欲・態度」

将来医師として医療に携わる者としての問題意識、意欲・態度に加え、日本語コミュニケーション能力を面接で評価する。

「知識・技能」

医学プログラムのカリキュラム・ポリシーに適応可能な能力を見るために、日本留学試験、TOEFL 又は TOEIC 及び個別学力検査で評価する。

「思考力・判断力・表現力」

知識を活用して課題を解決するために必要な思考力、判断力、表現力がはぐくまれているかを、個別学力検査で評価する。

「主体性・協働性」

将来医師として他の医療従事者とのチーム医療を推進するために必要な主体性、協働性を面接で評価する。

<https://www.hiroshima-u.ac.jp/nyugaku/policy/ap/10#1>

## 山口大学

- ・ 医学・医療に貢献しようという意欲と情熱を持った人
- ・ 病める人の立場が理解できる人間性豊かな人
- ・ 知的探究心が旺盛で、物事に柔軟に対応できる人
- ・ 地域社会に医学・医療の分野で貢献する意欲のある人
- ・ 医学を学ぶために必要な基礎学力（基礎的英語能力を含む。）を身につけた人

<http://www.med.yamaguchi-u.ac.jp/medicine/admission/policy.html>

## 徳島大学

「関心・意欲・態度」

医学と生命科学に強い関心があり、自らを振り返りながら生涯学び続ける意欲があり、謙虚な態度で病める人に寄り添い、医学や医療の課題に勝つ真摯かつ熱心に対応できる人

「知識・教養」

本学科の専門分野を学ぶために、高等学校等で修得すべき理科系・文科系にわたる知識や教養をもつ人

「思考・判断力」

これまでに獲得した知識や教育をもとに思考を深めて適切に判断できる人  
「表現力」

自分が伝えたいことを相手に表現できるひと

「主体性」

自分の意思と判断で責任感をもって行動できる人

「協働性」

問題解決のために、国籍や日本における各地域、世代、考え方にとらわれることなく、相手の立場や多様性を尊重しながら互いに協力できる人

#### ◆入学者選抜の基本方針

〈一般入試（前期日程）〉

大学入試センター試験と個別試験で「思考力・判断力」「知識・教養」を重点的に評価し、個別試験では「関心・意欲・態度」「表現力」をあわせて評価する。学力とともに、生涯にわたり社会に貢献し、医学の発展に寄与する医療人へ成長できる人を総合的に選抜する。

〈推薦入試Ⅱ（大学入試センター試験を課す）〈適合性と学力重視型〉〉

大学入試センター試験では「思考力・判断力」「知識・教養」を評価し、個別試験では2段階にわたって「関心・意欲・態度」「表現力」を重点的に評価し、「思考力・判断力」「主体性」「協働性」をあわせて評価する。学力とともに、高等学校等段階における多様な能力、関心等を重視し、それらを表現できる人を総合的に選抜する（地域枠あり）。

([http://www.tokushima-u.ac.jp/\\_files/00302500/2018AP\\_igakka.pdf](http://www.tokushima-u.ac.jp/_files/00302500/2018AP_igakka.pdf))

### 香川大学

「知識・技能」

医学の専門知識と技能を習得するための基盤となる、高等学校等における幅広い学習に裏付けされた知識・技能

「思考力・判断力・表現力」

情報の収集と評価、それに基づく自らの意見形成のための論理的思考力と判断力、及び形成した意見を他者へわかりやすく伝え、実行に移すための表現力

「主体性・多様性・協働性」

医学に関する問題を自ら抽出し、多面的な視点から考察し、他者と協力して

問題解決に当たるために必要な主体性・多様性・協働性

「関心・意欲・態度」

進歩を続ける医学、医療の専門知識と技能に対する関心、生涯にわたりそれを学び続ける意欲、そのために必要な自己主導型学習態度

「倫理観・社会的責任」

尊い人命を預かる医療者として、また、医学と医療の継承と発展を担う医学者として求められる高い倫理観

医師・医学研究者としてのみならず社会の一員としても法令や社会的規範を遵守して行動できる社会性

#### ◆選抜方法の趣旨

〈一般入試〉

##### ・前期日程

大学入試センター試験により、理科、数学、英語、国語、社会の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価する。国語の基礎学力は、考えを論理的に展開したり文章にまとめたり、適切に表現するために必要となる。理科系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを個別学力検査で評価する。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力である。個別学力検査の数学では、論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価する。個別学力検査の英語では、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価する。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力である。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価する。

##### ・後期日程

大学入試センター試験により、理科、数学、英語、国語、社会の5教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価する。特に、理科、数学、英語の基礎学力を重視する。個別学力検査では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価する。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎

学力である。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価する。

〈特別選抜〉

・大学入試センター試験を課する推薦入試（推薦Ⅱ）

大学入試センター試験により、理科、数学、英語の3教科の基礎学力を十分に身につけていることを評価する。個別学力検査では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していること、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価する。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力である。面接では、志望理由書、推薦書、調査書をもとに質問し、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価する。さらに調査書では主体性・多様性・協働性などを評価する。発言は説得的でわかりやすく、質問に対して的確かつ論理的な応答であることが求められる。

・私費外国人留学生入試

数学では、論理的思考能力及び理科系科目の基盤となる計算能力を修得していることを評価する。理科系科目では、物理、化学、生物を基礎とした幅広い知識を修得していることを評価する。これらは、生命現象を科学的、論理的に理解し、医学を修めるために欠くことのできない自然科学の学力である。英語では、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得していることを評価する。面接では、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理観・社会的責任を評価する。

〈編入学〉

・2年次編入学試験

自然科学総合問題の学力試験により、物理、化学、生物を基礎とした幅広い理科の知識を修得していることを評価する。TOEIC (Test of English for International Communication) の得点により、英語でのコミュニケーション及び英文教科書や学術論文の読解や論述に必要な英語の知識と技能を習得し

ていることを評価する。これらの英語の学力は国際的に活躍するために必要とされる基礎学力である。面接では、自己推薦書及び研究課題・論文リストをもとに質問し、医学を学ぶことに対する目的意識・人間性・論理性・学習意欲などを中心に、思考力・判断力・表現力、主体性・多様性・協働性、関心・意欲・態度、倫理性・社会性ととも自然科学に関する知識と技能を評価する。発言は説得的でわかりやすく、質問に対して的確かつ論理的な応答であることが求められる。

[\(https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission/18901/\)](https://www.kagawa-u.ac.jp/admission/admission/18901/)

## 愛媛大学

「知識・理解、思考・判断」

- ・入学後の修学に必要な基礎学力を有している

「興味・関心・意欲、態度」

- ・人間が好きで、生命に対する倫理観がしっかりしている
- ・医学・医療に対する意欲や関心度が高く、この分野に貢献したいという目的意識と情熱を持っている
- ・入学後も、生涯にわたって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある

「技能・表現」

- ・幅広い人間性、柔軟性と協調性を有し、周囲の人と良好な関係を保つことができる
- ・自分の考えや行動に責任を持ち、それを相手に明確に示すことができる

[\(https://www.ehime-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/02/5.medicine.pdf\)](https://www.ehime-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/02/5.medicine.pdf)

## 高知大学

「知識・技能」

- ・幅広い医学知識を学ぶ基礎となる高等学校教育課程の教科・科目の修得によって培われた十分な知識を有している

「思考力・判断力・表現力」

- ・学習及び生活の中で自ら積極的に問題点をみつけ、解決方法を探求すること

ができる

- ・科学的根拠に基づいて問題を分析的、批判的に考え、解決することができる
- ・自分の考えを論理的に構成し、口頭あるいは図や文章を用いて明確に表現することができる

「主体性・多様性・協働性」

- ・自発的で継続的な自己学習の習慣を身につけている
- ・協調性や他者への深い思いやりがあり、周囲と良好なコミュニケーションをとることができる
- ・多様な背景を持つ他者の能力を認め、同じ目標に向かって協働することができる

「関心・意欲」

- ・生命科学や医学・医療に対する強い関心・意欲を持っている
- ・高い倫理観を有し、自分の発言や行動に責任を持つことができる

[http://www.kochi-ms.ac.jp/~of\\_admss/admission-policy.html](http://www.kochi-ms.ac.jp/~of_admss/admission-policy.html)

## 九州大学

医師としてあるいは医科学分野の研究者として活躍するに十分な能力と素質をもち、明確な目的意識をもった学生を望んでいる。人間で最も大切なことは、「生きがいを持ち人間らしく生きること」である。命に直接関係するような病気を持っている患者さんは、ややもすると、この「生きがい」をなくし、生きる喜び、生きる目標を失っている。このような人達に優しい救いの手をさしのべることができる人間味あふれる学生を求める。

<https://www.kyushu-u.ac.jp/ja/admission/policy/medicine/igaku/>

## 佐賀大学

- ・高等学校で修得すべき幅広い教科・科目の知識・技能と、これらを踏まえた基本的な思考力・判断力
- ・専門分野を理解するために必要な数学、理科に関する知識・技能と、これらを踏まえた数理的かつ科学的な思考力・判断力・表現力
- ・国内に限らずグローバルな視点で情報収集、情報発信できる英語の読解力と表現力
- ・資料等の理解力、科学的かつ論理的な思考力及び医療人としての人間性

- ・医学への志を持ち、医学・医療により社会に貢献しようという意欲と態度
- ・生命や医療に対する倫理観、コミュニケーション能力、チーム医療の一員となる上で不可欠な協調性
- ・医学・医療について学ぼうとする意欲や物事に積極的に取り組む態度
- ・佐賀県、長崎県の医療活動に貢献したいという強い意思

入学後の学習に必要な能力や適性		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	
学力3要素との対応		「知識・技能」「思考力等」			「主体性等」					
選 抜 方 法	前期日程	センター	61	○	○					
		個別試験	23	○	○					
		面接				○	6			
		調査書	10	○	○		○			
	後期日程	センター	69	○	○					
		面接				○	20			
		自己推薦書					○			
		調査書	11	○	○		○			
	推薦入試 Ⅱ	センター	58	○	○					
		小論文	○		○	10				
		面接				○	10			
		調査書・推薦書	22	○	○		○			
		自己推薦書					○			
		志願理由書 (佐賀県枠・ 長崎県枠のみ)								○
	佐賀県 推薦	センター	58	○	○					
		小論文	○		○	10				
		面接				○	11			
		推薦書					○			
		調査書	21	○	○		○			
	帰国子女	学力検査	67	○	○					
面接					○	33				
提出書類		○	○	○		○				

i. 数値は、各入試区分で評価する重み（総合点に対する各配点のウエイト [%]）

ii. ○は、間接的に評価したり、内容を確認するもの

([http://www.med.saga-u.ac.jp/nyusi/admission\\_policy2017.pdf#search=%27%E3%82%A2%E3%83%89%E3%83%9F%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC+%E5%8C%BB%E5%AD%A6%E9%83%A8+%E4%BD%90%E8%B3%80%E5%A4%A7%E5%AD%A6%27](http://www.med.saga-u.ac.jp/nyusi/admission_policy2017.pdf#search=%27%E3%82%A2%E3%83%89%E3%83%9F%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC+%E5%8C%BB%E5%AD%A6%E9%83%A8+%E4%BD%90%E8%B3%80%E5%A4%A7%E5%AD%A6%27))

## 長崎大学

〈一般選抜〉 〈私費外国人留学生特別選抜〉

医学教育の目的は、医学・医療のさまざまな分野に共通して必要な基本的な知識及び技術を修得し、高邁な人間性の涵養を通して、生涯に渡る学習習慣の基礎を作ることにある。

これを具現するため、本学部の教育は「科学を学び、人間を学び、さらに医学を学ぶ」ところにある。まず最初に医学の基盤である生命科学の基本的知識を学習することを通して、論理性及び科学的思考を習得し、社会や地球環境における人間のあり方、生き方、生命の尊厳などを深く思考することで倫理性を体得する。さらに医療における予防・診断・治療からリハビリテーションまで、一貫した包括的な活動が行えるように、また医学及び関連諸科学の進歩に対応するように自然科学的視野ばかりでなく、心理的、社会的諸問題とも関連付けて考えることのできる総合的視野を培うことを目指している。

本学部では、上記の教育目標のもと、実践者としての医師の養成に加えて、さまざまな分野の医学の研究並びに教育に携わる人材の養成に当たっている。したがって、本学部は、医学・医療に対する目的意識が明確で、創造的能力・理論的思考力に富み、責任感が強く、協調性と思いやりのある人間の入学を求めている。

〈アドミッションオフィス入試 (A0 入試)〉

- ・長崎県内の小学校、中学校及び高等学校のいずれかの卒業生で地元地域医療に貢献する意志を有する人
- ・大学院を志望し、医学研究者を目指す人
- ・海外での医療活動に貢献する意志を有する人

(<http://www.nagasaki-u.ac.jp/nyugaku/nyushi/youkoh/21-3%20adomi.pdf#search=%27%E3%82%A2%E3%83%89%E3%83%9F%E3%83%83%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%BC+%E5%8C%BB%E5%AD%A6%E9%83%A8+%E9%95%B7%E5%B4%8E%E5%A4%A7%E5%AD%A6%27>)

## 熊本大学

- ・病める人たちやその家族の気持ちを理解できる人
- ・チーム医療の中心的役割を果たすための優れた協調性を持つ人
- ・地域医療に関心を持ち、地域住民の健康増進に貢献する意欲を持つ人
- ・科学的探究心が旺盛で、国際的視野で医科学研究を展開する意欲に溢れる人
- ・社会に対する幅広い視野を有し、地域や国際社会における保健医療や福祉に



深い関心を持つ人

- ・日々進歩する医学や医療の最新知識を吸収できる基礎学力を持ち、生涯にわたって自己学習を継続できる人

([http://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi/admission\\_policy#igakubu](http://www.kumamoto-u.ac.jp/nyuushi/gakubunyushi/admission_policy#igakubu))

## 大分大学

- ・医師として人の健康と福祉及び科学の進歩に貢献したいという確固たる決意を持っている人
- ・患者の痛みを分かち合い、患者に対する思いやりに満ちた慈愛の心を正しく体得しようとする志を持っている人
- ・日進月歩の医学・医療に対応する知識と技術を習得するため、たゆまぬ努力と地道な研鑽を重ねることができる持続力と忍耐力を持ち合わせている人
- ・他者の意見を良く聞き、協調して物ごとを進めることができる社会性とコミュニケーション能力を備えている人

### 〈一般入試（前期日程）〉

一般入試では、高等学校等での教科面における学習の達成度をみるため、大学入試センター試験は5教科7科目を課す。個別学力検査では、前期日程において、理科（物理基礎・物理、化学基礎・化学、生物基礎・生物から2科目選択）、数学、英語の3教科の学力を測るとともに、面接によりコミュニケーション能・学習意欲・倫理観等、受験者の素養を評価する。その際、高等学校等の調査書を参考資料とする。

### 〈アドミッション・オフィス入試（略称「AO入試」）〉

AO入試とは、従来の高等学校長による推薦ではなく自己推薦による入試であり、本学部アドミッション・ポリシーに掲げた求める学生像について、学力のみで選抜するものとは異なり、丁寧な面接により適性等を評価し選抜するものである。一般入試と同じく大学入試センター試験は、高等学校での教科面における学習の達成度をみるため、5教科7科目を課す。面接では、個人面接と集団面接を行い、医学を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価する。また、自己推薦書、調査書及び特別活動に関する調査書から、志願者がどのような高校生活を送っ

てきたかを、課外活動やボランティア活動、資格等を中心に評価する。

#### 〈学士編入学〉

学士編入学では、多様な専門能力、明確な問題意識や高い問題解決能力を有する人材並びに地域医療の場で活躍できる人材を受け入れるため、次のような3段階による選抜方法を実施している。第1次選抜では小論文を含む書類審査を、第2次選抜では生命科学に関する総合問題と英語の学力審査を、第3次選抜では個人面接と課題発表形式を取り入れた集団面接を行っている。

(<http://www.oita-u.ac.jp/06nyushi/adpolicy/ad-igaku.html>)

### 宮崎大学

医学科では、自ら課題を見つけ解決しようとする探求心と意欲、行動力（主体性・学問への関心）を有し、医学と医療を学ぶために必要な幅広い基礎学力・応用能力（知識・技能）と他者と協調・共感できる豊かな人間性（協調性・思考力・表現力）を持つ人、また、学習を通して獲得した知識・スキル・行動力を社会に還元することのできる人材を求めている。

#### ◆入学者選抜の基本方針

##### 〈一般入試（前期日程・後期日程）〉

高等学校までに修得した基礎的な学力と理数系科目及び英語など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験と個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力を総合的に評価する。

面接では主体性、協調性、学問への関心について評価する。

##### 〈推薦入試〉

高等学校での学業成績が優秀な者に対して、大学入試センター試験及び面接によって多様な能力を総合的に判断する。

高等学校までに修得した基礎的な学力など理数系科目及び英語など大学の学習で必要となる発展的な学力について、大学入試センター試験によって知識・技能を評価する。

面接では主体性、協調性、学問への関心について評価する。

##### 〈私費外国人留学生入試〉

外国人留学生に対し、面接、日本留学試験、個別学力検査によって、知識・技能、思考力、表現力、主体性、協調性、学問への関心を評価する。

(<http://www.med.miyazaki-u.ac.jp/home/about/1460/>)

## 鹿児島大学

- ・思いやりのある人
- ・幅広い基礎知識を有する人
- ・人の生命や社会に深い関心をもつ人
- ・探究心があり、物事に積極的に取り組む人

### ◆入学者選抜の基本方針

#### 〈一般入試前期日程〉

大学入試センター試験、個別学力試験により高校の学習の到達度を評価する。医学科

では、医師としての適性を判定するために面接試験も実施する。

#### 〈一般入試後期日程〉

大学入試センター試験、小論文および面接により基礎学力ならびに適性を判定する。

#### 〈推薦入試〉

医学科は大学入試センター試験および面接により、保健学科看護学専攻は小論文および面接により基礎学力ならびに適性を判定する。

#### 〈私費外国人学部留学生入試〉

日本留学試験、TOEFL、小論文および面接により基礎学力、日本語能力ならびに適性を判定する。

#### 〈国際バカロレア入試〉

提出された書類および面接により基礎学力、日本語能力ならびに適性を判定する。

(<https://www.kagoshima-u.ac.jp/education/ad-policy011.html#igaku>)

# 琉球大学

学科	教育理念・目的	入学者受入方針 ※求める学生像(アドミッション・ポリシー)		
		求める能力・適性等	高等学校等で履修すべき科目や習得しておくことが望ましい資格等	入学者選抜の基本方針
医 学 科	<p>医学科は、医学に関する専門の学術を修得し、医の倫理を身につけ、医学の進歩に柔軟に対応しうる医師、研究者を育成することを目的としています。</p> <p>沖縄県のおかれた自然的、地理的並びに歴史的な条件を踏まえ、島嶼環境などに由来する困難な地域医療の充実に努めます。国民の医療の向上に貢献するとともに、国際性豊かな医学部医学科として発展させ、東南アジアを主とする諸外国との学術交流及び医療協力に寄与します。</p>	<p>○ 一般入試</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人</li> <li>・生命現象、国内外の医学・医療に強い関心がある人</li> <li>・責任感が強く、人の身になって考え、行動できる人</li> <li>・常に自己点検を行い、自己啓発ができる人</li> <li>・創造性に富み、物事を理論的に整理・展開できる人</li> <li>・医学を学ぶ基礎学力を有する人</li> </ul> <p>○ 推薦入試Ⅱ (地域枠)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・沖縄県の地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人</li> <li>・生命現象、国内外の医学・医療に強い関心がある人</li> <li>・自分の置かれた社会的・地域的立場をしっかりと意識できる人</li> <li>・学習意欲の維持並びに自己学習ができる人</li> </ul> <p>○ 第2年次特別編入学 (学士入学)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・地域医療に貢献するための県民・地域住民意識を持てる人</li> <li>・医学研究並びに国際医療に強い関心がある人</li> <li>・自然科学、生命現象に強い関心がある人</li> <li>・責任感が強く、人の身になって考え、行動できる人</li> <li>・常に自己点検を行い、自己啓発ができる人</li> <li>・創造性に富み、物事を理論的に整理・展開ができる人</li> </ul>	<p>数学は、一般入試(後期日程)、推薦入試Ⅱも含めて、数学Ⅰ・A、Ⅱ・B、Ⅲの履修を望みます。理科は受験科目にかかわらず、物理基礎、物理、化学基礎、化学、生物基礎、生物の履修を望みます。英語は、英語Ⅰ、Ⅱを履修し、英検2級以上のレベルを求めます。</p>	<p>入学試験は前期・後期日程入学試験のほか、推薦入試Ⅱとして地域枠(14名)、離島・北部枠(3名)を沖縄県の高等学校の出身者から選抜します。さらに第2年次特別編入学(学士入学)枠(5名)の4種類の入学試験を実施し、多様な人材を求めています。</p> <p>○ 前期日程</p> <p>大学入試センター試験では、5教科7科目を課します。個別学力試験では、数学、理科、外国語を課しています。基礎学力を中心としますが、さらに、面接を実施し、アドミッション・ポリシーに沿った選抜を行います。</p> <p>○ 後期日程</p> <p>大学入試センター試験では、5教科7科目を課します。個別学力試験では、小論文と面接を行い、アドミッション・ポリシーに沿った選抜を行います。</p> <p>○ 推薦入試Ⅱ (地域枠)</p> <p>県内高等学校出身者を対象に、各高等学校より推薦された各3名以内について選抜試験を行います。(地域枠(14名)、離島・北部枠(3名))また、調査書や志望動機に関する応募書類をもとに、アドミッション・ポリシーに沿った面接を実施し、大学入試センター試験の成績と個別学力試験(小論文、面接)等の成績を総合して選抜します。</p> <p>○ 第2年次特別編入学 (学士入学)</p> <p>4年制の大学を卒業した者を対象者として、明確な目的意識や適性を有した人材の選抜を行います。</p> <p>① 第一次選抜</p> <p>小論文、自然科学総合試験を実施します。その結果を総合判定し、募集人員の約5倍を第二次選抜の合格者とします。</p> <p>② 第二次選抜</p> <p>第一次選抜の合格者に対し、個人面接を実施し、最終の合格者を選抜します。</p>

([http://www.u-ryukyu.ac.jp/admission/admission\\_policy/pdf/h29\\_admission\\_policy/medicine\\_admission\\_policy.pdf](http://www.u-ryukyu.ac.jp/admission/admission_policy/pdf/h29_admission_policy/medicine_admission_policy.pdf))

## (2) 公立

### 札幌医科大学

- ・命を尊ぶ心を持ち、病める人を救う情熱のある人
- ・周りの人への思いやりと奉仕の心、倫理観を持っている人
- ・良心と社会規範に従い、良識ある行動ができる人
- ・医師・研究医となるにふさわしいコミュニケーション能力、協調性及び想像力を持っている人
- ・地域社会への興味・関心を持ち、北海道に貢献する意志を持つ人
- ・国際的視野で考え行動し、科学的探究心と想像力を持って学習に取り組める人

(<http://web.sapmed.ac.jp/jp/summary/03bqho000022u2hy.html>)

### 福島県立医科大学

- ・いのちを尊ぶ心を備えた人
- ・高い倫理観と豊かな人間性を備えた人
- ・広い視野と適切な判断力を備えた人
- ・科学的探究心と創造性を備えた人
- ・地域に根ざした医療に貢献する熱意を備えた人

(<https://www.fmu.ac.jp/univ/igakubu/adopoli.html>)

### 横浜市立大学

- ・高い倫理観と医学分野への深い関心を有する人
- ・思いやりがあり、命を尊ぶ心を有する人
- ・柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人
- ・自ら問題を発見し、解決するための学習意欲を有する人
- ・医療の担い手たる責任感・使命感を有する人
- ・自ら生活習慣を改善し、健康増進に取り組む意欲を有する人
- ・医学界をリードし、医学・医療の進歩に世界レベルで貢献する熱意を有する人

医学科の2次学科試験においては自然科学（理科）、外国語（英語）、数学を課し、いずれの分野においても基礎をよく理解しているかどうか、また小

論文と面接においてはものの考え方やコミュニケーション能力を評価する。

#### 〈特別推薦入試〉

横浜市立高等学校および本学医学科への合格実績を有する神奈川県内の公立私立高校在籍者の中から特別に推薦された者を対象とし、書類審査、多面的な面接および大学入試センター試験の成績により、人物・学業成績ともに優秀な者を選抜する。

[https://www.yokohama-cu.ac.jp/info/objective/adomission\\_policy.html](https://www.yokohama-cu.ac.jp/info/objective/adomission_policy.html)

### 名古屋市立大学

#### 〈一般入試〉

医学・医療への使命感、倫理観と幅広い知識を持ち、他の医療従事者と協調して、患者さんのための医療ができる国際的視野を持った学生を求める。

- ・医学・医療への使命感と倫理観をもった人
- ・幅広い科目の学力を備えている人
- ・自分を律し、患者さんを思いやれる人
- ・国際的な視野を持てる人

#### 〈推薦入試B〉

基礎、臨床、社会医学を問わず創造性豊かな探究心を持ち、将来、指導的な立場で活動し、医師または研究者として国際的視野で医学・医療の発展に貢献する意欲のある学生を求める。

- ・ヒューマニティ:人間性豊かな人
- ・クリエイティブ:創造性豊かな探求心を持った人
- ・チャレンジ:基礎、臨床、社会医学を問わず医学や科学の課題に挑戦できる人
- ・インターナショナル:名古屋から世界への発信できる人
- ・リーダーシップ:将来、指導的な立場に立って医師・研究者として本学の発展に貢献する強い意志のある人

#### 〈地域枠推薦入試〉

人間性豊かで、自然科学だけでなく社会や文化に関する幅広い知識を持ち、将来、医学・医療の分野において地域社会に貢献する意欲のある学生を求める。

- ・豊かな人間性を持ち、医学・医療の発展に生涯を捧げる意志と知的探求心を持ち続けられる人
- ・愛知県の地域医療に貢献するという強い意志と使命感を持った人
- ・自然科学とともに社会や文化に関する幅広い基礎学力を備えた人
- ・自分の行動の結果への責任感と他人を思いやる気持ちを備えた人
- ・高い倫理観を持ち、リーダーシップと協調性、コミュニケーション能力に優れた人
- ・国際的な視野を持ち、かつ地域の患者さんや社会のために着実な活動のできる人

(<http://www.nagoya-cu.ac.jp/academics/undergrad-med/admission/index.html>)

## 京都府立医科大学

・生命及び人間の尊厳を重んじ、豊かな人間性と創造性を培いながら、人の命に深く関わり健康を守るという医師・医学者の職責を十分に自覚できうる人間愛にあふれ高い倫理観を持った人を求める。

・「世界トップレベルの医学を地域へ」という本学の理念のもと、「学問の都」京都で国際的な視野に立って医学を学ぶことによって、地域の医療に最善を尽くすと同時に、この京都の地で次世代の医学・医療を見据えた研究を遂行し、「トップレベルの医学・医療を京都から世界へ」発信できる探究心と向上心に富んだ人を求める。

・本学は多数の関係病院を有し、これらの病院との強い教育連携、研修連携をもとに、人々の健康を守る高度な専門家、医療人を育成している。これらの人材育成を通じて、医療のありかたや現状・課題を理解しながら地域医療に貢献する熱い志を持った人を求める。

・本学は、自らの意思で医学を修め感性を磨き人格を陶冶する自己研鑽の場である。医療の質の向上と医学の進歩のために絶えず省察し、他の医師・医療者・研究者とともに研鑽しながら、生涯にわたって向上を続ける意欲と態度を有するような強い意志と自ら考え学ぶ力を持った人を求める。

入学試験では、一般入学試験と推薦入学試験を実施しており、筆記試験によって学力および論理的思考力などを評価し、面接では医学・医療への志や



意欲を評価する。

([https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/admission/adm\(igakuka\).pdf](https://www.kpu-m.ac.jp/doc/examination/admission/adm(igakuka).pdf))

## 大阪市立大学

本学では、「智・仁・勇」を有する医療人となりえる素地を持った人材を求めている。自ら学習課題を設定し、その課題に向かって勉学に励める人の入学を希望する。

### ◆入学者選抜の基本方針

〈一般入試(前期日程のみ)〉

大学入試センター試験で、高等学校教育段階においてめざす基礎学力を、個別学力検査では、医学科の学修に十分対応できる知識に基づいた思考力・判断力、表現力を確認する。さらに、個別面接を行い、「智・仁・勇」を有する医療人になりうる資質についても確認する。

(<http://www.osaka-cu.ac.jp/ja/education/faculty/medicine/index.html#ad>)

## 奈良県立医科大学

- ・自らを律し、人を思いやる心をもつ、人間性豊かな人
- ・幅広い知識と確かな基礎学力を有し、看護学への興味と科学的探究心をもって学習に取り組める人
- ・国際的な視野で考え行動できるとともに、地域の保健・医療・福祉に貢献する熱意と行動力のある人
- ・奈良県立医科大学を愛し、その将来を担う志をもつ人

([http://www.naramed-u.ac.jp/university/nyushi\\_joho/kangogakka/admissionpolicy.html](http://www.naramed-u.ac.jp/university/nyushi_joho/kangogakka/admissionpolicy.html))

## 和歌山県立医科大学

- ・科学的探求心と豊かな人間性・高邁な倫理観を有する人

医学を志す人には、旺盛な科学的探求心とともに豊かな人間性、高い倫理観が必要である。人としての豊かな感性、人間性を有し、ボランティア活動などを通じて社会との深い係わりがあるとともに、高い倫理観を有する人を求める。



- ・医学を修得するための幅広い能力を有する人

医学の修得には、自然科学のほか人文・社会科学に関する学問の修得が必要である。そのため、自然および人間・社会についての幅広い知識と向学心、自分自身で問題を解決できる能力を持った人を求める。

- ・コミュニケーション能力及びリーダーシップを備えた協調性の高い人

医師には医学的知識とともに患者および家族、職場の同僚と十分コミュニケーションできる能力（情報の共有と良好な患者－医師関係が築ける能力）が必要である。医療人として自己研鑽ができ、自己の理念を持っているとともに協調性に優れ、リーダーシップを発揮できる人を求める。

- ・地域医療に関心があり、国際的視野を有する人

本学は県民の医療を支えるとともに、国際的にも活躍できる医師を育成する。地域医療に関心があると同時に、国際社会でも活躍できるための能力を高め、積極的に地域社会および国際社会に貢献できる人を求める。

(<http://www.wakayama-med.ac.jp/intro/kyoikujyoho/04/admission-policy-igakubu.html>)

### (3) 私立

#### 岩手医科大学

- ・生命倫理を尊重し、医学を学ぶための知性と科学的論理性を備えた人
- ・自ら課題を探求し、論理的に物事を捉え、広い視野を持った学際的な人
- ・病める人の心を理解し、病める者を救おうとする強い意志と情熱のある人
- ・世界の医学の進歩と発展に貢献しようとする強い意欲のある人

上記の目標達成のために、まず、高等学校で修得する学力をしっかりと身につけているかを見る必要がある。そのため、入学試験に際しては特に数学（Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、A、B、C）、理科（物理、化学、生物のⅠ、Ⅱ）を試験科目として設定し、科学的論理性の基礎を備えているかどうかを見たいと思っている。

次に、医師として教養に裏打ちされた広い視野が求められることから学力に加え、適性検査、小論文、面接を通して学力だけに偏重しない、バランスのとれた、倫理観のある人間性を持っているかどうかを重視し

ている。

さらに推薦入試に際しては、基礎学力試験（英語Ⅰ・Ⅱ、数学Ⅰ・Ⅱ・A、理科物理Ⅰ・化学Ⅰ・生物Ⅰ）、内申書の評定平均値、小論文、面接、適性検査などを重要視し、将来の医師としての熱意、自覚を持っているかを見ている。

[\(http://www.iwate-med.ac.jp/m/entrance-2/med-admission/\)](http://www.iwate-med.ac.jp/m/entrance-2/med-admission/)

### 東北医科薬科大学

- ・本学医学部の使命に共感し、将来、東北地方の地域医療・災害医療に従事して、地域住民の健康を支える使命感に燃えた学生を求めている。
- ・高度で専門的な知識と技能を兼ね備えながら、病める人とその家族の思いに共感できる強い意志と柔らかな心を持った医師を志す学生を求めている。
- ・高等学校等で理科、数学、英語を十分に習得し、論理的に考える姿勢と着実な学習習慣を身につけている学生を求めている。

[\(http://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/medicine-admission/\)](http://www.tohoku-mpu.ac.jp/admission/medicine-admission/)

### 国際医療福祉大学

- ・国際医療福祉大学および医学部の基本理念と教育理念とを十分に理解し、専門職業人として「共に生きる社会」の実現に貢献する強い意志を持つ者であること
- ・優れた学業実績や英語能力を有し、将来、国際性を身につけ、国内外の医療需要に応じて、母国および国際社会における保健、医療、福祉分野の発展に貢献したいという強い意志を持つ者であること
- ・自ら積極的に学ぶ意欲をもち、保健、医療、福祉分野における科学技術の高度化、専門化、および国際化に対応するための努力を継続できる者であること
- ・幅広い教養と広い視野を備えた豊かな人間性を養うため、積極的に自らを磨いていける者であること
- ・あらゆる人に対して自らの心を開き、コミュニケーションをとれる者であること

<https://www.iuhw.ac.jp/about/policy/admission/index.html>

## 自治医科大学

### 「適性」

- ・コミュニケーション能力が高く、他人の痛みに関心できる優しさを有する人
- ・さまざまな領域への関心と高い倫理観・教養を持ち、実行力を有する人
- ・困難に直面した時、ひるまずに目標に向かって努力を継続することができる人

### 「基本的学力」

- ・論理的思考力の高い人
- ・文章構築など、表現力の高い人
- ・総合医に必要な医学的知識を学ぶための十分な意欲と能力を有する人

### 「地域医療への関心」

- ・幅広い臨床能力を身につけた総合医を目指す人
- ・医療を通して地域社会に貢献しようとする人
- ・地域医療の経験を踏まえ、保健医療などの将来の仕組み作りを目指す人

<https://www.jichi.ac.jp/exam/medicine/guide/idea.html>

## 獨協医科大学

- ・本学の建学の精神及び本学医学部の教育理念を理解し、賛同できる人
- ・医学を学ぶ上で必要な数学、理科及び英語を中心とする基礎学力、読解力、表現力を有している人
- ・医学への強い志を持って社会に貢献する意欲のある人
- ・計画性を持って学習に臨み、自ら問題を解決する意欲のある人
- ・社会の一員としての理性と常識を備え、広い視野を持ち適切かつ公正な判断ができる人
- ・協調性とコミュニケーション能力のある人
- ・他者の立場になって物事を考え行動できる人
- ・国際的視野を持って医学を志す人

獨協医科大学医学部では、以上のような人材を入学生として受け入れるため、学力試験、小論文試験及び面接試験等を適切に組み合わせて、受験生に対する公平かつ公正な選抜試験を行っている。

(<http://www.dokkyomed.ac.jp/dusm/jyuken/542.html>)

## 埼玉医科大学

「調和のとれた豊かな人間性と生命への愛情を持ち、奉仕する精神を備えた人」

- ・家庭や地域、学校等で豊かな交流経験をもつ人
- ・さまざまな分野における豊富な読書量と文化・スポーツ活動歴のある人
- ・社会、経済、地理、歴史、文学、等に関する豊かな知識と概念をもつ人

「医学を修得するのに必要な基礎学力と問題解決能力のある人」

- ・自然科学（物理学、化学、生物学、等）、数学（統計学等）、日本語（語彙、読解力、作文力）、英語（語彙、読解力、作文力）に関して基礎的な学力を有する人
- ・学んだ知識・概念を実生活の問題解決に応用できる人

「自ら考え求めて学び、医学・医療を通じて社会に貢献する意欲と情熱のある人」

- ・医学を学ぶにふさわしい人格と適性を備えている人
- ・自らの行動を省察し、主体的に行動を改善する力のある人
- ・生命科学へ興味を持ち、新たな知見を医学・医療へ応用する意欲のある人
- ・医師を目指す、明確で具体的な動機と、学習に臨む目標および具体的方針をもつ人

「コミュニケーション能力に富み、他者を尊重し、他者の立場で考え、協調して行動できる人」

- ・課外活動、社会活動等における豊富な経験と実績、適切な対人関係を築く能力のある人
- ・人の話を理解し、自己の感情と考えを他者に的確に説明できる力のあ

る人

- ・人の心の動きを察し、自分とは異なる思想・信条を受容できる人

([http://www.saitama-med.ac.jp/fm/admission/admission\\_policy.html](http://www.saitama-med.ac.jp/fm/admission/admission_policy.html))

## 日本大学

医学・医療の分野で社会に貢献したいという明確な目的意識とそれを実現しようとする強い意志を持ち、目標に向かって意欲的に学修を進めていくことのできる学生を求めている。

入学試験では、このような人材を多元的な尺度で評価し、基礎的な能力や資質に優れた人材を見出す。一次試験では、学科試験（理科、数学、外国語）により、6年間の学修に必要な知識・技能、判断力、思考力を評価する。

二次試験では、小論文と面接により、思考力、判断力、表現力、主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度を評価する。

([http://www.med.nihon-u.ac.jp/admission\\_policy.html](http://www.med.nihon-u.ac.jp/admission_policy.html))

## 日本医科大学

- ・医学を学ぶ目的意識が明確で、医師、医学者となるに必要な知識・技能の獲得のために自ら努力する人
- ・生命倫理を尊重し、医学を学ぶための知識・知性および科学的論理性と思考力を備えた人
- ・病める人の心を理解し、相手の立場で物事を考えることができ、主体性を持ちつつ協働して学ぶことのできる人
- ・社会的な見識を有し、周囲との協調性を尊重しながら、自らを表現し、判断できる人
- ・世界の医学・医療の進歩と発展に貢献する強い意欲のある人

([https://www.nms.ac.jp/college/nyushi/about/policy.html?id=diplo  
ma](https://www.nms.ac.jp/college/nyushi/about/policy.html?id=diplo<br/>ma))

## 東邦大学

### 「医学的知識」

医学的知識を修得するために必要な基礎学力を有している。

### 「実践能力」

医師としての基本的技能を修得するために必要な能動的学修者としての姿勢を有している。

自らの行動を振り返り、主体的に自身の行動を改善する姿勢を有している。

### 「患者対応能力」

他者の価値観を尊重する姿勢を有している。

他者と良好な関係を築くための基本的なコミュニケーション能力を有している。

### 「科学的探究心」

自然・生命現象に対する強い興味・関心を有している。

事実や意見、データなどから、適切な情報を読み解く力と、問題意識に基づいてまとめる力を有している。

### 「社会・地域への貢献」

社会情勢に対する強い興味・関心を有している。

地域・社会における医療の役割を積極的に考える姿勢を有している。

### 「国際性」

異なる文化・民族的背景を持つ人に配慮する姿勢を有している。

外国語の修得に熱心である。

([http://www.toho-u.ac.jp/med/info\\_exam/sum.html](http://www.toho-u.ac.jp/med/info_exam/sum.html))

## 東京医科大学

- ・十分な基礎学力をもつ人
- ・自己学修意欲が旺盛である人
- ・自ら問題を発見し、解決する積極性のある人
- ・他者と礼節を重んじながら、積極的に関わることができる人
- ・命あるもの（動・植物）に慈愛をもって接することができる人
- ・自らの使命を理解し、求められている役割を自ら果たそうとする人

- ・自らの意見を他者に伝えるとともに、他者の意見を理解できる協調性と柔軟性をもつ人
- ・ICT(情報通信技術)の基本を理解している人
- ・医療を通して国際的視野で活動する志のある人

(<http://www.tokyo-med.ac.jp/med/policy.html>)

### 東京女子医科大学

- ・きわめて誠実で慈しむ心を持つ人
- ・礼節をわきまえ、情操豊かな人
- ・独立心に富み、自ら医師となる堅い決意を持つ人
- ・医師として活動するために適した心身ともに健康な人

(<http://www.twmu.ac.jp/univ/medical/outline.php>)

### 東京慈恵会医科大学

- ・変化する社会、多様な文化や人々の中での医療ニーズを学び、社会における医師の職責について学修することができる。
- ・多様な個性・異文化の人々と交流ができる。
- ・汎用的技能としての数理的スキル、論理的思考力、問題解決能力を有する。
- ・自らの考えをまとめ、それを表現し、他者との対話を通じて協調的に新しい知識を創造できる。

入学試験では、数理的スキル、論理的思考力、問題解決能力については、理科・数学の筆記試験で、異文化理解および英語でのコミュニケーション能力の一部を英語の筆記試験で評価する。自己を表現し、他者を理解し、社会における自己の役割について考える能力を面接試験で、他者に対して自分の考え方を論理的に伝える能力を小論文で評価する。さらに、知識を基に状況を理解し、どのような行動が適切か判断する力を面接および小論文で評価する。

(<http://www.jikei.ac.jp/univ/igaku/gaiyo/10.html>)

## 慶應義塾大学

次世代を先導し、豊かな人間性と深い知性を併せ持つ医学生を強く求める。そのために、創立者 福澤諭吉の「一身独立(自ら考え実践する)」の教えを理解し、世界に雄飛し、患者中心の医療を実現できる physician scientist (科学的思考力を備えた医師) となりうる医療人としての資質、目的意識、モチベーションを重視し、卒業コンピテンスを修得しうる者を選抜する。

(<http://www.admissions.keio.ac.jp/fac/policy.html>)

## 昭和大学

- ・医学を学ぶ目的意識が明確で、医学を志す情熱に満ち溢れ、自ら求めて学び、努力できる人
- ・人間や社会の多様性を理解し、自らと異なる価値観や意見を尊重できる人
- ・コミュニケーション能力に富み、他者・弱者の立場で考え、国際社会の中で行動できる人
- ・地域での医療に興味を持ち、将来地域医療の担い手として活動できる人 (特に地域別選抜)
- ・初年次の寮生活や学部連携教育カリキュラムを他学部学生と楽しく、充実できる人
- ・英語、数学、理科、文章表現で、一定以上の学力を有する人

### 〈面接試験〉

- ・目標に向かって自主的に努力できる能力
- ・他者の考えに傾聴するとともに自身の考えを表現して相手に伝える能力
- ・相手の立場で物事を考える能力
- ・社会における自己の役割を考える能力
- ・他者との共同生活において周囲の環境に自身を合わせていくとともに、自身の要望をかなえるために周囲の環境へ働きかける能力

([http://www.showa-u.ac.jp/about\\_us/disclosure/frdi8b0000002hoh-att/a1496377267222.pdf#search=%27%E3%82%A2%E3%83%89%E3%83%9F%E3%83%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%](http://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/frdi8b0000002hoh-att/a1496377267222.pdf#search=%27%E3%82%A2%E3%83%89%E3%83%9F%E3%83%E3%82%B7%E3%83%A7%E3%83%B3%E3%83%9D%E3%83%AA%E3%82%B7%E3%83%))



[BC+%E5%8C%BB%E5%AD%A6%E9%83%A8+%E6%98%AD%E5%92%8C%E5%A4%A7%E5%AD%A6%27\)](#)

## 順天堂大学

- ・一人の人間として、人間と自然を愛し、相手の立場に立つ思いやりと高い倫理観を有する人
- ・幅広い人間性、柔軟性と協調性を備えた高いコミュニケーション能力を有する人
- ・自ら問題を発見し、知的好奇心を持って、自主的に課題に取り組むことができる人
- ・国際的な視点から医学・医療の進歩に貢献しようとする熱意有る人
- ・入学後も、自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲を有する人

医学部は、医師・医学者になろうと努力する学生に対し、6年間で卒業し、ストレートで医師国家試験に合格させるよう教育するが、単に医師国家試験合格だけを目指すのではなく、国家試験をものともしない、知性と教養と感性溢れる医師・医学者を養成するため、入学者選抜方法として、学力試験のみならず、受験生の感性や医師・医学者となるべき人物・識見・教養を見極めるために、小論文試験・面接試験を課し、また、小中高に至る活動を知る資料の提出により、総合的な判定に基づき、入学者を選抜する。

(<http://www.juntendo.ac.jp/med/exam/policy.html>)

## 杏林大学

- ・生命の尊厳を尊ぶ心をもつとともに、高い倫理観と豊かな人間性を備えた人
- ・協調性と高いコミュニケーション能力をもち、周囲の人と良好な関係を築ける人
- ・柔軟な思考力と知的探究心をもち、生涯を通じて医学の修得・研鑽に熱意をもって取り組める人
- ・医学を学ぶ上で必要な基礎学力を身につけている人

[\(http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/sp/nyugaku/policy/\)](http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/sp/nyugaku/policy/)

### 帝京大学

- ・医学を学ぶ上で必要な基礎学力を有している
- ・高い倫理観と奉仕の心を備えている
- ・協調性とコミュニケーション能力を有している
- ・自立した学習態度、問題解決能力を有している
- ・医学に対する強い熱意・関心・意欲を有している

[\(https://www.teikyo-u.ac.jp/faculties/undergraduate/medicine\\_d/policy.html\)](https://www.teikyo-u.ac.jp/faculties/undergraduate/medicine_d/policy.html)

### 聖マリアンナ医科大学

- ・医師を目指す明確な目的を有している
- ・医師になるための品格と倫理観を有している
- ・医師になるための知性と科学的論理性を有している
- ・病める人々の心と体の痛みがわかり、かつ、豊かな感性を有している
- ・他人に対して自分の意見を明確に述べることができ、また、他人の意見を聞き入れこれを理解する気概を有している
- ・誠実で協調性に優れ、広い視野を有している

[\(https://www.marianna-u.ac.jp/univ/uni\\_info/admission\\_policy.html\)](https://www.marianna-u.ac.jp/univ/uni_info/admission_policy.html)

### 東海大学

自ら学ぶ意欲を持った人を求める

[\(http://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy\\_history/concept/admission\\_policy\\_2018.html\)](http://www.u-tokai.ac.jp/about/philosophy_history/concept/admission_policy_2018.html)

### 北里大学

- ・医師であることはもとより、一人の人間として、相手に共感できる思いやりを持つ学生

- ・患者さんの立場に立って考えることができ、社会人としてのマナーを実践できる学生
- ・医学ならびに医療行為を通じて社会的、国際的に貢献したいと考える学生
- ・広い視野を持ち、いろいろなことにチャレンジできる学生
- ・さまざまな刺激と影響を受けながら、自己を確立できる学生

#### ◆入学者選抜方法

##### 〈指定校推薦入学試験〉

医学・医療分野に対する深い関心と、自己研鑽を積む意欲を有し、品行方正、情操豊かな学生の入学を希望する。

##### 〈一般入学試験〉

英語・数学・理科の学力に加えて、人間性豊かで論理的思考能力、記述力、表現力、考察力、理解力などが優れた学生の入学を希望する。

##### 〈学士入学試験〉

英語・数学・理科の学力に加えて、医学以外の専門分野を修めた幅広い視野を持つ学生の入学を希望する。

[https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/academics/policy/admission\\_policy.html#ank-a3](https://www.kitasato-u.ac.jp/jp/academics/policy/admission_policy.html#ank-a3)

### 金沢医科大学

- ・医学を学ぶために必要な基礎学力と問題解決能力のある人
- ・知的好奇心が旺盛で、学ぶことへの集中力、忍耐力、持続性を備えている人
- ・周囲に対する協調性や思いやりの心を持ち、あらゆる面で自己啓発を怠らない人

[http://www.kanazawa-med.ac.jp/medicine\\_exam/summary/admission/](http://www.kanazawa-med.ac.jp/medicine_exam/summary/admission/)

### 愛知医科大学

- ・医学への強い志向と学習意欲を持つ人
- ・医学を学ぶために必要な基礎学力と問題解決能力を備えた人
- ・人間性と教養が豊かで、倫理的価値判断に優れた人

- ・協調性を持ちコミュニケーション能力に富んだ人
- ・誠実で常に努力を怠らない人

本学医学部が求める学生を受入れるための入学者選抜は、次の方針により実施する。

- ・医学部の学生として相応しい基礎的学力の到達度を確認するため、理科・数学・英語の筆記試験を実施する。

- ・医師として求められる倫理的価値判断、感性、コミュニケーション能力などを判断するため、面接試験および小論文試験を実施する。

本学医学部の学生は、医師国家試験の合格という大きな目標の達成だけでなく、医師に相応しい教養や感性（情緒と品格）を持つことが求められる。入学者の選抜においては、基礎的学力のみでなく、思考力・表現力・学ぶ意欲・コミュニケーション能力なども重視する。また多様な学生を受入れるため、一般入学試験のほかに国際バカロレア入学試験など多様な入学者選抜を実施する。

(<http://www.aichi-med-u.ac.jp/su06/su0612/index.html#FS03>)

## 藤田保健衛生大学

- ・藤田保健衛生大学医学部および藤田保健衛生大学病院の理念を理解し、その発展のために尽くす決意のある人
- ・地域の健康と福祉に貢献する熱意を有し、そのための努力を怠らない人
- ・職業人として長く社会に貢献する意思のある人
- ・他の医療専門職と連携して、患者および地域住民の健康問題を解決しようとする姿勢を有する人
- ・誠実で協調性に優れ、柔軟な心と広い視野を持つ人間性あふれる人に成長していくための素直な心を持ち、努力を続けられる人
- ・自律的に自らの健康管理、社会規範の遵守ができ、計画的な行動と多面的かつ慎重な判断ができる人
- ・以下に代表される多面的で高い学力を有する人

●=学科試験で問う ◆=小論文で問う ◎=面接で問う ◇=出願書類で問う ○=出願条件(調査書)

	多面的な高い学力					藤田保健衛生大学への貢献意欲	社会貢献への決意	多職種連携への理解・姿勢	人間性(協調性・努力)	自律性・健康管理・社会規範
	英語	数学	国語	理科	地歴・公民					
推薦入試	●○	●◆○	◆◎	◆○	◎	◎	◎	◎	◎	◎
AO入試	●	●				◎◇	◎	◎	◎	◎
一般入試	●	●	◎	●	◎	◎	◎	◎	◎	◎
センター試験利用入試	●	●	●◎	●	●◎	◎	◎	◎	◎	◎

(<http://www.fujita-hu.ac.jp/admission/examination/medicine/admission-policy/index.html>)

## 大阪医科大学

- ・医学を学ぶ明確な目的と意欲をもっている人
- ・医学を学ぶために必要な基礎学力、応用力、思考力、判断力、表現力をもっている人
- ・人に対する思いやりと豊かな人間性、および高い倫理性をもっている人
- ・他の人の意見を尊重し、コミュニケーション能力を涵養できる人
- ・知的好奇心と探究心をもって、自ら生涯にわたり課題の発見と解決に取り組むことのできる人
- ・柔軟な思考ができ、多様化と国際化に向かう現代社会に適応できる人

本学では「求める学生像」に沿った人材を選抜するため、一般入学試験とセンター試験利用入学試験、および「建学の精神」入試を実施している。

### 〈一般入学試験(前期・後期)〉

数学・理科・英語の学力試験により基礎学力、思考力、応用力を評価

するとともに、調査書、小論文、および面接により意欲、資質、表現力を見極め、総合的な評価・判定により合格者を決定する。

〈センター試験利用入学試験〉

大学入試センター試験により数学・理科・英語・国語・地理歴史と公民についての基礎学力を評価するとともに、調査書、小論文、および面接により意欲、資質、表現力を見極め、総合的な評価・判定により合格者を決定する。

〈「建学の精神」入試（専願制）〉

調査書、推薦書、志望理由書、複数回の面接、および小論文により、これまでのさまざまな活動、資質、表現力を見極めるとともに、基礎学力については大学入試センター試験の数学・理科・英語・国語・地理歴史と公民の結果を参考にして、総合的な評価・判定により合格者を決定する。なお、「建学の精神」入試（専願制）では、本学の建学の精神に賛同し、「是非とも大阪医科大学において学びたい」という明確な意志を持っていることを重視する。

<https://www.osaka-med.ac.jp/deps/gakumu/igakuka/others/policy.html>

## 関西医科大学

- ・本学の教育理念に共鳴し、強い意欲を持って学び、新たなことにも積極的にチャレンジする人
- ・生命と自然に対する敬愛を持ち、相手の立場に立って考え、行動することができる人
- ・国際的な視野を持ち、医学・医療の進展に貢献したいという熱意を持った人
- ・多様な人との協力を惜しまず、自らも問題を解決しようと努力し、継続的に自らを高めようとする人

学習成果を評価するために、本学では推薦入学試験、一般入学試験、センター試験利用入学試験といった多様な試験を行っている。これらを通して、医師・医学者となるにふさわしい資質を備えているかを総合的に判断する。

#### 〈推薦入学試験〉

推薦書、調査書により高校での活動を評価するとともに、適性検査(総合的学力試験)、表現力や論理的思考力をみるための小論文試験、積極性や協調性、コミュニケーション能力をみるための面接試験を行う。また、この制度は特別枠に対する理解・意欲などを含めて評価する。

#### 〈一般入学試験〉

幅広く人材を募集するもので、筆記試験(数学、英語、理科、小論文)と面接試験を課し、それらの結果と調査書を総合的に評価して合格者を決定する。また、大阪府地域枠は将来、大阪府の地域医療に従事し、貢献しようとする明確な目標を持ち、それを貫く強い意志を有するかを含めて評価する。

#### 〈センター試験利用入学試験〉

筆記試験の代わりに大学入試センター試験(数学、英語、理科、国語)および面接試験を課し、それらの結果と調査書を総合的に評価して合格者を決定する。

[\(http://www.kmu.ac.jp/faculty/medical/about/policy/\)](http://www.kmu.ac.jp/faculty/medical/about/policy/)

### 近畿大学

- ・医学を志し、そのために必要な強い意思と高い理想を持つ人。
- ・医学の課程を学ぶために十分な基礎学力を備える人。
- ・自ら課題を発見し解決していく意欲にあふれる人。
- ・奉仕の精神と協調精神に富む人。
- ・倫理観と責任感に富む人。

[\(<http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/principle/department-policy/med.html>\)](http://www.kindai.ac.jp/about-kindai/principle/department-policy/med.html)

### 兵庫医科大学

#### 「関心・意欲・態度」

- ・医師となることについて明確な目的と情熱を持っている。
- ・病める人に対する思いやりを持ち、痛みに共感できる。
- ・豊かな教養と人間性を有する。
- ・常に努力を怠らない強い向上心を持ち、自ら進んで学習し、生涯にわ

- たって自己啓発・自己学習・自己の健康増進を継続する意欲がある。
- ・科学への好奇心を有し、疑問に対して積極的に追求する姿勢を有する。
  - ・自己犠牲の精神があり、社会に奉仕する心を持つ。

「思考・判断」

- ・高い倫理性を有し、良心に従い行動できる。
- ・自分の考えや行動に責任を持ち、それを周囲に明確に示すことができる。

「技能・表現」

- ・協調性に富み、周囲の人と十分なコミュニケーションを取ることができる。
- ・多様な価値観を理解でき、相手の立場に立って接することができる。
- ・知識、技能をわかりやすく伝えることができる。

「知識・理解」

- ・本学の医学教育プログラムに対応できるしっかりとした基礎学力を有する。

〈一般公募制推薦入学試験〉

充実した高校生活を送り全教科にバランスの取れた学力と優れた人間性を有する方を求める。また、高等学校で多様な活動をした方、個性的な活動をした方も歓迎する。医学を学ぶのに必要な学力をみるための基礎学力検査、論理的思考力をみるための小論文試験、目的意識、コミュニケーション能力などをみるための面接試験を行う。基礎学力試験、小論文試験、面接試験、調査書などを含めて多面的、総合的に判定する。

〈地域指定制推薦入学試験〉

将来の地域医療を担う医師を確保するため居住地域を限定して募集するもので、試験は一般公募制と同じだが、地域医療に対する理解・意欲などを含めて評価する。

この制度により入学した方は地域医療に関する実習を履修する。

〈一般入学試験〉

高等学校において十分な学力を修得した学生に加えて、社会人や他学部卒業生などを含めて幅広く人材を募集する。医学を学ぶのに必要な学力をみるための個別学力検査は3教科4科目を課す。小論文試験は読解



力、分析能力、論理的思考力等を計る。面接試験では医学への志向と勉学意欲、コミュニケーション能力を持っていることを重視する。個別学力検査、小論文試験、面接試験、調査書などを含めて多面的、総合的に判定する。

〈大学入試センター試験利用入学試験（前期、後期）〉

大学入試センター試験利用入学試験では前期（4教科6科目）、後期（5教科7科目）を課し、バランスの取れた学力の方を求める。医学への志向と勉学意欲、コミュニケーション能力を持っていることなどを見るための面接試験を行う。大学入試センター試験、面接試験、調査書などを含めて多面的、総合的に判定する。

(<http://www.hyo-med.ac.jp/faculty/policies/admission.html>)

## 川崎医科大学

「意志と情熱」

地域社会に関心を持ち、医学・医療を通して、そこで生活する人々の健康と福祉に貢献する強い意志と情熱を有する。

「共感性と思いやり」

他者の尊厳を尊重し、他者の「こころ」や痛みに関感できる思いやりと優しさをもって行動できる。

「協調性とコミュニケーション能力」

他者と良好な関係を築き協働するための基本的なコミュニケーション能力を有する。

チーム内に生ずる困難に対して、誠実かつ適切に対処する姿勢を有する。

自らの考えをわかりやすく伝えることができる。

「知識と技能」

基礎的な知識と技能を幅広く体系的に修得している。

自らの知識と技能を持続的に発展させることができる学習能力を有する。

「科学的思考力・課題解決能力と表現力」

自ら課題にチャレンジし、科学的思考方法に基づいて課題を解決する姿勢を有する。

課題解決のプロセスや結果を的確に伝えるための基本的な表現力を有する。

#### 「振り返りと自律性」

自らの健康を維持管理し、規則正しい生活ができる。

他者の意見を謙虚に聞き入れる姿勢を有し、自らの向上につながるができる。

社会規範を守り礼節をもって、他者に信頼される行いができる。

#### 〈一般入試、一般入試（静岡県地域枠及び長崎県地域枠）〉

医学を学ぶ上で基盤となる体系的な知識と確かな応用力を見極めるため、数学、理科、英語の学力検査を課す。数学では論理的、数量的な思考能力を、理科では自然・生命の仕組みに関する十分な知識と科学的思考力を、英語ではコミュニケーションに必要な知識、読解力、表現力を中心に評価する。

#### 〈特別推薦入試〉

理数系及び語学系の基礎学力と総合読解力や論理力、人文社会を含めた幅広い教養を有していることを見極めるために総合適性試験を行う。

#### 〈推薦入試（附属高等学校）〉

基礎知識を体系的に理解し、応用力を有していることを見極めるために適性テストとして英語、数学、理科の科目テストを行う。

#### 〈小論文〉

文章を読み、その内容を的確に読み取り、必要に応じて要約や詳述をする能力、また、論拠に基づいて自分の考えを文章にまとめる能力を評価する。

#### 〈面接〉

医学を学ぶ意欲、積極性及び自律性を有することを確認し、コミュニケーション能力、社会に向き合う態度、協調性、他者を尊重する姿勢などの人間性を見極め評価する。

一般入試（静岡県地域枠及び長崎県地域枠）及び特別推薦入試を志望する者に対しては、将来、地域医療に従事する意欲を有することを確認する。

#### 〈調査書〉

高校における学習成果、学修態度、課外活動などを確認する。

([https://www.kawasaki-m.ac.jp/med/etc/public\\_policy-bu.html](https://www.kawasaki-m.ac.jp/med/etc/public_policy-bu.html))

### 産業医科大学

- ・産業医として活躍したいという明確な目的意識を持っている。
- ・臨床医学のみならず予防医学や健康増進にも深い関心を持っている。
- ・医師として生涯にわたり自ら物事の本質を考え、探究する意欲を持っている。
- ・幅広く医学の知識を修得し、発展・応用することができる能力を有している。
- ・他者との協調性やコミュニケーション能力を有している。

(<http://www.uoeh-u.ac.jp/University/aboutCollege/admissionp.html>)

### 福岡大学

- ・医学を学ぶために必要な基礎学力を備えている人
- ・優れた医師を目指す高い意欲と探究心を持つ人
- ・医師に必要なコミュニケーション能力の高い人
- ・医療を学ぼうと主体的に判断し行動できる人
- ・チーム医療に必要な指導性や協調性を示せる人
- ・地域社会の医療・福祉への関心と熱意を有する人

([https://www.fukuoka-u.ac.jp/pdf/disclosure/policy/undergraduate/medicine\\_fac.pdf](https://www.fukuoka-u.ac.jp/pdf/disclosure/policy/undergraduate/medicine_fac.pdf))

### 久留米大学

- ・医学部の学士課程の教育を受けるに足る基礎学力を有していること。
- ・自律的学習能力と旺盛な知的好奇心を有すること。
- ・心身ともに健康で協調性に富み、高い倫理観と豊かな人間性を有すること。

(<https://www.kurume-u.ac.jp/site/med/policy-igaku.html>)

## 2. 面接試験内容一覧（2018年2月現在）

参考：『2018年入試対策 医学部面接ノート』代々木ゼミナール、Y・SAPIX、2017  
河合塾の大学入試情報サイト Kei-Net より 2017年度

(<https://www.keinet.ne.jp/sp/taisaku/mensetsu/17/index.html>)

### (1) 国立

#### 北海道大学

〈前期〉

〔個人8分 面接官3人〕

- ・筆記試験後に面接シート（出身校、好きなスポーツ2つ、趣味や特技、自己紹介、アピールしたいこと、将来の希望、尊敬する歴史上の偉人）を記入（20分）
- ・志望理由（大学、医師）
- ・なぜ同レベルの大学の中で北海道大学なのか
- ・大学に入ってやりたいこと
- ・将来は臨床か研究か
- ・研究医志望であるが、どんな研究をしたいか
- ・やりたい分野の動機
- ・北海道の地域医療は医師の偏在という問題を抱えているが、その解決法
- ・臓器移植について、知っている知識、ドナーの心情にどう寄り添うか
- ・私立校出身だが、最近中学で受験する人が増えているのはなぜだと思うか
- ・筆記試験の出来
- ・最近読んだ本とそのあらすじ
- ・部活動で学んだこと
- ・ボランティアの経験はあるか、今後どういうボランティアをしたいか
- ・気になるニュース
- ・自分の中で医師に向いていると思うところ、思わないところ
- ・自分の医師としての適性
- ・自己アピール

#### 旭川医科大学

〈前期〉

[グループ討論 6人 20分 面接官 3人]

- ・アメリカの元上院議員は著書の中で、生き甲斐のある人生を送るには、「必ずしも適性のある職に就く必要はなく、自分がワクワクする仕事をするべきだ」と言っている。あなたたちは自分に向いている仕事と自分がやりたいと思う仕事のどちらを選ぶか

〈後期〉

[グループ討論 6人 20分 面接官 3人]

- ・日本人の中高生に「自分はダメな人間か」と質問したところ、約60%が「そう思う」「まあそう思う」と答えた。アメリカが約20%、韓国が約40%であった。なぜ日本人がこのような傾向を示すのか、自分の考えとともに討論しなさい

## 弘前大学

〈前期〉

[個人 15分 面接官 3人]

- ・志望理由
- ・自分が就きたい科に配属されなくても仕事をこなせるか
- ・地域医療において何を大切にしたいか
- ・地域医療とは何を指すか理解しているか
- ・青森の地域医療について知っていること
- ・医師ではなくライフプランナーや行政の立場ではだめなのか
- ・チーム医療には多くの職業の人がいるが、その中でなぜ医師なのか
- ・大学に入ってやりたいこと
- ・高校時代、部活動以外で頑張ったこと
- ・部活動での苦労、医師としての仕事にどう生きるか
- ・生徒会活動では何が大変だったか
- ・得意科目は何か
- ・好きな科目と嫌いな科目
- ・数学のどういうところが好きか
- ・留学で学んだことは何か
- ・留学経験は今後どのように役立つと思うか

- ・青森のイメージ
- ・地元に戻らないのか
- ・救急医が少ないのはなぜだと思うか
- ・なぜ地域枠で受験しなかったのか
- ・私立と国立の違い

[青森県定着枠：個人 15 分 面接官 3 人]

- ・定着枠誓約書に書かれていたこと
- ・なぜ地域枠を選んだのか
- ・義務年限が終わった時、どこで何をしていると思うか
- ・義務年限について保護者はどう思っているか
- ・なぜ青森か
- ・高校時の成績について
- ・高校卒業後の経歴
- ・浪人中に成長したこと
- ・自分が入学することで弘前大学にどんな貢献ができるか
- ・在宅医療推進のために必要なこと
- ・なぜ総合医志望なのか

## 東北大学

〈前期〉

[個人 5 分× 5 回 面接官 1 人]

- ・前日の小作文の補足
- ・志望理由（大学、医師）
- ・東北大の良い点を 3 つ、悪い点を 1 つ、改善点
- ・東北大学の魅力を伸ばす手段
- ・自分の長所
- ・高校生活について
- ・最近うれしかったこと
- ・人に感謝されたエピソードについて
- ・人間関係でトラブルがあったのはどんな時か
- ・小作文で一番難しかったもの、一番簡単だったものとその理由

[小作文のテーマ]

- ・倒れている人を助けている場面の絵に出てくる人の心情を書く
- ・入院しないと治らない患者が「入院はできない」といった時のやり取りを書く（会話形式）
- ・「近視が治る」と謳われているドリンクについて、何をさらに知りたいか

## 秋田大学

〈前期〉

〔個人 10～12 分 面接官 3 人〕

- ・自己紹介
- ・志望理由（大学）
- ・大学に入ってやりたいこと
- ・出身高校のPR
- ・地元のPR
- ・地元と秋田の違い
- ・秋田の良いところ
- ・新聞を読むか、その頻度
- ・本が好きか、どんな本を読むのか、医療と読書はどのように関わっていけると思うか
- ・浪人で身についてしたこと
- ・高校に入る前に自分が一番頑張ったこと
- ・センター試験の出来

## 山形大学

〈前期〉

〔個人 5 分 面接官 2 人〕

- ・志望理由（大学）
- ・多浪してまで医学部に入りたい理由
- ・医師を志したきっかけ
- ・卒業後は山形に残るか
- ・この1年何をしてきたか
- ・理科のどのようなところが好きか
- ・部活動について

- ・長所と短所
- ・センター試験、2次試験の出来

〈後期〉

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・志望理由（医師）
- ・どうして地元の大学ではなく山形大学を受けることにしたのか
- ・部活動はどんなことをしていたか、成績はどうだったか

## 筑波大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・志望理由（大学）
- ・自分が医師として向いている点は何か
- ・高校生活で楽しかったこと、後悔していること
- ・部活動を始めたきっかけ
- ・高校の授業について
- ・高校の魅力
- ・将来どの診療科に進みたいか
- ・センター試験の出来
- ・私立大の結果
- ・化学や数学は医療の現場でどのように活用されていると思うか
- ・得意科目

## 群馬大学

〈前期〉

〔グループ 3 人 25 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・何か現役生とは違う強みは持っているか
- ・地元の医療環境はどうか
- ・どのような医師になりたいか
- ・志望する科
- ・地域医療が崩壊しているなかで、どういった解決策が考えられるか



- ・ 医師として最も重要だと思うことは何か
- ・ i P S 細胞の利点は何か
- ・ i P S 細胞より良い治療法があるのに、なぜ i P S 細胞を用いた治療法を探すのか
- ・ 医療費の増加についてどう考えるか
- ・ 大学に入ったら何がしたいか
- ・ 印象に残った本
- ・ 気になったニュース
- ・ 苦手な科目
- ・ 部活動について
- ・ 長所と短所
- ・ 調査書について
- ・ 自分が大学に入ることによって大学にどんなメリットがあるか
- ・ 白物家電で最も偉大な発明は
- ・ 今の状態を色で表すとしたら、またその理由
- ・ 自己アピール
- ・ 前年までの国公立大受験校

## 防衛医科大学

〔個人 15～20 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（大学校、医師）
- ・ 本校の構内に入って感じたこと
- ・ 本校について知っていること、一般の大学との違い
- ・ 本校のメリットとデメリットは何だと思うか
- ・ 併願校と志望順位
- ・ 出身高校の PR
- ・ スーパーグローバルハイスクールについて
- ・ 部活動で得たこと
- ・ 本校でも部活動をするか
- ・ 高校での委員会について
- ・ 長所と短所
- ・ 体力に自信はあるか

- ・卒業後はどこで働きたいか
- ・何科に進みたいか
- ・両親の意見
- ・自衛隊のイベントに参加したことはあるか
- ・集団生活をしたことはあるか、続ける自信はあるか
- ・グループのリーダーになったことはあるか
- ・医師と医官の違い
- ・9年間自衛隊に勤務しなければならないことを知っているか、それについてどう思うか
- ・自衛隊の海外派遣について知っているか
- ・自衛隊が実際にどこの国に行っているか知っているか
- ・災害医療について
- ・他人からどのように思われていると考えるか
- ・自分の利益だけを考える人にどう対応するか

## 千葉大学

〈前期〉

〔個人8分×3回 面接官1人〕

〔各回質問は1つ〕

- ・あなたは病院で研修している研修医。同僚の研修医が、「指導医に患者さんの目の前で怒られた。だから上の人に指導医を変えるように掛け合ってみようと思う」と言っている。どうするか
- ・指導医から無医村で1年間働いてほしいと言われた。その代わりに1つだけ頼みを聞いてくれると言う。どうするか
- ・お世話になっているサラリーマンの先輩から、「来週のプレゼンテーションの準備が終わらないから、インフルエンザという診断書を書いてほしい」と言われた。どうするか
- ・がん患者が手術をしたくないと言ってきた。どうするか
- ・同級生がテスト中に不正行為で退学処分に。どう思うか

〔再面接：個人15分 面接官4人〕

- ・面接の感想
- ・答えを直したい質問はあるか

## 東京大学（過去資料 1999 年度～2007 年度）

〈前期〉

〔個人 15～20 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由
- ・ 無医村について原因と改善
- ・ 再生医療について
- ・ 渡されたカード（資料）を読み質問に答える

例) 高齢化について、「ヒトゲノム」について、医療事故に関する訴訟の増加について等

その原因や趣旨、さらに問題点やその解決策等

## 東京医科歯科大学

〈前期〉

〔個人 5 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 昨年の受験校
- ・ 英語の勉強法
- ・ 部活動について
- ・ 高校の修学旅行で学んだことについて

## 山梨大学

〈後期〉

〔グループ 3 人 5 分 面接官 2 人〕

- ・ 志望理由（大学）
- ・ 自分が医師に向いている点

## 新潟大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（大学）

- ・浪人生活はどうだったか
- ・医師を志したきっかけ
- ・どんな医師になりたいか
- ・大学に入ってやりたいこと
- ・オープンキャンパスには来たか
- ・得意科目、苦手科目
- ・得意科目のおもしろかった分野
- ・苦手科目の克服法
- ・総合の学習について、そこから何を学んだか
- ・高校で頑張ったことは何か
- ・部活動から得たものはあるか

## 信州大学

〈前期〉

[グループ7～8人 40分 面接官3人]

- ・志望理由
- ・一人暮らしに自信はあるか
- ・モラハラ、パワハラが起きたらどうするか
- ・信州大学に入る前と入った後にしたいことは何か
- ・将来の希望
- ・熱中していること
- ・研究医を増やすために大学は何をすべきか
- ・受験生の立場から、受験生が研究に興味を持てるように大学ができることは

何か

- ・リサーチマインドの必要性
- ・尊厳死について意見はあるか
- ・医療費を減らすにはどうすればよいか
- ・不妊治療について
- ・出生前診断についてどう思うか
- ・地域医療について
- ・気になるニュース
- ・リーダーシップをとった経験

- ・挫折を味わったことがあるか、その時のモチベーション維持方法
- ・つらかった出来事、そこから何を学んだか
- ・決断力や協調性を発揮した経験
- ・気分転換の方法
- ・自分がこれから大事にしていきたいこと
- ・長所と短所、短所を改善する方法
- ・医師に向いていると思う自分の性格
- ・自身の探求心について自分なりにアピール
- ・部活動と学業の両立をどうしていたか

[場合によっては2回目 個人20分 面接官3人]

- ・志望理由(大学、医師)
- ・小、中、高の学校生活について
- ・理想の医師像

## 富山大学

〈前期〉

[グループ討論4人 40分 面接官3人]

[前半グループ面接]

- ・自己紹介
- ・医師をめざした理由と入学後の夢
- ・調査書に書かれていた授業について、どんなことを行ったか
- ・部活動の活動内容
- ・部活動で得たこと

[後半グループ討論 20分]

[テーマは1題]

- ・高齢者の自動車事故を無くすにはどうしたらよいか、大学が強制的にへき地などに医師を派遣することを義務化することへの賛否。賛成2人、反対2人に分かれて討論

〈後期〉

[グループ討論4人 40分 面接官3人]

[前半グループ面接 20分]

- ・自己紹介書に書かれた内容を詳しく説明

- ・志望理由
- ・ボランティア活動について
- ・部活動について
- ・過半数の人ができないとされる任意の発表、レポートを時間があまりない時にやるか、やるならどういう風にするか

[後半グループ討論 20分]

[テーマは1題]

- ・「保育園落ちた、日本死ね」とあるが、今の保育園の状況についてどう思うか、どうすればよいか
- ・最低賃金を1000円にすることに賛成か反対か、立場を2対2に分かれて討

論

## 金沢大学

〈前期〉

[個人10分 面接官3人]

- ・志望理由（医師）
- ・どのような大学生活を送りたいか
- ・医師に求められる資質は何だと思うか
- ・どのような医師になりたいか
- ・将来の夢
- ・部活動について
- ・高校で勉強や部活動以外に頑張ったこと
- ・苦手な人との関わり方
- ・最近気になる医療ニュース
- ・最近医学生の不祥事が多いが、どう思うか、原因は何か
- ・高齢化に対する医療の問題点
- ・終末医療について
- ・長所と短所
- ・健康とは何だと思うか
- ・周りの人々を喜ばせたことがあるか
- ・ボランティア経験の有無
- ・面接官に話したいこと

## 福井大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ いつごろから医師を志望したのか
- ・ 将来の医師像
- ・ 自分の性格で医師に向いている点
- ・ 何科をめざすか
- ・ 10 年後、医師になってどんなことをしていると思うか
- ・ 将来は地元に戻るか、福井に残るか
- ・ 福井は田舎だが、大丈夫か
- ・ 大学で勉強以外に何をしたいか
- ・ 高校時代で思い出に残っていること
- ・ 高校で頑張ってきたこと
- ・ 高校時代の部活動について
- ・ 浪人してどうだったか
- ・ 浪人中、勉強以外で成長したこと
- ・ 長所と短所
- ・ 友人関係と、それに関するエピソード
- ・ 一人暮らしに不安はあるか
- ・ 最近気になるニュース
- ・ 医師の偏在化の解決法
- ・ センター試験と前日の試験の出来、解いた感想
- ・ 昨年の志望校
- ・ 昨年は医学部を受けたか、〈後期〉はどうか
- ・ 他にどの大学を検討したか
- ・ 理科の選択科目について、その理由
- ・ 卒業した大学ではどんなことをしていたか

〈後期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・ 福井にどんな印象を抱いているか

- ・志望理由（大学、医師）
- ・福井に残るか
- ・苦手科目とその対策
- ・得意科目
- ・調査書の内容
- ・欠席日数が高校3年生で多いのはなぜか
- ・〈前期〉受験大学の試験の出来
- ・福井駅のオブジェを見たか、感想

## 岐阜大学

〈前期〉

[グループ討論5人 15分 面接官3人]

[テーマは1題、最初に司会を決める、結論を出す必要はない]

- ・飛び級について
- ・絶滅危惧種は保護すべきか、それとも自然の摂理で仕方ないことなのか
- ・超高齢化社会の問題と対策

〈後期〉

[グループ討論5人 15分 面接官3人]

[テーマは1題、最初に司会を1人決める、結論を出す必要はない]

- ・日本の公用語を日本語から英語にしたら、日本は発展するか
- ・都会と田舎、住むならどちらが良いか

## 浜松医科大学

〈前期〉

[個人10分 面接官3人]

- ・アドミッションポリシーについて思うこと
- ・体力に自信はあるか
- ・志望理由（医師）
- ・どんな医師になりたいか
- ・臨床医か研究医か
- ・進みたい科
- ・医師として働く親の姿や家での姿を見てどう思っているか



- ・女性医師の増加についてどう思うか
- ・育児などとの両立はどうするか
- ・今までで一番辛かったこと
- ・浪人して辛かったこと、楽しかったこと
- ・調査書の内容について
- ・おすすめの本や作家
- ・趣味
- ・長所と短所
- ・もし今年受からなかったとしても、来年もチャレンジするか
- ・〈後期〉の受験大学について
- ・去年はどこを受験したか
- ・地元の大学は考えなかったのか
- ・部活動と勉強の両立の秘訣
- ・大学で勉強以外に何がしたいか

〈後期〉

〔個人 面接官 3 人〕

- ・あなたが浜松医科大学に入ってどのように貢献できるか
- ・回答についての質問

## 名古屋大学

〈前期〉

〔個人 5～10 分 面接官 2 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・志望理由書の内容について
- ・得意科目
- ・生物で行った実験
- ・生物のどういうところが好きか
- ・部活動は何をしていたか
- ・部活動から学んだこと
- ・趣味
- ・長所と、長所が生かされた具体的な出来事
- ・コミュニケーションをとるのは得意か

- ・留学して学んだこと
  - ・面接シートに書いたことはどこで知ったか
  - ・入学後したいことは何か
  - ・将来の進路、医学の進歩に具体的にどう貢献していきたいか
  - ・臨床か研究か
  - ・進みたい科を志望した理由
  - ・研究生活にどんなイメージを持っているか
  - ・研究するには体力が必要だが、自信はあるか
  - ・自分が研究したいと思っている分野とは別に興味のある研究分野はあるか、それはなぜか
  - ・研究と臨床を融合した仕事をしたいとは具体的にどのようなイメージなのか
  - ・現在の世間での医師に対する批判的ニュースについて、どうすれば改善されると考えるか
  - ・患者に病気の宣告をするときに最も大切なことは何か
- 〈後期〉
- 〔個人 20 分 面接官 3 人〕
- ・事前に読んだ英文の内容に関する質問
  - ・愛知県に愛着はあるか、9年間働くことと約束できるか
  - ・精神疾患の患者が、がんなどの患者よりも社会的に生きづらい理由は何だと思うか
  - ・部活動はどうだったか
  - ・どうして地元の大学にしなかったのか

### 三重大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・医師をめざしていなければ、何をめざしていたか
- ・志望理由（大学、医師）
- ・10年後どのような医師になりたいか

- ・浪人中辛かったこと、得たこと
- ・大学に入ってやりたいこと
- ・再受験の理由
- ・部活動の活動内容
- ・部活動をやっていて楽しかったこと
- ・課外実習で何をしたのか
- ・調査書について
- ・今までの人生の中で印象に残ったこと
- ・自己アピール

〈後期〉

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・自分を色に例えると何色か
- ・志望理由（大学、医師）
- ・部活動で印象に残ったこと
- ・将来何科に進もうと思っているか
- ・高齢者と接するとき何を意識しようと思うか
- ・将来三重に残るか

## 滋賀医科大学

〈前期〉

〔グループ討論 6 人 30 分 面接官 3 人〕

〔テーマは 1 題〕

- ・高齢者の定義について、65 歳以上から 70 歳以上に変更すべきかどうか
- ・要介護の高齢者が J R のホームから転落死した事故について、J R が遺族に損害賠償請求した裁判所の判決結果に対してどう思うか、問題点と原因、解決策、遺族、鉄道会社、行政それぞれの観点から議論
- ・若者の活字離れについて
- ・A I が普及することに伴う利点と問題点

## 京都大学

〈〈前期〉 AB 2 段階表〉

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・面接シートに関する内容について
- ・志望理由（大学、医師）
- ・高校時代の部活動について
- ・大学では何部に所属したいか
- ・高校時代の思い出
- ・試験の出来

## 大阪大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・大学に入ってからやりたいこと
- ・普段家族と何を話すか
- ・医師になりたいと伝えた時の親の反応
- ・学校ではどのように生活していたか
- ・気になる社会情勢

## 神戸大学

〈前期〉

〔個人 5 分 面接官 3 人〕

- ・自分が医師に向いている点、向いていない点
- ・自分の長所と短所
- ・理想の医師像
- ・患者と医師の信頼関係の築き方
- ・出生前診断についてどう思うか、良い点と悪い点
- ・日本の医療についてどう思うか、良い点と悪い点

## 鳥取大学

〈前期〉

〔個人 12 分 面接官 2 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・〈後期〉はどこを受けるか

- ・合格したら入学するか
- ・センター試験と学科試験の出来
- ・地元の大学ではなく鳥取大学を受ける理由
- ・地方に行きたいと思ったエピソード
- ・興味のある科学のニュースは何か
- ・協調性を持つにはどうすればよいか

〈後期〉

〔個人 12 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（医師）
- ・どのような医師になりたいか
- ・浪人生活について
- ・高校生活について
- ・医学書を読んでいるか
- ・医学以外の科学分野で最近気になったこと

## 島根大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・面接シートに書いた志望理由についての補足
- ・志望理由（大学、医師）
- ・総合医療医の育成プログラムは他大学にもあるのに、どうして島根なのか
- ・何科を志望するか
- ・小児科にこだわる理由
- ・緩和ケアに興味があるようだが、緩和ケアに対するイメージ
- ・緩和に携わる医師をめざすにあたり、これから身につけたい能力
- ・他県出身でなぜ島根に残るのか
- ・大学病院に勤務するつもりはあるか
- ・島根大英語教育プログラムで知っていること
- ・浪人生活の様子と感想
- ・高校生活で得たこと、努力したこと
- ・部活動を通して得られたもの

- ・趣味
- ・苦手科目の克服法と苦手な理由
- ・初めて島根に来た感想
- ・島根県民の特徴
- ・島根の人口は何人か
- ・島根で一番大きな島の名前
- ・島根を離れる若者を減らすにはどうしたらよいか
- ・興味を持った最近の医療ニュース
- ・最近読んだ本

#### [県内定着枠]

- ・あなたが島根で医師になった場合、島根の医療にどんなメリットがあるか
- ・県内定着枠とは何か
- ・県内定着枠について理解しているか
- ・なぜこんな田舎の大学の定着枠に出願したのか
- ・島根の医療課題をどのように思うか
- ・地域医療について

### 岡山大学

〈前期〉

[個人 15分 面接官 3人]

- ・志望理由 (大学)
- ・医師として得られるものと失うものは何か
- ・基礎医学に関してどう思うか
- ・遺伝的な病気について出生前診断をどう思うか
- ・生命科学について疑問に思ったこと、その疑問を解決するためにどのような工夫をしたか
- ・理科の実験で興味深かったもの、どのように取り組みどう思ったか
- ・障害者や高齢者の差別についてどう思うか、自分が介護する立場になったらどうするか、仕事を辞めてでも介護するか
- ・現役のときと出願校を変えたようだが、なぜ岡山大学なのか
- ・医師になりたいと思ったきっかけ

- ・何科の医師になりたいか
- ・6年後の自分が今の自分にアドバイスできるとしたら、何をアドバイスすると思うか

## 広島大学

〈前期〉

〔個人4～5分 面接官3人〕

- ・自己紹介
- ・志望理由（大学、医師）
- ・自分が共感するアドミッションポリシーとそのエピソード
- ・将来どのような形で地域医療に携わっていきたいか
- ・他者と友好的な関係を築く上で最も大切だと思うこと
- ・大学に入ってからやりたいこと
- ・なぜ高校と違う分野のサークルに入りたいのか
- ・自分の外国語を話す能力についてどう思うか
- ・部活動の活動内容、成績
- ・出身校の良いところ
- ・浪人生活で成長したこと

〈後期〉

〔個人15分 面接官4人〕

- ・自己紹介
- ・志望理由（大学、医師）
- ・どんな医師になりたいか
- ・臨床医になりたいか
- ・研究医として研究するか、研究者として研究するのか
- ・アドミッションポリシーと合致すること
- ・地域に貢献できると思うか
- ・医療のどの分野に興味があるか
- ・広島大学でどのような研究が行われているか知っているか
- ・好きな教科とその理由
- ・部活動ではどのような活躍をしたか

- ・部活動で研究に生かされそうなところはあるか

## 山口大学

〈前期〉

〔個人×2回 面接官3人〕

〔1回目：5～10分〕

- ・志望理由（大学）
- ・2次試験の出来
- ・高校で苦勞したこと
- ・高校で取り組んだこと
- ・部活動について
- ・浪人生活をどう乗り越えたか
- ・苦手な人のタイプはあるか、そういう人と関わる時どうするか、具体的にその経験はあるか
- ・山口の印象
- ・医師として必要だと思うものとその理由
- ・大学に入ってからやりたいこと
- ・去年の受験校

〔2回目：5分〕

- ・どうして山口を選んだのか
- ・大学で何をしたいか
- ・将来進みたい診療科
- ・どんな医師になりたいか
- ・自分が医師に向いている点、向いていない点
- ・浪人生活中の心の支えは何だったか
- ・気になるニュース

〈後期〉

〔個人10分×2回 面接官3人〕

〔1回目〕

- ・〈前期〉はどこに出願したのか
- ・〈前期〉で落ちた理由は何だと思うか



- ・今年落ちたらどうするのか
- ・長所と短所
- ・高校はどんなところか、進学実績
- ・地元はどんな所か
- ・医学の知識はどこで得ているか
- ・センター試験、2次試験の出来
- ・調査書の内容
- ・多浪においてメンタルを保つ秘訣
- ・人工知能についてどう思うか
- ・人工知能が発達したら医師は必要か
- ・人工知能が感情を持つことは可能か
- ・医師以外の職業
- ・海外での研究、臨床を考えているか
- ・部活動について
- ・海外留学をしたことはあるか、それについて親はどう考えているか
- ・落ち込んだ時、どうするか

#### [2回目]

- ・1回目の面接で聞かれたこと
- ・親とはうまくいっているか
- ・反抗期はあったか
- ・なぜ山口なのか
- ・センター試験の出来
- ・〈前期〉の大学、その志望理由と失敗点
- ・部活動ではどのような活動をしたか
- ・海外留学の経験
- ・勉強以外で達成感を味わったか

### 徳島大学

〈前期〉

[グループ5人 25分 面接官4人]

- ・なぜ徳島か、自己紹介
- ・将来は臨床医、研究医どちらをめざすか

- ・医師には体力と継続した努力を行う精神力が必要だが、備わっているか
- ・調査書の内容について

## 香川大学

〈前期〉

[グループ討論 7人 15分 面接官 4人]

[テーマは1題]

- ・ポケモンGOについて
- ・男女の産み分けについて
- ・高齢者ドライバーについて
- ・赤ちゃんポストについて
- ・無人レジについて

[個人 5分 面接官 4人]

- ・志望理由 (大学、医師)
- ・高校での一番の思い出は何か
- ・女性が医師になる場合、良い点は何か
- ・家庭と仕事を両立させられるか
- ・グループ討論はうまくできたか
- ・部活動で何を学んだか
- ・浪人中辛い時、どうやって乗り切ったか
- ・自分の親友の欠点を思い浮かべて、その欠点と自分はどう向き合ってきたか
- ・自己PR

〈後期〉

[個人 5分×2回 面接官 3人]

[1回目]

- ・志望理由 (大学)
- ・何科志望か
- ・基礎研究に興味があると言っていたが、臨床にはどうやって関わるつもりか
- ・高校で頑張ったこと
- ・部活動で特に力を入れたこと
- ・部活動と勉強の両立について
- ・長所と短所

## [2回目]

- ・日本の大学と欧米の大学の仕組みはどちらが好きか
- ・今までにノーベル賞をとった日本人を2人、なぜその人たちはノーベル賞をとったと思うか
- ・児童虐待をなくす方法
- ・高校の時の勉強法
- ・大学での勉強法
- ・人間に生まれてよかったと思うことはあるか
- ・人間と他の動物はどちらが優れていると思うか

## 愛媛大学

〈前期〉

[個人 15分 面接官 3人]

- ・志望理由 (大学、医師)
- ・浪人生活の感想、その中で一番印象に残ったこと
- ・理想の医師像
- ・将来どのような医師になりたいか
- ・愛媛の印象
- ・愛媛に残るつもりはあるか
- ・へき地で働けるか
- ・大学に入ってからやりたいこと
- ・高校生活について
- ・中学・高校の時の部活動について
- ・研究と臨床、どちらに重きを置きたいか
- ・自分が受かって友達が落ちたら、どのような言葉をかけるか
- ・面接シートからの質問

〈後期〉

[個人 15分 面接官 3人]

- ・面接カード (中学卒業後からの経歴、医学部をめざす動機、好きな科目や嫌いな科目、中学や高校の部活動、生活、学校外での活動、主な併願校) を記入
- ・高校のアピール

- ・医師になりたいと思ったきっかけ
- ・臨床か研究か
- ・高校時代の部活動について
- ・浪人生活について
- ・ボランティア活動について
- ・現役時の受験校
- ・〈前期〉は別の大学を受験した理由
- ・めざす医師像

## 高知大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・ボランティア活動について
- ・高校所在地の紹介
- ・高校時代の思い出
- ・高校の特色で今後に活かせることはあるか
- ・部活動の特徴、気をつけるべき点
- ・予備校について
- ・どうしてその予備校に通うことに決めたか
- ・予備校で一番印象に残っていること
- ・この一年は有意義だったか
- ・高知で医師として働く意志はあるか
- ・高知に残りたいか
- ・将来地元に戻るとしたら、地元の病院は激戦だが、どのような対策をとるつもりか

もりか

- ・高知で働いた後、国際的に活躍したいなどの将来プランはあるか
- ・医師に必要なもの
- ・理想の医師像
- ・目標とする人物、尊敬する人物
- ・どのような病院で働きたいか
- ・最近読んだ医療系の本

- ・最近のニュースで思ったこと
- ・何の研究に興味があるか
- ・高知のイメージ
- ・昨年の受験校
- ・高知大学に落ちたら二浪するか

## 九州大学

掲載なし

## 佐賀大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・大学に入ってやりたいこと
- ・高校時代のクラブ活動について
- ・何科に進みたいか
- ・自己PR

〈後期〉

〔個人 10 分×2回 面接官 3 人〕

〔1 日目〕

- ・志望理由（医師）
- ・医療格差はあると思うか
- ・佐賀に残って地域医療に関わりたいか

〔2 日目〕

- ・部活動での思い出

## 長崎大学

〈前期〉

〔個人 7 分 面接官 3 人〕

- ・脳死状態にある子どもの臓器移植に賛成か
- ・地方で人口が減っていることに対してどう思うか

- ・禁煙場所で肺がん患者が喫煙していたらどうするか
- ・小児科、産婦人科になりたい人がなぜ少ないか
- ・遺伝子治療についてどう思うか
- ・軽傷における救急車の呼び出しをなくすには
- ・なぜ遠くの長崎大を受験したのか
- ・小学生の頃の将来の夢と今のそれに違いはあるか
- ・1年間休みがあるとしたら何をしたいか
- ・嫌いな人はどういう人か、そういう人とどう関わっていくか
- ・尊敬する科学者は誰か
- ・高校生活で後悔したこと、大変だったこと

## 熊本大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・医師を志した経緯と再受験の経緯
- ・他に研究のレベルの高い大学はあるが、なぜこの大学か
- ・気になる医療ニュース
- ・友人が「死にたい」と言ってきたらどうするか
- ・嘘は良いものか悪いものか
- ・部活動で辛かったこと、うれしかったこと
- ・予備校生活について
- ・長所と短所
- ・リーダーシップをとる方か
- ・友人や家族からどのように評価されているか、その評価を自分はどのようにとらえているか
- ・親友と意見が食い違った時どうするか
- ・自分にとって幸福、幸せとは何か
- ・人に貸した本が落書きされて返ってきたらどうするか
- ・嘘つくことはいけないのか
- ・志望理由書について
- ・調査書について

## 大分大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 卒業後は大分に残るか
- ・ 高校生活はどうだったか
- ・ 部活動で学んだこと
- ・ 部活動での自分の立場
- ・ どのような医師になりたいか
- ・ 理想の医師像
- ・ 将来何科をめざすか
- ・ 医師にとって必要なもの
- ・ チーム医療の中での医師の役割
- ・ 臨床か研究か
- ・ 海外医療とは何か
- ・ 医師体験について具体的に説明
- ・ 患者に親身になるだけでは治せないこともあるが大丈夫か
- ・ 趣味は何か
- ・ 体力はあるか
- ・ 予備校時代に何を得たか
- ・ 今までの浪人生活について
- ・ 浪人して成長したことはあるか
- ・ 昨年度よりどれくらい成績が伸びたか
- ・ 自分の性格、長所をどのように今後生かしていきたいか
- ・ リーダーシップをとれるか、具体的なエピソード、その時自分が頑張ったこと

と

- ・ 周りの人たちは自分のことをどう思っていたか
- ・ 海外に行って学んだこと
- ・ 大学に入って何がしたいか
- ・ 得意科目

- ・医者になる前に大人として大切なこと
- ・面接官に聞きたいことはないか
- ・自己アピール

## 宮崎大学

〈前期〉

〔個人 10～15 分 面接官 3 人〕

- ・大学、医師志望理由を含めた自己PR（2～3分）
- ・なぜ宮崎を選んだか
- ・卒業後宮崎に残るか
- ・残る場合、親は何と言っているか
- ・将来のビジョン
- ・何科に進みたいか
- ・どんな医師になりたいか
- ・都内のブランド病院に興味はあるか
- ・高校について、雰囲気、特色
- ・評定について
- ・センター試験の出来
- ・2次試験の出来
- ・宮崎大学と併願大学（〈後期〉）の比較
- ・自己推薦書の内容についての質問
- ・高齢の患者さんを説得できる自信はあるか

〈後期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・自己PR（2～3分）
- ・志望理由（大学）
- ・予備校生活について
- ・予備校時代の成績の伸びについて
- ・これまでに宮崎大学を受験したことはなかったのか
- ・もし〈後期〉試験がダメだったらどうするか
- ・宮崎に残る気はあるか



## 鹿児島大学

〈前期〉

〔個人 15 分 面接官 3 人〕

- ・鹿児島大学の何が魅力なのか
- ・志望理由（医師）
- ・部活動を辞めた理由
- ・高校の授業の研究テーマ
- ・昨年度受験した大学
- ・センター試験の成績
- ・気になる医療ニュース
- ・理想の医師

〈後期〉

〔個人 15 分 面接官 3 人〕

- ・自己アピール
- ・所属したい科
- ・高校時代の生活
- ・長所と短所

## 琉球大学

〈前期〉

〔個人 7 分 面接官 3 人〕

- ・自己紹介
- ・志望理由（大学、医師）
- ・地域医療に対するモチベーションは、都会に住んでいるのにどこから得たか
- ・海外研修中に行ったディスカッションについて
- ・部活動で得た経験
- ・作文受賞歴について、その内容
- ・最も印象に残っているニュースとそれに対する考え
- ・2016 年に感動を受けた日本の出来事と、その理由

〈後期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・今までに大学に来たことがあるか
- ・オープンキャンパスや大学説明会には参加したか
- ・志望理由（大学）
- ・琉球大学の魅力は何か
- ・〈前期〉はどこを受けたか、その時の志望理由
- ・自分の良いところを 7 つ即答せよ
- ・部活動について
- ・友人について
- ・将来どのような医師になりたいか
  - ・ 10 年後の自分は何をしていると思うか

## (2) 公立

### 札幌医科大学

〈前期〉

〔個人 15 分 面接官 2 人〕

〔一般枠〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・医師になろうと思ったきっかけ
- ・北海道の医療課題
- ・札幌の好きなところ
- ・最近気になったニュース
- ・最近気になった医療ニュース
- ・安楽死について
- ・高校時代に頑張ったこと
- ・この日のために準備してきた質問とその答え
- ・理想の医師像
- ・コミュニケーション能力はどうやって養うか
- ・部活をやっていて良かった点、悪かった点
- ・好きな選手

- ・大学に入って勉強以外にやりたいことは何かあるか
- ・どうして札幌医科大学なのか
- ・父親について
- ・自己アピール
- ・残り1分だが何か話したいこと聞いてほしいことはあるか
- ・へき地に行く気はあるか
- ・へき地に行った場合、最新の医療をどのように患者に提供するか
- ・北海道にゆかりはあるか

#### [北海道医療卒]

- ・北海道医療卒について知っていること
- ・北海道医療卒の意志確認
- ・9年間北海道で働く覚悟はあるのか

### 福島県立医科大学

〈前期〉

〔個人15分 面接官3人〕

・面接シート（医師以外なら何になりたいか、今まで住んだところでよかった場所）について

- ・福島の印象
- ・福島に来たことはあるか
- ・志望理由（大学）
- ・医師になろうと思ったきっかけ
- ・地元の大学ではだめな理由
- ・この大学を志望したのは学力的なことによるのか
- ・医師に向いていないところ
- ・どうして出身校に入学しようと思ったのか
- ・高校時代に頑張ったこと
- ・高校の総合活動について
- ・高3の欠席日数が多いが、どうしてか
- ・礼法の資格を持っているが、とることで大変だったことはあるか
- ・大学周辺の環境について、どう思うか

- ・風評被害はどうしたらなくなるのか
- ・論文の盗用について思うこと
- ・地域医療、へき地医療に自分はどうかかわっていけるか
- ・将来、町立病院など限られた環境で働くこともあるかもしれないが、どう思うか
- ・医学部定員数と研修医数の都道府県ごとのグラフに関する質問
- ・気づいたこと
- ・福島県の特徴

## 横浜市立大学

〈前期〉

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・医学部 6 年間の勉強がどのような内容か知っているか
- ・調査書の内容について
- ・中学の時、生徒会での活動において気を付けたことは何か、学んだことは何か
- ・予備校はどうだったか
- ・高校生活で最も印象に残っていることは何か
- ・高校の部活動ではどんな活動をしたか
- ・なぜ部活動を辞めたのか
- ・通っていた高校がどのような高校だったと考えているか
- ・長所、短所
- ・どのような医師になりたいか
- ・コミュニケーションをとる際、上手くいったまたは上手くいかなかった経験について
- ・人生で最大の失敗とそこから学んだこと
- ・今までであったことで一番辛いことは何か
- ・二次試験の出来はどうか
- ・合格している私立大学と横浜市立大学だったらどちらに進学するか

## 名古屋市立大学

〈前期〉

〔グループ討論 5人 20分 面接官 2人〕

〔テーマ〕

・医師に向かない人はどのような人か。また、改善するためにはどうしたらよいか

・医師として最も大事なことは何か

〔2分間考える時間を与えられ、残り18分で話し合う。グループとして結論を述べる〕

## 京都府立医科大学

〈前期〉

〔個人 15分 面接官 3人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・チームワークで意見が合わない人がいた時どうするか
- ・自分の我慢強さを5段階評価で表すと
- ・努力と才能どちらが重要か
- ・どんな高校生活だったか
- ・高校の部活動について
- ・部活で学んだことで、何か医療に生かすことはあるか
- ・大学でやりたいこと
- ・入りたい部活動
- ・留学の意志はあるか
- ・受験生活で苦しかったこと、どうやって乗り越えたか
- ・京都府の医療について何か知っているか
- ・地域医療についてどう思うか
- ・再生医療について
- ・ボランティア経験について
- ・気になる医療ニュース
- ・身近な人の死を経験したことはあるか
- ・尊敬している人は誰か

## 大阪市立大学

〈前期〉

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 部活動の競技の魅力
- ・ 部活動の良い思い出と悪い思い出
- ・ 医師には素早い判断を求められることがあるが、それは部活動で磨かれたか
- ・ 自分の長所、短所は何か
- ・ 長所に関連して、もし職場の部下がさぼって仕事をしないときに何と言って仕事をさせるか
- ・ 調査書の内容
- ・ 大学では何をしたいか
- ・ 将来どういう進路に進みたいか
- ・ 将来は何科の医師になりたいかとその理由
- ・ 福島で原発の事故があったが、原発は続けるべきか、もうなくすべきか、その理由
- ・ 試験で力は発揮できたか

## 奈良県立医科大学

〈前期〉

〔個人 面接官 2 人〕

- ・ 面接前に面接シートを記入（10 分）
- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 高校時代に印象に残ったこと
- ・ 最近の医療ニュースで気になること

〈後期〉

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 奈良に密着した医療とは具体的に何なのか
- ・ 理想の医師像
- ・ 高校時代の部活動から学んだこと
- ・ 奈良県立医科大学で最後まで勉強するか、仮面浪人はしないか

- ・ 弁論大会に出場したと書いているが、詳しく

## 和歌山県立医科大学

〈前期〉（一般枠）

〔個人 10 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（医師）
- ・ 和歌山はどんな感じか
- ・ クラブについて
- ・ 大変だが頑張れるか
- ・ 自主カリキュラムに取り組みたいと自己推薦書に書いてあるが、具体的には
- ・ 紅葉祭に参加したと書いてあるが、どう感じたか

〈前期〉（県民医療枠）

〔個人 15 分 面接官 3 人〕

- ・ 県民医療枠とはどういうものか
- ・ 県民医療枠に出願した理由
- ・ 和歌山でないといけない理由
- ・ 和歌山で部活動や勉強以外でやりたいこと
- ・ 地元どうしても帰らなくてはいけないときはどうするか

### (3) 私立

## 岩手医科大学

〔個人 10～15 分 面接官 2 人〕

- ・ 2 分で自己アピール
- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 併願校について
- ・ センター試験の得点
- ・ 今までに本学を受験したことはあるか
- ・ 部活動について
- ・ 部活動でどのようにチームをまとめたか
- ・ なぜ浪人したのか
- ・ 医師として必要なもの

- ・何科に進みたいか
- ・地域医療に興味はあるか
- ・出身県の地域医療に従事するのか
- ・地域医療の問題と解決策について
- ・地域医療に重要だと思うもの
- ・岩手の印象
- ・岩手に残る意志はあるか
- ・最近気になるニュース
- ・精神科医で電気ショックなどを使うこともあるが、どう思うか
- ・大きい病院を1つ作るのと、小さい診療所をいくつか作るのと、どちらが大切か

## 東北医科薬科大学

一般枠

[個人 10～20 分 面接官 2 人]

- ・出身地について 2 分間で紹介
- ・自分の住む町の好きなところ、改善してほしいところ
- ・志望理由（大学、医師）
- ・医師を志すようになったきっかけ
- ・出身高校について
- ・部活動を通じて得たもの、心残りなこと
- ・得意科目、苦手科目とその理由
- ・文系科目はできるか
- ・長所と短所
- ・印象に残ったニュース
- ・薬学部の学生とどう関わっていくか
- ・コミュニケーション能力はあると思うか
- ・東北に来た感想
- ・宮城県の医療問題
- ・出身都道府県の医療問題
- ・医師不足の地域に一人で勤務するとしたらどんな工夫をするか
- ・震災が起きた場合、医師としてどうするか



- ・へき地で働くことになった場合、どのようなことに不安を感じるか
- ・自分が医師に向いていると思う点、向いていないと思う点
- ・どういう医師になりたいか
- ・日本の医療保険制度の良い面、悪い面
- ・何か聞きたいことはあるか

#### A方式・B方式

〔個人 15～20分 面接官 2人〕

- ・気になったニュースを、自分の意見も付け加えて2分で説明
- ・出身地について2分でPR
- ・昨日はよく眠れたか
- ・昨夜は何を食べたか
- ・志望理由（大学、医師）
- ・一般枠を選ばなかった理由
- ・部活動について
- ・部活動で困ったことはあったか
- ・部長の経験は医療にどう生かせるか
- ・欠点はあるか
- ・友人からどう評価されているか
- ・友人がいじめられていたらどうするか
- ・好きな本のジャンル
- ・子どもの頃に何で遊んだか
- ・自分は医師に向いていると思うか
- ・あなたにとって地域医療とは
- ・へき地の医師不足を解決するには
- ・なぜ東北に来ようと思ったのか
- ・東北に親戚はいるか
- ・震災の被災地を見てどう思ったか
- ・医学と薬学の大きな違いは何だと思うか
- ・東北に何年も住むことになるが、寂しくならないか
- ・医師として東北にどう貢献できるか

## 国際医療福祉大学

### センタ

〔個人 30 分× 2 回 面接官 3 人〕

〔1 回目〕

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 高校生活について
- ・ 得意科目、苦手科目とその理由
- ・ 趣味
- ・ 国際性とは何か
- ・ 海外留学をしたいか
- ・ 地域貢献、国際貢献に対するあなたのビジョン
- ・ 大学に入ったらどう過ごしたいか
- ・ 医師としての将来設計
- ・ 自己アピール

〔2 回目〕

- ・ 気になる医療ニュース
- ・ 手術の上手な医師には高い報酬を与えるべきか
- ・ 医師の順位付けをすべきか、人気の医師に患者が集中してしまうのではない

か

- ・ 社会問題や国際問題について
- ・ なぜ人を殺してはいけないか

### 他

〔個人 30 分× 2 回 面接官 3 人〕

〔1 回目〕

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 本学の魅力を 2 つ
- ・ 本学に医学科が新設されることをどのように知ったか
- ・ 併願校にも合格したらどちらに進学するか
- ・ 大学説明会に参加するか
- ・ 調査書と事前に提出した書類について
- ・ 部活動について

- ・ 課外活動について
- ・ 自分の性格
- ・ 人と話すのは好きか
- ・ 人と話すときに心がけること
- ・ 一人でいるのと大人数でいるのとどちらが好きか
- ・ 家族に医療従事者はいるか
- ・ 国際性のある医師になるために必要なこと
- ・ 医療援助のために海外に赴くつもりはあるか
- ・ 海外でどのような医療をしたいと考えているか
- ・ 異文化交流をしたことはあるか
- ・ 地域医療について知っていること
- ・ 志望する科とその理由
- ・ 臨床医か研究医か
- ・ 女性医師としてどのように働くか
- ・ (再受験生に対して) 前職を辞めた理由

[2回目]

- ・ 新聞を読むか
- ・ 好きな本
- ・ 最も印象に残っている本とそれが自分に与えた影響
- ・ 気になるニュース
- ・ 国際性とは
- ・ 子どもの貧困について知っているか、その原因は何か
- ・ はしご受診について知っているか、その原因は何か
- ・ 原発問題について
- ・ 遺伝子操作について
- ・ 体外受精、代理出産、出産前診断の利点と欠点
- ・ 一億総活躍社会について
- ・ 働き方改革について
- ・ 在宅医療について
- ・ 医療ツーリズムについて
- ・ ドローンについて
- ・ ポケモン GO について

- ・アメリカと日本のこれからの外交はどうあるべきか
- ・オバマ氏の広島訪問をどう感じたか
- ・どうすればテロをなくせるか
- ・医師として身につけるべき教養とは
- ・安楽死について説明し、あなたの意見を述べよ

[一部英語での面接を希望した学生に対する英語での質問]

- ・自分が滞在した地域について
- ・Globally minded person とは
- ・あなたの視野を変えてくれた友人はいるか、その体験がどのように自分の糧となったのか
- ・なぜ英語は必要か

## 自治医科大学

[1次試験：グループ討論 5～7人 30分 面接官 4～9人]

- ・尊厳死について
- ・90歳の女性が肺炎になり、都市の病院への入院が必要だと判断したが、車で40分の遠い場所にある。入院させるべきか在宅医療にすべきか

[1次試験：個人 15～20分 面接官 3～10人]

- ・志望理由（大学、医師）
- ・面接シートの内容について（高校で力を入れていた科目とその理由、学校生活の思い出、自己アピールなど）
- ・本学について知っていること
- ・修学資金貸与制度について
- ・義務年限についてどう考えるか
- ・義務年限後にその土地に残るか、残る人が少ないのはなぜだと思うか
- ・自分が地域医療でできること
- ・本学出身の医師がどのような活躍をしているか
- ・学科試験の出来
- ・併願校について
- ・高校生活で印象深かったこと、後悔したこと

- ・部活動について
- ・体力はあるか
- ・長所と短所
- ・血を見ても大丈夫か
- ・最近気になるニュース

[2次試験：グループ討論 8～10人 30～40分 面接官3人]

- ・尊厳死の是非
- ・高齢者の自動車運転についてどう思うか

[2次試験：個人 15分 面接官3人]

- ・面接シートの内容について
- ・グループ討論はどうだったか
- ・苦手なタイプの人とどう付き合うか
- ・最近読んだ本や観た映画
- ・好きな言葉
- ・寮生活について
- ・地域でやっていく自信はあるか
- ・出身都道府県の医療問題
- ・義務年限について

獨協医科大学

センタ

[個人 10～15分 面接官3人]

- ・好きな科目
- ・部活動について
- ・家族について
- ・大学の魅力、周辺の雰囲気
- ・6年間ここでやっていけるか
- ・女性進出社会と言われているが、どう思うか
- ・女性進出社会における制度の問題点
- ・結婚したら医師の仕事はどうするか

- ・臨床医か研究医か、何科がいいか

他

[個人 10～15 分 面接官 3 人]

- ・志望理由（大学、医師）
- ・現役時の受験校
- ・併願校とその合否
- ・試験の出来
- ・浪人してつらかったこと
- ・栃木県の印象
- ・本学の印象
- ・本学で学ぶことに不安はないか
- ・出身校について
- ・住んでいる地域の魅力
- ・ペットはいるか、ペットが病気になって親から捨てると言われてたらどうするか

か

- ・両親はどのような人か
- ・両親から言われて印象に残っている言葉
- ・家族に医師はいるか、何科か
- ・医師である母親と同じ生き方をしたいか
- ・医師に必要なものを3つ
- ・部活動であなたはリーダーだったか、サポートをしたか
- ・得意科目・苦手科目
- ・古文や漢文、歴史で印象に残っていること
- ・SNS をどのように活用しているか
- ・気になるニュース

[地域枠の受験生に対して 2 回目の面接]

[個人 10～15 分 面接官 4 人]

- ・志望理由（大学、医師）
- ・高校について
- ・高校の評定について

- ・何科の医師になりたいか

## 埼玉医科大学

〈前期〉

〔個人 10～25 分 面接官 4～5 人〕

- ・ どうやって本学に来たか
- ・ 志望理由
- ・ 併願校について
- ・ 本学が第一志望か
- ・ 2次試験まで来ることができた要因は何か
- ・ 何歳から医師になりたいと思っていたか
- ・ 医学部以外を考えているか
- ・ 調査書の内容について
- ・ 高校で何を学んだか
- ・ 部活動でやっていたことの魅力
- ・ 自分の名前の由来
- ・ 長所と短所
- ・ 第三者から見たときの長所と短所
- ・ 今までに人間関係で失敗したこと
- ・ 友人関係について
- ・ 自分を動物に例えると何か
- ・ 親の職業
- ・ 両親は医学部受験をどう考えているか
- ・ 奨学金は必要か
- ・ 女性の場合、結婚や出産で男性よりも家庭で頑張ることになるが、どう思うか
- ・ 小児臓器提供についてどう考えるか

〈後期〉

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 本学の印象
- ・ 併願校について

- ・高校の委員会について
- ・高校の行事について
- ・高校のクラスでどのようなポジションだったか
- ・家から高校までの道のり
- ・部活動について
- ・欠席日数が多い理由
- ・予備校はどこか
- ・浪人して変わったこと
- ・趣味
- ・ボランティア活動について
- ・大学に入ったらやりたいこと、入りたい部活動
- ・家族構成、親の仕事
- ・家族に医師が多いようだが、医師をめざすことを強制されていたか
- ・家族は医師をめざすことについて何と言っているか
- ・最近気になる医療ニュース
- ・医師になろうと思ったきっかけ
- ・将来何科に進みたいか
- ・世界中で、どこのどんな人に何を聞きたいか

## 日本大学

### A 方式

〔個人 15～20 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・高校生活について
- ・長所と短所
- ・短所をどのように改善するか
- ・高校では周りからどう見られていたと思うか
- ・けんかしている友達がいたらどうするか
- ・本学を受験するにあたってどのような対策をしたか
- ・受験校を決めるとき誰に相談したか
- ・本学の志望順位、合格したら入学するか
- ・学科試験で高得点を取るにはどうすればよいか



- ・入学後の不安なことは
- ・自宅から通えるか
- ・大学での勉強にどのような印象を持っているか
- ・大学で部活動はどうするか
- ・自分が医師になっている姿をイメージできるか
- ・どのような医師になりたいか
- ・研究医になった場合、どのような研究をしたいか
- ・気になる医療ニュース
- ・トランプ大統領の政策についてどう思うか
- ・ストレス発散法

## 日本医科大学

〈前期〉

[グループ討論 6人 30～40分 面接官 3人]

[最初に1人ずつ手をあげて発言。その後は自由に手をあげて発言する]

- ・外国人看護師、介護士が日本で働くことについて
- ・インターネットの功罪について
- ・日本の国際貢献について（医療、環境、貿易）
- ・多様性について社会はどう取り組むべきか

[個人 10分 面接官 3人]

- ・グループ討論の感想
- ・志望理由（大学、医師）
- ・本学の印象
- ・国立大学に行くか
- ・センター試験の出来
- ・高校で頑張ったこと、楽しかったこと
- ・部活動について
- ・趣味
- ・好きな本を1冊紹介
- ・自分の特徴は何か
- ・大学生活で取り組みたいこと

- ・どんな医師になりたいか
- ・医師になったときに短所をどう克服するか
- ・一人暮らしに不安はないか
- ・最後に自己アピール

〈後期〉

〔グループ討論 8～10人 60分 面接官 3人〕

〔賛成派と反対派に分かれてディベート。討論終了後、各チームの代表が1分ほどでチームの意見をまとめ、その後、どちらのチームが勝ったか受験生が挙手で判断する〕

- ・「経済発展よりも格差是正の方が重要である」という命題について

〔個人 15分 面接官 3人〕

- ・グループ討論について
- ・高校生活について
- ・浪人生活について
- ・自分の性格
- ・自分にとって価値のあるものとは
- ・将来何科で働きたいか
- ・女性が医療の現場で働くことについて
- ・自己アピール
- ・最近気になるニュース

## 東邦大学

〔グループ討論 3～4人 15～20分 面接官 2人〕

・年金制度、医療保険、生きがい、働き口、一人暮らしのサポートの5つについて、高齢者にとって必要だと思われる順番に並べる

・自然の魚の数の減少を食い止めるために必要な政策（漁獲量削減、稚魚の育成促進、漁場削減、研究、消費量抑制）を、大事だと思われる順番に並べる

・市長として予算を決定するとき、高齢者福祉、産業の補助、インフラ整備、児童虐待防止、医療福祉の優先順位を決める

〔個人 3 分× 4 回 面接官 1 人〕

- ・ 4 コマ漫画の解説
- ・ ニュース用語の説明（6 つのうち 3 つを選択）
- ・ クレーマー対応について
- ・ 副作用のあるワクチンについて
- ・ 内視鏡検査が怖いと誓約書にサインしない患者を説得せよ
- ・ 医療チームが自分と違う意見を持っていた場合どうするか
- ・ 重病の女性のパートナーの男性が、女性の代わりにカルテ等の資料請求に来たが、同意書にサインがない。担当医として、あなたはどうか対処するか
- ・ ある国で医療に従事しているとき、自分の子どもが難病にかかり、5 日以内に薬を飲む必要があるが、薬の入手方法がない。その国では、薬草を煎じて飲むが、その薬草にはひどい副作用がある。あなたならその薬草を使うか

## 東京医科大学

センター

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・ 本学の学是について
- ・ SNS を使用するか、使用する際に気をつけることは何か

他

〔個人 10～20 分 面接官 2 人〕

- ・ 朝何時に起きたか
- ・ 昨夜は何時に寝たか、よく眠れたか
- ・ 志望理由（医師）
- ・ 小論文の出来
- ・ 本学の建学の精神は何か、どう思うか
- ・ 部活動について
- ・ 部活動でどう貢献したか
- ・ 高校時代で誇れること
- ・ 面接対策は何をしたか
- ・ 人と話をするとき気をつけていることは何か
- ・ 同級生が留年しそうになったらどう対応すべきか

- ・チーム医療を行う上で医師に必要なものを2つ
- ・女性が医師になると家庭との両立が難しいがどうするか
- ・グループで登山をしていて遭難したとき、先生や部長がいなければ、誰がそのグループをまとめるべきか
- ・SNSを使うときは何に気をつけるべきか
- ・尊敬する人物とその人の言葉

## 東京女子医科大学

〔個人 10～15 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・試験の出来
- ・調査書、事前に提出した書類の内容について
- ・高校生活でのいい思い出と悪い思い出
- ・成績が伸びた教科
- ・苦手科目の克服法
- ・部活動について
- ・受賞歴について
- ・長所と短所
- ・名前の由来
- ・2浪した原因は何だと思うか
- ・今までで一番つらかった経験
- ・支えてくれた人
- ・家族構成
- ・身近に医療従事者はいるか
- ・大学に入ってやりたいこと
- ・これまで女子校だったが、また女子大でいいのか
- ・どんな医師になりたいか
- ・女性医師のデメリットと改善方法
- ・女性医師になるにあたっての心構え
- ・将来、仕事と家庭の両立をどうするか
- ・気になる医療ニュース

## 東京慈恵会医科大学

〔個人 7 分× 5 回 面接官 1 人〕

- ・ 志望理由（医師）
- ・ センター試験の得点
- ・ 併願校について
- ・ 高校生活について、何を頑張ったか
- ・ 浪人生活はどうだったか
- ・ 高校と塾との違い
- ・ 東京での暮らしは心配ではないか
- ・ 死亡率と死亡数のグラフの読み取り
- ・ 利用者に合わせて情報提供サイトの問題点と解決策
- ・ 事故で生命維持装置が外れた際に、延命措置をとらなかった医師の行動に対する意見
- ・ 男性保育士に「オムツをかえるな」と保護者が言った件についての文章を読み、感想、背景にあること、改善策
- ・ 母親が出産時に大量出血し、母子両方を助けることができない場合、あなたならどちらを助けるか
- ・ 地方と都市の医療格差を是正するためにはどうしたらいいか
- ・ 高度な気象予測装置を莫大な費用をかけて作り、利益を独占する企業は倫理的に OK か
- ・ 都道府県別の小学生の道徳意識調査結果から読み取れること
- ・ 過労が原因で自殺した人の記事について
- ・ 社会は医師に何を求めているか
- ・ 将来なりたい医師像
- ・ 10 年後の医療はどうなっていると思うか
- ・ 家族に医療関係者はいるか

## 慶應義塾大学

〔個人 10 分× 2 回 面接官 2 人〕

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 併願校と志望順位
- ・ 出身高校の特色

- ・自分の短所
- ・浪人生活はどうだったか
- ・いつから医師を志したか
- ・生い立ち
- ・家族に医師はいるか
- ・周りからどう思われていたか
- ・苦手な人とどう接したか
- ・趣味が多いが、時間をどうやりくりしてきたか
- ・大学に入ってやりたいこと
- ・本学のカリキュラムでひかれたところ
- ・将来のビジョン
- ・今の医療で改善できるところ
- ・好きな本
- ・好きな言葉

## 昭和大学

センタ（地域別）

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・志望理由（医師）
- ・小論文の出来
- ・長所と短所
- ・本学で何をしたいか
- ・どの研究室に入りたいか
- ・将来、出身県で働くのか
- ・トランプ政権が日本、アメリカ、医療に及ぼす影響について
- ・面接アンケートに書いた内容について

## I 期

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・小論文はうまく書けたか
- ・長所と短所

- ・自分の人柄について
- ・高校の思い出
- ・部活動について
- ・留学したことについて
- ・浪人して大変だったこと
- ・大学に入ってしたいこと
- ・寮生活に不安はないか
- ・寮で気が合わない人と同じ部屋になってしまったらどうするか
- ・今までに何か達成したことはあるか
- ・理想の医師像
- ・自分が医師に向いていると思う点
- ・チーム医療とは何か
- ・なぜチーム医療が必要とされているのか
- ・チーム医療で自分と違う意見が出たらどうするか
- ・言うことをまったく聞いてくれない患者にどう対応するか
- ・女医として、熱を出した自分の子を迎えに行かなければいけなくなり、一方で外来患者がたくさん待っていたら、どちらを優先するか

## Ⅱ期

〔個人 10 分 面接官 2 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・部活動について
- ・部活動での困難など
- ・寮生活は大丈夫か
- ・自己 PR

## 順天堂大学

センタ

〔個人 30 分 面接官 4～5 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・センター試験の得点

- ・小論文について
- ・併願校はどこか、全部に受かったらどうするか
- ・持参した資料について
- ・資料の中で一番自慢できるものは何か
- ・浪人生活について
- ・最近読んだ本
- ・部活動について

#### A 方式

[個人 10～30 分 面接官 4～5 人]

- ・志望理由 (大学、医師)
- ・あなたが本学に入ると大学にどんなメリットがあるか
- ・試験の出来
- ・センター試験の得点率、感想
- ・小論文について
- ・併願校について
- ・部活動で学んだこと
- ・小、中、高の成績について
- ・得意科目、苦手科目
- ・苦手科目の克服法
- ・英語について
- ・持参した資料について
- ・大学でやってみたいこと
- ・気になるニュース (医療系とそれ以外)
- ・好きな漢字 3 つとその理由
- ・自分の性格を 3 つの単語で
- ・どんな医師になりたいか
- ・将来のプラン
- ・家族に医療関係者はいるか
- ・あなたの家の教育方針は
- ・奨学金は必要か
- ・地域医療に興味はあるか



- ・ IT 医療について
- ・ 最後に自己アピール

## 杏林大学

### センタ

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 小論文の出来
- ・ 高校の場所
- ・ 高校時代の活動について
- ・ 浪人生活の感想
- ・ ボランティア活動で学んだこと
- ・ 自分の長所
- ・ スポーツは好きか
- ・ 医療従事者が身近にいるか
- ・ 医師である父親を見てどう思うか
- ・ なぜ看護師ではなく医師なのか
- ・ (再受験生に) 親はこの選択をどう思っているか、学費は支援してもらうのか

か

- ・ 希望する科
- ・ 医学と生物学の違い
- ・ 友達から講義のノートを代わりにとってほしいと言われたらどうするか
- ・ 理不尽なことを言うてくる患者にどのように対応するか
- ・ 病床の不足により、完治前に患者に病院を出て行ってもらわなければならない

い状況をどう思うか

- ・ ストレス発散法
- ・ 人生でつらかった経験

## 東京都地域枠

[個人 10～20 分× 2 回 面接官 2～3 人]

[1 回目]

- ・ 学科試験の出来

- ・志望理由（大学、医師）
- ・座右の銘
- ・ある患者（HIV など）に多額のお金がかかっていることをどう思うか

[2回目]

- ・東京都地域枠の仕組みについて
- ・奨学金返済が免除となる条件について
- ・9年間指定の医療機関で働けるか
- ・東京都地域枠で不合格の場合、一般枠で入学するか
- ・卒業後、選ばなければならない研修先の選択肢を理解しているか
- ・さまざまな制約が課され、ときには自分が予定していた科に配属されない場合もあることを理解しているか

他

[個人 10～15分 面接官 2人]

- ・志望理由（大学、医師）
- ・これまでの経歴について
- ・浪人した理由、浪人についての両親の意見
- ・今回も不合格だったらどうするか
- ・気になるニュース
- ・協調性はあるか
- ・今までで一番つらかったこと
- ・いじめについてどう思うか
- ・留学した経験について
- ・将来、留学したいか
- ・留学する医学生、医師が減っているが、なぜだと思うか
- ・医師とはどのような職業だと考えるか
- ・何科を志望しているか
- ・子どもの治療方針に真っ向から反対する親にどう対処するか
- ・患者から料金以外のものを渡されたらどうするか
- ・高額であるが高い効果を持つ薬をどこまで保険でまかなうべきか
- ・発展途上国の医療を支援し死亡率を低くすることは、地球上の人口増加を引き起こすが、どう思うか

- ・臓器移植について
- ・生殖医療について
- ・顔面移植について

## 帝京大学

〔個人 5～10 分 面接官 1～2 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・受験校と合否状況
- ・医師になろうと思ったきっかけ
- ・本学のオープンキャンパスは他大学と比べてどうだったか
- ・高校について
- ・調査書の内容について
- ・欠席日数について
- ・英語は得意か
- ・生徒会などで役職に就いていたか
- ・委員は自分からやったのか
- ・部活動について
- ・高校時代の経験で、辛かったが後でためになったことはあるか
- ・大学に入ってから何をしたいか
- ・どんな医師になりたいか
- ・女性の医師としてどう貢献できるか
- ・チーム医療とは
- ・チーム医療における医師の役割
- ・地域医療とへき地医療について
- ・尊敬する人物
- ・体力に自信はあるか
- ・本を読むか

## 聖マリアンナ医科大学

〔個人 10～15 分 面接官 3 人〕

- ・1 分間で自己 PR
- ・志望理由（医師）

- ・いつから医師を志望しているか、きっかけは
- ・高校はどうだったか、自慢できる点は
- ・高校時代に頑張ったこと
- ・高校時代の学外での過ごし方
- ・他人から見た自分の長所と短所
- ・合格したらどこから通うか
- ・自分を色に例えると
- ・今までに、困っている家族や友人をどう助けてきたか
- ・計画の中でトラブルがあった場合、どう対処するか
- ・みんなの意見が割れてしまったとき、どうまとめてきたか
- ・将来は何科に進みたいか
- ・臨床医をめざしているようだが、もし研究医になるとしたら何を研究したいか

## 東海大学

[センター利用]

[個人 15分 面接官 2～3人]

- ・志望理由（大学、医師）
- ・本学について医学部以外で知っていること
- ・併願校と志望順位
- ・昨年の受験校
- ・部活動について
- ・SSHについて
- ・生徒会活動で何を学んだか、反省点はあるか
- ・長所と短所
- ・習い事をなぜ途中でやめてしまったのか
- ・留学でどんなことを身につけられるか
- ・どこに留学したいか
- ・尊敬する人物
- ・理想の医師像
- ・理想に近づくために何かやっていたか
- ・何科を志望するか

・今、ドラマなどで女性医師が活躍しているが、失敗もする。ミスをしたときにどう対応するか

[神奈川県地域枠、静岡県地域枠の人は2回目に地域枠の面接]

[個人 10～15分 面接官 2人]

- ・地域枠を志望する理由
- ・地域枠について理解しているか
- ・卒業後、地域にどれだけ従事することになるか知っているか
- ・地域医療のイメージ
- ・地域医療が抱える問題
- ・医師の偏在化はどうして起こるのか
- ・都市部には行きたくないのか
- ・日本人の死因第1位は何か
- ・がんの中で死因第1位は何か
- ・予防医療が大切だが、どのような取り組みをしたらよいか
- ・出生前診断の是非

#### A 方式

[個人 10～20分 面接官 2人]

- ・本学までどうやって来たか
- ・本学について知っていること
- ・本学の設立者は知っているか
- ・志望理由（大学、医師）
- ・小論文の題材についてどう思ったか
- ・高校の特徴
- ・英語は得意か
- ・部活動について、部内での役割
- ・自分が医師に向いている点、向いていない点
- ・地域医療について
- ・離島医療と地域医療の違いと改善策
- ・チーム医療で、他の人と意見が食い違ったときにどうするか
- ・90歳のおばあさんが、がんの高価な薬を使って治療したいと言ってきたら

どうするか

## 北里大学

[グループ2人 20分 面接官3人]

- ・志望理由（大学、医師）
- ・北里柴三郎について知っていること
- ・勉強以外で頑張ったこと
- ・部活動について
- ・本学で運動部に入る気はあるか
- ・壁にぶつかったときに助けてくれた友人はいたか
- ・印象に残っている本
- ・身近にいる尊敬する人物
- ・どのような医師になりたいか
- ・医学部は他学部よりテストが多いが、勉強に対するモチベーションをどうやって維持していくか
- ・気になるニュース
- ・（気になるニュースでトランプ氏について答えたら）トランプ氏が医師だった場合のメリットとデメリット
- ・女性が働きやすい環境にするにはどうしたらいいか
- ・悩んでいるときにどうやって解決するか
- ・他の人と意見が違うときはどうやって解決するか
- ・出身地のいいところを3つ
- ・（再受験生に対して）親は再受験についてどう思っているか
- ・最後に、入学してからの意気込みを一言で

[地域枠の受験生に対して2回目の面接]

[個人10分 面接官7～8人]

- ・自分の希望する病院以外に行かされたらどうするか
- ・義務年限は何年か
- ・海外に行きたいようだが、市民からまだ居てくれと言われたらどうするか
- ・自己アピール

## 金沢医科大学

〔グループ討論 5人 15～20分 面接官 2～3人〕

〔控え室で文章を読み、各自 1分半程度で意見を述べた後、自由に意見を述べる〕

- ・高齢者の孤独について
- ・3タイプある医師像から、理想とする医師像を話し合う
- ・科学は利益を生み出すためのものか
- ・ノーベル賞を受賞した大隅教授の発言について
- ・日本の保険制度について

## 愛知医科大学

センタ

〔個人 15～20分 面接官 3人〕

- ・調査書、志願理由書からの質問
- ・センター試験の出来
- ・併願校について
- ・部活動について
- ・親友はいるか、友達と親友の違いは
- ・親友に裏切られたらどうするか
- ・浪人して大変だったこと、得たもの
- ・自分が成長したと感じる瞬間は
- ・浪人時／小学生の時になればよかったと思うもの
- ・コミュニケーションとは何だと思うか
- ・「必要悪」の具体例
- ・人間関係の「多様性」と「寛容性」と聞いて思うことは
- ・(2種類の絵を見て) どのようなことを感じるか、あなたはどちらのタイプか

センタ (愛知県地域特別枠 B方式)

〔個人 25分 面接官 3人〕

- ・地域枠に出願しようと思ったきっかけ
- ・地域医療についてのあなたの考え

- ・地域医療に従事する医師と普通の医師の違い
- ・センター試験の得点率
- ・一般入試の結果
- ・一般枠と地域枠の両方に合格したらどうするか
- ・併願校とその結果
- ・本学と併願校の両方に合格したらどちらに行くか
- ・医師として働くとしたら「自分のために働く割合」は何%か
- ・医師には体力が必要だが大丈夫か
- ・地域医療で働く医師に聞きたいことを2つ
- ・自分が考える「自分」と他の人が考える「自分」に食い違いがあると思うか
- ・「ボクのお父さんは桃太郎というやつに殺されました」という広告の画像を見てどう思うか

他

〔個人 20～25 分 面接官 3 人〕

- ・調査書について
- ・センター試験は受験したか
- ・昨年のセンター試験の出来
- ・併願校について
- ・昨年の受験校
- ・今年の成績の伸び
- ・浪人してどのくらい勉強したか
- ・浪人している間、ずっと医学部志望か
- ・苦手科目
- ・不要だと感じた教科はあったか
- ・本学に来たのは初めてか
- ・通学方法
- ・「保育園落ちた、日本死ね」という言葉についてどう思うか
- ・「勝ち組」という言葉をどう思うか、自分は勝ち組か負け組か
- ・手放したいもの、手放したくないものを具体的に
- ・人間関係でもう二度と経験したくないこと
- ・自分の今年の漢字とその理由



- ・タイムスリップするとしたらいつに戻りたいか
- ・電車で隣の男子高校生が突然泣き出したらどうするか
- ・世の中には必要な悪もあるが、あなたがもつとも納得できる必要悪は何か
- ・絵を見て何を意味しているかを説明
- ・一人っ子か
- ・親とは仲がいいか
- ・親とどのようなところが似ているか
- ・生まれ変わったら何になりたいか

## 藤田保健衛生大学

〈前期〉

〔個人5分×4回 面接官1人〕

〔マルチプルミニインタビュー〕

- ・あなたがテニス部のキャプテンだったとして、レギュラーなのに練習に来ない部員にどう対処するか
- ・あなたがソフトボールサークルの部長だったとして、部活動として男女別で厳しく練習をしたい人と、サークルとして男女混合で楽しく活動したい人がいた場合、サークルを分裂させるか
- ・あなたが店員だったとして、客に注文されたコーラを持って行くと「私はコーヒーを頼んだ」と言われた場合、どう対処するか
- ・友達がアルバイトをしている店に行き、友達があなたの追加注文を伝票に書き忘れた。店長はとても怖そうで、ミスが知れると友達が怒られてしまうが、あなたはそのことを言うか

〔一般面接〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・学科試験の出来
- ・併願校とその合否
- ・国公立大にも合格したらどちらに行くか
- ・本学の印象
- ・アセンブリ教育の説明
- ・高校時代で印象に残っていること

- ・今までの後悔していること
- ・得意科目、苦手科目
- ・苦手科目をどう克服したか
- ・海外留学についてどう思うか
- ・医師になって何をしたいか
- ・医師になることに対する親の意見
- ・臨床医か研究医か
- ・希望する科
- ・理想の医師像
- ・座右の銘はあるか
- ・身近に医療関係者はいるか
- ・両親は勤務医か開業医か
- ・兄弟の有無
- ・日本ではまだ女医が働きやすい環境が整っていないが、どうすればよいか
- ・外科の医師不足をどうしたら解決できるか
- ・地域医療と先端医療のバランスをどうとるべきだと思うか

### 愛知県地域枠

〔個人5分×4回 面接官1人〕

〔マルチプルミニインタビュー〕

・あなたが所属する部の中に、ムードメーカーだがよく遅刻をするメンバーがいる。その人が試合のレギュラーに選ばれて他の人は不満に思っているが、あなたならどうするか

・あなたが店員だったとして、客に注文されたコーラを持って行くと「私はコーヒーを頼んだ」と言われた場合、どう対処するか

〔一般面接〕

- ・学科試験の出来
- ・併願校とその合否
- ・臨床か研究か
- ・進みたい診療科
- ・結婚しても仕事を続けるか

- ・あなたが誇れることは何か

[地域枠のみの面接室で地域枠の面接]

[グループ5人 5分 面接官2人]

- ・地域枠の志望理由
- ・地域枠で本当にいいのか
- ・医師になって10年後、何をしていると思うか
- ・地域医療のイメージ
- ・理想の医師像

## 大阪医科大学

〈前期〉

[グループ3人 10～15分 面接官3人]

- ・志望理由（大学、医師）
- ・国公立大と両方受かったらどちらに行くか
- ・入学後の決意表明
- ・高校時代の部活動とそこから学んだこと
- ・小論文について
- ・趣味
- ・医師の魅力について一言で
- ・事前に見せられたアドミッションポリシーについて、自分に合っている点

## 関西医科大学

センタ

[個人10分 面接官3人]

- ・志望理由（大学、医師）
- ・どうやって来たか
- ・センター試験の出来
- ・出身高校の良いところ、悪いところ
- ・調査書の内容について
- ・部活動について
- ・浪人生活で得たもの

- ・大学に入って何をしたいか
- ・リーダーシップはあると思うか
- ・基礎医学についてどう思うか
- ・最後にアピールしたいことはあるか

#### 〈前期〉

〔個人 10～15 分 面接官 3 人〕

- ・志望理由（大学、医師）
- ・併願校と両方合格したらどちらに行くか
- ・東京の大学も受けているのはなぜか
- ・小論文に付け足すことはあるか
- ・出席日数について
- ・部活動で学んだこと
- ・部活動での立場
- ・自分を分析
- ・英語は得意か
- ・参加したことのあるボランティア活動
- ・グループではどのような役に立とうとするか
- ・進んでリーダーになるか
- ・ボランティア活動をしたか
- ・自分が医師に向いている点
- ・医師になるために努力していること
- ・（再受験生に対して）再受験の理由、何年目まで挑戦するか
- ・（再受験生に対して）社会人の経験がどのように医師に生かせるか
- ・すぐに決断するか、迷って決められないか
- ・自己 PR

#### 〈後期〉

- ・どこから来たか
- ・いつから医師になりたいと思ったか
- ・部活動で学んだこと
- ・入院経験でどう思ったか、何を頑張ったか

・(小論文の内容について) あなたは人工知能について批判的に書いているが、人工知能は便利ではないか

## 近畿大学

〈前期〉A日程

〔個人15分 面接官2人〕

- ・最近興味のある医療ニュース
- ・苦手な相手とどう付き合っていくか
- ・高校を卒業してからの経歴
- ・(再受験生に対して) 再受験の自分が学生として周りに与える影響について

## 兵庫医科大学

センタ

〔個人10～20分 面接官2人〕

- ・志望理由(大学、医師)
- ・併願校に合格しても本学に来るか
- ・得意科目
- ・高校で頑張ったこと、そこから得たもの
- ・2浪しても塾を変えなかった理由
- ・何科に進みたいか
- ・研究に興味があるか
- ・海外の医療に興味があるか
- ・自分を一言で表すと
- ・理想の医師像
- ・将来、子どもを産んでも医師を続けるか
- ・子育てと医師の仕事を両立するにはどうすればよいか

他

〔個人10分 面接官2人〕

- ・志望理由(大学、医師)
- ・併願校について
- ・調査書について

- ・ 欠席が多い理由
- ・ 得意科目
- ・ 部活動について
- ・ 浪人した原因
- ・ 浪人して成績は伸びたか
- ・ 昨年本学を受験したか、なぜ受けなかったのか
- ・ 本学に来たら何をしたいか、どういう生活を送りたいか
- ・ 何科の医師になりたいか
- ・ 医師を志すきっかけ
- ・ 何の研究をしたいか
- ・ 最近気になるニュース

## 川崎医科大学

〔個人 10～15 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ なぜ岡山なのか
- ・ 受験以外で岡山に来たことはあるか
- ・ 医師を志したのはいつ頃か、きっかけは何か
- ・ 寮の規則を守れるか
- ・ 寮生活以外の本学の特徴は
- ・ 部活動について
- ・ リーダーになったことはあるか
- ・ 習い事で得たもの
- ・ 海外研修について
- ・ 学校で聖書について学んだことがあるか、どのような内容か
- ・ 趣味は読書とあるが、本から「現代の地域医療の偏在」について何を学んだか
- ・ 理想の医師像
- ・ チーム医療に必要なこと

## 地域枠

〔個人 15 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（大学、地域枠）
- ・ 地域枠の条件の確認
- ・ 本当に地域枠で大丈夫か
- ・ なぜ静岡県なのか
- ・ 医師をめざすきっかけ
- ・ 本学の寮は規則が定まっている教育寮だが、規則を遵守できるか
- ・ 高校で頑張ったこと
- ・ 女医について
- ・ 理想の医師像
- ・ リーダー性を発揮する場面で苦労したことはあるか
- ・ 医師の偏在をなくすために有効な手段は
- ・ 「病んでいる人を診る」とはどのようなことだと思うか
- ・ 終末医療に必要なこと

## 産業医科大学

〔個人 20～30 分 面接官 3 人〕

- ・ 志望理由（大学、医師、産業医）
- ・ 本学をいつ頃知ったか
- ・ 調査書の内容について
- ・ 修学資金貸与制度について
- ・ 国公立大と両方受かったらどうするか
- ・ 産業医の活動を 2 つ
- ・ 産業医と臨床医の違い
- ・ なぜ臨床医ではなく産業医なのか
- ・ 将来、親に産業医ではなく臨床医になってほしいと言われたらどうするか
- ・ 産業医は転勤が多いが大丈夫か
- ・ 産業医の仕事は雇用される企業の利益と相反することもあるが、どう考えるか
- ・ 小論文の出来
- ・ 理科の選択科目を選んだ理由
- ・ 理科の選択しなかった科目で興味があった分野

- ・部活動について
- ・気になるニュース（科学系と自分が気になるもの）
- ・長所と短所を3つずつ
- ・短所をどう克服していくか
- ・大学に入って何がしたいか
- ・一人暮らしは大丈夫か
- ・あなたが親の世代になる頃、日本の少子高齢化問題はどうなっていると思うか
- ・女性の社会進出について
- ・熊本地震について印象と見解
- ・被災者に対して医師として何ができるか
- ・男性に多いがんと女性に多いがんを2つずつ
- ・医療の知識がない企業の社員たちにわかりやすく問題を報告するには
- ・凶悪犯罪が増えている理由は何だと思うか
- ・自己アピール

## 福岡大学

### センタ

〔グループ討論4人 35分 面接官3人〕

- ・最初に自己紹介
- ・高齢者の交通事故について、被害者の遺族に対してどのような言葉をかけるか
- ・大学生になったら何をしたいか

### 系統別

〔グループ討論5人 20～30分 面接官3人〕

- ・自己紹介
- ・メダリストのドーピングが何年も後に発覚して、メダルが取り上げられたことについてどう思うか
- ・情報の真偽をどう見極めるか
- ・ストレスの発散法



- ・ SNS との向き合い方
- ・ 文系廃止論についてどう思うか
- ・ 日本における医療の研究についてどう思うか
- ・ 研究する機会があればしてみたいか
- ・ 留学してみたいか、どこに行きたいか
- ・ トランプ大統領について
- ・ 医学生に必要な科目は
- ・ 昨年感動したこと
- ・ 自己 PR

## 久留米大学

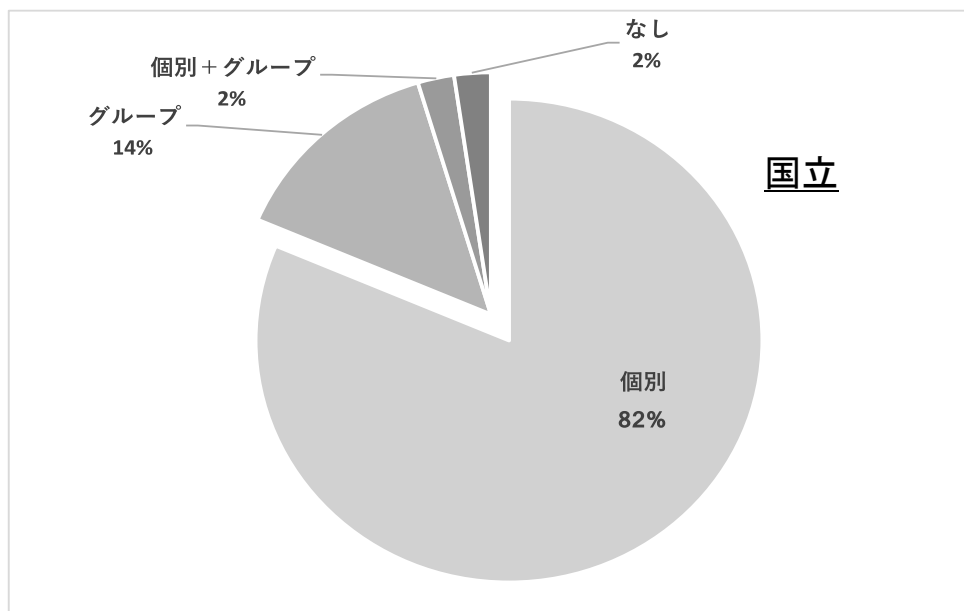
〔個人 10～20 分 面接官 2 人〕

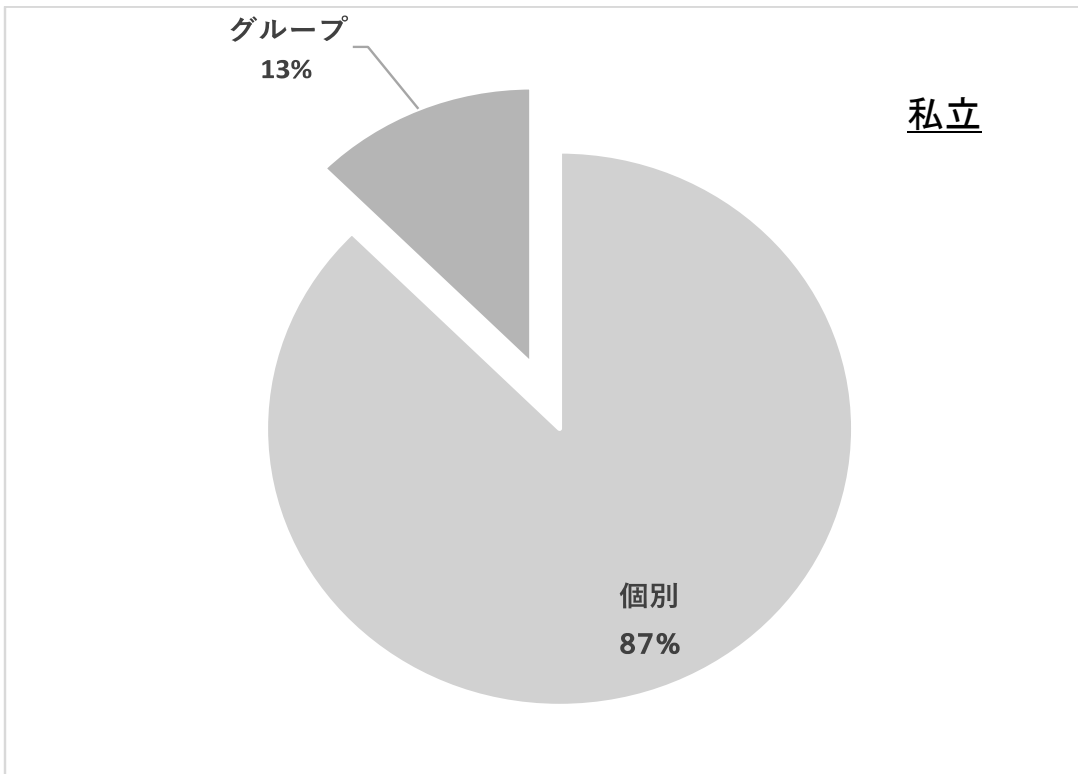
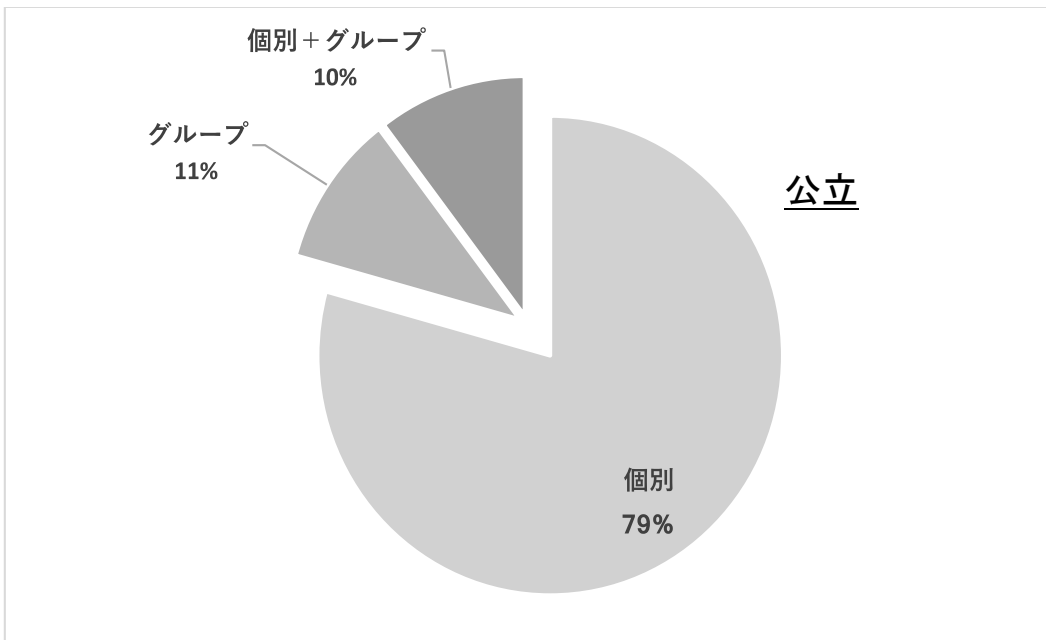
- ・ 志望理由（大学、医師）
- ・ 小論文の内容
- ・ 併願校について
- ・ 調査書の内容について
- ・ 長所と短所
- ・ 部活動について
- ・ 得意科目、苦手科目
- ・ 高校で学んだことで興味があった分野
- ・ 高校生活で一番印象に残っていること
- ・ 高校時代に意識していたこと
- ・ 大学に入って部活動に入りたいか
- ・ 趣味
- ・ 医学に興味を持ったきっかけ
- ・ 医師にとって一番必要なものは何か
- ・ 理想の医師像
- ・ 友人からどのように言われるか、友人は多いか
- ・ 人とコミュニケーションをとるときに気をつけていること
- ・ 体力を維持するために心がけていること
- ・ たばこを吸うか

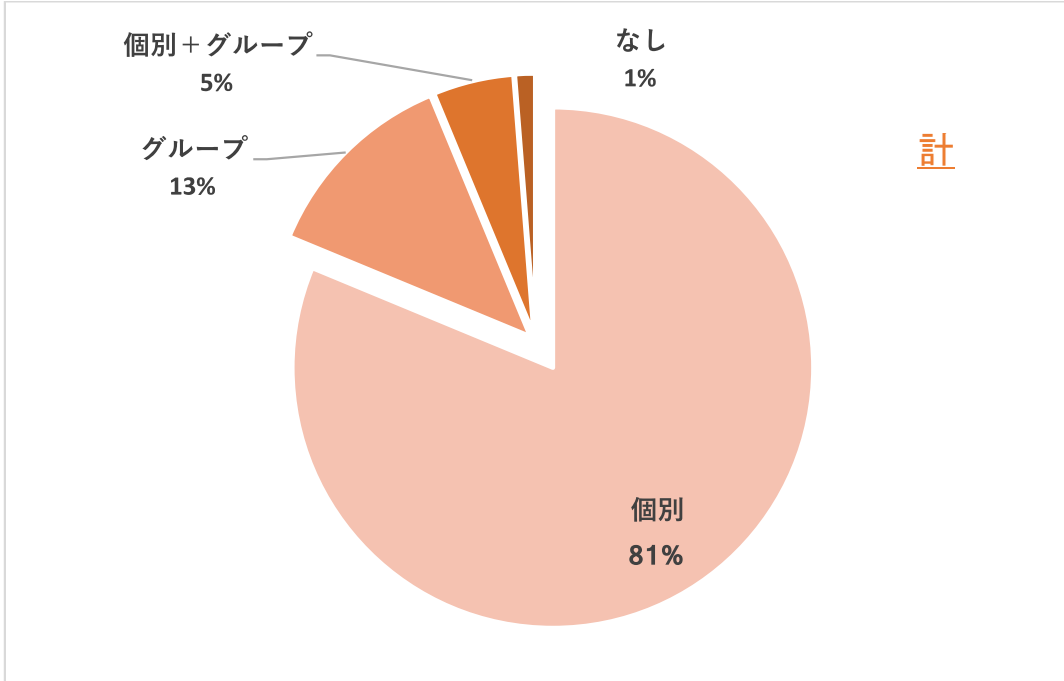
(4) 面接の統計データ（以下の資料を基に作成。『2018年入試対策 医学部面接ノート』代々木ゼミナール、Y・SAPIX、2017、河合塾の大学入試情報サイト Kei-Net より 2017年度 (<https://www.keinet.ne.jp/sp/taisaku/mensetsu/17/index.html>)

・実施校数及び面接パターン

	個別	グループ	個別+グループ	なし	計
国立	35	6	1	1	43
公立	7	1	0	0	8
私立	23	3	3	0	29
計	65	10	4	1	80







### 3. 初年次教育一覧

#### 1. 国立大学（総合大学）

○記載なし

秋田大学、千葉大学、山口大学、徳島大学、熊本大学

○北海道大学

・主に1年次学生を対象とする全学教育科目では、専攻する分野にかかわらず、本学の学生であれば当然身につけておかなければならない共通の素養として、高いコミュニケーション能力、人間や社会の多様性への理解、独創的かつ批判的に考える能力、社会的な責任と倫理を身につけることを目的として、カリキュラムを編成します。

具体的には「一般教育演習」、「総合科目」、「主題別科目」、「外国語科目」、「外国語演習」、「共通科目」に区分される教養科目（コアカリキュラム）を開講します。また、専門科目を学ぶ心構え、基礎知識を身につけることができるように、基礎科目を開講します。

・入学してからの1年は、総合教育部に配属されます。他の理系学部の学生と一緒に多くの教養科目を共に学習することで、幅広い視野と豊かな人間関係を育むなど、人間性を磨き、生涯医学徒であるための土台をつくる大切な時期です。

○弘前大学

・1年次から早期臨床体験実習を行い（医学部長挨拶より）

○山形大学

・「良き医療人」となるために身につけておくべき基本的事項を学びます。

([http://www.id.yamagata-u.ac.jp/pdf/medicine\\_guide.pdf](http://www.id.yamagata-u.ac.jp/pdf/medicine_guide.pdf)) 14 ページ

2017年10月13日 閲覧

・1年次では、学生が知識・技能や課題探求能力を確実に修得できる「基盤共通教育」を導入し学士課程の基盤となる教育を重点的に行います。さらに近郊都市の協力のもと救急車に同乗し、救急医療の現場を体験します。

(前同 URL 16 ページ) 2017年10月13日 閲覧

- ・基礎教育科目、医学基礎教育科目、専門教育科目についての記述  
(前同 URL 16 ページ) 2017 年 10 月 13 日 閲覧

#### ○筑波大学

- ・1 年次「先端医療から考える免疫入門」など基礎医学中心のコース  
([http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/igaku\\_guidebook2018.pdf](http://www.md.tsukuba.ac.jp/igakugun/igaku_guidebook2018.pdf)) 3 ペー

ジ

2017 年 10 月 13 日 閲覧

- ・人間性教育 (1 年次)

将来医師になる者としての自覚を持ちながら学習をする態度を身につけることを目的としたコースです。医療倫理などにまつわるテーマについてシナリオ、事例にもとづく小グループ討論(問題解決型テュートリアル方式)にて学習を進めます。医療の様々な側面を知り、患者の思いや立場に配慮しながら学ぶことの大切さを理解すると同時に、テュートリアル学習を行う上で基本となるグループ討論、自己学習、レポート作成の方法を習得します。

- ・コミュニケーション実習(1, 2, 4 年次)

1 年次は早期体験として、医師患者関係について体験することでコミュニケーションの大切さを実感し、医学生としてのモチベーションを高めます。

- ・専門基礎科目

1 年次に生物学、化学、物理学から選択で 5 単位、生物・化学実験が必修で 1 単位設置されています。

- ・共通科目

1. 総合科目 I : 大学初年次において、スムーズに大学における学習と生活に適応し、学習目標・動機を獲得して自立的な自己を確立するための科目。一部看護学類、医療科学類と合同で行っています。

#### ○群馬大学

・医学の基礎と教養を学ぶ

○東京大学

・医学科の1年目では4月から解剖学をはじめとした基礎医学や衛生学などの社会医学を学び

○東京医科歯科大学

・1年次は国府台地区で教養を学ぶと共に、後期になると週一日、湯島地区で行われるMIC (Medical Introductory Course) において、早期臨床体験実習等を通じて医療人としての意識を高めます。

・1年次は教養部で全学共通科目を学ぶと共に、後期になると週1日、湯島地区で行われる医学導入において、早期臨床体験実習等を通じて医療人としての意識を高めます。

( <http://www.tmd.ac.jp/artis-cms/cms-files/20170725-190223-8040.pdf> )

10 ページ

2017年10月13日 閲覧

・医学導入

1 1年次後期に週1日湯島地区で履修するコースで、医療人としての基盤形成とともに、将来グローバルに活躍する医師・医学研究者としてのキャリアビジョンの創出を目的としています。医学の歴史と今後の展望について学び、国際人としての意識と広い視野を育むための小グループ英語議論に参加し、「受け身型」から「能動的で問題解決型」へと学びのモードを変えるためのさまざまなセッションに参加します。

また、多彩なフィールドで活躍する先輩医師・医学研究者の講演を聞き、実際に彼らと半日をともに過ごし活躍の様子を垣間みて、将来のキャリアビジョンを創出します。さらに、教育・診療・研究施設の見学、先輩である医学科5年生の臨床実習の見学、シミュレーターを用いた蘇生実習、看護師や新患の患者さんと半日を過ごす実習などを通して、2年次から始まる医学専門教育に向け意識を高めます。

(同前 URL 11 ページ) 2017年10月13日 閲覧

・シャドーイング

1 年次に医学部附属病院の医師、研究者、看護師、及び初診患者さんにつき、診療の現場を見学します。1 年間に 4 回設定。早期から医学、医療の現場を実感させる、本学ならではの体験型実習の一つです。

(同前 URL 15 ページ) 2017 年 10 月 13 日 閲覧

○新潟大学

・1 年生では、外国語、自然科学、人文社会科学などの教養教育に関する科目(全学共通科目)を学びます。これらの授業は医学部のある旭町キャンパスから少し離れた五十嵐キャンパスにおいて、他の学部の学生と一緒に行われます。医学に関係した科目としては、「医学序説」という必修科目があり、医学科の教授が週 1 回、医学に関するいろいろな話題について講義を行います。

また、夏季休暇中に、「早期医学体験実習 (early medical exposure)」という医療体験コースが一週間あります。実際の医療現場で患者さんと触れあい、医師や看護師の働く姿を観察し、その見学の結果について、グループで KJ 法を活用して討論します。医療安全、感染管理、車椅子の正しい取り扱い方についても学びます。

10 月からは週 1 回、旭町キャンパスに来て「医学入門」の講義を受講して、医師になるために必要な医学・医療の入門的な内容を学びます。

この 1 年間は、医学への勉強を始める助走の期間であり、他学部の学生との交流を深めるチャンスでもあります。また、クラブ活動やサークル活動などをきっかけに幅広い人間関係を養うことができます。

○富山大学

・医学科学生、看護科学生、薬学科学生が医療人としてともに学ぶ全国でも注目されている特色ある教育プログラム(1 年次の「医療学入門」)があります。

(医学部長挨拶より)

・1 年次には希望者にニュージーランド語学研修プログラムが用意してあります。

(医学部長挨拶より)



・1年次は、平成30年度から本学五福キャンパスで他学部生とひとっしょに教養教育を学修するようになります。また、医学部（医学科・看護学科）と薬学部（薬学科・創薬科学科）の学生がひとっしょに学修する「医療学入門」や「新入生研修」を開講し、医療人となるためのオリエンテーションを実施しています。

(<http://www.med.u-toyama.ac.jp/shared/pdf/med-leaflet.pdf>) 2ページ

2017年10月13日 閲覧

・入学後は、教養教育科目及び医学準備教育について学び、幅広く深い教養を積むとともに、医学を学ぶ準備教育を行います。

(同前 URL 3ページ) 2017年10月13日 閲覧

・1年次から「介護体験実習」で医療を学修します。

(同前 URL 14ページ) 2017年10月13日 閲覧

#### ○金沢大学

・1年生では、主に、角間キャンパスにおいて共通教育科目を学びます。

・MRT (Medical Research Training) プログラム

本プログラムは医学類の正式科目と並行して、希望する学生が、授業の空き時間や夕方以降、休暇期間を利用してゼミナールや論文講読会及び各研究室で行われている研究に参加するものです。学生の段階から医学研究の大切さや面白さを理解し、将来、研究のできる医師になることを期待しています。

平成27年度から単位認定される選択科目「医学研究特設プログラム」となりました。1年生から参加できます。

(<http://www.kanazawa-u.ac.jp/wp-content/uploads/2017/07/2018info.pdf>)

58ページ

2017年10月13日 閲覧

#### ○福井大学

・1年次では主な医学準備教育（を行う）

・病棟看護体験実習（1年次）（の設定）

・1年次から病棟看護体験実習や人体解剖学、メディカルプロフェッショナリズム教育で高度専門職業人としての意識を醸成します。また、研究マインドを涵養するための、医科学研究研修を1年次から取り入れています。

(<https://www.u-fukui.ac.jp/ebook/vb2018/index.html>) 28 ページ

2017年10月13日 閲覧

・1年次から医学導入、準備教育と基礎医科学を並行して学び、医師としての自覚、責任感を醸成します。

(同前 URL 29 ページ) 2017年10月13日 閲覧

#### ○信州大学

・1年生の「早期体験学習」は、老健施設や障害者施設でのケア体験です。ハンディキャップがあるなど弱い立場に置かれている人たちの心に触れるとともに、ケアワーカーの方々の仕事を観察することから多くのことが学べるでしょう。

(医学部長メッセージより)

<参考：信州大学 入試情報ポータルより>

・1年目は附属病院の全ての診療科で実習を行い

([http://www.shinshu-u.ac.jp/ad\\_portal/faculty/medicine.html](http://www.shinshu-u.ac.jp/ad_portal/faculty/medicine.html))

2017年10月13日 閲覧

#### ○山梨大学

・平成28年度医学科新入学生からは医学教育の国際認証評価基準に合致した臨床実習を重視した新カリキュラムがスタートしています。

(医学部長挨拶より)

・医学科専門教育カリキュラムの改革について

米国においては、米国 ECFMG(米国医師資格試験)が2023年以降、医学教育の国際的認証を受けている医学部の卒業生にしか受験資格を認めないとの宣言がなされたことから、本学医学部医学科において、医学教育を国際的基準に合致したものにしようとする考え及び国際認証を受けるべきとの方針が了承されまし

た。

このことから、「世界で活躍できる能力と行動力を身に着ける」ことを目的に国際水準に合致した医学科6年間のカリキュラムの改革を実行し、平成28年度入学生から適用していくこととしました。

具体的には基礎医学系科目を1年次後半にスタートすることとし、

・学部の特徴

④ 早期臨床体験 (Early Clinical Exposure : ECE) : 1年次に市中病院での実習を行うことによって、入学初期から医師としての倫理観とモチベーションを向上させることができます。

<参考 : SATO LABORATORY 山梨大学医学部地域医療学講座より >

・地域医療学講義概要

1年次

地域医療とは、医学部卒業後のキャリアパス

(<http://www.med.yamanashi.ac.jp/medicine/community/SatoLab.html>)

2017年10月20日 閲覧

・1年次は、医学部教育委員会が主催する教養総合講義全体の実施を担当し、「医学部で何が学べるか」をキーワードに、学長、学部長、附属病院長、基礎系・臨床系教授から、その分野の概要を講義しています。地域医療学としては、教養総合講義のまとめとともに、地域医療や社会保障の原点・医師法・医療法の概要と医学部卒業後のキャリアパスの多様性について講義しています。

(同上 URL) 2017年10月20日 閲覧

・地域医療学実習概要

1年次

地域病院でのECE実習(2日間)

(同上 URL) 2017年10月20日 閲覧

・1年次のECE(早期臨床体験)実習は、山梨県の地域病院の現場で見学・看護補助体験を通し、病院の概要と臨床医療の現状を理解することを目指します。

(同上 URL) 2017 年 10 月 20 日 閲覧

・1 年次の後期から 2 年次の後期まで、医療の基礎となる基礎医学を学びます。

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2093813919/index.shtml?rep=1>)

19 ページ 2017 年 10 月 20 日 閲覧

#### ○岐阜大学

・新入生合宿研修

入学直後に 1 泊 2 日の合宿研修を行い、医学部医学科での教育や医学生としての心構えについてガイダンスを受けます。また、グループワークや野外活動を通じて、教員や同級生との交流もはかります。

#### ○浜松医科大学

・入学直後の福祉施設体験学習と新入生合宿研修

(理事・副学長挨拶より)

・総合科学においては、医療に携わる人間として必要な感性や人間性を養うため幅広い教養を学びます。また、医学を学ぶうえで重要な自然科学の素養を身につけるために、物理、化学、生物を学習し、基礎学力を養います。

このほか 1 年次では、入学してすぐに合宿研修を行い、グループワークによって課題を解決していくことを学びます。また、医師になるという動機付けを早い時期に確立するため、医療の現場に接する「医療福祉施設体験学習」も行います。

(<http://web-pamphlet.jp/hama-med/2018p/html5.html#page=11>)

2017 年 10 月 13 日 閲覧

#### ○名古屋大学

・一年生の水曜日の午後には、東山キャンパスでの全学教育科目と並行して、主に鶴舞キャンパスにおいて、『医学入門』があります。これは、医学への動機づけ、医師としての将来を考える機会を与えることを目的とするもので、入学直後の 4 月から始まります。

『医学入門』は、次の三つの柱から構成されます。

1. 医学と医療について、医師になるための心構え、医の倫理についての講義
2. 医学生としての自覚を深めるために早期体験実習として、愛知県内障害者（児）施設及び老人介護施設での介護実習と、名古屋大学医学部附属病院での看護実習
3. 分子生物学の基礎

<参考> 医学部医学科生へのガイダンス

- ・教養教育の根幹をなす全学教育科目の講義及び実習が実施されます。

これらと並行して「医学入門」があります。これは、医学への動機づけ、医師としての将来を考える機会を与えることを目的とするもので、入学直後の4月から始まります。「医学入門」では、身体障害者養護施設、老人ホームにおいて障害者等の介護を体験し、また、病院において、患者の看護を実際の現場で体験してもらいます。また臨床現場で働く医師に陰のように寄り添い、医師の一日をつぶさに見てもらおうシャドーイングという実習もあります。自分の将来を考えるまたとない機会となることを期待しています。これらの実習とは別に、「医学入門」では人体生物学の基礎知識を勉強します。

また、全学教育科目の一部として生物学基礎Ⅰ、Ⅱと基礎セミナーが行われます。生物学基礎は医学入門と同様、基礎医学を学ぶための基礎となる科目です。一方、基礎セミナーでは小グループに分かれ、様々な問題についての発表や討論を行います。チューターとなる医学部の基礎医学・社会医学の教授と身近に接し、様々な機会として活用してください。

( [https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical\\_J/school/docs/guidance.pdf](https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/school/docs/guidance.pdf) )

1 ページ

2017年10月13日閲覧

- ・名古屋大学医学部に入学するとはじめの1年半ぐらいの間はリベラルアーツを学びます。

(医学部長挨拶より)

( [https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical\\_J/admission/pdf/cc54a83a76d395280948e842073e1ef4ca5964fc.pdf](https://www.med.nagoya-u.ac.jp/medical_J/admission/pdf/cc54a83a76d395280948e842073e1ef4ca5964fc.pdf) )

1 ページ 2017年10月13日 閲覧

### ○三重大学

- ・第1-3学年を対象にした早期海外体験実習  
(研究科長あいさつ他より)

- ・初期医学教育科目

1年前期～2年前期では、医学を学ぶための基本姿勢と基礎知識、医学英語を学びます。「患者体験実習」では医師や病院に望まれることを感じ、「医療と社会」、「地域医療実習」では、入学当初から継続的に地域や病院での医療に触れて、医の原点、医師としてのあり方(professionalism)について学びます。「医学英語」では、医学の学習に必須のボキャブラリーと英語による医学的なコミュニケーションの基礎を学びます。

- ・1～2年生時には共通教育科目を履修し

### ○滋賀医科大学

- ・第1学年では、医療や福祉の実践活動に触れ、医療人としてふさわしい人間性、倫理観や能動的学習態度を身につけることを目指します。また、各研究分野の第一人者による講義により研究の面白さに触れるとともに、興味を持った者はすぐに研究を開始できる機会を提供する講義も設けています。

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2599523770/index.shtml?rep=1>)

7 ページ 2017年10月20日 閲覧

- ・自分で課題を探し出し、自分で解決する能力を涵養するために、本学では2つの授業科目を設けています。1つは第1学年の「基礎医学研究入門」です。この授業科目を選択した学生は研究医養成コースに登録することになり、基礎医学講座や神経難病研究センターなどを見学した上で、1つの研究室を選択して所属します。所属した研究室では、実際の研究活動を見学したり、スタッフの指導のもと自分で実験したりすることができます。

(同上 URL 11 ページ) 2017年10月20日 閲覧

・プロフェッショナルリズム教育

医師・医学研究者に求められる高い倫理観を涵養するために、プロフェッショナルリズム教育を第1学年から第6学年まで段階的にかつ継続して行う。

第1学年では、医学概論 I、II、早期体験学習、附属病院体験実習、行動科学基礎、全人的医療体験学習などの講義（小グループによる討論会形式、ロールプレイ形式を含む）や実習を行い、医療や福祉のさまざまな実践活動に触れ、医療者として相応しい人間性、高い倫理観や能動的学習態度を身につけることを目指す。

・医学・医療の発展のための医学研究の重要性を理解し、科学的探求心（リサーチマインド）を養うために、学生自らが研究活動に従事する実習科目である基礎医学研究入門（第1学年前期～第2学年前期、選択）…を行う

・国内の分子細胞生物学、神経科学、遺伝学、生理学、生化学、免疫学、臨床医学の各分野のトピックスについて第一人者の先生方に紹介していただく医学特論を第1学年に開講しており

<参考：生命科学講座 生物学>

・当教室は、主に1年生、2年生の生物学関連講義と実習を担当しています。生物学は専門課程で履修するすべての科目の基本となる科目です。…講義では生物学の基本概念および用語を日本語と英語の両方で学習します。（具体的な講義名は省略）

[http://www.shiga-med.ac.jp/~hqbio/for\\_students.html](http://www.shiga-med.ac.jp/~hqbio/for_students.html) 2017年10月20日 閲覧

<参考：生物学講座 統合臓器生理学部門>

・基礎医学研究入門（第1学年前期～第2学年前期）

研究ってどんなものだろう？何か新しいことをやってみたい、そんな学生の要望に応えるのがこの講義です。[入門研究医](#)として色々な研究室を体験したり、[登録研究医](#)として研究テーマをもって実験に没頭したりすることができます。先輩の研究医や指導教員との距離が近く、医学生や医師として生きていく術を聞くこともできます。



<http://www.shiga-med.ac.jp/~hqphysil/physioll/education.html>

#### ○京都大学

・1～2 回生時から、本研究科の多様な研究室（基礎系臨床系を問わず）に一定期間入って実際の医療の現場を見、あるいは研究を経験するためのラボローテーション・システム（がある）

（医学部長メッセージより）

#### ・1 年次 医学教育導入課程

第1年次においては「基礎教養科目」の学習が主となります。

総合大学である京都大学では、人文科学・社会科学、自然科学、外国語を幅広く学習して基盤的知力、学術的教養を身につけ、将来の学習の基礎となる地盤を形成します。同時に医師・医学研究者の素養を育むべく、研究室で実際に研究の手法を学ぶ「ラボ・ローテーション」、医療機関でのボランティア実習を通してコミュニケーション能力を養う「外来患者支援実習」「病棟体験実習」、また、生命科学をテーマに少人数のゼミ形式で教員と議論し英語でのプレゼンテーション能力を養う「基礎医学生物学」を開講しています

#### ・医学科カリキュラムポリシー

1～2年次の全学共通科目で文理広範囲に亘る教養を積むと同時に、医学概論・生物系授業・早期体験実習等を通して医師・医学研究者としての将来像を描く。MD 研究者育成プログラム等で早期から医学研究に従事する機会や、英語による医学・生物学の講義などで国際性を涵養するプログラムを提供する。

#### ○大阪大学

・入学後は先ず豊中キャンパスにて約1年半、全学年の学生が一堂に会して一般教養科目を履修しますこれを共通教育と呼びます。共通教育科目から医学科の専門科目への移行は段階的に進むように「くさび形」になっています。医学科では、入学直後から基礎医学研究者による講義と臨床医学の話題を盛り込んだ医学除序説、基礎医学研究に直接触れる基礎医学体験実習、最先端の臨床医学を付属病院で体験する早期臨床体験実習、などを導入しています。

（ <http://www.med.osaka-u.ac.jp/wp->



[content/uploads/introduction/pamphlet.pdf](http://www.med.osaka-u.ac.jp/wp-content/uploads/introduction/pamphlet.pdf))

7 ページ 2017 年 10 月 27 日 閲覧

・1 年生後期から基礎医学の講義が始まります。具体的には、分子細胞生物学、遺伝学、生化学などの生命科学の根幹をなす分野の講義が開始されます。

(同上URL 7 ページ) 2017 年 10 月 27 日 閲覧

<参考：大阪大学MD研究者育成プログラムの概要>

※参加人数各学年 10 名ほどで選考有り

・平成 27 年度よりの新カリキュラムでは、1 年次前期は医学科の正規カリキュラム「基礎医学体験実習」として全員が研究紹介や基礎医学研究の体験実習に参加します。基礎医学体験実習後、1 年次後期から希望者は基礎医学研究体験に参加し 1 年間、実際の基礎医学研究を体験します。

([http://www.med.osaka-u.ac.jp/wp-content/uploads/education/MD\\_program.pdf](http://www.med.osaka-u.ac.jp/wp-content/uploads/education/MD_program.pdf))

2 ページ 2017 年 10 月 27 日 閲覧

・1 年次前期の「基礎医学体験実習」では、まず基礎医学系各講座が最新の研究内容などを紹介します。ここでは、生命現象の多様さ、医学研究のおもしろさ、医学研究への姿勢、長年の基礎研究がいかに先進医療に貢献してきたか、大阪大学医学部でどのようにして画期的な研究成果が生まれたかなどを感じ取って欲しいと思います。講義にひきつづき、基礎医学講座における実際の医学研究を見学します。複数の研究室を見学しますので、直接研究室の雰囲気味わってください。1 年次後期からはさらに進み、希望する研究室での研究体験を開始します。

(同上URL 3 ページ) 2017 年 10 月 27 日 閲覧

○神戸大学

・本学入学後 1 年間は六甲台のキャンパスで教養原論等のいわゆるリベラル・アーツを習得

(医学課長からのメッセージより)

・1. 他大学・他学部にはない独自性 (強み)

◆教育の特色

### <新医学研究コースの導入>

「新医学研究コース」は、1年生を対象として開講されている選択科目で、大学入学初期より基礎医学研究に触れ、早くから生命科学に親しむことを目的として平成 19（2007）年度に導入された。この科目のユニークな点は、開講する曜日や時限は特に定めず、カリキュラムの空き時間や放課後、夏季休暇などに開講する科目で、指導方針も担当教員に任されている点にある。入学時早々、基礎系分野の教授が一堂に集まり、自身の研究への熱い思いを新入生に語りかけ、基礎研究へ新入生を誘う。新入生は、一か月をかけて各分野を回り、自身の興味と照らし最終的に 1 分野を選択し、そこで 1 年間、開講される抄読会や輪読会に参加する。（中略）入学後の学生は、ともすれば目標を失いがちであるが、このコースは、入学当初から基礎系教員に親密に触れ合い、彼らをチューターとして医学・生物学の領域を学び、また彼らをロールモデルとして研究医を目指す学生が増えることを期待している。

（下線部は引用文のまま）

<http://www.med.kobe-u.ac.jp/info/factbook/docs/factbook01.pdf> 1 ペ

ージ

2017 年 10 月 27 日 閲覧

#### ○鳥取大学

- ・1～3 年次で全学共通科目を学びます。

#### ○島根大学

- ・入学後早期から地域基盤型の教育を行うことにより、地域医療に対する高い意欲と使命感を涵養し、地域医療への動機付けの向上を図ります。

（学科長挨拶より）

- ・カリキュラム・ポリシー（C P 教育課程編成・実施の方針）

1 年次には、医学概論 I・I I を含む専門基礎科目を履修するほか、週 1 日は松江キャンパスにおいて教養育成科目を履修する。また、医学部附属病院で早期体験実習を実施し、将来医師となることの動機付けを行う。

- ・早期体験実習でモチベーションアップ！

1 年次から医学部附属病院で体験実習を行うため、学習に対するモチベーションが高まります。

## ○岡山大学

<参考：医学部カリキュラムポリシー（医学科ではない）>

1 年次には、外国語、リベラル・アーツ、スポーツなどの全学規模で実施される教養教育に加え、専門教育の基本となる知識や技術について学びます。

### ・医学部医学科カリキュラムポリシー

人間性に富む豊かな教養【教養】

1 年次の「医学概論」、「臨床医学入門」で医学の根本を学び

目的につながる専門【専門性】

1 年次に生命科学の基礎を修得し

効果的に活用できる情報力【情報力】

1 年次に情報リテラシーの基礎を学修し

時代と社会をリードする行動力【行動力】

1 年次では、チュートリアル方式の授業を行い、自ら問題点を見つけて学習する習慣を身につけます。1・2 年次に外国語科目を履修し、外国語によるコミュニケーション力を獲得します。1-3 年次に行う地域医療体験実習では、地域の医療現場を理解するとともに、地域住民や医療従事者とのコミュニケーションを通して医療人としての社会性を育てます。

生涯に亘る自己実現力【自己実現力】

1 年次早期に医療・福祉の現場を自ら体験し、患者の傍らに居ること、共感的態度を学びます。

### ・医学科カリキュラムの特徴

入学から1年半の間は、他学部の学生と一緒に幅広い科目を学習して多様な価値観を学び、豊かな人間性と柔軟な社会性を育てます。入学直後から小グループ

で議論と思考を重ねて特定の問題を探求する‘医学セミナー’、臨床医学のエッセンスを紹介する‘臨床医学入門’、医療施設での‘早期体験実習’もあわせて行います。

・医学セミナー（1年）では、少人数学習により、自ら課題を設定し、討論し解決する手法を身につけます。

（[http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/up\\_load\\_files/igakukaannai.pdf](http://www.okayama-u.ac.jp/user/med/up_load_files/igakukaannai.pdf)）

4 ページ

2017年10月27日 閲覧

・1年次の夏、「医師になりたい」という熱い想いの冷めやらない時期に地域医療の現場で実習を行います。

（同上URL 4 ページ） 2017年10月27日 閲覧

○広島大学

・9) リベラル・アーツ教育を推進する

1年次において幅広い視点からの教養教育を行いつつ、高校で化学、物理学、生物学のいずれかの科目を履修していない学生に対して該当科目のサポート教育を行う。（引用文のまま）

・1年次生

4月、霞キャンパスの3学部（医学部・歯学部・薬学部）の学生が主体となって企画する「霞オリエンテーションキャンプ」に参加し、充実した学生生活を送るきっかけを作ります。1年生は主に東千田キャンパスで教養教育を学びます。専門教育では、霞キャンパス（一部東千田キャンパス）で「人体構造学Ⅰ」、「医療者プロフェッショナルリズム」、「生命・医療倫理学」、「コミュニケーション学」などの基礎医学の知識や医師の素養を身につけます。「医療行動学」など、医療や研究が行われている最前線の現場に出向いてこれから自分が進む医療人の姿をイメージしてもらい授業もあります。また、夏休みには、歯学部・薬学部と合同で早期体験実習を行い、チーム医療の基礎を学びます。

（教育目標の項目に記載）

・1年次

主に東千田キャンパスで総合人間科学の基礎となる教養教育科目を学習 霞キ  
ャンパスで専門関連科目及び人体構造学など専門教育も開始、進級判定  
(学生教育の項目に記載、下線部は引用文のまま)

○香川大学

・カリキュラム・ポリシー (教育課程の編成及び実施に関する方針)

①言語運用能力

既修外国語の英語に関しては、全学共通科目として1年次前・後期と2年次前期に「Communicative English I・II・III」を履修します。

②知識・理解 (21世紀型市民及び学士 (医学) として)

医科学を学ぶ基礎となる専門基礎科目として、1～2年次にいずれも学部開設科目である「医用物理学」、「医用化学 I、II」、「医科生物学」、「微分積分学」、「医用統計学」、「医療心理学」、「細胞生物学」、「分子遺伝学」、「分子生物学」及び「自然科学実習」を履修します。「自然科学実習」では、実験を通じて生物学・物理学・化学の基本的事項を確認し、実験器具の扱い方を習得します。

③問題解決・課題探求能力

1年次には全学共通科目の大学入門ゼミにおいて少人数グループワークを行い、課題の探求方法についての基礎を身につけます。また、学部開設科目の「早期体験学習」ではチュートリアル方式で、医学的な課題について探求方法の基礎を習得します。さらに、「医療プロフェッショナルリズムの実践 I」では、学外実習の前にグループワークにて実習時に遵守すべき事項を討論し、また実習目標を自ら設定します。加えて、選択科目の「早期医学実習 I」では、主として基礎医学講座において医学研究に触れる機会を提供しています。

④倫理観・社会的責任

1年次では全学共通科目の主題 A「人生とキャリア」で 21 世紀型市民としていかに生きるかを学びます。学部開設科目の「医学概論」では、医学・医療を学ぶ上で必要な医の倫理、死生観やチーム医療及び医療安全等の基本的事項を学びます。

## ⑤地域理解

1年次では全学共通科目の主題C「地域理解」で地域理解について基本的事項を修得します。「医療プロフェッショナリズムの実践Ⅰ」では、地域の医療機関と介護老人福祉施設をそれぞれ見学し、地域住民に身近な医療や介護福祉の現状を体験的に理解します。

・1年次では全学共通教育（教養教育）と並行して医学概論などの早期医学科目や専門基礎科目を設け、（中略）1，2年次の低学年から「早期体験医学」「医学概論」「医療プロフェッショナリズムの実践」などの科目が設けられ、地域医療実習に行ったり、チーム医療を体験したりすることで医学、医療に対するモチベーションを高めます。研究医の育成や科学的思考の養成のために開設した1・2年次の早期医学実習（自由科目）

## ○愛媛大学

・●学科のカリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針，カリキュラムの特徴・特色）

入学当初から1年間のカリキュラムに、特に重点を置いています。「新入生セミナー」では、大学で学ぶとはどういうことか、自学自習するとはどういうことかを、医学・医療に関わる題材を用いて、グループメンバーや教員とともに考えます。医学の基本となる解剖学や生理学等の医科学の基礎を少しでも早く身に付けるために、1年生の4月から「基礎医学展望」を受講します。この科目は高等学校での学習から医学専門教育への橋渡しを行うものです。もちろん1年次には、城北キャンパスで他学部の学生とともに学ぶクラスもあります。

（<https://www.ehime-u.ac.jp/wp-content/uploads/2016/02/b27ed02b6150e5c49234f2db38ae627e.pdf>） 3ページ

2017年10月27日 閲覧

## ○高知大学

・1年生から附属病院で学ぶ

附属病院では、1年生第1学期の医学科・看護学科合同の実習（が行われる）  
（<http://web-pamphlet.jp/kochi-u/2018f4/html5.html#page=5>）

2017年10月27日 閲覧

・1年生 EME 初期臨床医学体験

入学直後の早い段階から医療・介護・福祉の現場を体験することで、自分の将来像を描き、医学生として必要な心構えや態度を身につけることを目的として実習です。附属病院での「外来つきそい実習」をはじめ、看護部、検査部、リハビリテーション部、薬剤部、栄養管理部に入ってコ・メディカルスタッフの業務を知る「附属病院実習」、市内の診療所での「プライマリ・ケア実習」、高齢者・障がい児者の施設を訪問する「施設実習」などを体験します。

(<http://web-pamphlet.jp/kochi-u/2018f4/html5.html#page=13>)

2017年10月27日 閲覧

・医学部 医学科 カリキュラム・ポリシー

1. 幅広い教養と豊かな感性を備え、高い倫理観を持つ人間性を培う

(1) 自然科学系および人文科学系を含む教養科目に加えて、初年次科目として行動科学、

情報処理、課題探求実践セミナーなどの科目を開講します。(D1、D2)

(2) 初年次から、学内および学外の医療施設での早期医療体験実習を取り入れて、医療

スタッフから直接、指導や評価を受けます。(D4)

(3) 初年次から継続的にプロフェッショナルリズム教育を含む医療倫理教育を実施し、生

命倫理、医療倫理の学修により高い倫理観を養います。(D1、D4)

5. 医療の実践力を養う

(1) 初年次からの継続的な医療安全教育により、安心・安全な医療への関心を高めます。

(D4)

6. 医師の社会的使命を理解し地域医療に貢献する意欲を醸成する

(1) 初年次の地域医療機関での早期医療体験実習に始まり、地域医療関連授業や、診療

参加型臨床実習を通じて、地域医療への関心を育みます。(D4、D5)

## ○九州大学

・ 九大医学部には、医学科、生命科学科、保健学科の3つの学科があります。入学後1年間は伊都キャンパスで一般教養を学んだ後、それぞれの専門教育を通じて、未来の医学と医療を担うプロフェッショナル(の卵)を育てる学部です。(医学科長挨拶より)

### ・教育プログラム

#### 教育課程の特色・内容

1年次開講の医学入門では医学生としての自覚を芽生えさせるために病院等における医療・介護施設の体験実習を実施しています。その後、医学の基盤となる生物学および人体の構造の概略を学びます。

### ・協調学習

本学科では1年次のコアセミナー、国際医学でのチームベースラーニングなど協調学習を取り入れています。協調学習とは、グループで与えられた課題に沿って、役割を分担し、問題を解決することに経過によつての学習を得る学習方法です。コミュニケーション能力など、チーム医療の現場や研究室の一員として働く際に必要となる力を身につけることができます。

・大学入学時の「基幹教育」は、高校までの知識を取入れるだけの学びとは異なり、基本的知識の習得をベースにするものの、それらを活かし、自ら問いを立て新たな知を創造・発見・解決していくための学び方・考え方を身に付けるためのものです。

### ・九州大学医学部医学科を志す君たちへ

(九州大学大学院医学研究院 医学教育学講座教授 新納宏昭氏の言葉)

1年次は、伊都キャンパスで基幹教育を学ぶ。基幹教育とは、新たな知や技能を創出し、未知なる問題をも解決していく上での幹ともなる「ものの見方・考え方・学び方」を学ぶ教育である。もしかすると、この一年間は医学学習への意欲を持って余す人もいるかもしれない。しかし、医師は生涯に渡り、日進月歩する医



学・医療の知識を常に吸収していく必要がある。ぜひこの一年間で、自ら学び続ける『アクティブ・ラーナー』としての素地をしっかりと身につけて欲しい。

#### ○佐賀大学

・2) 6年一貫臨床実習（早期臨床実習・技能訓練・実践的臨床実習）の段階的・継続的な実施 ※医学全体としての教育カリキュラム

1・2年次「医療入門」（180時間）（を行う）

・「医療入門」では、地域の診療所・病院、介護・福祉施設、保健施設、保育園等での体験学習・実習（早期臨床実習）を継続的に実施することを通して、医療への地域の期待を“肌”で感じ、人間や社会についての幅広い学習を動機付けることを期しています。実習先施設としては、平成14年度から高学年の臨床実習で行っている地域医療実習のネットワーク（約30施設）の連携を強化して実施。

・医学科では1年次から医療入門や早期体験学習を導入して早くから医師としての心構えをしっかりと身につけるためのカリキュラムを組み、さらに学習要項の活用によって自己学習・自己評価が実践できるような仕組みを設けています。

([http://www.sao.saga-u.ac.jp/PDF/H30/daigakuannnai\\_62.pdf](http://www.sao.saga-u.ac.jp/PDF/H30/daigakuannnai_62.pdf)) 64 ページ

2017年10月30日 閲覧

・教養教育科目及び専門基礎科目は1年次から2年次後期まで行われます。専門科目では、基礎医学が1年次後期から始まり、遺伝子、発生、細胞、組織、器官、個体、集団といった順序に、かつ構造と機能を並行して勉強できるように構成されています。

(同上 URL 66 ページ) 2017年10月30日 閲覧

・Phase Iは大学入門科目（医療入門I）、基本教養科目、インターフェース科目、情報リテラシー科目、外国語科目からなる教養教育科目と、基礎科学分野の教育や生命倫理学、医療心理学などを行う専門基礎科目から構成されています。医学を志す者が学習すべき基礎的な知識と方法論を修得し、かつ人間に対する

理解を幅広い視点から深めるために教育が行われます。講義に加えて実習も取り入れられ、たとえば1年次から2年次まで開講される医療入門Ⅰ、Ⅱでは早期体験学習が行われています。

(同上 URL 66 ページ) 2017年10月30日 閲覧

※Phase については同ページに記載されているカリキュラム模式図があれば理解できますが、図を転載することができなかつたため、URL から参照してください。

・医療入門は、臨床医学の修得前に、講義に加え、早期体験学習、医療面接のロールプレイ、身体診察技法及びファーストエイド等の実習、地域の療養型・介護型医療機関での施設実習を行うことにより、医療人としての自覚を高め、少子高齢化を特徴とする現代日本社会における医療の実際を理解し、医療の技術的進歩と社会の急速な変貌が人々の心にもたらす問題に関心を持ち続ける態度を身につけることを目標としています。

(同上 URL 67 ページ) 2017年10月30日 閲覧

#### ・PhaseⅠにおける学習の目的と学習内容の概要

PhaseⅠのカリキュラムでは、下図のように、まず大学入門科目として医療入門Ⅰを学びます。これは医学各分野の学習に先立って、患者との良好なコミュニケーションを保ち、患者の心を理解しようと努める豊かな人間性と社会に対する幅広い関心、倫理観、責任感を身につけることを目的とします。次に、基礎教養科目は、医学に限らず、自然科学系、文科系、社会科学系などの多くの科目の中から、みなさんが幅広く自分の興味に従って自由に選択する科目です。専門基礎科目は、総合人間学と基礎科学の二つの分野から成り、それぞれの具体的な教科内容は次の通りです。

●総合人間学…生命倫理学、医療心理学、生活医療福祉学、医療と生活支援技術、医療入門

●基礎科学…生物学、物理学、化学、医療統計学

生物学、物理学、化学では、生命科学全般の基本的な知識や考え方を学び、これらはPhaseⅡ以降の学習の基礎となります。情報リテラシー科目は、コンピューターとネットワークのしくみを学び、それを医学に応用して実践的な問題解決能力を身につけることを目的とします。外国語科目は、英語を学びます。

( [http://www.med.saga-u.ac.jp/admdir/editor\\_img/File/29-06-01-igaku-Phase1.pdf](http://www.med.saga-u.ac.jp/admdir/editor_img/File/29-06-01-igaku-Phase1.pdf) )

4 ページ 2017 年 10 月 30 日 閲覧

※「下図」とありますが、図を転載することができなかつたため、URL から参照してください。

<参考：同上 URL 21 ページ～54 ページに、医療入門 I 等、Phase I で履修する講義のシラバスのようなものが記載>

#### ○長崎大学

・大学入学後、1 年次に週 3 日、2 年次に 2 日、文教キャンパスで教養教育カリキュラムに従って学びます。この教養教育は、一般社会人として必要な教養、知識、及び専門にこだわらない広い視野に立った物の見方を学ぶために、極めて重要なものです。教養教育には医学部の教員も多数参加しており、「総合科目」や「人間科学分野」等において人間の生命を科学的、倫理的、社会的等、多面的に論じる魅力ある講義を担当しております。また、この文教キャンパスでの生活は、医学を志す者のみならず、将来様々な分野で活躍する学友との交流を深める大切な機会を提供します。

坂本キャンパスでは、1 年次に週 2 日（中略）医学教育が行われます。1 年次には「学部モジュール科目」で本学の歴史や近代医学の流れを学んで頂きます。

「医と社会」では、大学病院において 2 日間若手医師と終日生活を共にし

・1～3 年次に長崎県の医療についての理解を深め、離島・へき地医療に重要なプライマリケア・小児科・産婦人科・救急医療などに関する広い知識を習得する「地域医療ゼミ・医学ゼミ」を受講します。

(<http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/documents/data/2018pamph.pdf>) 4  
ページ

2017 年 10 月 30 日 閲覧

< 参 考 : [http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/students/syllabus/2017/01\\_1st\\_keikaku.pdf](http://www.med.nagasaki-u.ac.jp/med/students/syllabus/2017/01_1st_keikaku.pdf)

に 1 年次に履修する講義のシラバスのようなものが記載>

## ○大分大学

・第1学年前期：大学における、自分なりの学習方法を早く確立して、自己学習(=生涯学習)と問題探求と解決する学習方法を確立すべき時期と考えてください。

(医学教育センターHP より)

([http://www.med.oita-u.ac.jp/mededuc/link\\_igaku.html](http://www.med.oita-u.ac.jp/mededuc/link_igaku.html))

2017年10月30日 閲覧

・第1学年後期：高校の復習的な内容は無くなり、大学で新たに学習していかなければ単位が取得できない。進級判定は通常修学期毎に行い、第1学年の必修科目のうち習得していない講義の単位数が5単位以上ある者、及び選択必修科目の修得要件を満たしていない者は、第2学年に進級できないことに十分留意してください。

(同上 URL) 2017年10月30日 閲覧

<参考：医学教育モデル・コア・カリキュラムの学習項目と大分大学各授業科目との対応表 に1年次に履修する授業科目が記載>

(<http://www.med.oita-u.ac.jp/mededuc/curriculum/taiouhyou.pdf>)

2017年10月30日 閲覧

## ○宮崎大学

・医学科では、1年生より看護学科と同じように共通科目の履修と同時に専門基礎科目の講義が始まり

(医学部長挨拶より)

・カリキュラムポリシー (教育課程の編成・実施の方針)

3. 専門基礎科目と基礎医学科目は、医学の基礎となる教育内容に重点をおいた授業科目で、1年次から4年次に開設されます。

## ○鹿児島大学

・カリキュラムポリシー

カリキュラム編成の方針

3. 講義、実習に加え、入学時より少人数での統合型学習、自己主導型学習により、学生は課題の発見、情報の収集、知識の応用と科学的な思考による問題解決を学びます。

・プロフェッショナリズム教育 ※詳しくは次のページの図・表を参考にしてください。

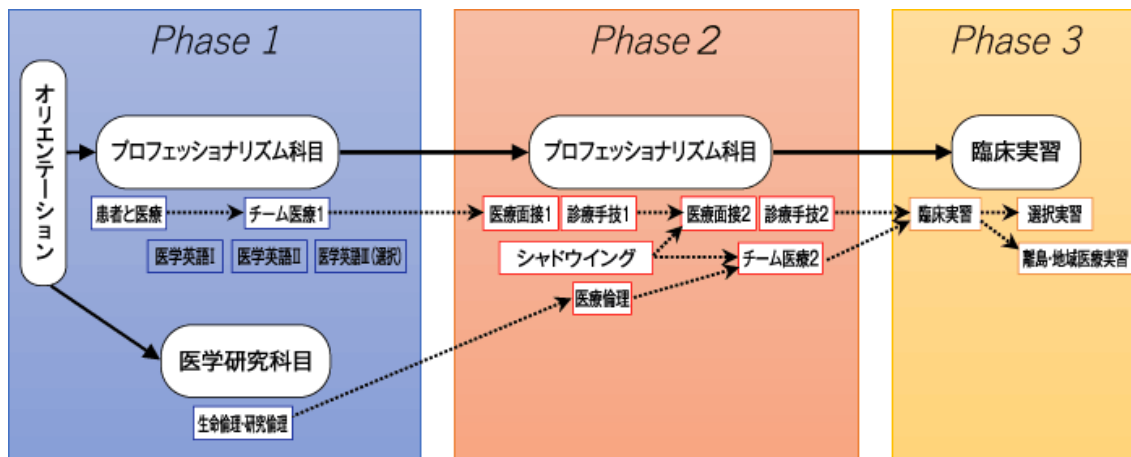
入学直後から医学、医療を考え、医師という専門職に求められる態度、価値観等を学ぶ。

第1年次の早期から臨床実習に続く一貫して教育として、医師としての態度、価値観、行動、コミュニケーション・対人関係、研究倫理、生命倫理、医療倫理、臨床倫理、チーム医療、診療技能、キャリア・パスの理解、医学英語を学びます。こられは知識として理解するだけではなく、ポートフォリオを用いた振り返りを行いながら学習や生活の中で行動として実践し、自分の価値観や考え方として修得します。

Phase 1 入学時より3年前期まで：医学医療を学習する基盤形成		
科目	テーマ	学習方法
オリエンテーション	医学生としての学び 患者からの期待と自覚 医師として活躍する将来の社会の展望	グループ学習、患者からの手紙
患者と医療	患者の心理、抱えた問題の理解 児湯ニケーションの基本：傾聴、共感 社会的視点からの医療の理解	患者講演、患者会の皆様との対話、グループ学習、発表
<a href="#">チーム医療1</a>	多職種連携によるチーム医療の理解 基本的臨床手技の修得1	医療専門職講義、救急蘇生等実習、大学病院、地域施設見学、グループ学習、ポスター発表

生命倫理・研究倫理

人・動物を扱う研究での倫理  
研究の遂行と論文発表における倫理



( <http://www.kufm.kagoshima-u.ac.jp/~med/education-of-medicine/curriculum/feature.html> ) 表・図ともこのURLのページから転載

○琉球大学

・各学士教育プログラムにおける教育課程編成・実施の方針 (カリキュラム・ポリシー)

医学

1年次では、共通教育科目の他に「分子細胞生物学」、「人体の構造と機能」、「神経科学」、「解剖学実習」などの基礎医学を学びます。さらに、医療に関する早期体験学習として救急車同乗実習や外来患者付添い実習を行い、将来を見据えた「医学入門」、「キャリア教育」を受講します。シミュレーション演習では、コミュニケーション能力や医療面接の基本を学びます。

・医学部医学科 琉球大学の新しい医学教育プログラム

1年次入学後すぐに、シミュレーション演習として、コミュニケーションスキルの涵養、シミュレーターを利用した診察・治療の模擬体験、医療倫理教育を実施しております。さらに、生物未履修者への対応も考慮して、医学に必要な理科知識を分子細胞生物学として集中的に教育する取り組みをしています。研究者マインド涵養の取り組みとして、1年次からの講座での研究を推奨し、  
(医学課長 高山千利さんのことばより)

・1年次から4年次までは基礎医学、臨床医学、社会医学の座学と実習が中心です。

・共通教育科目と平行して1年次から専門教育を開始。前学期には医学概論、分子・細胞生物学をとおして医学の基礎知識・最新の医学のトピックを学ぶ。早期体験学習では外来患者の付添い実習や救急車の同乗実習を行い、地域医療や救急の現場を体験する。またシミュレーション機器を用いた実習を通じて医師としての態度も学修する。後学期からは、人体の構造と機能、解剖学実習、組織学実習、神経科学などの基礎医学の履修が始まり、正常な人体の構造と機能について学ぶ。

(<http://www.u-ryukyu.ac.jp/admission/nyushi/guide2018/pdf/44-45.pdf>)

2017年10月30日 閲覧

#### ○旭川医科大学

・カリキュラム・ポリシー（教育課程編成・実施の方針）

##### ① 「倫理観とプロフェッショナリズム」（態度）

1. 医学者としての倫理原則や臨床医として患者さんに対応するための行動科学を理解するために、ICM科目に「医療概論Ⅰ～Ⅳ」を配置し、1年次から系統的に履修できるように展開しています。

([http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/public/gakusei/2015med\\_cp.pdf](http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/public/gakusei/2015med_cp.pdf))

1 ページ

2017年10月30日 閲覧

##### ② 「医学と関連する領域に関する十分な知識と生涯学習能力」（知識）

4. 専門分野の学問の内容と方法を説明でき、自学自習の態度を涵養し、確実に知識を獲得するために、講義・実習科目としての基礎教育科目、基礎医学科目、臨床医学科目のみでなく、ICM科目として「医学チュートリアルⅠ～Ⅴ」を演習科目として配置し、1年次から系統的に履修できるように展開しています。

(同上 URL 1 ページ) 2017年10月30日 閲覧

##### ③ 「全人的な医療人能力、基本的診療能力、実践的臨床能力」（技能）

5. 心理学的背景を理解した上で、医療コミュニケーションを円滑に行うために、基礎教育科目に「心理・コミュニケーション実習」を1年次に配置しています。

(同上 URL 2 ページ) 2017年10月30日 閲覧

④「問題解決能力、発展的診療能力、研究心」(思考・判断)

9. 自らの思考・判断のプロセスや結果を、論述等で論理的に的確に説明できるように、基礎教育科目に「基礎生物学実習」、「医用物理学実習」、「基礎化学実習」、基礎医学科目には「生化学実習」、「形態学実習Ⅰ、Ⅱ」、「免疫学実習」、「生理学実習・演習」、「薬理学実習」、「微生物学実習」、「寄生虫学実習」、「衛生・公衆衛生学実習」、「法医学実習・演習」等の実習科目を配置し、1年次から系統的に履修できるように展開しています。

(同上 URL 2 ページ) 2017年10月30日 閲覧

⑤「地域社会・国際社会へ貢献するための能力」(意欲・関心)

11. 地域医療の問題点を知るための「地域医療学」、旭川近郊および北海道での医療ニーズ

の探索ための「早期体験実習Ⅰ、Ⅱ」、医療に関わる社会的問題を知り解決するための「医

療社会学」、「医療社会学実習」を ICM 科目に配置しています。また地域における病める

者の医療ニーズを知るために臨床医学科目に「健康弱者のための医学」を配置し、1年次

から系統的に履修できるように展開しています。

(同上 URL 3 ページ) 2017年10月30日 閲覧

・医学科及び看護学科では、学年担当教員とは別に「グループ担任制度」を導入しています。医学科では、第一学年及び第二学年の学生10人程度の各グループに臨床医学の教員を一人ずつ配置し、看護学科では、第一学年及び第二学年の学生10人程度のグループの二つを一人の教員が担当しています。さらには、医学科の第一学年から第三学年の各学年に、臨床医学の教授を「アドバイザー」として、一人ずつ配置しています。

(<http://www.asahikawa-med.ac.jp/file/pumphlet/2018.pdf>) 3~4 ページ



2017年10月30日 閲覧

・必修科目(表参照)については、それぞれ受講する学年が指定されていますが、  
選択科目(表参照)については、約30科目の豊富なメニューの中から自由に選  
択し、入学直後から第2学年前期までの間に修得することになっています。

(同上 URL 17 ページ) 2017年10月30日 閲覧

※表については省略

・医療・保健・福祉施設等の現場を体験する「早期体験実習」が入学直後に行わ  
れます。

(同上 URL 19 ページ) 2017年10月30日 閲覧

<参考：1年次に履修する科目のシラバスあり>

(  
[http://www.asahikawa-  
med.ac.jp/bureau/gakusei/syllabus2/igaku\\_2017.pdf](http://www.asahikawa-med.ac.jp/bureau/gakusei/syllabus2/igaku_2017.pdf))

29～31 ページ 2017年10月30日 閲覧

(3) その他

○東北大学

「6年間の学習の流れ」のページが準備中(2017年10月30日現在)

…ここに記載される可能性がある

○上記以外の東北大学の記載

・カリキュラムポリシー

1,2年次は全学教育科目として幅広い一般教養科目と専門教育に活用可能な科  
目を提供する。

1年次より専門教育科目を開始し、医療人、医学研究者として必要な基本的知識・  
技能・態度を6年間の教育課程で習得するための専門教育科目を提供する。

・第1週から『生命科学』の授業で人体の構造と機能を学びます。第2週には、  
4年生の英語による『海外研究留学発表会』を聴講します。各分野の教授が診察・  
研究のエッセンスを語る『臨床医学紹介・医学研究紹介』のシリーズも始まりま

す。1 セメには小グループで 6 年後を皆で医師として迎えるために必要なこと、医療倫理、医療者としての守秘義務などをテーマとしたワークショップを行います。『研究室取材訪問とその発表会』も組み込まれています。2 セメでは『早期医療体験』、『医療コミュニケーション実習』が待っています。免疫学、医化学、遺伝学など専門科目も始まります。並行して全学教育で幅広い教養を身につけます。

([http://www.med.tohoku.ac.jp/about/download/doc/guide\\_u18.pdf](http://www.med.tohoku.ac.jp/about/download/doc/guide_u18.pdf)) 9 ページ

ジ

2017 年 10 月 30 日 閲覧

※『早期医療体験』などの説明は省略、URL 同ページに記載されているので参考にしてください。

・1 年次の医学専門教育科目は「医学・医療入門 1」、「臨床医学修練（一次）」、「医学基礎生物学」、「医学・医療入門 2」の従来の 4 科目に加え新たに「医化学」、「免疫学」、「放射線基礎」、「解剖生理概論」が前倒しで始まります。「医学基礎生物学」は生物学の基礎を固め、2 年次以降の医学専門教育を理解するために重要です。高校の生物学未履修者は、医学に必要な生物学基礎を学ぶ大切な機会なので特に力を入れて学習してください。「臨床医学修練（一次）」では、医学問題への感受性、病院見学実習や問題抽出型課題への取り組み姿勢・態度などが評価されます。臨床医学の入門編であるとともに、医師への適性が試されていることを意識して臨んでください。また、1 年次には医学専門教育とは別に全学教育（リベラルアーツ）も広く準備されており、人間性を磨く機会にしてほしいと思います。

(<http://www.med.tohoku.ac.jp/admissions/medical/syllabus/doc2/2017/igaku170419.pdf>)

3 ページ 2017 年 10 月 30 日 閲覧

<参考：同上 URL は「医学専門教育シラバス」というタイトルで、1 年次に履修する科目も記載>

## 2. 公立

### ○京都府立医科大学

・教養教育の講義と実習が第1学年及び第2学年1学期の間、花園キャンパスで行われ

・1学年の定員が約100名であるという特徴を生かして、教育にはきめ細やかな配慮がなされています。1学年では、早期体験実習として様々な医療・福祉施設見学を行い、医学・医療に対するモチベーションを高めるような医学準備教育に努めています。教養教育では、通常の講義形式で行われる一般教育科目のほかに、教養教育に所属する全教員が、各科目の特論として担当する「教養ゼミ」があり、少人数教育の効果をあげているのが、特色の一つです。

・1学年の定員が約100名であるという特徴を生かして、(中略：上と同じ文章)医学準備教育に努めています。教養教育では、通常の講義形式で行われる一般教育科目や京都工芸繊維大学及び京都府立大学との三大学教養教育共同化科目を提供し、より幅広い教養を身に付けることができます。また、自然科学系科目の実習については、クラス分けを行い、よりきめの細かい教育を実践しています。

([http://www.kpu-m.ac.jp/doc2/furitsu\\_i\\_2017\\_tn.pdf](http://www.kpu-m.ac.jp/doc2/furitsu_i_2017_tn.pdf)) 5 ページ

2017年10月27日 閲覧

### ○大阪市立大学

・全学部共通教育（一般教養）

医学部医学科入学後は、主にこちらの杉本キャンパスで総合医学、基礎医学、外国語など総合的な教養を身に付けていただくことになります。

・基礎医学教育・社会医学教育

一部1年次にも学ぶ医学教育です

・臨床医学教育

1～3年次の間は、早期臨床実習（早期臨床体験実習）を通して医療や福祉の現場で様々な人と関わりを持ちながら、医療人を志す自分を改めて見つめなおし、

その志をより具体的なものへと成長させていただきます。また同時に、現場の医師、看護師、薬剤師、臨床技師など様々な人の仕事ぶりを見ながら、医療に携わるものの意識、覚悟、責任感、そして相互連携のありようなど、多くのことを学んでいただきます。

- ・臨床医学教育

1 年次より、専門医の指導による心肺蘇生法実習や、早期臨床実習 (Early Exposure) を行い、一般病院での医療を実際に体験します。

(<http://web-pamphlet.jp/osaka-cu/2018p/html5.html#page=41>)

2017 年 10 月 27 日 閲覧

- ・1 年次

杉本キャンパスで始まる一般教養教育。

医学の土台となる生物学、物理学、統計学等、しっかり学んで医学系科目履修に備えよう。

グローバルな医療人になるために外国語の履修にも力を入れよう。

医学教育として、倫理学、序論、コミュニケーション論などの講義も始まります。専門医の指導による心肺蘇生法講習会で「命」を実感、使命感を養おう。

一般病院での医療体験を行う早期臨床実習 (Early Exposure) で「現場」を見てみよう

- 奈良県立医科大学

- ・教養教育部門

第 1 学年では、一般教養と医学の基礎的な知識の習得を目的として教養教育科目を履修し、また、将来医師になるという自覚を深めるため、基礎医学及び臨床医学の教員による医学特別講義を受講します。

<参考：1 年次に履修する教養教育科目の「授業科目紹介」あり>

([http://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/documents/h28\\_igakul.pdf](http://www.naramed-u.ac.jp/university/gaiyo/documents/h28_igakul.pdf))

2017 年 10 月 30 日 閲覧

- 札幌医科大学

・地域医療の実態を知る「地域医療合同セミナー」(医学部全体)

医学部1～3年生では、道内各地に赴き、地域の生活や医療体制、健康課題等について、住民と交流することで、地域医療に必要な視点を身に付けます。

また、現地の医療スタッフから多職種連携やチーム医療を学びます。

(<http://web-pamphlet.jp/sapmed/2018p/html5.html#page=7>) 2017年11月

1日 閲覧

・医学を学ぶ第一学年

専門科目を学ぶための基礎学力の修得と、医療人としての人間形成が大きな目標です。カリキュラムは、前期・後期を通して医学を学ぶうえで欠かせない教養教育科目が中心となります。(中略)

また、第1学年から専門教育科目もスタートします。「医学入門セミナー」では、基礎医学・臨床医学における各専門分野の教授陣が、札幌医科大学で行われている最先端の医療や医学研究について分かりやすく解説します。年間を通じて開講されるので、医師へのモチベーションを高めながら、卒後の将来像を考える機会になります。

(<http://web-pamphlet.jp/sapmed/2018p/html5.html#page=17>)

2017年11月1日 閲覧

・地域医療合同セミナー1

実施地：利尻、別海・中標津、留萌

第1学年では、地域医療を展開するために必要とされる基本的な知識を獲得すること、パートナーシップを形成する基本的な態度を身につけ、他者との間で双方向コミュニケーションを実践することを目的に、通年の教育プログラムが組まれています。(平成26年度より医学部では必修化)。8月には利尻島、道東(別海・中標津)、留萌管内に滞在して3～4日間の実習を行い、将来、医療人として地域医療に従事するための素地を養います。

(<http://web-pamphlet.jp/sapmed/2018p/html5.html#page=63>)

2017年11月1日 閲覧

地域医療合同セミナー1 (1学年)

・医学部、保健医療学部4学科合同で、早期からの総合診療能力の形成を図りま

す。

( <http://web.sapmed.ac.jp/miraigp/mndloh00000010ds-att/mndloh00000010fy.pdf>)

8 ページ 2017 年 11 月 1 日 閲覧

○福島県立医科大学

・カリキュラム概要

### 1. 医師としてのプロフェッショナリズムとコミュニケーション力

1 年次の人文・社会科学、選択科目で、幅広い教養と豊かな人間性を涵養し、また心理学を基礎とする行動科学を学び、コミュニケーションの基礎を学ぶ。また全人的医療人教育を目指し、1～6 年次まで関連科目・実習を有機的に配置し、医学の学びに合わせて、医療人として必要な態度や責任感、倫理観、コミュニケーション能力を醸成する。1 年次の早期ポリクリニック・地域実習 I、3 年次の地域実習 II と、早期より福祉や附属病院内外の医療現場において体験実習を行うことにより、医学生としての自覚を促す。

※下線部は引用文のまま（以下 2～4 の下線部も同様）

( [http://www.fmu.ac.jp/univ/daigaku/three\\_policy/data/med/curriculum\\_2.pdf](http://www.fmu.ac.jp/univ/daigaku/three_policy/data/med/curriculum_2.pdf))

1 ページ 2017 年 11 月 1 日 閲覧

### 2. 科学的探究心（生涯教育と医学/科学の発展への貢献）

1 年次から情報リテラシーを学び、医学英語および医学医療統計の講義・演習が行われ、医学・医療情報を批判的に吟味する能力の基礎を固める。医学的知識の修得に加え、早期から学生個々の知的好奇心や研究を育む目的で、MD/PhD 制度を導入し、関心の高い学生に対しては早期から研究室での生命科学研究を体験する機会を与える。（中略）

また 1～3 年次まで英語を必修とし、英語による発表の場を与える。また 1 年次選択科目には、英語以外の外国語科目を導入し、多様な文化的背景をもつ他者を理解する視点を養う。

（同上 URL 1 ページ） 2017 年 11 月 1 日 閲覧

### 3. 医学的知識とその応用、診療の実践

1年次後期から2年次前期では正常人体の構造・機能を学ぶ。

(同上 URL 2 ページ) 2017年11月1日 閲覧

#### 4. 医療と社会・地域 (福島をモデルとした地域理解)

地域実習 I(1年次)では地域の特別養護老人ホームや重症心身障害者施設の実習を(行う)(中略)

また1年次総合科学の福島学では、福島の歴史・生活や東日本大震災後の福島の現状について、PBL型の実習・現地見学会も含め、能動的に学ぶ。さらに放射線生命医学、救急・災害医療、緊急被ばく医療の講義、放射線災害医療センターでの実習、テュートリアルを1年次から6年次まで有機的に配置し、福島の特性をいかした放射線・災害医療への理解を進める。

(同上 URL 2 ページ) 2017年11月1日 閲覧

- 知を蓄え、自分のなりたい医師をめざす

[最初の1年次]

語学・自然科学・人文社会科学系科目と総合教育科目群および生命科学・社会医学系科目を効率よく配置。最初のステージで医学の基本をおさえ、医学を取り巻く課題を多面的にとらえる考え方を学びます。ここでは、医療現場や地域社会の見学・調査などを通して、チームワーク、相手の立場を思いやる想像力、自分の考えを伝えるコミュニケーション能力などの重要性についての理解を深めていきます。同時に、自分がめざす医師のビジョンが次第に見えてくるステージでもあります。

<参考：1年次のシラバス>

([http://www.fmu.ac.jp/univ/gakunai/pdf/syllabus/29\\_m1.pdf](http://www.fmu.ac.jp/univ/gakunai/pdf/syllabus/29_m1.pdf)) 2017年11月1日 閲覧

○横浜市立大学

・医学科カリキュラムは、1年次に金沢八景キャンパスで受講する「共通教養科目・医学基礎教育科目」

- ・医学基礎教育(1年次・5年次)

教養ゼミ、Practical Englishに加えて、数学・物理学・化学・生物学・臨床心理学などの分野を学習し、専門教育を受けるための基盤となる知識や考え方を修得します。また、医療を実践する上で必要不可欠な探究心・想像力・柔軟な思考力・コミュニケーション力などを養うため教室体験演習を行い、診療や研究が行われている医療現場を体験します。

・教養科目が勉学の中心となる 1 年次生を対象に医学の現場を早期に体験してもらう「教室体験演習」（各教室に学生を配属）、  
（医学教育センター長（医学部長）のご挨拶より）

・医学基礎教育 1 年次

教養ゼミ、Practical English、化学、生物等、専門教育の基盤となる知識や考え方を修得します。また、医師や医学研究者としてのキャリア形成の第一歩として、診療・研究活動に実際に触れ、医学を学修する動機づけを高めるため、教室体験演習を行っています。

（<http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2603324038/index.shtml?rep=1>）

62 ページ 2017 年 11 月 1 日 閲覧

○名古屋市立大学

・カリキュラムポリシー

1 年次には、領域 I として豊かな人間性の陶冶と幅広い教養を身につけるため、教養教育科目および専門科目としての医学入門を通じて科学としての医学を学ぶための基礎を形成する。領域 II として早期体験学習を通じ医療者としての基本技能を習得する。領域 III として医療系学部連携地域参加型学習を通じ地域医療での課題解決をテーマとする学習を行う。領域 IV として一般教養科目を通じて医師に相応しい素養を養う。

・1 年生

1 年生の学習は、滝子キャンパスでの教養教育と桜山キャンパスでの専門教育に分かれます。

教養教育では、人文・社会科学、自然科学、外国語といった科目を学び、幅広



い教養を身につけるのはもちろんですが、医学部・薬学部・看護学部の医療系3学部を揃える名古屋市立大学に特徴的な授業として、医薬看連携地域参加型学習を行っています。医師・薬剤師・看護師を目指す学生同士でチームを組み、地域の病院や施設を訪問して現場での課題解決に取り組むことで、将来医師となったときに同じ医療現場で働く医療人とチームで仕事をするための基礎を身につけます

専門教育の1つ「医学入門」では、将来どのような医師として社会貢献していくかを考える学習を行います。医師の仕事は、開業医や勤務医だけでなく、医学研究者や医学教育者など多岐にわたります。様々な分野の第一線で活躍中の先輩医師からその仕事内容を学ぶことで、1年生のうちから卒業後のキャリアパスを考え、医師となる自覚と心構えを身につけます。

(<http://www.med.nagoya-cu.ac.jp/w3med/guide/pamphlet/igakubu.pdf>) 7  
ページ

2017年11月1日 閲覧

・医学部に入学すると、基礎医学といって解剖学、生理学、生化学という講義から始まり、臨床医学、社会医学、臨床実習と進みますが、その基本的な内容は、日本中のどの医学部でも大きな違いはありません。

([http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/press/publication/files/20170726/2017daigakuannnai-web\\_teisei.pdf](http://www.nagoya-cu.ac.jp/about/press/publication/files/20170726/2017daigakuannnai-web_teisei.pdf))

19 ページ 2017年11月1日 閲覧

・1年生では知識人として、また専門家としての自己発展に必須の要素として教養科目を中心に学ぶとともに、地域参加型学習として最先端の医学研究や医療の現場を体験します。

(同上 URL 19 ページ) 2017年11月1日 閲覧

○和歌山県立医科大学

・カリキュラムでは、1年次から地域病院での早期臨床体験実習や、老人福祉施設・障害者福祉施設、保育園での実習などを設け、地域の実情を体験することができます。

(学長挨拶より)

・平成 27 年度には 1～4 年次にも患者に接する機会を増やすなど国際基準に適合し、臨床・研究能力の高い医師の育成が出来るようにカリキュラム改革を行いました。

・1 年次にはリベラルアーツ（教養教育）が中心となります。具体的には、医学部への準備教育や自然科学、社会人としての教養、医師としての倫理を学ぶ期間です。

・教養教育

教養教育科目の授業は、1～2 年前期にかけて行われます。人としての幅広い見識と、専門医学への準備としての基礎知識を身につけることを目的としています。また、入学後早い時期に医療の現場を体験する「Early Exposure 早期臨床体験実習」を実施し、医学及び医療に対する関心を高め、これからの医学を学ぶにあたっての問題意識を深めるカリキュラムがあります。

<参考：教養教育科目の教育要項一覧のページ（「医学入門」、「医学概説」等がある>

(教育研究開発センターHP より)

( <http://www.wakayama-med.ac.jp/med/develop/meeting/curriculum/02h29.html>)

2017 年 11 月 1 日 閲覧

### 3. 私立

○記載なし

獨協医科大学

○岩手医科大学

・医歯薬合同の多職種連携教育

1 年次前期に開講。まず、学長が医療人の心構えを説きます。次いで、3 学部混成グループによる問題基盤型学習へ。論理的な思考方法を学びながらテーマに

即して問題点を抽出し、必要な情報を集めたり解決策を検討したりします。その中での自己学習、グループワーク、ディスカッション、プレゼンテーションを通して医療系の総合大学に学ぶモチベーションを高め、多職種連携のための基盤をつくります。

- ・早期体験学習 Early clinical exposure

広い視野で、早期から医学・医療の現場を体験するのが目的です。1 学年では看護・施設介護の実習、救急心肺蘇生法などの実技に取り組みます。

- ・地域医療研修・実習

社会に貢献する医師の育成に向け、モチベーションのアップと涵養を図っています。1 学年は急性期から慢性期のケアを通して医療の全体像・医師と患者さまとの関係を学ぶとともに、地域医療の実態に触れて現状を把握します。

- ・1 学年

- ◎ 看護・施設介護の実習

5 日間ずつ、看護と介護の現場を体験します。高齢者や障害のある方と接する機会を通し、患者さま本位の医療を叶える医師像の本質を捉えます。

- ◎ 地域における医療の実体を見学

地域に出向いてヒアリングなどを行い、現状を探ります。その前後に行うワークショップでは問題点の抽出・報告を行い、現状への理解と認識を深めます。

- ・カリキュラム

1 学年で一般教養科目とともに基礎医学を学び、人間への深い理解と共感、自然に関する正確な知識、さらに社会に対する正しい認識と健全な判断力を養います。1 学年後期からは専門教育を学び、

- ・教育課程編成・実施方針（カリキュラム・ポリシー）

実社会における複雑な事象に余裕を持って対応するためには、医学以外の領域にも幅広い知識を有していることが大切です。そのため、初年次からさまざまな教養科目を選択で学びます。

2. 地域医療あるいは研究の場で活用できる知識・技能と、前向きな姿勢を持つるようになるため、初年次から地域医療見学研修、医療体験実習、看護・介護体験実習、初年次ゼミをおこないます。初年次ゼミでは研究室で実務を学修します。

3. 社会正義と患者の福祉優先原則のもとに行動し、倫理的態度を自分のものとするため、倫理的な教育を初年次から受けるとともに、医療の現場では行動と言動の是非を指導されます。

4. 1～4年生では、基礎生命科学、臨床医学、社会医学の知識を修得し、常に自分を振り返る謙虚な態度をもてるようになるため、レポートやポートフォリオによる学修記録や小テスト、定期試験で学修達成度を各教科で判定しています。

5. 入試形態の相違によるハンディキャップを解消して、無理なく医学専門課程が履修できるような橋渡し教育を初年次におこないます。また、習熟度に応じた授業もおこないます。臨床現場で基礎的な医学知識を応用できるように、基礎生命科学を修得してから臨床医学を学修するように、順次性をもって1～4年のカリキュラムは構築されています。

6. 医療・医学の進歩に遅れることなく、最新かつ最善の知識と技能を修得し、科学的思考方法を身につけるため、初年次にゼミナールに参加し、

8. 人間関係を良好に保つことは、医療プロフェッショナルとして必要な資質です。そのため、初年次では全員が寮に入り、グループで生活する場に慣れるような環境を整備しています。初年次ゼミや（中略）各学年で配されているさまざまな実習は、少人数によるグループワークが基本になっています。

9. 医療現場で求められている）多職種連携をスムーズにできるようにするため、初年次の問題解決型学修（PBL）などで他の学部の学生と一緒に作業をおこなう場を設けています。

・1年生 多職種連携のためのアカデミックリテラシー

多職種連携教育の入門編と位置づけ、大学で学ぶための諸能力の育成を目標として実施しています。学部混合のチームを形成し、医療関連のテーマについてディベート、ポスター発表などを実施。自己主導型学習を身につけながら、2年生以降の多職種連携教育に必要な基礎能力を身につけることができるプログラムです。

(<http://www.iwate-med.ac.jp/wp-content/uploads/gaiyou2017.pdf>) 11 ページ

2017年11月1日 閲覧

・Early clinical exposure 早期体験学習

広い視野で、早期から医学・医療の現場を体験することを目的として、1年生では看護・施設介護の実習などの実技に取り組んでいます。高齢者や障がいのある方と接する機会を通し、患者さん本位の医療を捉えます。

(同上 URL 17 ページ) 2017年11月1日 閲覧

・地域医療研修・実習

社会に貢献する医師の育成に向け涵養を図っています。1学年は医療の全体像・医師と患者および行政との関係を学ぶとともに、地域医療の実態を把握します。

(同上 URL 17 ページ) 2017年11月1日 閲覧

○東北医科薬科大学

・1年次

「地域」の文化・生活を理解する

1年次には医師となる前に人としての素養である知的好奇心・行動力および倫理観を培うとともに、「地域」の文化・生活を理解することを学びます。また、医療現場や患者に接する第一歩を踏み出します。

必修科目以外にも個人の知的興味に応える選択必修科目を設定。

<参考：シラバスあり>

([http://www.tohoku-mpu.ac.jp/wp/data/h29\\_syllabus/m/h29m.pdf](http://www.tohoku-mpu.ac.jp/wp/data/h29_syllabus/m/h29m.pdf))

2017年11月1日 閲覧

## ○自治医科大学

### ・第1学年

入学後まもなく専門教育への導入として医学概論と思考のプロセスが始まり、医学生に必要とされる生活態度及び医学教育修得の基礎となるスキルを身につける。また、早期体験実習として院内での患者付添い実習があり、医療の原点となる患者や医療従事者の立場に接する。総合教育必修科目では、理科系・文科系・地域医療系科目を通して医師に必要な素養を養い、総合教育選択科目では、少人数形式の学習で大学における学習法、学びの態度、人間関係の構築を体得する。1学期から自然科学と医学との接点として生命科学1、2を学習し、2学期からは解剖学、生化学等基礎医学科目が始まる。解剖学を1学年からという早い時期に学ぶのはこのカリキュラムの特徴であり、この時点で医学生としての自覚を深め今後の学習の原点とすることが期待される。

### ・早期体験実習

医学生としての自覚を促すため、1年次に自治医科大学附属病院で患者さんにつき添う実習を体験します。まずは患者さんをはじめ、医療従事者、医療機関の活動、そして附属病院を知り、そのうえで、医療の原点である患者さんの視点を現場で知ること、何が求められているかを考えます。

( <https://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2524167181/index.shtml?rep=1>)

10 ページ 2017年11月6日 閲覧

<参考：医学概論についての紹介ページ>

( [https://www.jichi.ac.jp/medicine/about/file/igakubukyouikuyoukou\\_h29.pdf](https://www.jichi.ac.jp/medicine/about/file/igakubukyouikuyoukou_h29.pdf))

94～95 ページ 2017年11月6日 閲覧

## ○埼玉医科大学

### ・良医への道

1年次から4年次まで段階的に続く重要なコースです。すぐれた臨床医となるために、豊かな人間性、幅広い社会的・国際的視野、探究心と科学的思考能力を備えた医師となる素地を養います。また、臨床推論力・臨床技能も修得していきま

す。

(<http://www.saitama-med.ac.jp/fm/pamphlet2018/index.html>) 27 ページ

2017年11月6日 閲覧

・特色あるカリキュラムとして、細胞生物学、人体の基礎医学、臨床入門が紹介されている

(同上 URL 31 ページ) 2017年11月6日 閲覧

### ○杏林大学

・入学後、臨床医学総論と医療科学という臨床医学に関する講義が開始されます。また、1年次の自然科学系科目も、医学と密接に関係する分野を基礎生命科学として講義・実習を行います。

1年次の後半から3年次の前半まで基礎医学、社会医学を学び、医師としての基本的知識を修得するとともに、医師に求められる姿勢や態度を学びます。

・第1学年（平成28年度以降のカリキュラムの概要）

高校時代に学習した生物や化学などの基礎科学の知識を発展させ、医学物理、代謝生化学、生体化学、医学統計学など、医学にかかわる科学の基礎知識を学習する。

同時に、医師に求められる基本的姿勢および知識を学ぶ。とくに医療科学では、「医療と文化」、「医療と社会」などの講義や「OSCE 患者体験」を通じて、社会が医師に求める姿勢・態度、そして患者から期待される医師像や医療のあり方を学習する。また、「臨床医学入門」や「病院実習」などを通して、先輩医師と交流しながら、医師のキャリアプランを考える。

それと共に「地域と大学」では、三鷹市の現状、我が国における医療システム・福祉システム等に関する講義・グループ学習・演習等を行う。

チュートリアル教育は、「与えられた課題からその背後に存在する問題、追求すべき問題点を見出し、必要な情報・資料を検索しつつ、解決に至る道筋を自ら見出す能力を育成する」ことを目的とした教育である。将来、医療の現場で様々な問題に遭遇した際、日々進歩する膨大な医学知識の中から適切な情報を抽出し、これを解決してゆくための方策を学ぶ。

分子生物学と肉眼解剖学の講義により、人体の構造の理解や生命の根源にせま

る学習することは、医学の基本的知識習得の第一歩を踏み出すことになる。

英語によるコミュニケーション能力は、医師はもとより、国際化の進んだ現代の社会人には、将来の活躍する世界を広げるために不可欠である。英語・医学英語 I では、その重要性に鑑み、学生を能力別に小グループに分け、それぞれの実力に合った演習型の講義を行う。

また、原則として金曜日は井の頭キャンパスで講義を行い、専門外の学問や他学部の学生と交流する機会としている。学問的関心により他学部に出向いて授業を受ける「他学部履修」の制度を利用することは、広い分野の学問を体験する好機でもある。大学生として深い教養を身につけるために、積極的に自ら考えて学ぶ姿勢が習慣となるように努めてほしい。

<参考：第1学年 平成27年度以前のカリキュラムの概要>

医師に求められる基本的姿勢および知識を学ぶ。とくに『医療科学』では「医療と文化」、「心理学」などの講義を通じて、社会が医師に求める姿勢・態度、そして患者から期待される医師像を学び取ることを期待する。分子生物学は生命の根源にせまる科学領域であり、また医学・医療の基本でもある。分子生物学を第1学年から学ぶことにより、医師としての基本的知識修得の第一歩を踏み出すことになる。

チュートリアル教育は、「与えられた課題からその背後に存在する問題、追求すべき問題点を見出し、必要な情報・資料を検索しつつ、解決に至る道筋を自ら見出す能力を育成する」ことを目的とした教育である。将来、医療の現場で様々な問題に遭遇した際、日々進歩する膨大な医学知識の中から適切な情報を抽出し、これを解決してゆくための方策を学ぶ。

英語によるコミュニケーション能力は、医師はもとより、国際化の進んだ現代の社会人には不可欠である。その重要性に鑑み、当医学部では第1、2学年において「英語」、また第3、4学年においては「医学英語」として、通算4年間の英語学習を必修化している。

・基礎医学を学びながら、臨床医学も早期に体験する。

( <https://pamphlet.adplat.jp/cs/api/document/get/7518500-0-1/pdf/pages.pdf> )

92 ページ 2017年11月6日 閲覧



<参考：プレチュートリアルⅡ（医学概論）の紹介>

（<http://www.kyorin-u.ac.jp/univ/faculty/medicine/education/subjects/pdf/ml.pdf>）

139～141 ページ 2017年11月6日 閲覧

※同上 URL は1年次のシラバスであり、1年次に受講する講義も記されている

○慶應義塾大学

・初期教育

医学部1年生、看護医療学部1年生、薬学部薬学科1年生を対象に日吉キャンパスで春に開催されます。「将来のチーム医療を見据え、チームワークの有用性を体験すること」を教育目標としています。

（<http://www.med.keio.ac.jp/education/undergraduate/ipe.html>）

（医療系三学部合同教育のページより） 2017年11月6日 閲覧

・1学年では、基礎教育科目として、外国語科目、人文・社会科学科目、基礎科学必修科目、医学基礎教育科目を履修し、医師や医学研究者に必要とされる幅広い教養、倫理観、科学的思考能力の基礎を養います。また、「介護者の見習い」という立場で、医療現場を体験できるEEP（Early Exposure Program）を行っています。医療者の日々の仕事や思いを理解し、患者さんに寄り添うことを体験し、医療を学ぶ心構えを身につけ、医学へのモチベーションを高めます。

（<https://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2045823971/index.shtml?rep=1>）

52 ページ 2017年11月6日 閲覧

・EEP（Early Exposure Program）

医学部入学後の早期に医療現場を体験できる実習として、1学年にEEPという独自の授業を設けています。

夏休み期間中の約1週間のグループ実習で、老人医療施設や重症心身障害児施設、リハビリテーション施設などで「介護者の見習い」としての実習を行います。医療現場で直接患者さんと接する体験や医療スタッフの仕事を実地に体験することで、医学・医療を学ぶ心構えを身につけるとともに、学習への意欲を高め、

医師としてのあるべき姿を考えさせることを目的としています。

・慶應義塾大学医学部におけるプロフェッショナルリズム教育

メディカルプロフェッショナルリズムⅠ（1学年）

倫理学、法学、心理学の基礎を学ぶことを通して人間に対する深い理解を目指します。

○順天堂大学

・最先端のICT教室で学ぶ

1年次の終盤から本郷・お茶の水キャンパスに移ると、いよいよ医学専門教育が始まります。教育棟であるセンチュリータワーにはICTを駆使した最先端の教室が完備されており、ICTを活用した授業が行われています。

・1年次は、全員がスポーツ健康科学部のあるさくらキャンパス(千葉県印西市)の学生寮「啓心寮」で共同生活を送ります。これは開学以来変わらない順天堂の伝統です。考え方も趣味も嗜好も違う学生が、学部の垣根を越えて交流することで、他を思いやる温かい心や協調性が育まれます。

それが、本学の目指す「良き医師」への糧になり、学部を越えて得られる人間関係は卒業後も継続され貴重な財産にもなります。そして、この1年間で広く一般教養を修め、病院実習・看護実習・施設実習といった早期体験実習を通して、医師とは何か、医学とは何かを深く学ぶ上での基礎固めを行います。

・カリキュラムポリシー

1. 科学的根拠に基づいた医学・医療・研究を行うための体系的な知識と確実な技術を身に付けるため、1年次に少人数による特定の課題を議論と思考で進めるPBL(problem based learning)を行い、全学生のモチベーション及び課題探求力・分析的評価能力を向上させる場を提供します。1年次後半以降の専門科目においては、生命科学、基礎医学、臨床医学を関連づけ、体系的に学び、医学への探求心を養うため、臓器別・病態別の統合型カリキュラムを採用します。

3. 常に相手の立場に立って物事を考え、人間として、医療人として他を慮り、慈しむ心、即ち学是「仁」の心を涵養するため、1年生全員を学生寮に約1年間入

寮させ、集団の中での個の確立と、学是「仁」の涵養を寮生として実践実習します。

<参考：1年次のシラバスの各項目が記されたページ>

(<http://www.juntendo.ac.jp/med/med/syllabus01.html>) 2017年11月6日  
閲覧

○昭和大学

・カリキュラムの特徴

1年次 医学とは何かを身をもって知り豊かな人間性を養う

医療・福祉施設の現場を小グループに分かれて見学・体験します。現場で働く医師や看護師、医療スタッフ、そして患者さんを自分の目で見ること、学習への意欲を高めます。事前にグループ討論で見学ポイント・目的を整理し、終了後は体験内容について報告会で発表。

グループワーク形式により、一人ひとりが問題意識を持つとともに、コミュニケーション能力を身に付けます。その他にも医化学実習では採血シミュレーション(腕の模型)を使った採血練習を行うなど、2年次から始まる専門科目に向けた貴重な体験学習です。

・カリキュラム・ポリシー

1. 初年次の富士吉田教育部では、全寮制教育と学部連携教育(歯学部・薬学部・保健医療学部)により、多職種連携医療に必要な広い視野で考える能力を身につけるとともに、豊かな人間性を涵養する。

その成果はレポート、グループワークへの参加態度、ポートフォリオで評価します。

([http://www.showa-u.ac.jp/about\\_us/disclosure/frdi8b0000002hoh-att/a1492672156779.pdf](http://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/frdi8b0000002hoh-att/a1492672156779.pdf)) 1ページ 2017年11月6日 閲覧

4. 1年次から4年次では、少人数によるPBLチュートリアルを積極的に取り入れることで能動的に自ら問題を発見し解決する能力を身につけ、修得した知識をグループメンバーの前で発表するプレゼンテーションスキルを修得します。この成果は、グループワークへの参加態度、ポートフォリオにより評価します。

(同上 URL 1 ページ) 2017 年 11 月 6 日 閲覧

・専門領域への前段階として基礎科目を中心に「医学とは何か」に始まり、基礎をしっかりと学びながら、医療人としての豊かな人間性を養います。4 学部の学生が連携して学ぶ「チーム医療」学習も展開されます。

( [http://www.showa-u.ac.jp/about\\_us/disclosure/frdi8b0000002hoh-att/a1504612272883.pdf](http://www.showa-u.ac.jp/about_us/disclosure/frdi8b0000002hoh-att/a1504612272883.pdf)) 2017 年 11 月 6 日 閲覧

#### ○帝京大学

・医師としての基礎となるコミュニケーション能力を身につけていきます。また、後期からは正常な身体について、構造・機能など概要の理解をめざす基礎医学の学習を開始。

<参考：各学年における学習のポイント（医学部のシラバス 1 年生より）>

( [https://www.teikyo-u.ac.jp/faculties/syllabus\\_igakuka\\_2017\\_01.pdf](https://www.teikyo-u.ac.jp/faculties/syllabus_igakuka_2017_01.pdf) )

12～13 ページ

2017 年 11 月 6 日 閲覧

※23 ページの次のページから 1 年次履修科目のシラバス

#### ○東京医科大学

・カリキュラム

第 1 学年

人文・社会・自然科学系科目、自然科学系科目、外国語科目、医学関連科目 に大別され、さらに分野ごとにそれぞれ説明がある（分量が多すぎるため省略、HP 内ですが一応 URL を載せますので、こちらを参照してください）

(<http://www.tokyo-med.ac.jp/med/curriculum/index.html>) 2017 年 11 月 6 日 閲覧

#### ○東京慈恵会医科大学

・カリキュラム詳細

生命基礎科学

生命現象を理解するための自然科学（生物学、物理学、化学）の統合カリキュ

ラムです。生命の物理学、生体分子の化学、細胞の生物学を学びます。1年生前期には、これらのユニットを学習するためのサポートとして、自然科学入門演習というユニットを用意しています。高等学校までの教育で不足している分野の補習を行いながら、臨床医学の基盤をなす自然科学を理解しやすいようにカリキュラムが組まれています。

#### 外国語 I～IV

1年生から4年生まで横断的にコースが組まれています。1年生では一般英語と初習外国語、2年生以降では一般英語と医学英語が組まれています。英語教育は少人数クラス編成（10名程度）で行われ、学生の能力に合った学習を行います。3年生以降では、医学の代表的な教科書、医学雑誌を医系教員とともに講読したり、臨床場面を想定した医療英会話の演習をしています。グローバルスタンダードとしての英語力を身につけます。

#### ・カリキュラム・ポリシー

1. 初年時は、総合教育で人間性や倫理観とともに、一人ひとりの人間の多様性を受け入れて理解することを学び始めます。それは高学年まで続く医学総論や学外実習でより実践的に修得され、さらに臨床実習での患者中心の医療の体験へと続きます。継続的に能力が伸びていることを、実習での態度、ポートフォリオやレポートで評価します。

また初年時から少人数でのグループ討論、演習、実習を多く取り入れ、自律的な学修習慣を涵養します。

2. 国際社会とのつながりを持てるよう、英語教育は1年次から4年次まで縦断的にコースが組まれている他、希望者は海外での実習も可能です。

科学的思考力や判断力は、1年次生命基礎科学（中略）でその基盤を身につけた後、臨床現場で自分の学修課題を見出して解決する能力へと活かされます。

4. 本学のカリキュラムはコース・ユニット制で構成されており、基礎系臓器別統合カリキュラムと臨床系臓器別統合カリキュラムの2巡構造によって、基礎医学の知識を臨床医学と社会医学に活用できるように構築されています。

1年次の情報リテラシー（中略）の場でEBMを実践できるような能力を涵養して

います。

コミュニケーション能力は1年次のグループ演習や日本語表現法から始まり、臨床実習の場で活かせるように学年ごとに段階的にカリキュラムが組まれています。

5. 医師としての適切な態度と行動を身につけるために、1年次から医学総論、学外実習で常に省察とフィードバックの機会を設けており、臨床実習まで継続的な成長を促すようなプログラムです。(中略)

変化し続ける医療ニーズを体感するため、学外実習で1年次から種々な臨床現場体験を提供しています。

・本学では通常の臨床実習に加えて、1年生から毎年、医療関連施設での実習を行うなど、職業意識を身につける実践的なカリキュラムを導入することで、現場で通用する医療人を育成しています。

(受験生の皆さんへ 学長からのメッセージより)

<参考：1年次のシラバスあり>

(<http://www.jikei.ac.jp/shirabasu/data/igaku/viewer/docexplor.htm#dir100>)

2017年11月6日 閲覧

○東京女子医科大学

・医学部カリキュラム

セグメント1-3

第1学年に入学してから第2学年前半までの3つのセグメントは人間の基本的構造と機能を学ぶ教育単位である。学生の学ぶ視点に立って、セグメント1は人の最小単位である細胞、セグメント2は臓器・器官(中略)を学ぶ構成になっている。

・第1学年～4学年における臨床・実践研修

第1～4学年でも授業や実習で学んでいることがどのように臨床と関係するか、あるいは実際に知らずに漠然と考えている臨床の姿が実際はどうかを、

様々な機会を通して実践で学ぶ。人間関係教育の中では、外来患者付き添い実習（第1学年）（中略）等がある。

#### ・協働教育

医療は医師、看護師だけでなく病院内・院外の様々な医療専門職が協働して行われる。医療の実践を学ぶには、医療における協働について理解しなくてはならない。協働を体得するために医学部・看護学部合同の学習機会が第1～5学年の間に設けられている。

#### ・チュートリアル

1学年から4学年まで講義・実習とともにチュートリアルが行われ

([http://www.twmu.ac.jp/journal/digital\\_igakubu/HTML5/pc.html#/page/8](http://www.twmu.ac.jp/journal/digital_igakubu/HTML5/pc.html#/page/8))

2017年11月6日 閲覧

#### ・臨床・実践研修

授業で学んでいることがどのように臨床と関係しているかを、1学年からさまざまな臨床見学や実習を通して学んでいきます。

(同上 URL) 2017年11月6日 閲覧

#### ・共同教育

本学では、「チーム医療」(協働)を体得するために、医学部と看護学部が合同で学習する機会を設けています。例えば、1学年では医学部・看護学部の交流実習(中略)などがあります。

(同上 URL) 2017年11月6日 閲覧

#### ・1学年

1学年前期(セグメント1)は、「人体の基礎」を中心テーマとして人体、細胞、物質レベルで生命現象の基礎知識ととらえ方を学びます。後期(セグメント2)には「人体の機能と微細構造」を中心テーマとして学び、人体の防御機構を含む本格的な医学の統合的学習をスタートします。生理学学習の一環として、TBL(Team-based learning)の授業を設けているのが大きな特徴です。

([http://www.twmu.ac.jp/journal/digital\\_igakubu/HTML5/pc.html#/page/14](http://www.twmu.ac.jp/journal/digital_igakubu/HTML5/pc.html#/page/14))

2017年11月6日 閲覧

・第1学年は、医学生としての学び方を修得し、医学の基本を学ぶ学年である。人間の構造と機能、ひとのこころ、医学・医療が包含する幅広い自然科学、人間科学を学ぶ。6年間の学修の全体像の中で、最初の1年間に何を学ぶべきかを認識し、自分の将来像を描きながら学修して欲しい。

(シラバス 序言 (学長) より)

(<http://www.twmu.ac.jp/doc/about/corporation/29/h29-syllabus1-1.pdf>)

6 ページ

2017年11月6日 閲覧

※この URL は前期のシラバスであるため、それぞれの分野についての説明もある

・カリキュラムの構造

医学部カリキュラムの全体構造は、初めに人体の基本構造と機能を2年前期までに学び

(同上 URL 22 ページ) 2017年11月6日 閲覧

<参考：1年次後期のシラバス>

(<http://www.twmu.ac.jp/doc/about/corporation/29/h29-syllabus1-2.pdf>)

2017年11月6日 閲覧

○東邦大学

・医学部ではテュートリアル方式の科目は1～4年次まで設定されており、生涯学習の基盤となる問題発見解決能力がスムーズに養われます。

・医療現場において患者さんの立場に立った、“正しい判断”ができる医師を育成するため、医学科では1～6年次に「全人的医療人教育」というユニークな科目を設置しています。

・1年次カリキュラム

1年次では、自然科学系科目の知識を整理し、情報科、国際化に対応できる基礎



力を学ぶとともに、基礎医学の基本を学びます。

医学教育準備科目 基礎医学科目 人間性教育科目

・学外合宿研修として「フレッシュマン・キャンプ」が実施されています。これは、新入生が全員参加するオリエンテーションであり、毎年入学後すぐの4月に2泊3日で学外の施設にて行われています。（この詳細について記載があるが省略）

<参考：1年次のカリキュラム（講義）の一覧とその概要のリンクが示されたページ>

<http://ep.med.toho-u.ac.jp/syl17/ml.htm> 2017年11月17日 閲覧

・選択科目

1年次から4年次までの週1日、水曜日が選択科目の日にあてられています。

<参考：選択科目の一覧とその概要のリンクが示されたページ（1・2年次）>

<http://ep.med.toho-u.ac.jp/syl17/16sentaku.htm> 2017年11月17日 閲覧

・1年次 幅広い学びで視野を広げる

1年次の医学準備・基礎医学統合科目では講義と実習がリンクしています。（中略）また、自然科学や、人文科学、語学など幅広い科目を学びます。

<http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2171543078/index.shtml?rep=1>

12ページ 2017年11月17日 閲覧

○日本大学

・一般教育・基礎医学（1年次）

一般教育と基礎医学とが融合したカリキュラムを展開し様々な角度から理解を深め、臨床医学を学ぶうえで必要な知識を貯えることができます。「自主創造の基礎1」では、学修を進める上での基礎を養い、専門家の指導をもとに場面に応じたコミュニケーションの理解を学習し、医学生として誠実な態度に基づく他

者とのかかわりの重要性を学びます。また、「自主創造の基礎2」では、「自主創造の基礎1」で学修した内容をもとに実際に医療現場に趣き、医学生としての自覚を持った基本態度を形成します。

・一般教育（1～2年次）

生物・物理・化学や英語といった科目が中心となります。しかし、受験を終えたばかりの1年生の中には、高校での履修科目や受験科目の関係上、物理又は生物を履修しなかった学生並びに物理又は生物を苦手とする学生がいます。このような学生のために「基礎物理学」「基礎生物学」を設置し、今後の医学教育をスムーズに対応できるよう配慮されたカリキュラムを構築しています。

・基礎医学（1～3年次）

人体の基本的な構造・機能を学びます。生理学、解剖学といった専門分野ごとに分割して学ぶのではなく、有機的に結合して学べるカリキュラム（基礎医学系ブロック講義）が構築されています。

・1年次ではいわゆる一般教育科目に加えて、医師としての使命感・倫理観などを涵養する初期動機づけとして「医学序論」を配置し、学内外の講師を招いて医療の現状などを学ぶとともに、小グループ制によるセミナーで個別の指導を行う。また、学外の医療・保健・福祉施設の協力を得て、「社会体験学習」プログラムを実施している。

<参考：医学部の教育課程の概要> ※上記のものは医学部医学科

・1年次では、一般教育科目と基礎医学との融合を図り、様々な角度から基礎医学の理解を深め、高学年の臨床医学を学ぶ上で必要な知識を蓄える。さらに、「自主創造の基礎1・2」では、場面に応じたコミュニケーションの理解を学修し、介護・福祉・接遇等に関わる専門家の指導を受け、医学生として誠実な態度に基づく他者との関わりの重要性を学ぶプログラムを実施している。

(<http://www.med.nihon-u.ac.jp/gaiyou/education.html>) 2017年11月17日 閲覧

<参考：特色ある教育> ※医学部全体についての説明

・医学英語教育

1年次～6年次まで一貫した医学英語教育を実践している。実践的な英語を使える医師の育成を念頭に、卒業時に「英文の医学文献を読める」「英語で医療面接（診察）ができる」という2つのスキルを身に付けることを目標としている。

・1年次ではいわゆる一般教育科目に加えて、理論・実践の両面から医学・医療について学ぶ機会を与え

・1年次では一般教育科目とともに「医学序論」・「自主創造の基礎1・2」を配置し医師を目指す者としての使命感・倫理観を学ぶことに加え、自主的に考え学習していく姿勢を育み

す。1年次後期からは基礎医学を学問体系別に集約して効率よく学習します。

([http://www.med.nihon-u.ac.jp/resource/pdf/kyouiku/curriculum28\\_2.pdf](http://www.med.nihon-u.ac.jp/resource/pdf/kyouiku/curriculum28_2.pdf))

2017年11月17日 閲覧

・1・2年次においては、良き臨床医・医学者になるために必要不可欠な一般教育および 医学専門教育に必要な基礎的教育を学習します。

(同上 URL) 2017年11月17日 閲覧

・1年次

入学したばかりの1年生は、基礎医学、臨床医学などの本格的な医学を学ぶ機会は少なく（中略）しかし、本学部は、一般教育科目と基礎医学とが融合したカリキュラムによって、さまざまな角度から理解を深め、臨床医学を学ぶうえで必要な知識を蓄えることができます。さらに、「自主創造の基礎1」では、学修を進める上での基礎を養います。場面に応じたコミュニケーションの理解を学修し、介護・福祉・接遇等に関わる専門家の指導を受け、医学生として誠実な態度に基づく他者とのかかわりの重要性を認識します。「自主創造の基礎2」では、「自主創造の基礎1」で学修した内容をもとに実際に医療現場に赴き、医学生としての自覚をもった基本態度を形成することができます。また、キャリア教育の講義により6年間における主体的学習目標と各自が目指す将来像を明確にできます。「医学序論」では、「自己開発型教育」実践のために、学生3～4人が1グループとなり、教授・准教授の先生とフリーディスカッションを交わす「スモー

ルグループ・セミナー」を行っています。課題となるテーマは、講義で学んだ内容が課され、実践と理解を繰り返し、知識の定着を図ります。

※「自主創造の基礎」は全学共通初年次共通科目

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2762182095/index.shtml?rep=1>)

5 ページ 2017 年 11 月 17 日 閲覧

・医学序論・自主創造の基礎 2

医師・医学研究者としての職業観を培い、医師となる者としての自覚を確立します。「医学序論」では、学内外の講師による医学・医療のトピックスについての講義で、生命の尊厳や医師の使命についての理論・実践の両面から学びます。「自主創造の基礎 2」では、医療・福祉・保護施設などの実際の医療現場で医師としての職業意識を身につけます。また、医療現場での言葉遣いや対応の仕方など基本的な接遇マナーについても、専門のインストラクターによるトレーニングの機会を設けています。

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2228368038/index.shtml?rep=1>) 126 ページ 2017 年 11 月 17 日 閲覧

○日本医科大学

・1 年次の教育課程（授業科目）の一覧とその概要

( <https://www.nms.ac.jp/college/medicine/curriculum/course/1grade.html#igakucari>)

2017 年 11 月 17 日 閲覧

※HP 内ですが一応 URL を載せますので、こちらを参照してください。

・1・2 年次から医療現場や介護老人保健施設、リハビリ施設などを訪れて医療の現場を体験したり、医療手技の練習ができるクリニカル・シミュレーション・ラボにおける学習や、模擬患者さんが参加する医療面接の授業など、臨床につながる教育プログラムが充実。

( [https://www.nms.ac.jp/college/nyushi/admission/pdf/annnai\\_2018.pdf](https://www.nms.ac.jp/college/nyushi/admission/pdf/annnai_2018.pdf))

18 ページ

2017 年 11 月 17 日 閲覧

- ・基礎科学

医学の専門的な学びの基盤となる基礎科学の知識を網羅的に身に付け、柔軟な応用力や科学的思考力を養います。さらに医師・医学者としてのあり方に真摯に向き合う「特別教育」を1年次に実施。医学を学ぶ目的を明確にし、強い意志と高い理想、豊かな人間性を育みます。

(同上 URL 29 ページ) 2017年11月17日 閲覧

- ・1年次の「特別教育」では、病と死について考えて医師・医学者としての使命感を養う「特別プログラム」や、1年次から医療現場を見られる「医学実地演習」など、特色ある科目を数多く開講。

(同上 URL 31 ページ) 2017年11月17日 閲覧

- ・1年次後半から3年次前半の基礎医学では、生物としてのヒトの構造、機能、病態や薬物治療の考え方を学び、法律や環境など多様な視点を踏まえつつ、現代社会における医療人としての知識と自覚を身に付けます。

(同上 URL 33 ページ) 2017年11月17日 閲覧

<参考：「医学概論」のシラバス>

( [https://cmjl.nms.ac.jp/portal\\_nms/slcssbdr.do?value\(risyunen\)=2017&value\(semekikn\)=1&value\(kougicd\)=11A100200B&value\(crclumcd\)=SB11100000](https://cmjl.nms.ac.jp/portal_nms/slcssbdr.do?value(risyunen)=2017&value(semekikn)=1&value(kougicd)=11A100200B&value(crclumcd)=SB11100000) )

2017年11月17日 閲覧

※他の科目もシラバスで検索可能

○北里大学

- ・人間性豊かで、優れた医師の養成

患者さんに寄り添い、優れた医師を養成するため、入学して間もなく病院体験当直を行い(中略)人間性の涵養やコミュニケーション能力の向上を目指しています。

(学部長のメッセージより)

- ・1年次

入学後すぐに実施される「病院体験当直」や専門科目の履修をとおして、医師をめざす者としての自覚を育みます。同時に広い教養と見識を養うための学びとして、充実した教養科目を開講しています。

#### 病院体験当直で現場を知る

第一線の医学に触れ、生命を預かる医療の現場を体験する「病院体験当直」を入学してすぐに実施。医師をめざすことの目的意識を早い時期から自覚させるとともに、その熱意を大切に育みます。

#### 教養科目で広い視野と人間性を身につける

人間形成の基礎を学ぶための一般教育科目のほか、自由選択科目など幅広い分野にわたる知識を身につけます。専門知識や技術の修得のみに偏ることなく、幅広い教養と見識を養います。

#### 専門科目の基礎を学ぶ

医学の歴史、役割、倫理などさまざまな視点から医学を考察する「医学原論」をはじめ、「医用化学」「タンパク質化学」「細胞生物学」などを履修。1年次から専門科目を学ぶ独自の「6年一貫教育」が始まります。

#### 試験前にゆとりを持って学ぶ

膨大な知識の詰め込み教育に偏らないよう、時間的な配分にも配慮。ゆとりを持って学習できるように、試験の直前には自習週間を設けています。

#### ・カリキュラム・ポリシー

##### 1. 教養教育と初年次からのチーム医療教育とプロフェッショナリズム教育

医学原論では、人間の尊厳、医療者の責務など、医学生が将来直面する可能性の高い事柄について思考を深め、倫理観やプロフェッショナリズムを涵養します。また、医学原論演習として、獣医学部附属フィールドサイエンスセンター八雲牧場（資源循環型畜産）や学祖北里柴三郎博士の故郷熊本県阿蘇郡小国町における実習を通じ、いのちに対する真摯な姿勢を養っていきます。

さらに、早期体験学習として、大学病院体験当直や一次救命処置など、医療者としての視点に立って感じ、考え、身に付けるべき技術を学ぶ機会を1年次より

設けている

## 2. 基礎医学から臨床医学へ

医学的知識と技術の修得は1年次より開始されます。基礎医学では、科目相互に関連を持ちながら、段階的に知識を習得する“らせん型カリキュラム”として編成しています。

1年次から2年次にかけて人体の正常の構造と機能を学ぶ科目が配置され

## 3. 学年の壁を越えて段階的に学ぶ科目の設定

基礎医学・臨床医学はもちろん、社会医学においても学年を跨いで科目を設置し、科目相互に連携をとる構成としています。例えば、1年次・3年次で医療安全・管理学が開講されます。(中略) また、診療の基礎となる医療面接については、1年次の早期体験学習でのコミュニケーション(中略)他の科目の知識と連動して段階的に学ぶことで、より効果的にコミュニケーション能力を習得できるカリキュラムとなっています。

1年次の医学原論、早期体験学習及び3年次の内科学総論では、ライフイベントを意識したキャリアデザインを考える機会を設けています。医療のグローバル化に対応し、国際貢献できるよう、1年次から3年次までのネイティブスピーカーを含む実践的な医学英語教育により、英語での基本的な診療や文献読解の力を養っていきます。

### ・病院体験当直

1年次に救急内科、外科、小児科で実施する病院体験当直。緊張感に満ちた医療の現場に身を置き、医師としての心構えや目的意識を養います。

### ・1年次

1群科目(人間形成の基礎科目、教養演習系、外国語系、数理・情報系、自然科学系)に加えて、2群科目(医学原論、医用化学、細胞生物学など)を学びながら専門の基礎を築きます。

[おもな開講科目]

医学原論／医学原論演習／医用化学／遺伝子学／細胞生物学

・早期体験実習

未来の医師としてふさわしい態度や思考を身につけるため、多職種・他職種の仕事を学ぶ実習が、1・2年次の早期体験学習です。北里大学の4病院のほか、地域医療を担う県内外の医療施設、介護施設、精神保健福祉施設や保育施設など複数の提携先で、命を支える現場の職員の方々に1日密着して学習します。2種の施設に週1回、4週ずつ通い、チームワークの重要性を体験、自らを振り返り、気づきと自覚を高めます。

(<http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2493960668/index.shtml?rep=1>)

6 ページ 2017年11月17日 閲覧

・北海道八雲牧場実習・熊本県小国町農村実習

夏休みに行われる医学原論実習です。学生は「北海道八雲牧場（獣医学部附属施設）」又は「熊本県小国町の農村（学祖の故郷）」で3泊4日を共に過ごします。八雲では牛がのびのびと放牧される環境保全型畜産の取組みから命と健康を学び、小国では滞在農家で地産地消の家庭料理をいただきながら地域医療に思いを馳せます北里柴三郎生家も見学します。他に「倫理演習（相模原で3日間）」も用意されており、1年次から総合大学ならではの特色ある実習を選択することができます。

(同上 URL 6 ページ) 2017年11月17日 閲覧

<参考：第1学年の医学部専門科目>

(<http://med-kitasato-u.websyllabus.jp/>) 2017年11月17日 閲覧

※シラバスへのリンクあり

・1年次

新入生を対象に「病院体験当直」を実施。

(<http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2493960668/index.shtml?rep=1>)

21 ページ 2017年11月17日 閲覧

広い教養と見識を身につける一般教養科目のほか、自由選択科目など幅広い分



野にわたる知識を学びます

(同上 URL 21 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

1 年次から専門科目を学ぶ独自の「6 年間一貫教育」がスタート。(中略)「医学原論」をはじめ、「医用科学」「タンパク質化学」「代謝学」「遺伝子学」「解剖・発生学」などを履修します。

(同上 URL 21 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

### ○聖マリアンナ医科大学

・医師になるという熱意に応えるために、1 年次から専門教育が始まります。まず学生は入学後すぐに「早期体験実習」を経験し、医療の現場における緊張感に触れ、医師を目指す者としての自覚を身につけます。また、専門教育科目はユニット型科目とシリーズ型科目に分かれ、ユニット型科目では各臓器の構造と機能、主な疾患の病因・病態生理・症候・治療などについて 1 週間を 1 ブロックとして集中型系統的講義を行います。さらに基礎系実習、臨床実習など特色あるカリキュラムが用意されています。

#### ・早期体験実習

「キリスト教的人類愛に根ざした生命の尊厳」をより具現化するために、人の一生と医療との関わりを学ぶ学外早期体験実習“Early Exposure to Life Cycle”を実施しています。学生たちはマタニティークリニック、幼稚園、病院・診療所、高齢者施設で実習を行い、医学生に必要なコミュニケーション能力と人間関係の重要性を理解し、相手の話に耳を傾け、考えや気持ちを受け止めることの大切さを理解します。

#### ・マタニティークリニック

生命が誕生する場であるマタニティークリニックでの実習では診察を見学し、妊娠確認後における健康管理や保健指導、妊婦さんやご家族に対する医療従事者の配慮を学びます。さらに、出産に立ち会い、生命の尊さを考える貴重な機会となっています。

#### ・幼稚園

幼稚園実習では、子どもたちを受け入れる朝の準備から、帰った後の掃除まで先生と同じ業務を体験します。学生は、子どもの基本的な行動原理の理解に努め、自分のやるべきことを判断します。同時に診察・診療以外での子どもの生活も考えられる医師になることを目指します。

#### ・病院・診療所

病院・診療所実習では、患者さんへの理解と共感を深めることを目的に、診察の見学や患者さんの付き添いなどを行います。医師と医療従事者、そして患者さんとのコミュニケーションのあり方を観察し、自らが加わることで医学生としての明確な目的意識や高い倫理観を育みます。

#### ・高齢者施設

高齢者施設実習では、介護サービスの機能と役割、高齢者の生活、職員間の連携体制などを学びます。学生たちは施設のスタッフから指導を受けながら、入浴予定者のバイタル測定、入浴着脱衣介助などを実施。また、高齢者との会話を通して、コミュニケーションにおいて「受け止める大切さ」も学びます。

・1～4 学年の選択科目の「総合教育科目」は語学、人文、社会科学、医療系科目まで幅広い分野から構成されています。

#### ・学内早期体験実習

学生は1 学年後期から始まる学外早期体験実習「Early Exposure to Life Cycle」に先立ち、入学して間もない時期から主に大学病院での様々な実習を行います

( [https://www.marianna-u.ac.jp/univ/ent\\_info/pdf/pamphlet\\_2018.pdf](https://www.marianna-u.ac.jp/univ/ent_info/pdf/pamphlet_2018.pdf) )

10 ページ

2017 年 11 月 17 日 閲覧

#### ・救急車同乗実習

学生は消防署に待機し、出動要請があると救急車に同乗して現場に向かいます。実習中に市民救命士の講習も修了するため、心臓マッサージや AED の操作といった貴重な体験をする機会もあります。

(同上 URL 10 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

・病棟看護実習

学生が看護師と共に行動し、業務を体験することにより看護師の患者さんへの接し方を学びます。

(同上 URL 10 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

・1～4 学年に社会医学系の各科目、知的学びの技能である「アカデミック スキルズ」が配当されています。

(同上 URL 11 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

・ブロック TBL (チーム基盤型学習)

1～3 学年のブロック型科目では、学んだ学習内容に関する課題を、翌週月曜日に少人数グループで議論し、解決するブロック TBL (チーム基盤型学習) を取り入れています。

(同上 URL 15 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

・EMS English for Medical Science

1～4 学年において、各学年 1 クラス約 30 人の少人数制で世界で通用する英語力を修得します。

(同上 URL 16 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

・1～4 学年の選択科目の「総合教育科目」は、語学、人文・社会科学、医療系科目まで幅広い分野から構成されています。

(同上 URL 18 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

・学外早期体験実習

学外早期体験実習 (Early Clinical Exposure to Life Cycle) では、本学の教育理念である「キリスト教的人類愛に根ざす生命の尊厳を基調とする医学教育の実践」を目指すカリキュラムが展開されます。1 学年前期は大学病院内で見学実習を行い、医療の現場に内在する倫理的、社会的、医学的諸問題と直面し、医師に必要な人格形成の修練を自ら行っていくための動機づけとなるようカリキ

ュラムを組み、後期は学外施設のマタニティクリニック、幼稚園、病院・診療所・クリニック、高齢者施設での実習を行い、人の一生と医療の関わりを学ぶとともに、地域における医療・介護・福祉・保健に関心を持つことを目標とします。

(同上 URL 19 ページ) 2017 年 11 月 17 日 閲覧

<参考：授業科目、授業の方法及び内容並びに年間の授業計画―医学部>

(<http://www.marianna-u.ac.jp/houjin/gaiyo/gaiyo02/017231.html>)

2017 年 11 月 17 日 閲覧

※1 学年の講義の概要を示したリンクあり

○東海大学

・ 1 年次

一般教養や「医学英語」など、医学を学ぶ上での基盤と「解剖実習」や「生理学」など人体の構造や機能を学びます。

・ 医学英語教育の充実・国際的教育

1 年次から海外の大学で使用されているテキストブックを用いて、スモールグループによる基本的な医学英語を学ぶ。

・ 1 年次

一般教養や医学英語などの学習と共に、病院内の様々な部門で実習を行い、医療の実際を経験する機会を設けるなど、本格的な医学知識・技能を学ぶ前の基盤づくりを行います。

・ 1 年次

湘南キャンパスにおける週 3 日間の「一般教養」と、伊勢原キャンパスにおける以下のような授業を通して、幅広い人間性と医学学習の基盤を養います。

医学英語

英文の医学教科書を使い、少人数学習をします。この授業を通して、医学の全体像を把握すると同時に、医用英語に慣れ親しみます。

## 人間関係学(1)

NHK アナウンサーを講師に招き、言葉遣いなどのマナーを学ぶ特別講義を実施します。伝わる言葉、適切な態度などについて気付きを促します。

## 人間関係学(1)／個別体験学習

人間関係学(1)の初期病院研修では、医学的な知識をまったく持たない状態で高度救命救急センターで医療現場の見学実習をします。また、個別体験学習では、3週間にわたって付属病院の外来、救急当直、看護部門、検査部門、事務部門などの部署や研究施設に順次配属され、日常業務を体験します。病院業務の現場に実際に身を置き、それぞれの部署で働くスタッフの業務を知る事で、各部署の視点から医師の立場や役割などを見据え、医師に求められる要件をより深く理解する事ができます。

## 学生ワークショップ

「良医とは何か」について、KJ法などの情報整理や論理的思考の方法を駆使し、またグループでの討議などを通して各々が考え、医師の目的を再確認する研修会です。

### ・ワークショップとは

1年次の最後に3日間の研修会として行われるワークショップです。学生たちは5、6人ずつ1組に分かれ、それぞれに4～6年の在学生によるサポートスタッフや教員が加わり、1つのグループとします。そのグループ単位で「良医とは何か」をディスカッションしていきます。

### ・1年次

一般教養や医学英語、医療情報学など、医学知識を学ぶ基盤を身につけるとともに、解剖実習などの医学の基礎を学ぶ

( <https://pamphlet.adplat.jp/cs/api/document/get/4845900-3-40/pdf/pages.pdf> )

4 ページ 2017年11月17日 閲覧

○金沢医科大学

・医学部では第1学年から第3学年で早期臨床体験実習を導入

・医学部の基礎教育科目においては、初年次教育の柱として「大学基礎セミナー」(科学的思考ができるようになることをめざす)、「アカデミック・スキルズ」(資料収集、議論、レポート作成・発表方法を身につける)、「クリティカル・シンキング」(文章の論理構造を把握し、批判的思考力を身につけ、学術文献読解の土台を作る)、および豊かな人間性を育む土台として「総合人間科目」(自然や文化、思想等様々な領域から選択して学び、広い視野に立って総合的に考え行動する能力を養うことをめざす)や「ドイツ語」等、また専門準備科目においては、「生命の科学」や「医療と社会」、統計、医学英語等を通して、受動的学習から能動的・主体的学習への転換をめざすとともに、専門での学びの土台、生涯学習の基礎作りを行っています。

(一般教育機構長の言葉より)

・カリキュラム・ポリシー

2. 「倫理に徹した人間性豊かな医療人」の育成のために6年間を通して、倫理教育のためのカリキュラムを編成します。第1学年では、複数のカリキュラムの中に、「倫理教育」基盤形成の講義・演習を組み入れます。

3. 初年次においては、医学生ならびに社会人としての基盤形成をすることを主眼に、次の目標を掲げます。

○一般教育科目の教育目標

学生は「良き医療人に必要な自立と自律の獲得」のために、次の事項を身に付けることを目指します。

- i. 豊かな人間性と多様な考え方
- ii. 主体性と自己管理能力
- iii. コミュニケーション能力
- iv. 論理的・科学的思考能力
- v. 知的好奇心と自己開発への意欲

これらの目標を達成するために「基礎教育科目群」と「専門準備科目群」を準備し、「基礎教育科目群」には次のようなカリキュラムを編成します。

テュートリアル形式のグループ討論の中で学生自ら問題を発見し考え解決する

能力を養う科目や、コミュニケーション能力を高め、学術文献を執筆するトレーニングをする科目、発問する力を養い、自分の考えを論理的に表現することを練習する科目を開講し、学生の創造的思考力の涵養をはかります。また、コンピュータの実習を通して情報の収集および処理能力の基礎を養う科目や、自己の健康・体力に対する認識を深め、生涯にわたって自主的に健康・体力づくりを実践する能力や態度を高める科目を開講します。総合人間科学科目では、様々な分野の授業を通して多様な考え方に接し、豊かな人間性と倫理観を備え、広い視野に立った感性を培う科目として編成します。

「専門準備科目群」では、専門科目の修得、ならびに医療・医学研究に必要なとなるツールの習得に関する基盤形成を目的として、生命科学、統計学、倫理学、心理学、社会医学などを学び、これらを通じて、医学生としての能動的・主体的学習能力を涵養するとともに、生涯学習の基礎作りを行います。医学英語では、医学・医療に携わる者として、生涯にわたり英語を活用し地域および国際社会で活躍する基礎を作るために、総合的英語運用能力の向上と医学・医療のための英語の習得を目指し、第1学年から第4学年まで開講します。

4. 基礎医学の専門教育科目は第1学年次後期から第2学年で学習します。

7. 医療福祉体験実習、看護体験実習、救急車同乗体験実習、在宅訪問医療同行実習および多職種連携臨床実習と様々な体験実習を第1～4学年の各学年に導入します。

・医学教育のための情報処理学習

第1学年に「情報の科学」を導入しており、学生がコンピュータの基礎概念を理解し、情報入力、情報収集、情報処理および表現の手段としてコンピュータを自由に活用できる素地を養う。

(<http://www.kanazawa-med.ac.jp/e-book/bulletin2016-2/#page=19>)

2017年11月17日 閲覧

・医療福祉体験実習

第1学年では医療福祉の現場で実習を行います。福祉施設での仕事を体験することで医療と介護、福祉の連携について理解するとともに、さまざまな人との接

し方を学びます。

(<http://www.kanazawa-med.ac.jp/e-book/medicine2018/#page=11>)

2017年11月17日 閲覧

・一般教育科目

専門準備教育においては、自然科学から社会科学や医学英語に至る広い範囲の基礎固めを行い、医学の専門教育に備えます。

(<http://www.kanazawa-med.ac.jp/e-book/medicine2018/#page=19>)

2017年11月17日 閲覧

・医療福祉体験実習

県内の老健施設などにおいて、施設の指導者の指示に基づき、実際に入所している方々と、コミュニケーションをとりながら、食事介助・入浴介助などを体験します。

(同上 URL) 2017年11月17日 閲覧

・プロフェッショナリズム教育

第1学年では「医療プロフェッショナリズム入門」を開講し、医師に求められるプロフェッショナリズムおよび医学生としての責任を理解し実践できる能力を養います。

(同上 URL) 2017年11月17日 閲覧

・専門教育科目 (基礎医学)

第1学年後期から、基礎医学の専門教育科目を学びます。

(同上 URL) 2017年11月17日 閲覧

・医学英語は第1～4学年で開講し、学生はEnglish for Medical Purposes (医学語彙、読解・ライティング・スピーキング・リスニング) を学びます。

(同上 URL) 2017年11月17日 閲覧

<参考：医学部 第1学年 目次タイトル>

([http://www.kanazawa-med.ac.jp/access-info/e-syllabus\\_web/e-](http://www.kanazawa-med.ac.jp/access-info/e-syllabus_web/e-)



[syllabus.html](#))

2017年11月17日 閲覧

※授業概要が示されたリンクあり

○愛知医科大学

・カリキュラム・ポリシー

臨床の現場における学びを入学後早期から継続的に行うため、医療実習として、1学年次で早期体験実習（を実施）

1学年次には、医学の基礎となる知識と概念を得るために医学に沿った自然科学科目とリベラルアーツを開講し、さらにアカデミックリテラシーによる ICT (Information and Communication Technology) やアクティブ・ラーニングから自学自習の習慣をつけます。

・1学年次では本学大学病院での早期体験実習（シミュレーション実習，看護体験実習，臨床科見学実習）（を行う）

・1学年次において専門科目の解剖学，生理学，生化学を開講しています。このことは、医学生としての自覚と学習意欲を早い時期から高めることにつながっています。

・新入生ガイダンス・合宿研修

入学式が終わるとすぐに新入生全員参加によるガイダンス及び合宿研修を行っています。本学で学ぶための基礎知識や6年間の学生生活へのイントロダクションとなるガイダンスでは、医学の現状や医師を目指すにあたっての心構えなどに関する話の他、1年次のカリキュラム，6年間のカリキュラム，窓口での手続き，学生生活，国際交流，防犯講習，学生相談室に関する説明があります。また，合宿研修では，教員からのメッセージ，先輩からのメッセージの他，コミュニケーション能力を高めるロールプレイを行い，新しい仲間たちとの交流を深める機会としています。

・早期体験実習

1 学年次に早期体験実習として、シミュレーション実習、看護体験実習、臨床科見学実習を行います。

シミュレーション実習は、5月に本学シミュレーションセンターで行い、グループ学習を中心に、コミュニケーションやチーム活動、能動的学習の意義、基礎を理解し身につけることを目的としています。また、看護体験実習の際に診療の補助業務を安全に実施できるよう、事前学習も行います。

看護体験実習は、7月に本学大学病院で行い、医療の実際を体験し学習します。入院患者さんの生活や心理に対する理解を深め、医師・看護師を始めとする医療スタッフや病院各部門の役割を知ることによって医学生としての自覚を身につけ、学習に対する目的意識と思いやりの心を育てることが、この実習の目的です。学生は、看護師とペアを組み、ベッドメイキングや食事の援助、洗髪など、患者さんに対する看護業務を体験します。

臨床科見学実習は、9月に本学大学病院で行い、臨床科、臨床医師の指導の下に医療の連携と協力への理解を深め、さらに患者さんへの対応、診断・検査等を医学生として初めて体験します。早期に医師としての思考、人間性、倫理観を身につける契機とします。

・「プロフェッショナリズム 1a (医療人入門)・1b (臨床入門)」「行動科学」など 1 学年次から医学生としての自覚やモチベーションを高めるための講義・実習を積極的に導入しています。

( <https://pamphlet.adplat.jp/cs/api/document/get/7784300-0-1/pdf/pages.pdf>)

3 ページ 2017 年 11 月 24 日 閲覧

・1 学年次は、人文・社会科学、自然科学、外国語などの科目を学び、幅広い教養を身につけるとともに、医学を学ぶための基礎を培います。少人数で行われる初年次医学セミナーでは、各自が興味のある分野を選択し、演習・実験・実習を通して学びの技法 (アカデミックスキル) を身につけます。プロフェッショナリズム 1a (医療人入門) では、医療人としてのコミュニケーションスキル、スタディスキル、ライフスキルの 3 つのスキルについて学び、プロフェッショナリズム 1b (臨床入門) では医師としての心構えや医師という職業について学びます。

早期に臨床現場を体験するために、早期体験実習としてシミュレーション実習、看護体験実習、臨床科見学実習を行います。

1 学年次のうちから、解剖学、生理学、生化学など基礎医学系の科目を取り入れて (いる)

(同上 URL 13 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

#### ・プロフェッショナリズム

時代が求める医療人を育成するために「プロフェッショナリズム」を新設。従来の「医療人入門」「臨床入門」をより充実させ、「質の高い医療（保健・予防活動を含む）ができる医師」「コミュニケーション能力に優れた医師」「適切な意志決定のできる医師」「マネジメント能力の優れた医師」「地域社会のリーダーシップがとれる医師」の育成を目指しています。

(同上 URL 15 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

#### ・医療人入門

自らが将来どのような医学生・医師になりたいかをイメージすることで、初年次から学ぶ意欲を高める「医療人入門」を開講。入学早々に行う新入生合宿研修をはじめ、多彩なプログラムを導入しています。(1) 知的な運用能力としてのスタディスキル、(2) 円滑な人間関係やコミュニケーションのためのソーシャルスキル、(3) 科学的な理解にもとづく自己の心身の健康保持のためのライフスキルといった3つのスキルをしっかりと身につけ実践できるよう取り組んでいます。

(同上 URL 15 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

#### ・臨床入門

1 学年次では、医師として必要となる多様な価値観や、診察に対する姿勢を理解するとともに、模擬患者さんへの医療面接、基本的な臨床の手技や知識を身につけます。(中略) ほかにもシミュレーションセンターでの実習も行うなど、1 学年次から臨床について学べる機会を増やしました。

(同上 URL 15 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

・「行動科学」では、心理学や神経科学、精神科学などの多様な分野を通して、患者さんの心や行動を科学的に理解する力を 1 学年次から身につけます。

(同上 URL 15 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

- ・基礎医学系科目

1 学年次から解剖学、生理学、生化学など基礎医学系の科目を、従来よりも早期に開講。初年次から医学学習へのモチベーション向上を図るとともに、高学年で学ぶ臨床医学へと発展的に繋がるよう、カリキュラム改革を進めています。

(同上 URL 15 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

- ・アカデミックリテラシー

ICT の活用や、科学的・論理的な考え方に基づいた文章の作成、実験による検証やデータの処理とグラフの作成など、大学で学修・研究活動を行うにあたって必要とされる様々な学びの基本技能を修得します。

(同上 URL 15 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

- ・「生命倫理」の充実

剽窃問題などの研究倫理や動物倫理などから、さらに医療人として重要な倫理について理解を深め、人間および医師としての基本的な視座を身につけます。

(同上 URL 15 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

- ・初年次医科学セミナー

教員がチューターとなり、学生は少人数の学習グループに分かれて学修し、大学における自学自習(自修)のための学習法を自ら体験することで協調性を養います。また、自ら問題を発見し、学修し、解決する能力をトレーニングすることにより、大学生としての自学自修の能力を修得します。

(同上 URL 17 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

## ○藤田保健衛生大学

- ・1 年次から 4 年次までは教員 1 名が数名の学生を受け持ち

- ・1 年次のカリキュラム

医師としての基礎を築くべく、「医学教育入門」「生命倫理学」「人の行動と心理」などを通じて医学の導入部分を学びます。また、入学直後より医療現場を見学・

体験できる「早期臨床体験 (Early Clinical Exposure)」を実施。医師になるためのモチベーションを高め、医療人としての自覚形成を促します。さらに、「解剖学 A」「組織学」では、基礎医学ならびに臨床医学を学ぶために、その基礎として必要な人体の構造と機能の基礎的知識を習得します。

- ・ 早期臨床体験

1 年次の早期段階では、医療的な専門知識の習得を前に、基盤となる心構えを養うための実習を実施。授業は 2 部構成となっており、1 学期はコメディカルスタッフの業務を、2 学期では臨床各科の様子をそれぞれ見学します。また、大学病院において挨拶などを通じて患者さんと接する機会をもうけ、チーム医療への意識や医療人としての自覚を促します。

- ・ 読書ゼミナールー科学研究の基礎 I ー

医学を始めとする諸学を学ぶ上で必要な基礎的思考能力の習得と言語による表現力の啓発を目的としています。医療の世界は既にインフォームド・コンセントが広く浸透しており、患者さんやご家族の心情を汲み取った上で適切かつ的確に、かつ曖昧さを極力排して、言葉や文章によって説明できるという能力が医療従事者には強く要求されます。体験型学習の中でコミュニケーションについて学びます。

- ・ 1 年次の夜勤実習では看護師について患者さんの看護を経験。

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2486740805/index.shtml?rep=1>)

4 ページ 2017 年 11 月 24 日 閲覧

- ・ 1 年次から 6 年次まで、全学年で臨床実習が導入  
(同上 URL 5 ページ)

- ・ 1 年次

医師としての基礎を築き、医学分野の導入部分を学ぶ  
(同上 URL 19 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

## ・アSEMBリ I

アSEMBリ I は、藤田学園の理念「独創一理」にもとづき、患者さんの気持ちに共感し、責任ある医療を担う「良き医療人」の育成を目的としています。医学部だけではなく、医療科学部や隣接する看護専門学校のすべての学生がともに活動することによって、早い段階からチーム医療に必要な協調性や責任感、コミュニケーション能力を育成します。アSEMBリ I では 1 年生を対象に、全学活動と班活動を実施。チーム医療の基本精神を学びます。

(同上 URL 29 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

※アSEMBリ教育は、学生全員が学部・学校の枠を越えた共通の活動を通して、チーム医療に必要な力を習得する独自のプログラム、と述べている

## ○大阪医科大学

### ・1. 初年次教育

普遍教養科目や専門基礎科目の講義、セミナー、実習を通して、医療と研究を行うために必要な知識、態度、技術を身につけます。また、一人ひとりに合った学習法を個別に指導するため、初年次は特に手厚く担任を配置しています。

・幅広い教養を備えた医師としての基本を学ぶ 1 年間です。基礎的な医学知識を修得するとともに、人体を理解するうえで大切な臓器学、患者様を理解するうえで大切な医学心理学・行動科学、コミュニケーション学を学びます。また、入学して早々に附属病院にて「早期体験実習」を実施します。

### ・早期体験実習

第 1 学年の早期体験実習では、患者様の立場にたって医療を見つめ、自らの倫理感を養成するために、附属病院の外来患者様をエスコートしたり、病院各部署の業務の一端を経験・見学することで医師だけでは成立しない医療の成り立ちを体験します。これを第 1 学年前期に 10 回実施します。

・1 年次に“医学における研究とはいかなるものか”について、イントロダクションとなる講義を行い

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2382346972/index.sht> )

[ml?rep=1](#))

25 ページ 2017 年 11 月 24 日 閲覧

・1 年次には、人と自然との関係性や、命とは、など生命現象について考える科目が多く配置されています。

(同上 URL 28 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

## ○関西医科大学

・カリキュラム・ポリシー

### 教養教育

医学に沿った理数系科目を学ぶ。入学当初から、医学生としてのモチベーションを維持させることを目的に、人体の構造を学ぶ解剖学と機能を学ぶ生理学を中心として、医師を目指す学生に必要な人間学の教養を身につける科目を開講している。

### 基礎・社会医学教育

上級の学年で臨床医学を学ぶ前段階として、医学の基礎となる知識を習得する期間と位置づけている。研究医を目指す学生は、1、2 学年の研究マインド育成プログラムでのラボローテーション等を通じて研究マインドを涵養し、3 学年から始まる研究医養成コースの履修へと繋げることになる。

### 態度・人間性教育

医学・医療と人間の関わりを総合的に理解し、正しい倫理観と温かい人間性を持って患者に向き合う態度を身につけるため 1~4 学年の学生に「総合人間医学」を開講している。

### ・1 学年

まず医学に沿った理数系科目、Human Biology、そして総合人間医学を学びます。総合人間医学は 4 年間かけて学ぶ人間医学の入門編で、講義、コミュニケーション技法とともにプロフェッショナルリズム教育を取り入れています。また医療の現場を早期から体験する早期体験実習、早期医療実習を行います。英語の学習は 6 年間続き、外国の文化や科学の最新情報を知り、世界を舞台に活躍する医師に

なるために国際性を身につけます。その他科学的に健康とスポーツを考える健康科学も勉強します。3学期からは2学年で学ぶ医学専門に向けての基礎講義が始まります。また平成25年度から、将来研究者をめざした研究マインド育成プログラムを開始しました。

・第1学年で医学の入門を学び

([http://www.kmu.ac.jp/general\\_info/2671t8000000f7q4-att/kmusummary2017\\_1.pdf](http://www.kmu.ac.jp/general_info/2671t8000000f7q4-att/kmusummary2017_1.pdf))

16 ページ 2017年11月24日 閲覧

・第1学年の皆さんは、まず医学に沿った理数系科目、Human Biology、そして総合人間医学を学びます。総合人間医学は4年間かけて学ぶ人間医学の入門編で、講義、コミュニケーション技法とともにプロフェッショナルリズム教育を取り入れています。また医療の現場を早期から体験する早期体験実習、早期医療実習を行います。英語の学習は6年間続き、外国の文化や科学の最新情報を知り、世界を舞台に活躍する医師になるために国際性を身につけます。その他科学的に健康とスポーツを考える健康科学も勉強します。3学期からは2学年で学ぶ医学専門に向けての基礎講義が始まります。また平成25年度から、将来研究者をめざした研究マインド育成プログラムを開始しました。

(<http://www.kmu.ac.jp/target/2671t8000001lcbu-att/a1491443586577.pdf>)

1 ページ

2017年11月24日 閲覧

※下線部は本文のまま

・1 学年

医学生として求められる基礎的な教養と、専門知識を学ぶための基礎学力を養います。

(<http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2966552526/index.shtml?rep=1>)

21 ページ 2017年11月24日 閲覧

・Human Biology



病の原因と治療方法を学ぶ前提として、人体がどのような要素で構成され、どのような仕組みで動くのか理解します。解剖、生理、発生、老化、遺伝などさまざまな視点から幅広く学びます。

(同上 URL 25 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

#### ・セミナー科目

社会科学系、自然科学系、語学系、体育系、基礎医学などの多様な 22 のセミナーから、自身に合ったものを自由選択し、少人数で密度の濃い学びに取り組みます。

(同上 URL 25 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

#### ・医学概論 1

各専門分野で活躍する学内外の教授・講師陣、医学以外の分野で活動する特別講師による講義を中心として、先進的な取り組みや医項連携など医学・医療の現状を複数の視点から学びます。

(同上 URL 25 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

・基礎医学の領域と教養を中心に学習する 1 学年の学び。分子モデルの模型を用いた実習や、動物の内臓のスケッチにも取り組み、医学の土台となる知識を修得。英語学習は、1 学年から 6 学年まで継続的に行い、グローバルなコミュニケーション力を養います。

(同上 URL 26 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

### ○近畿大学

#### ・カリキュラムポリシー

##### <教養教育科目>

1 学年は、将来心豊かな良き医師となるために、倫理、文化、社会、人権、心理などの幅広い分野の教養を身につけます。また、基本的な生物、化学、物理、統計数学を学びます。文章力やコンピューターリテラシーにも力を入れます。また語学教育にも力を入れ、特に英語はグローバルな世界の共通語という認識から、英文読解力の養成や会話力の養成を行います。さらに、早くから医療や看護の現場に触れる病棟実習や学外施設実習、また研究の現場に触れる基礎医学教室配

属も行います。

・医学総論（チュートリアル）

1年次の後半には、6～7名の少人数のグループで基礎系講座に配属されて、自らテーマを見つけ、調べ、まとめ、発表する実習を行います。学生はまだ専門知識をほとんど持っていない状態で、高度な研究が展開される講座のドアをたたきます。講座の担当者は、問題を見つけられるようなしくみをいろいろ用意しておきます。学生は問題を発見して、どう調べたらよいか、どう解決したらよいかを、グループ単位で考え、先輩や教授を前に発表します。これは2年次から始まる本格的なチュートリアルのためのパイプ役を果たす制度です。

・病院実習【1～2年次】

良い医師にはコミュニケーション能力が欠かせません。患者さんとの対応やコメディカルの人々との対応を実際の現場で学び、医療がどのような連携で行われているかを早期に学習します。

(<http://kindai.jp/academics/medicine.html>) 2017年11月24日 閲覧

※近畿大学入試情報サイトより

○兵庫医科大学

・一般教育

教養教育とも呼ばれるもので、3つのポイントを重視して1年次を中心に行われます。まず、高校教育と大学教育の橋渡しです。例えば、理科教育では選択科目として基礎物理学、基礎化学、基礎生物学を開講し、これまで学習したことのない科目を選択学習するプログラムを用意しています。また、[チュートリアル教育](#)と呼ばれる少人数教育を導入し、課題に対して自分達で問題点を抽出し自力で調べて解決する能力を養成します。

2つ目は、専門教育前に必要とされる基礎的な自然科学および語学力の修得、人間性豊かな医師となるために欠かすことができない社会・人文科学的教養の醸成です。例えば自然科学では、数学（医学統計学）、物理（医学物理）、化学（生体の化学）、生物（哺乳動物のからだ）、医情報学実習など実用的で多彩な科目が並んでいます。

3つ目は、医師への動機付けです。[早期臨床体験実習\(Early Clinical Exposure\)](#)、

チュートリアル教育を利用した医療入門・医の倫理、一部基礎専門科目の開講などで、入学時の漠然とした医学への志望や憧れを具体的で強いものにするのが、充実した6年間を過ごす秘訣であり、本学の6年一貫教育の利点です。幅広い教養と動機付けは、レベルアップ選択科目という本学独自の幅広い開講科目により4年次まで続きます。

#### ・早期臨床体験実習（1年）

早期臨床体験実習（Early Clinical Exposure）は、医学部に入学したばかりの学生が実際に医療の現場を体験することにより、医学生としての自覚をもち、医師への動機づけを目的とした臨床医学実習のひとつです。

入学したばかりで、医学的知識をほとんど持っていない時期に行われる実習であるため、専門的な知識や手技の修得を目的としたものではなく、患者さんに対する看護、介護を通してひとりの人間としていわゆる社会的弱者の苦悩を理解し、その中から、将来医師となるべき自分が今後何をなすべきかを自覚することが大きな目的です。

#### 1日目：オリエンテーション

オリエンテーションでは、兵庫医科大学病院の概要や、実習中に指導を受ける看護師の業務などについて看護部長より説明を受けます。その後、個人情報の取り扱いについて、医療情報学教授より講義を受け、情報セキュリティの重要性を学びます。

続いて、身だしなみについて学生間で話し合いながら、病院実習にふさわしい服装、髪型を確認します。身だしなみチェックが終わったグループから、実習に行く病棟に各自挨拶に伺います。

#### 2・3日目：病棟実習

身だしなみのチェックを受けた後、1グループ5～6人ごとで病棟に向かい、看護師について看護の現場を体験します。検温や与薬、入院患者さんの受け入れ、退院患者さんのお世話、入退院の手続き、清拭・リネン交換、食事介助、環境整備、看護記録など、病棟で行われている業務の見学（一部介助）を通じて、看護師の仕事の流れを学びます。

また、患者さんの入院生活や病を得た方の気持ち、看護師と他職種の医療職者との連携についても学びます。

#### 4日目：グループ別発表会

実習グループに分かれ、実習の成果発表に向けたまとめを行います。自分達の感じたこと学んだことをまとめ、グループ毎に成果を発表します。

また、他グループの実習内容や感想を聞き、質問や意見などをしながら実習の成果を共有します。

#### ・チュートリアル教育

チュートリアル教育こそ大学教育が実感できるシステムです。6～7人程度の少人数のグループに分かれ、課題に対して自ら問題点を見出し、討論を重ねて解決をしていく学習法です。これによって自学自習の習慣が身につきます。各グループには1人ずつ教員がチューターとして参加し、議論の方向性の確認と評価を行います。また医療入門として医学的興味に満ちた題材が用意されており、医師への動機づけにも役立ちます。この自学自習の習慣こそが将来の問題解決能力の高い医師養成につながるのです。

本学では既に1年次～4年次までチュートリアル教育を導入し、大きな成果を挙げています。

#### ・カリキュラム・ポリシー

人間の多様性と多様な考え方を理解するため、多彩な患者、コメディカル、兵庫医療大学や関西学院大学の学生などと幅広い交流を行い、第1～第4学年次まで継続してコミュニケーション教育を実施する。

#### ・1学年次 教養・基礎医学習得期間

高校教育と大学教育との橋渡しとしての授業を行います。そして、基礎的な自然科学および語学修得、人文・社会的教養の醸成に努めます。また、チュートリアル教育を「医学概論入門」に導入し、自学自習能力と医師への動機づけを涵養します。早期臨床体験実習1ではフレッシュな心に感動を与えます。

#### ・1学年次 教養・基礎医学習得期間

(上の「～動機付けを涵養します。」まで、ほぼ同じ内容)

「医学部へようこそ」では、医療・研究の最前線で活躍する教員から直接体験談を聞くことにより、兵庫医科大学生としてのモチベーションを高めます。

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2832629376/index.sht> )

[ml?rep=1](#))

21 ページ 2017 年 11 月 24 日 閲覧

・教育課程

第 1 学年次学生が前期に学ぶ準備教育での授業科目は次の 3 つに大別される。即ち、国際社会や国際化の進展に適切に対応するための「外国語系科目」、幅広く深い教養と総合的な判断力を培い豊かな人間性と倫理性を形成するための「人文社会科学系科目（※ 関西学院大学交流科目（後述）を含む）」、そして医学を科学的に理解するための基礎教育としての「自然科学系科目」である。これらは学年の後半から始まる「個体の構成」や「生体構成分子の化学と代謝」「医療コミュニケーションと生命倫理」、さらには「人体解剖実習」などの医学の入門教育に引き継がれる。

([http://www.hyo-med.ac.jp/var/rev0/0001/6725/2017\\_001.pdf](http://www.hyo-med.ac.jp/var/rev0/0001/6725/2017_001.pdf)) 2 ページ

2017 年 11 月 24 日 閲覧

## 6. 関西学院大学との交流科目

第 1 学年次の学生は、学术交流に関する包括協定を結んだ関西学院大学で開講される多様で厚みのある教養的基礎科目を幅広く受講することができ、豊かな教養を養うことができる。関西学院大学の同世代の多様な学生と交流することにより、医師として人間的な成長が促され、幅広い教養を身につけた医療人の育成につなげていく。

(同上 URL 4 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

<参考：医学概論入門の概要>

([http://www.hyo-med.ac.jp/var/rev0/0001/6737/introduction\\_to\\_medical\\_science\\_h29.pdf](http://www.hyo-med.ac.jp/var/rev0/0001/6737/introduction_to_medical_science_h29.pdf))

2017 年 11 月 24 日 閲覧

・医学概論入門（アカデミックリテラシー教育科目）

学習に必要なスキルである情報収集、論理的思考、批判的思考、論理的文章作成、情報発信などの基本的な能力を身につけます。

(<http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2832629376/index.sht>)

[ml?rep=1](#))

24 ページ 2017 年 11 月 24 日 閲覧

- ・人体解剖実習

循環器、消化器などの各臓器や器官、さらに感覚器や内分泌器などの各系の構造や特徴とともに、様々な臓器・器官系の位置関係や正常形態、基本的な働きについて理解します。実際に人体を解剖することによって、その構造の働きを支える形態のあり方を理解するとともに、生命の尊厳、人間としての倫理観を学びます。

(同上 URL 24 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

○川崎医科大学

- ・第 1 学年では、お互いに友情を温め合い、協力精神を育て合うにふさわしい全寮制の生活環境の整備を行った。

(建学の理念のための取り組み)

- ・第 1 学年は全寮制度で、医学・医療に携わる者に必要な人間関係を深めている。

- ・良医の礎

患者さんの基本的権利を熟知し、患者さんのために全力を尽くす医師に求められる人間力を養成する。倫理や医療人類学、哲学など、良医になるための豊かな人間性を育む教養分野から、異文化理解、情報リテラシー、メディカルイラストレーションなど、これからの医師に求められる素養を育成する。

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2685143780/index.shtml?rep=1>)

20 ページ 2017 年 11 月 24 日 閲覧

- ・発表の技法

授業における課題作成や、学会発表などに役立つ効果的なプレゼンテーション能力を学ぶ。コンピュータを扱うために必要な基礎知識、文書作成・表計算・プレゼンテーションに用いられるソフトウェアの使い方などを修得する。

(同上 URL 20 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

・医科学の基礎

力学の基本概念や科学の基本的事項、細胞や遺伝などの生物学、日本語リテラシーとコンピテンシーなど、医科学を学ぶ上での基礎となる知識を学ぶ。また、人体構造の基本的知識を系統的に身につけ、医学発展の歩みを学び、医の倫理を深く理解する。

(同上 URL 20 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

・人体解剖実習

人体全身について肉眼レベルで正常な形態と構造を学ぶ。解剖に必要な用語や局部解剖学を理解し、自ら創出し観察した構造と知識を一致させ、全身の構造を理解する。医学の歴史と献体の意義を理解し、生命の尊厳を深く考え、解剖体に感謝の気持ちを込めながら接する。

(同上 URL 20 ページ) 2017 年 11 月 24 日 閲覧

○久留米大学

・Pb1 テュートリアル(1 年)

Pb1 テュートリアルとは、テューター(個人指導者と呼ばれる)の教員の下に一人ひとりの学生が自学自習し、少人数の学生同士で協力して問題の解決を図る教育方法です。この学習法は、知識伝授型講義の場合と異なり、学生自身が問題を発見し、探求し、その過程で自分が理解できる知識を得るとともに、問題解決能力を身につけることを意図しています。

・「テュートリアル学習」は、少人数でのグループ学習で、自発的に学ぶとともに自ら問題点を発見し、臨床推論を含めた問題解決能力を身につけることを目的としています。また、「医学入門実習」や「施設体験学習」など医療の現場に接する機会も含まれていますので、将来の医療人としての感性を磨いて下さい。

([https://www.kurume-u.ac.jp/uploaded/life/10244\\_12058\\_misc.pdf](https://www.kurume-u.ac.jp/uploaded/life/10244_12058_misc.pdf)) 1 ページ

2017 年 11 月 24 日 閲覧

※1 学年シラバスより

○産業医科大学

・カリキュラムポリシー

5 本学の特色である「産業医学」教育は、1年次から6年次の各学年にわたり系統的に実施するとともに、学外の事業場等において産業医の指導の下で現場実習を行い、初期臨床研修開始前までに産業医の資格を取得できる内容とします。

・医学部では1年次からの基礎医学教育実施により医学への動機づけを早期から行うとともに、基礎研究室配属により研究意欲を育成していきます。(中略)さらに1年次から6年次まで系統的な産業医学教育を実施することで、産業医や産業医学に対する志向を高めていきます。

・カリキュラム構成の特色

1年次では「臨床医学入門」により医学への動機づけを図ります。総合教育や医学基礎は医学的色彩の濃い教育内容です。

・1年次では、後の学習に必要な基礎的知識の徹底強化と合わせ、医学生としての学習態度や医療人としての心も身につけていきます。

総合教育では、人間を深く探求して哲学する姿勢を学ぶと共に、数学や理科、語学、情報科学、などの高校での学習をさらに発展させ、それらの知識を医学教育へとつなげる医学基礎の科目と連携させます。そして、「人体発生学」や「医化学」などの医学基礎や「産業医学序論」も開講され、産業医をめざすモチベーションを獲得していきます。

( <http://frompage.pluginfree.com/weblish/frompage/2772446893/index.shtml?rep=1> )

21 ページ 2017年12月1日 閲覧

<参考：1年次の授業科目一覧（医学概説Iあり）>

( [http://www.uoeh-u.ac.jp/University/aboutCollege/29kokaitop/igakubu\\_kamoku.html](http://www.uoeh-u.ac.jp/University/aboutCollege/29kokaitop/igakubu_kamoku.html) )

2017年12月1日 閲覧



○福岡大学

・第1学年から医学専門の科目を設けるとともに看護体験、救急蘇生実習や施設見学などを実施し、早期から医療に触れることができます。

(医学科主任挨拶より)

・1学年から専門関連の教育科目を設け、さらに看護体験、医療施設見学など早い時期から医療に接する機会を設定しています。

・第1学年では一般教養科目の修得と並行して、専門教育の導入が行なわれます。医学入門において医学を学ぶにあたって必要な基本姿勢や、将来医師になった場合の心構えや医療現場での様々の課題について、その多面性・社会性について理解し、将来医療人になるための使命感を醸成していきます。また、医学概論Ⅰ／Ⅱで、コミュニケーション能力の向上や生命倫理、医療情報などに関する基本事項を学びます。さらに、医学・医療をより深く考え、積極的に学習する意欲・専門医学学修能力を培うことを目的に、基礎研究室配属、看護実習、心肺蘇生実習など臨床現場体験を実施しています。また、第1学年から基礎医学(解剖学、生化学)の先取り学習を導入し、第2学年以降の専門基礎医学教育への橋渡しとします。

( [http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/education/medicine/curriculum/2017\\_edu.pdf](http://www.med.fukuoka-u.ac.jp/education/medicine/curriculum/2017_edu.pdf))

目次の2ページ後 2017年12月1日 閲覧

<参考：同上 URL 28～33 ページに「医学概論Ⅰ」、43～45 ページに「医学入門」、51～59 ページに「医学概論Ⅱ」の講義要目あり>

・研究室配属

1年次、2年次の学生が約10名程度のグループに分かれて、2～3週間単位で基礎系・臨床系の研究室をローテートします。

( <https://bookshelf.wisebook4.jp/vars/v2store/fukuokauniv/14946/stream/src/gakubumm2018.pdf?d=1512092796209>) 4ページ

2017年12月1日 閲覧

・シミュレーション教育

1年生から模擬患者さんとの医療面接やシミュレーターを用いた早期臨床実習を基礎医学の講義と並行して行っています。

(同上 URL 6 ページ) 2017年12月1日 閲覧

・早期臨床体験 (シミュレーション教育)

医学教育推進講座ではシミュレーター (Harvey) を使って心音を聴いたり、学生同士で血圧をお互いに測定します。1年生から My 聴診器を持ちます。7月中旬、医学概論の授業で模擬患者さんとの医療面接を体験します。医学部に入学してわずか3ヶ月での医療面接の実施です。

(同上 URL 10 ページ) 2017年12月1日 閲覧

・看護実習・BSL 実習

入学して半年後に、福岡大学病院・筑紫病院で看護実習と BSL 体験を行います。

(同上 URL 10 ページ) 2017年12月1日 閲覧

・TBL (プロフェッショナルリズム)

5月中旬には、医学概論の授業で、各班が発表を行います。様々な医療のテーマを取り上げて、チーム毎に討論し、学年全体でプレゼンテーションを行います。

(同上 URL 10 ページ) 2017年12月1日 閲覧

・1学年から専門関連の科目を学び、早期から病院での実習を重ねることで、医師としての意識や心構えを身に付けていきます。

(<https://www.fukuoka-u.ac.jp/education/undergraduate/medicine/>) 2017年12月1日 閲覧

(学部長挨拶より)

○国際医療福祉大学

・カリキュラム

1. 英語・医学英語 / 1~2年次

1年次にはネイティブの外国人教員を中心に、「社会生活での幅広い話題につい

て自然に会話ができ、明確かつ詳細に自分の意見を表現できる」レベルのスキルを身につけます。2年次以降は、病歴聴取、身体診察、症例報告、医学論文読解・執筆、学会発表などができる英語コミュニケーションの力を養う総合教育科目です。

## 2. リベラルアーツ / 1～3年次

国際的に活躍する医師として知っておくべき一般教養の知識を学びます。人間系として死生学や医学史、社会系として法と医療や社会保障と医療制度、全地球的な課題として国際機関論、国際関係論など、多彩な講義が開講されます。

## 3. 医療プロフェッショナルリズム / 1～3年次

良い医師として育つために、医師としての価値観、倫理、コミュニケーション、ヒューマニズムを考える、日本語による総合教育科目です。1年次に医療倫理、医療安全、2年次にチーム医療、多職種連携、3年次に説明義務や患者を第一に考えることの大切さなどをテーマに、具体的ケースと議論を通して問題点に気づき、問題解決に向かう方法を考えます。

## 4. 医療面接・身体診察 / 1～2年次

病気の始まり方などを尋ねる問診、身体診察中の声かけ、患者や家族への生活指導や悪い知らせの伝え方等、コミュニケーションは信頼を得ることにもつながる重要なアート（技能）です。日本語、英語による医療面接と身体診察技法を、学生同士で、あるいは模擬患者や了解を得た実際の患者の協力を得て実践的に学ぶ専門教育科目です。

## 5. 医療入門・正常解剖演習 / 1年次

医学を学ぶために必要な、人体の正常構造を理解する専門教育科目です。3D画像教材、人体模型などを通じて正常解剖を立体的に理解し、各部位の解剖学的名称を日本語、英語で言えることができるようにします。あわせて、解剖学的構造から主な臨床疾患との関係を理解します。

## 6. 国際医療保健学・海外医療体験 / 1～3年次

国際医療保健学の講義・演習は、国際保健における主な課題と背景、各国の文化

と医療制度などを英語による講義・演習で学ぶ総合教育科目です。また、海外医療体験では、海外の国々を訪問し、各国の医療事情を調査して、将来の望ましい姿について考察します。

#### 7. 医療生物学、医療化学、医療物理学・医用工学 / 1年次

日本語による総合教育科目です。細胞生物学、細胞から器官への成長過程、および医学を学ぶうえで必要なヒト生物学を学び、また、身の回りの物質や現象を原子・分子・イオンのレベルで理解し、化学の基礎的事項を修得したうえで、生命体・生命活動に関連する化学を学びます。さらに、医療と物理学との関係を理解し、エックス線などの医療機器・装置の動作原理を学びます。

#### 8. 基礎医学総論 / 1年次

医学を学ぶために必要な、基礎医学の総論的な知識を英語で身につける専門教育科目です。具体的には、生化学、分子生物学、免疫学、生理学、薬理学、組織学、組織学演習、病理学、病理学演習の9分野にわたって、授業が展開されます。この後、基礎医学の各論的な知識と臨床医学の知識を器官別に統合するために重要な授業です。

#### 9. 発生・出産 / 1年次

ヒトの発生の知識は、人体の成り立ちの理解に必須であるばかりでなく、後で学ぶ臨床医学における先天異常や、発生過程に関連した疾患の理解につながります。また、正常妊娠や分娩の経過など、妊娠、分娩について理解し、後で学ぶ妊娠中の異常やさまざまな疾患の合併妊娠、分娩時異常の病態生理やその管理の基礎を英語で理解する専門教育科目です。

#### 10. 統計学 / 1年次

患者に最善の医療を提供するためには、常に最新の基礎医学研究や臨床医学研究を収集し、結果を正しく理解することが重要です。統計学の講義は、医学研究で日常的に用いられる研究デザインや統計解析手法について学び、論文を批判的に吟味する実践的能力を日本語と英語で身につける総合教育科目です。

#### 11. 器官別統合講義 / 1~2年次

ヒトの体の発生、生理、解剖、およびそこで生じる疾患の病態生理などの基礎医学の各論的な知識と、代表的な疾患の疫学、診断、検査、治療などの臨床医学の知識について、体の器官別（循環器系、呼吸器系、消化器系、内分泌代謝系、腎泌尿器系、婦人科系、運動器・皮膚・膠原病、脳神経・精神系、感覚器系、血液系）に英語で統合的に理解する専門教育科目です。

・入学直後から英語を聞く・話す力を、個人のレベルに合わせて集中的に身に付けながら、1年次2学期から2年次3学期まで、ひと通り全ての医学知識を英語で学びます。

([http://narita.iuhw.ac.jp/igakubu/pdf/2017\\_pamphlet.pdf](http://narita.iuhw.ac.jp/igakubu/pdf/2017_pamphlet.pdf)) 14 ページ

2017年12月1日 閲覧

#### ○防衛医科大学校

・教育方針（カリキュラム・ポリシー）

第1学年：進学課程と訓練課程を中心に修得する。進学課程のうち、人文・社会科学系の学科目では、医師としてのプロフェッショナリズムと国際社会で活動するための基本的能力の基盤を、自然科学系の学科目では、基礎的研究能力の基盤を涵養する。訓練課程では訓育、教練、部隊研修等を通じて幹部自衛官としての資質を培い、併せて国際社会で活動するための基本的能力を養う。

## Ⅱ 各大学へのアンケート結果

(出典：一般社団法人全国医学部長病院長会議『わが国の大学医学部・医科大学白書 2016』)

### 1. 合格基準

#### (1) 国立

- センター試験成績を基準に面接点に重点をおいて判定
- 大学入試センター試験（500点満点）及び面接試験（100点満点）の総合計の高点順に合格候補者を決定している。  
大学入試センター試験の合格基準として、大学入試センター試験において8割以上の成績を修めていることを合格の基準としている。  
面接試験の合格基準として、面接試験において、面接委員5名のうち3名以上が1点（10点満点で10点・7点・3点・1点の4段階）の評価を付けた者については、合格候補者としなない。
- 自己推薦書、調査書、課題作文及び面接の結果並びに大学入試センター試験の成績を総合して選抜する。  
本学が課す大学入試センター試験の合計得点が配点（900点）の80%（720点）以上の者を合格者の対象とする。
- センター試験（学力試験）＋面接＋調査書（推薦Ⅱは志望理由書も含む）を総合評価
- 奨学金を連動した地域特別枠とそれ以外で違いはない
- 医学類の他の入学試験と同様に考えています。
- 入試総得点による選抜
- センター試験、面接、出身高等学校の調査書及び高等学校長の推薦書に基づいて総合判定し選抜する（推薦入試Ⅱ）  
出願書類や学力試験、面接の結果を総合して合格者を決定する（2年次後期学士編入試験）
- ○○県による面接の結果を参考に合格者を決定している。
- 成績上位から合格者を決定
- 大学入試センター試験において、710点以上を得た受験生の中から、大学入試センター試験、個別学力検査の成績及び面接（調査書の評価及び志望の動機を含む。）成績を合わせて総合的に判断する。

なお、面接の結果によっては、総合点にかかわらず不合格とすることがある。  
また、総得点と同点の場合は、個別学力検査等の成績により順位を付ける。

- 募集要項にアドミッションポリシーと合格基準を記載している。〇〇県の地域医療に貢献する意志と〇〇県医学生修学資金(第1類)の受給を要件とし、総得点の上位から合格とする。
- 学科内で規定
- 第1次選考合格者に対し面接及び提出された推薦書、調査書、志望理由書による選考(面接は、医学科学生としての適性、能力等を評価)を行い、第1次選考結果と総合して合格者を決定する。
- 大学入試センター試験と面接試験の結果を合計して得点が高い順。
- 出願者数が募集人員の2倍を上回った場合は、書類及びセンター試験で第1次選考を実施し、合格者について、第2次選考として面接・口述試験を実施し、センター試験・書類と総合して上位10名を合格者とする。
- センター試験の成績、調査書、推薦書、志望理由書及び面接の結果を総合して判断
- 第1次選抜は原則として小論文と面接の総合点で合否を判定するが、ある科目の成績が水準以下の場合は、総合点の如何にかかわらず不合格となることがある。第2次選抜は大学入試センター試験の成績により合否を判定する。
- 地域医療への意欲
- センター試験の成績、小論文、面接、推薦書、調査書等を総合して判断する
- 総得点の高い順に募集人員の範囲内で合格者を決定する。
- 学内基準により実施
- 基礎学力、地域医療機関等での体験活動、市町村長等による面接等の資料を参考とした個人面接による地域医療への理解と使命感の強さ
- 大学入試センター試験、志望理由書、調査書及び面接により総合的に実施
- 大学入試センター試験及び個別学力検査等の総合点により順位付けを行い、合否を決定する。
- 一般枠と同一の基準
- 推薦入試の合格者のうちから地域枠学生を選出しているため、地域枠の合格基準は設けてはいない
- 合格基準点は定めていない。
- 大学入試センター試験の成績、面接の評価、調査書など出願書類の内容によ

り総合的に判定する。

面接の評価によっては、大学入試センター試験の成績に関わらず不合格とすることがあります。

- 大学入試センター試験（傾斜後）得点と面接点の合計による  
大学入試センター試験指定教科・科目の総合計の得点率が原則として80%に満たない学生は対象しない。（原文ママ）

## (2) 公立

- 大学入試センター試験成績により選抜の対象者を判定し、第二段階選抜にて学力試験、面接試験を実施し、合格者を決定する
- 成績上位順
- 一般入試に準じている
- 総合順位の高い順に、合格者を選抜している。
- 第1段階選抜（センター試験の成績）を実施し、第2段階選抜においてセンター試験の成績、推薦書、調査書、志願理由書及び面接試験の成績による審査の結果を総合して入学者の選抜を行う。  
大学入試センター試験の成績により第一段階選抜を行った後、面接により人物評価を行う。

## (3) 私立

- 一次試験（学力試験、調査書）と二次試験（小論文試験、面接試験、大学入試センター試験）の成績を総合的に判断し、合格者を選抜
- 志望動機書の内容と、〇〇県庁職員との面談。
- 一般入学者と同じ基準
- 基礎学力テスト、小論文、面接並びに提出された推薦書および調査書等の出願書類を総合的に判定
- 一般入試（前期）の合格基準に準じる
- 一般入試と同じ
- 成績上位者
- 入学試験に連動させているため、入学試験の合格基準に準ずる（卒業後の指定地域への就業の意については、面接時に確認）



- 第一次試験は学力検査の成績、第二次試験は学力検査、小論文、面接の成績及び調査書を総合的に判断して合格者を決定する
- 一般入試との併願が可能であり、一般入試同様に学力を前提とし別に面接試験を重点的に行い地域医療参画・意欲・資質を総合的に評価して選抜した。
- 含めている
- 入学した後、地域医療に関する興味・関心を面接や小論文にて評価。
- 学科試験・小論文・面接試験および提出書類（志望理由書・推薦書・調査書）の評価を総合的に審査
- 一般入試と同じ
- 本学の一般入学試験に合格し、かつ〇〇県の実施する選考試験に合格すること。

筆記試験、小論文、面接、志望理由書による総合評価

## 2. 集団面接

### 2-1. 形式

#### (1) 国立

- グループ討論等
- 受験者5人に対して面接官3人での面接
- 3～4人を1組として集団面接を行っている
- 3～5名のグループ面接
- 受験生3名を1組とし、面接官2名が口頭試問を行っている。
- 数名を1グループとし質問と回答は個人
- 一般入試及び帰国生徒入試：面接委員3名と受験生4名の集団面接  
     学士編入学試験：面接官6名と受験生全員（約20名）の合同面接
- ディスカッション型
- グループワーク形式で行う
- テーマを与え討論させる
- 受験生5人を1グループとし、内1名が議事進行役になり、面接委員が提示した課題について12分間の討論を行う。最後の1分間は議事進行役に討論の総括をさせる。これを受験者各人が議事進行役となるように5回（12×5=60分間）行う。

- 記載なし
- ディスカッション面接
- 面接課題を設け、6～7人のグループで討論させている。
- 課題発表形式、集団討論形式による集団面接

## (2) 公立

- 討論型
- 5名1組で20分間討論を行う
- グループ討論

## (3) 私立

- 出願地とする各都道府県単位（8～10名）で集団討論の形式で約40分間行っている
- 6人1組の集団面接
- グループディスカッション
- 面接官3名、受験生5名
- グループ面接を実施（3～4名）
- 7～8名程度のグループに課題を与え、討論させる。
- 与えられた課題にそって討論する方法
- 3対3
- ディベート形式で行っている
- グループ面接

## 2-2. 試験名

### (1) 国立

- 一般入試、(前期・後期)、推薦入試、地域特別選抜、A0入試県特別選抜、医学科第2年次編入学試験
- 一般入試
- 推薦入試（一般枠）
- 一般入試、推薦入試、第2年次編入学試験
- 後期入試
- 一般入試（前期試験）

- 一般入試、帰国生徒入試、学紙編入学試験
- 前期日程、後期日程
- 推薦入試
- 推薦入試、一般入試
- 一般入試後期日程（平成 29 年度より募集停止）
- 第 2 年次学紙片入学試験
- 推薦入試、前期日程入試
- 推薦入試、一般入試（前期）
- AO 入試、編入学試験

## (2) 公立

- 推薦入試（特別枠）
- 前期入試
- 推薦入試

## (3) 私立

- 一般入試（第 2 次試験）
- 一般入試（前期・後期）
- 一般入試
- 一般入試
- 指定校推薦入試
- 推薦入試
- 一般入試、推薦入試、編入試
- 一般入試（前期・後期）、センター利用（前期・後期）
- 推薦入学試験

## 3. 面接試験の主な目的

### (1) 国立

- アドミッションポリシーに記載されているような人物かどうかの判断
- 医療人としての適性を評価する。
- 医療人としての資質・適性、意識などをみる。
- 適性の判定

- 医師となるのにふさわしい資質、思考の柔軟性、発言の論理性等を総合的に評価するため
- 思考力、協調性、積極性、将来性を評価する。
- 将来の医学・医療の担い手となるのに必要な使命感、人間性、倫理観、コミュニケーション能力などを持ち合わせているかを判断するため。
- 医学への適性の判断
- 医学部志望の動機、学習意欲、積極性、生命や医療に対する倫理観、チーム医療の一員となる上で不可欠の協調性やコミュニケーション能力について、対話・口述を通して評価し、将来優れた医師になるために十分な適性を備えているかどうかを総合的に判断するため。
- 医学部医学科が求める学生像に合致した学生を選抜するため。
- 医師、研究者としての適性をはかる
- 人柄、協調性、医学への関心、医学への適応性（将来性）について総合的に評価
- 積極性、協調性、指導性、判断力等を評価し、医療人としての適性を見るため。
- 医師としての適性の確認
- 医師及び医学研究者としての適性をみるため
- 受験生が、本学のアドミッションポリシーに沿っているかの確認
- 医師、医学研究者としての適性を評価するため
- 面接では、基本的に医師としての適性を重視している。
- 学力試験では判断できない医師不適合者を排除するため
- 医学生としての資質、意欲、適性などを評価するため
- 適性、意欲、表現力等を総合的に評価する。
- 人間性・創造性豊かな医師及び医学研究者となるにふさわしい適性を計り、一般的態度、思考の柔軟性及び発言内容の論理性等を評価する。
- 将来、医師または研究者となるにふさわしい資質、適性を評価する。
- 医師・医学研究者としての資質をみる。
- 一般的態度、思考の柔軟性、発言内容の論理性、意欲と適性など、学力検査では評価しにくい面を評価する。
- 医師及び医学研究者としての適性を判断するため

- 医学を学び、将来は医学・医療に携わって社会に貢献する人材としてふさわしい人格と適性を評価するため
- 医学を志向する動機、修学の継続力、適性、感性、社会的適応力など総合的な人間性について評価するため
- 医療人としての適性及び能力をみるため。
- 医学部医学科の学生としての資質及び適性について、面接試験により評価する。
- アドミッションポリシー及び各入試の求める学生像に沿う人物か否かを直接本人と対話することで多面的に判断する。
- 学力試験では評価が困難な能力を判定するとともに医師としての適性を調べる。
- 医学科の教育を受けるために必要な基礎学力、科学的・知的探究心、医学に対する熱意と適性、柔軟な思考力、高等学校における活動状況を評価する。
- 将来、医学・医療に従事する者としての適性を見る。
- 面接時の態度や質問に対する応答を通して、医学を学ぼうとする目的意識や勉学意欲、自己認識、協調性、社会性などを総合的に判断するため。
- 医療を学ぶための適性・コミュニケーション能力・学習意欲・リーダーシップ・協調性・独創性等を評価し、「求める学生像」にふさわしい学生を選抜するため
- 医師にふさわしい人物かどうかを選抜の判断の要素とするため
- 気質や性格など見られる情意的側面を評定し、本学医学生としての適性を判定する。
- 医療人としての適性を見る。
- 不適合者の排除
- 独自性、協調性、倫理的に秀でていようかどうかを見るため。
- 人間性、自主性、思考力、表現力、責任感など医学科学生としての適性、能力の評価

## (2) 公立

- 学力以外の能力・適性を積極的に評価するため。
- 学生の能動的な態度及び地域医療に関心があるかどうかを評価する。

- 理解力・思考力を見ることに加え、人間性や意欲を評価するため
- 医学を志す動機、医学・医療に対する適性、意欲、社会的適応力などを総合的に評価する。
- 医師または医学研究者に相応しいか否か、医師としての適性と資質（「社会性」「勤勉性・統制性」「情緒の安定性」）が備わっているかを判断する。
- 適性の有無を確認
- 医師としての適性及び人間性について評価するため
- 医師及び医学研究者となるにふさわしい資質、適性を評価

### (3) 私立

- 将来、医師になる者として相応しい資質があるかどうかを見るため。
- 医学教育を受ける資質並びに将来医師となる適性をみるため
- 人格的資質や基本的なコミュニケーション能力を確認するため。
- ①将来、医師としての適性の有無 ②アドミッションポリシーの理解
- 学科試験では判定できない入学適性を判定し、好ましい人物を選抜するとともに、不適切な人物を除外する。
- アドミッションポリシーに沿った人物を選考するための総合的な人物評価（ママ）
- 本学の学生となるに相応しいかどうかを総合的に把握し評価するため。
- 受験生の感性や医師となるべき人物・識見・教養などを見極めるため。
- 医師としての適性判断
- 将来医師としての職業に直結する受験生の人物、意欲、適性を評価するため。
- 不適切な学生を発見する。
- 学力試験以外の人物評価
- 将来医師になる人物としての資質・素養の確認
- コミュニケーション能力の確認
- 医師になる者としての適格性をはかりたい
- 人間性、医師の適性及びコミュニケーション能力の有無の判断
- グループ面接は与えられた課題にそって討論する方法をとっている。討論は相手の発言を理解し、それに対して批判的に議論を仕掛けるのではな

く、相手と自分の相違点をハッキリさせたり、同意出来ること、出来ないことなどをコミュニケーションする能力をみる

- 医師となる資質を備え持つかを判断するため
- 医師としての適性を評価する。
- 受験者に対して実施し、人物評価を主な目的としている
- 受験生の資質を見究める。
- 医師としての資質を見るため
- アドミッションポリシーに記載されている本学医学部が求める者を選抜するため。(特にコミュニケーション能力)
- 人間性、協調性、コミュニケーション能力等を判定している
- 生活態度、対人関係、自己診断及び人間性等を確認し、多角的視点から総合的に評価するため
- 臨床医として最低限必要と考えられる基本的な対人関係の確認
- 将来、医療を担う人材としての目的意識・態度・表現力・積極性・協調性・社会性等を
- 総合的に評価するため。
- 本学のアドミッションポリシーに適するか審査するため。志望動機の確認。
- 将来、医師となるのにふさわしい資質を持った学生を選抜すること。

#### 4. 面接試験での特別な試み

##### (1) 国立

- 一般試験では面接の前に、課題小作文を完成させ、面接の資料としている。AO入試では、事前にプレゼンテーション課題を含む複数の課題を与え、プレゼンテーション資料を準備させた上で、面接を行っている。
- 後期入試において、面接官が必要と認めた場合は、集団面接後に個別面接を行っている。
- 面接内容により同日中に再面接を実施する場合がある
- 一般入試において、学生が持参する「自己紹介書」を面接の資料として利用している。
- 推薦入試と学士編入学試験では、プレゼンテーションを行わせて、研究者としての能力をはかっている

- 一般入試後期日程（平成 29 年度より募集停止）においては、個人面接（20 分×2 回）とグループ面接（60 分）を実施している。
- 地域特別枠（推薦入試）では、1 人に対し面接を 2 回実施している。
- 一般入試（前期）において、一次試験での高評価者と低評価者、多浪生及び他大学在籍者等に対して、精神科医を含めた二次面接を行っている。
- 推薦入試及び一般試験（後期日程）において、受験生から提出された「自己推薦書」を面接の資料としている。

## (2) 公立

- 「地域特別枠」「〇〇県指定診療科枠」志願者に対して、その募集枠の意味を理解しているか、を質問事項としている。
- 再度聞いた方が良い場合は、面接官をかえて再面接を実施する。
- 推薦入試については、MMI（Multiple Mini Interview）の手法を用いて実施している。
- 集団面接を行っている

## (3) 私立

- 第 1 次面接で個人面接、第 2 次面接で集団面接及び個人面接を行い人物の全体像を把握する
- グループ面接と個人面接の併用
- 1 人の受験生に付き、集団面接と複数の個人面接を実施することで多方面からの評価を行っている。
- 個人面接 10 分、集団面接 50 分と 1 人に対して 60 分の時間をとっている
- 願書に記載した資格・課外活動・受賞歴について証明する資料を面接試験等に提出させている。
- 受験生に対して願書に書かれた文化的・創作的・独創的あるいはボランティア活動、各種資格、評価、クラブ活動などこれまでの特徴的な活動を行ったことを証明する資料等の（ママ）持参するように要請している。
- 平成 29 年度入試から MMI（構造化面接法）による面接試験を導入予定
- 2 次面接を実施することがある
- 二次面接の実施



## 5. 地域枠特別入学者について

### 5-1. 卒業後の地域医療勤務の動向

#### (1) 国立

- 旭川医科大学：  
卒業後の就職先についてフォローアップを行っている。
- 秋田大学：  
「あきた医師総合医療センター」でそれぞれ動向を把握している。
- 筑波大学：  
勤務地・病院・診療科
- 山梨大学：  
進路調査により卒後臨床研修病院を把握している。
- 新潟大学：  
科の希望を聞きながら、勤務病院の調整を図っている。
- 信州大学：  
入学者のうち奨学金貸与者との面談による配属病院の決定
- 金沢大学：  
石川県枠の場合は、初期研修は金沢大学附属病院となっている。
- 岐阜大学：  
岐阜県医師育成・確保コンソーシアムを組織し、キャリア記録・ルール順守・キャリアアップのフォローをしている。
- 浜松医科大学：  
卒後の初期研修先
- 三重大学：  
研修指定病院に勤務
- 神戸大学：  
平成 26 年 4 月に設置された医学教育学分野地域医療教育学部間が地域枠学生の相談やアドバイスを行っている。
- 鳥取大学：  
個人毎の管理台帳を作成し、毎年 1 回調査を行い、希望者には個別面談を実施している。

- 島根大学：  
卒後臨床研修センター及び地域医療支援学講座によるフォローアップを実施
- 岡山大学：  
初期臨床研修段階までの卒業生しかいないため現時点では実行に至っていないが、様々な点についてフォローアップしていく予定である。
- 広島大学：  
大学、県医師会、県、地域医療支援センター、市町等で構成されるキャリア支援委員会において、地域卒生等の配置を調整している。
- 山口大学：  
奨学金と連動している者については、キャリアアップセミナー開催や担当教員による面談を行い、キャリア形成面においてフォローしている。
- 徳島大学：  
自治体が実施しているので把握していない
- 香川大学：  
大学、県、地域の医療機関等が組織する香川県医師育成支援委員会で本人のキャリア支援についてフォローしている
- 高知大学：  
県が勤務先や診療所の管理・フォローアップを行い、運営会議で大学の地域医療センターと共有している。
- 佐賀大学：  
初期研修及び専門研修の医療機関、診療科
- 長崎大学：  
地域卒同窓会にてフォローアップを行っている。
- 大分大学：  
全員が地域医療学センターに所属し、センターがキャリア形成を支援しています
- 鹿児島大学：  
研修プログラムを大学で提示し、それに従って研修を行っている。

## (2) 公立

- 札幌医科大学：  
奨学金と連動した地域特別枠入学者のうち、卒後、本学医学部各講座に所属した者については、地域勤務の配属先を決定する際に、本学、本人及び道庁の3者で協議・調整している。
- 名古屋市立大学：  
研修先病院、診療科等
- 京都府立医科大学：  
勤務地についてマッチング
- 奈良県立医科大学：  
県配置センターでフォローアップしている

## (3) 私立

- 聖マリアンナ医科大学：  
後期研修病院等の情報提供及びキャリア形成支援を行う予定である。
- 関西医科大学：  
入学から卒業までの成績や卒業後の進路を把握している
- 兵庫医科大学：  
大学卒業後9年間の勤務義務機関については、兵庫県と連絡を取り地域特別枠入学者の勤務先の動向について確認を行っている。また、年1回程度、地域特別枠入学者OBに来学頂き、現状を教示頂くことによる在校生との交流会の場を設けている。
- 久留米大学：  
臨床研修先を把握している

## 5-2. 卒業後の地域医療勤務の地域社会への貢献

### (1) 国立

- 旭川医科大学：  
北海道内で活躍する医師を輩出することで、十分な臨床・研修能力を身につけた医師が地域医療の中核を担うことができる。

- 弘前大学：  
県内医師の増加
- 秋田大学：  
県内に一定数の医師が残り、各地域の医療に従事している。
- 群馬大学：  
医師数として増えている
- 山梨大学：  
医師不足解消への貢献
- 新潟大学：  
医師不足の病院において、勤務してもらっている。
- 信州大学：  
県出身者が勤務医として勤務していること
- 金沢大学：  
医師不足地域に医師を配置することができる。
- 福井大学：  
一定の医師数を確保できる。
- 岐阜大学：  
刀剣の場合、医師の絶対数不足と偏在が顕著で、県内で勤務する医師が今後相当数増加し、かつ偏在についても指定勤務がそれを緩和することに有効であることに異論がない。
- 浜松医科大学：  
地域特別枠入学者が県内で卒後の初期研修を行っている。
- 名古屋大学：  
医師の確保が困難な地域に医師が配置され、地域医療環境の向上につながっている
- 三重大学：  
勤務先の病院長から高い評価を受けている
- 神戸大学：  
医師不足に悩む地域にとって若い医師が派遣されることは大きな地域貢献となると考えられる。

- 鳥取大学：  
卒後 3 年目以降の入局者を地域の医療機関に派遣できる仕組みが機能する  
目処がたってきた。
- 島根大学：  
卒業生が地域の医療機関で勤務をし、地域医療の活性化をもたらしてい  
る。
- 岡山大学：  
初期臨床研修段階までの卒業生しかいないため現時点では不明であるが、  
地域医療勤務により少しでも医師の偏在等の緩和に寄与することができ  
る。
- 広島大学：  
一定期間、中山間地域勤務を義務付けており、医師不足地域の医療に貢献  
すると思われる。
- 山口大学：  
卒業生はまだ少数ではあるが、修学資金の貸与の有無に関わらず、山口県  
内で働く可能性が高いように感じる
- 香川大学：  
本県の地域医療を支えていこうとする意欲に富んだ医療人育成に貢献して  
いる
- 高知大学：  
地域で働く若手医師の増加につながっている。
- 佐賀大学：  
佐賀県推薦入試の 1 期生は、現在県内の不足する診療科において後期研修  
中。専門医を取得し、その後は県が指定する医療機関の指定診療科におい  
て医療従事する予定。
- 長崎大学：  
離島・へき地の医師不足解消に貢献する。
- 大分大学：  
数名が地域勤務を始めたばかりですが、地域中核病院の人材増加に伴う病  
院機能の向上がみられます
- 宮崎大学：  
地域特別枠入学者全員は宮崎県から奨学金を貸与しており、卒業後、貸与

期間の2倍の期間中に宮崎県が指定する県内僻地等や産科・小児科等の医師不足領域での勤務が奨学金返済免責要件となっている。現在、地域特別枠入学者の一部はこの制度に基づいて県が指定する僻地病院や医師不足診療科で勤務しており、このことは地域社会に一定の貢献をもたらしていると考えられる。しかし一方で、貸与要件を履行していない者も存在し、本枠入学者の地域貢献の真偽については、より長期的な全数調査に基づいて慎重に判断されるべきと考えられる。

- 鹿児島大学：  
今後地域社会へのアウトカムが明らかになると考えている。
- 琉球大学：  
将来医師不足の地域偏在軽減に寄与することが期待されると思います。

## (2) 公立

- 札幌医科大学：  
奨学金と連動した地域特別枠入学者の1期生7人が今年から「地域医療勤務」を開始したが、将来的に常時数十人がこの制度で地域の医療機関に勤務することになるため、地域の医療不足の解消につながると考える。
- 福島県立医科大学：  
医師不足の解消
- 横浜市立大学：  
産科・小児科等の診療科の医師不足解消に貢献している。
- 名古屋市立大学：  
初期研修2年目の医師として地域における救急医療の一員として活躍している。
- 京都府立医科大学：  
地位の実情を知り地域医療の貢献への熱意を持った医師を育成している。
- 大阪市立大学：  
地域における医師不足の解消
- 奈良県立医科大学：  
地域医療の充実
- 和歌山県立医科大学：  
地域偏在を是正することに貢献している。

### 5-3. 卒業後の地域医療勤務の実態のフィードバック

#### (1) 国立

##### ○ 旭川医科大学：

医学科第1・2学年を対象としたグループ担任制度を導入し、グループ担当教員が各グループの学生に対し、卒業後の臨床研修や将来の地域医療貢献イメージの具体化に向けたアドバイス等を行うとともに、第1~3学年の各学年に1名の臨床教授を「アドバイザー教員」として配置し、学年担当教員や学生のキャリアプラン支援委員会と連携を取りながら、学生のキャリアプランについて指導・助言を行っている。

##### ○ 新潟大学：

まだ卒後の地域医療勤務の段階にはいっていないが、地域医療勤務に至ったのちには、医学生に授業で話してもらうなど検討している。

##### ○ 岐阜大学：

1年生の地域医療関係の講義および高校生の公開授業で、修学支援金受給者の卒業後の履行実態をフィードバックするとともに、岐阜県医師会、岐阜県病院協会、市町村、岐阜県地域医療対策協議会、岐阜県医師育成・確保コンソーシアム、大学フォーラムなどさまざまな機会に、学生のみならず県内医療従事者、地域住民、自治体に向けて繰り返しフィードバックしている。

##### ○ 三重大学：

卒業生が少ないため、今後検討

##### ○ 島根大学：

卒後臨床研究センター及び地域医療支援学講座の教員が、医学科の地域実習報告会に出席し、地域医療教育について協議している。

##### ○ 岡山大学：

初期臨床研修段階までの卒業生しかいないため現時点では不確定であるが、在学生の地域医療体験実習等の指導的役割を担っていただければ、十二分にフィードバックはなされると考える。

##### ○ 広島大学：

卒前の地域医療実習では、医学科生全員中山間地域での1週間の実習を行い、医師偏在問題とその対応についてディスカッションしている。

- 高知大学：  
地域枠学生が地域医療機関で行う実習において、実習先に勤務する卒業生が講演等を行っている。

## (2) 公立

- 奈良県立医科大学：  
カリキュラムへ反映させようとしている

## (3) 私立

- 順天堂大学：  
地域特別枠入学者（研修医等）による報告会を行うことで、地域特別枠入学者（在学者）への特別カリキュラムに反映させたり、地域医療へのモチベーションアップに繋がっている。（原文ママ）
- 聖マリアンナ医科大学：  
地域特別枠入学者の経験を、次の地域特別入学者や地域医療に興味がある学生へ伝え、地域医療に貢献できる人材の育成に努める。
- 関西医科大学：  
医学概論特論の受講とレポート提出を義務付け、また、チューター制度を導入し学生を支援している

## 5-4. 「入学者地域枠」制度に対する今後の方針

### (1) 国立

- 旭川医科大学：  
今後も継続する。
- 弘前大学：  
今後も継続したいと考えている
- 秋田大学：  
今のところ現状維持
- 山形大学：  
導入後2年目であるので、入学者の成績等を追跡し、検討する。
- 群馬大学：  
現時点では平成31年度入学者までで終了となる



- 山梨大学：  
国及び山梨県の地域枠に係る方針に基づき実施する。
- 新潟大学：  
今後の卒業生の状況をみて、結果が明らかになるまで現在の態勢を継続する。
- 信州大学：  
当面は現状維持
- 富山大学：  
現在のところ変更の予定はない。
- 金沢大学：  
県からの修学資金制度が終了するとともに、募集制度を廃止。
- 福井大学：  
検討予定
- 岐阜大学：  
平成 29 年度まで定員 28 名でその後遞減する予定であったが、厚労省の政策で当面の定員維持の可能性があり、県と協議したうえでできるだけ維持したい。
- 名古屋大学：  
増員の予定なし
- 三重大学：  
現在、卒業生が少数のため、今後の動向を見て検討する
- 神戸大学：  
募集人員については現状を維持していく予定。出身地域の指定に関しては、これまで兵庫県内在住の高校及び中等教育学校を卒業した者に限定されていたが、平成 29 年度より県外の学校に進学していても本人または保護者のいずれかが出願時点で 3 年以上継続して兵庫県に在住していれば出願できるように改定された。
- 鳥取大学：  
各地域毎の入学者の動向により、制度の見直しを行う。(原文ママ)
- 島根大学：  
現状を維持・継続し、入学前、在学中、卒業後の一貫した教育、支援体制を確立する。

- 広島大学：  
平成 31 年度入試まで継続となる予定、その後は県との協議予定
- 山口大学：  
現状維持
- 徳島大学：  
他県出身者への適用などより（原文ママ）柔軟な運用を希望していく
- 愛媛大学：  
医師の地位偏在の問題を解消させるためには必要であり、可能な限り現募集定員を維持したいと考えている。
- 高知大学：  
卒業後定着率の推移を見守りつつ、将来的に地域募集人員の拡大も考えられる。
- 佐賀大学：  
継続する。
- 長崎大学：  
平成 29 年度入試より、長崎県医学修学資金に係る入学定員を 2 名増員する。
- 熊本大学：  
地域医療を支える医療人の育成に積極的に取り組むこと。
- 大分大学：  
今後とも大分県と県警して地域枠制度を続ける予定である
- 宮崎大学：  
検討中
- 鹿児島大学：  
当面は継続する。
- 琉球大学：  
増員を検討したい。

## (2) 公立

- 札幌医科大学：  
現行制度を継続する

- 福島県立医科大学：  
卒後の地域医療従事を義務付けていない地域枠についても、臨床研修に関する条件をつけ医師確保を図る。
- 横浜市立大学：  
地域枠学生へのキャリア支援を強化していく。
- 名古屋市立大学：  
現在のところ、変更の予定はない
- 京都府立医科大学：  
継続
- 大阪市立大学：  
現状、入学者地域枠の導入は考えていない
- 和歌山県立医科大学：  
経度を継続する

### (3) 私立

- 岩手医科大学：  
岩手県の「岩手県医師修学資金制度」の方針に基づいて検討する
- 東邦大学：  
現状維持
- 東京医科大学：  
継続する。
- 東京慈恵会医科大学：  
奨学金制度がある東京都枠は東京都の方針に従う。奨学金制度がない地域枠は国の方針に従う。
- 昭和大学：  
従来通り制度の変更予定はない。
- 順天堂大学：  
国や自治体より地域枠の要請があれば、その都度検討したい。
- 杏林大学：  
今後も継続し実施する
- 北里大学：  
現在、卒業生を輩出しておりませんので、回答致しかねます。

- 聖マリアンナ医科大学：  
10年間の時限付であるが、さらに延長について自治体に要請していきたい。
- 金沢医科大学：  
現状維持
- 藤田保健衛生大学：  
愛知県の医師配置等を勘案しながら検討していく。
- 愛知医科大学入学定員（10名）は維持しつつ、選抜方法は年度ごとに見直していく予定
- 大阪医科大学 開始後2年が経過したところであり、今後も継続していく
- 関西医科大学 要請があれば受け入れ可能な範囲で増員する
- 近畿大学 続けることができるシステムが続くのであれば続ける
- 兵庫医科大学 現状維持
- 川崎医科大学 平成29年度入学生定員を一般入試（静岡県地域枠）で5名、一般入試（長崎県地域枠）で1名増加する（認可済）
- 久留米大学 地域医療に貢献できる人材を育成する目標のもと、当面の間は制度を継続する。

### Ⅲ 医学部入試・医師不足に関する新聞記事の動向

(参考：朝日新聞、毎日新聞)

大手2社における1970年から2018年に至るまでの記事のうち、医学部入試等に関する以下のキーワードを含む記事を検索し、その数を集計した。

#### 〈キーワード〉

##### ・医学部入試に関連するもの

- ① 大学入試
- ② 入試+医学部 (②/③)
- ③ ②+推薦 (③/②)
- ④ ②+A0 (④/②)
- ⑤ ②+地域枠 (⑤/②)

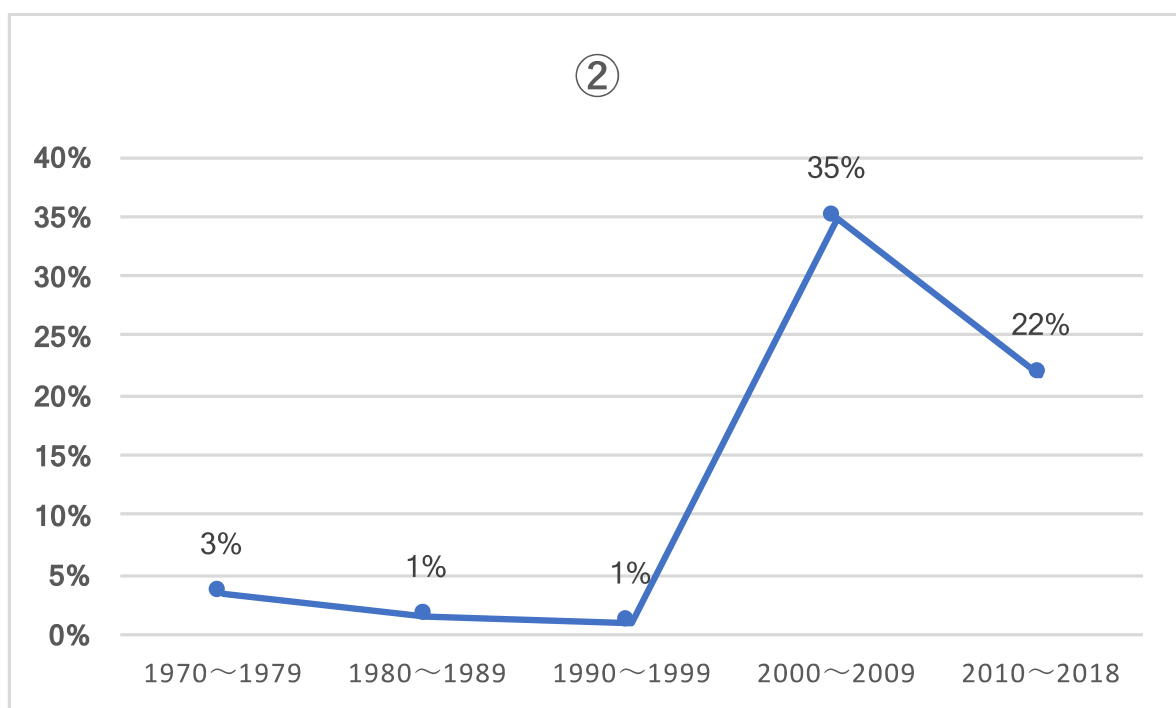
##### ・医師不足に関連するもの

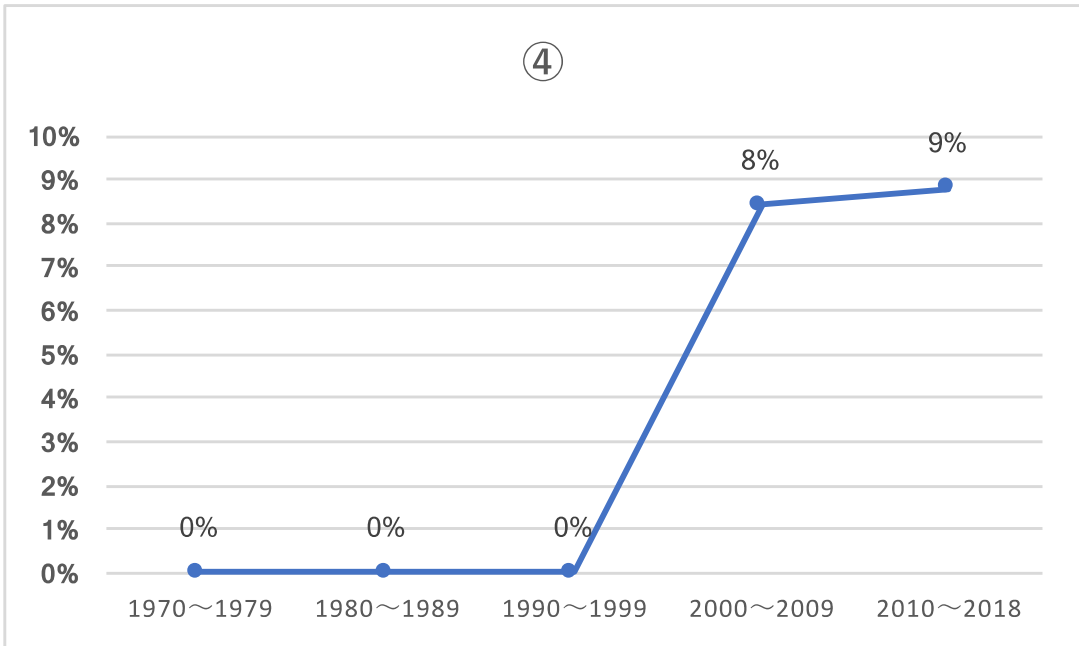
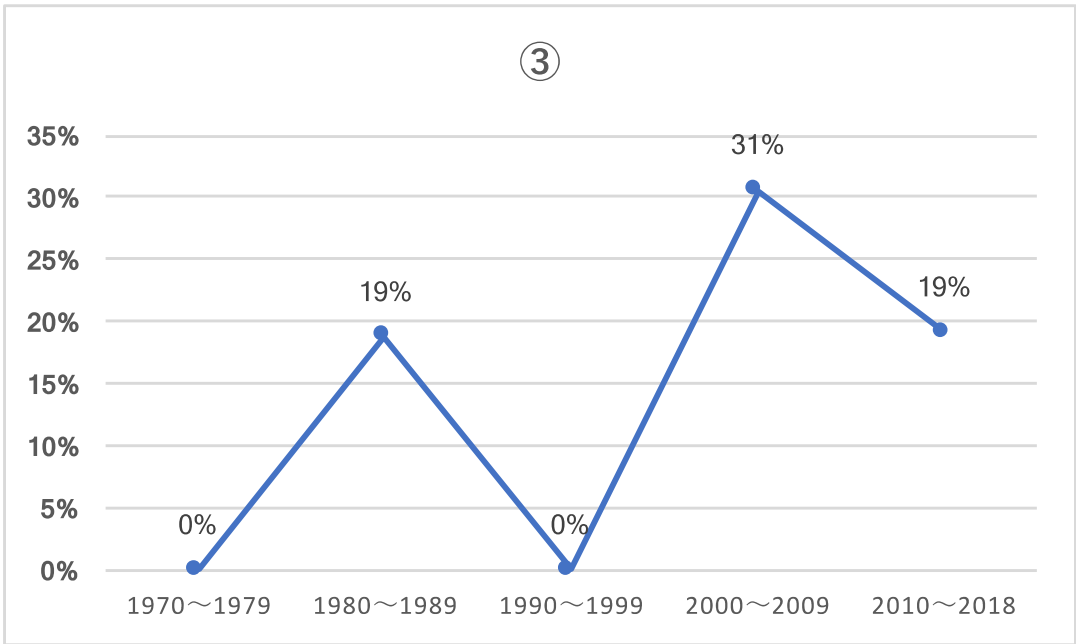
- ⑥ 医師不足
- ⑦ ⑥+医学部 (⑦/⑥)
- ⑧ ⑥+へき地 (⑧/⑥)

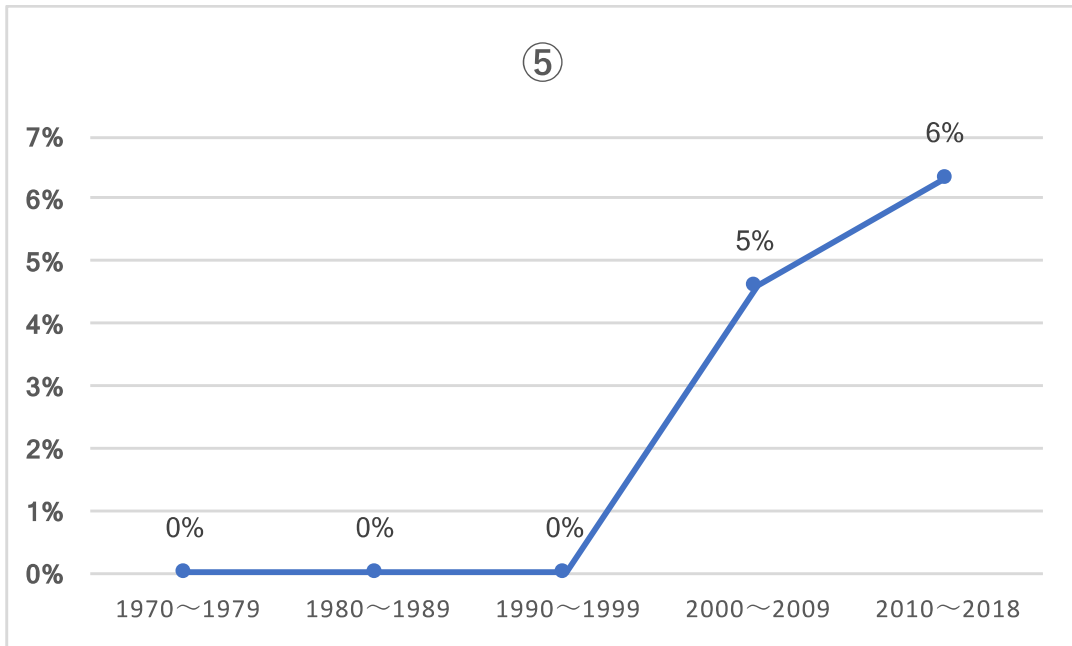
# 1. 朝日新聞

## ・医学部入試に関するもの

朝日新聞	①	②	③	④	⑤
1970～1979	824	28	3%	0	0%
1980～1989	1078	16	1%	3	19%
1990～1999	1065	10	1%	0	0%
2000～2009	3615	1262	35%	386	31%
2010～2018	2978	648	22%	124	19%



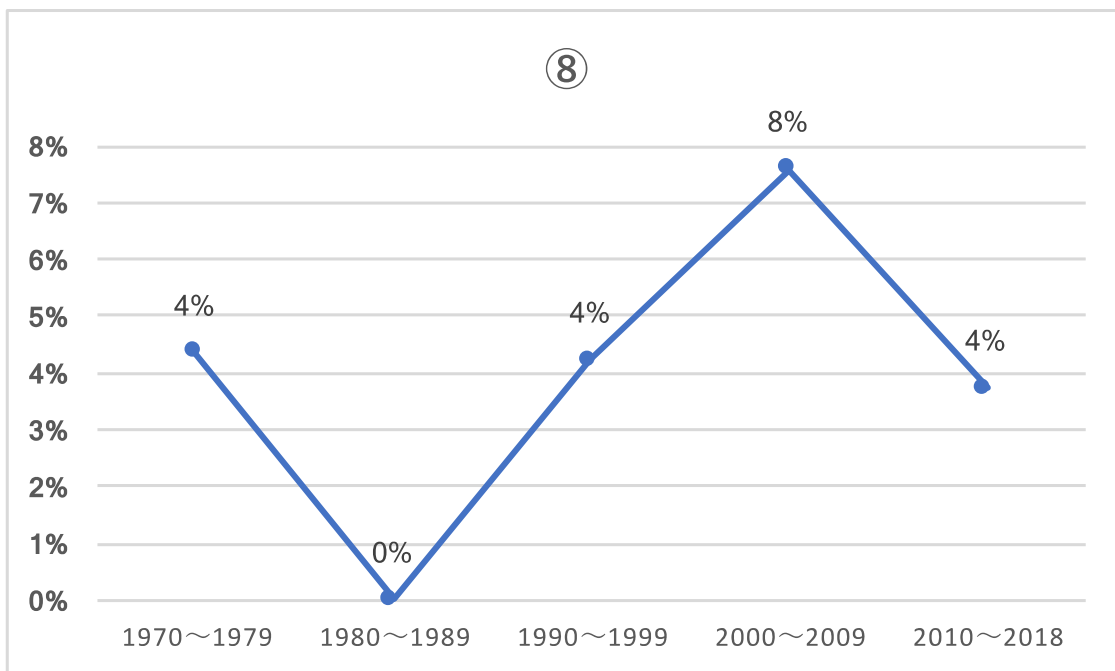
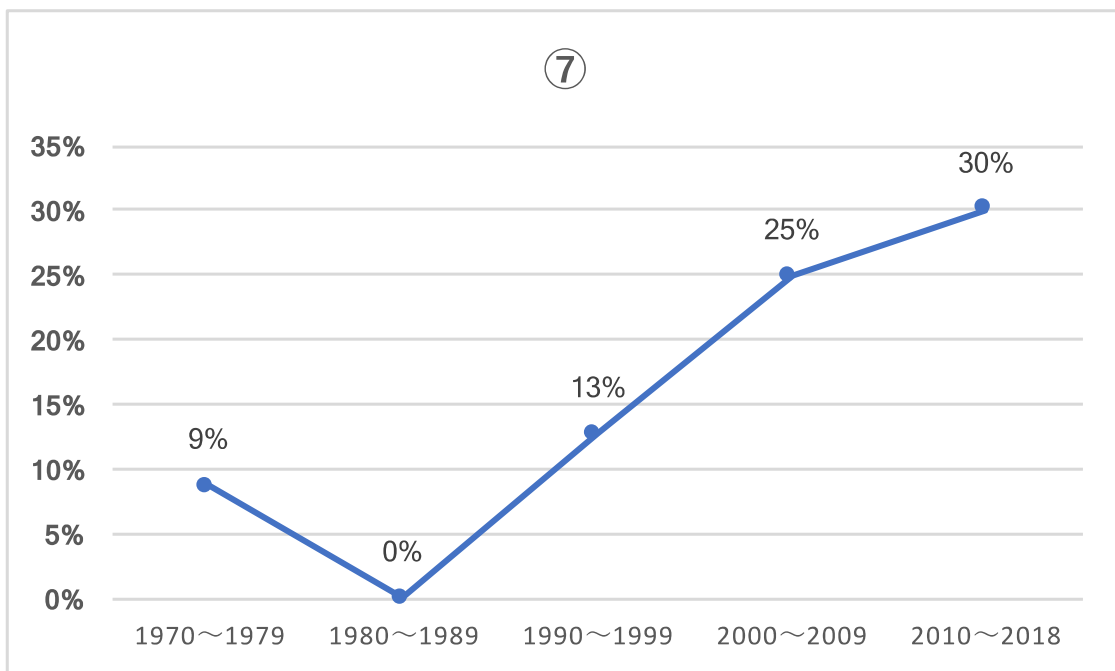






・ 医師不足に関連するもの

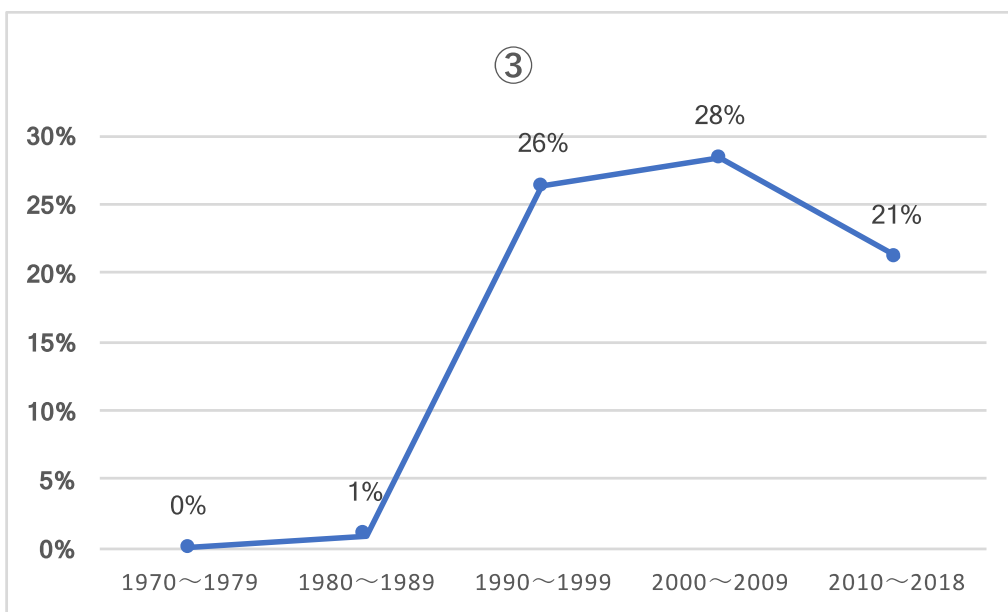
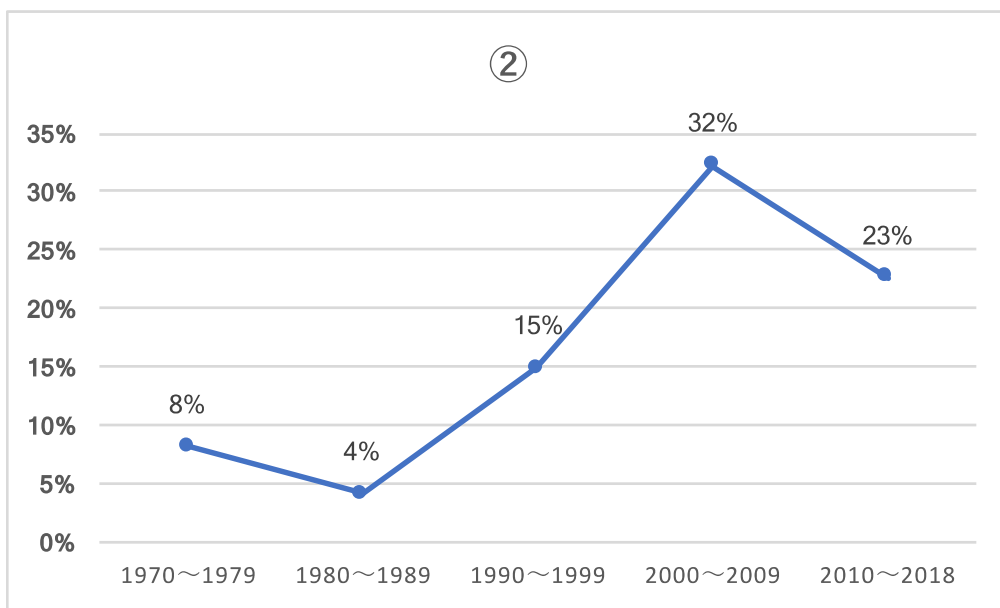
朝日新聞	⑥	⑦	⑧
1970～1979	23	2	1
1980～1989	4	0	0
1990～1999	71	9	3
2000～2009	3993	993	303
2010～2018	1822	547	68

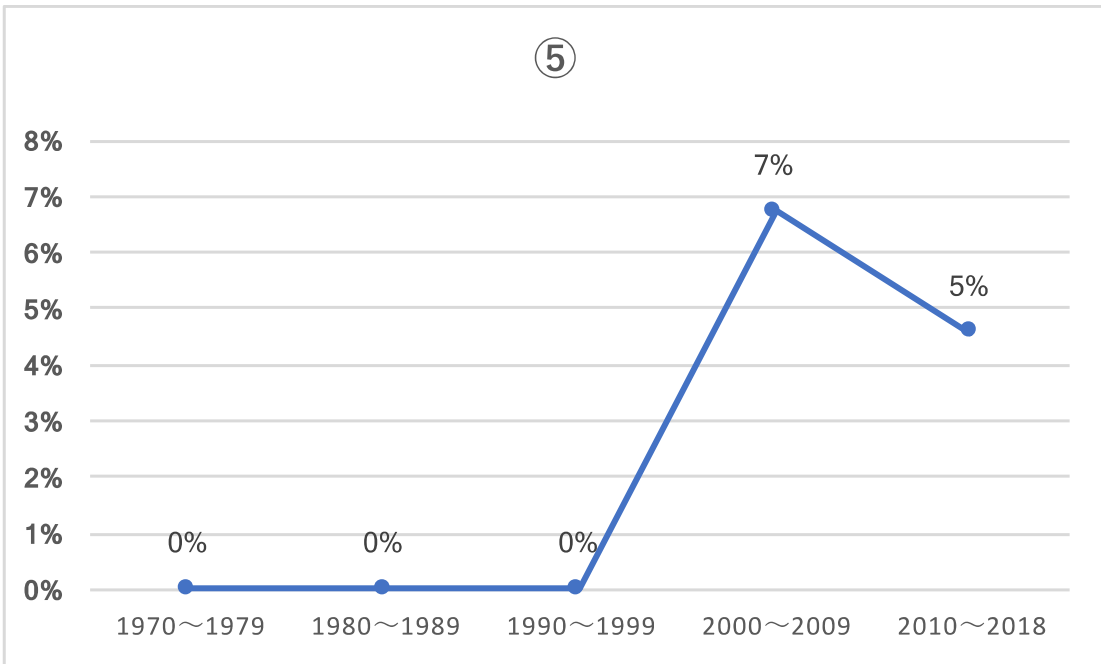
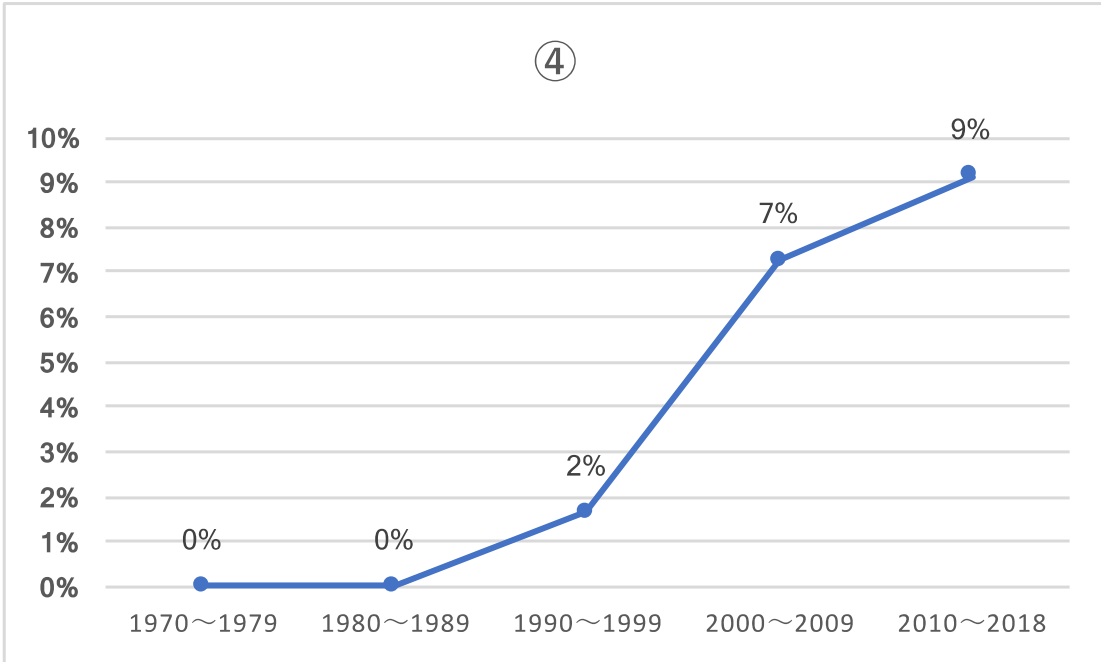


## 2. 毎日新聞

### ・医学部入試に関するもの

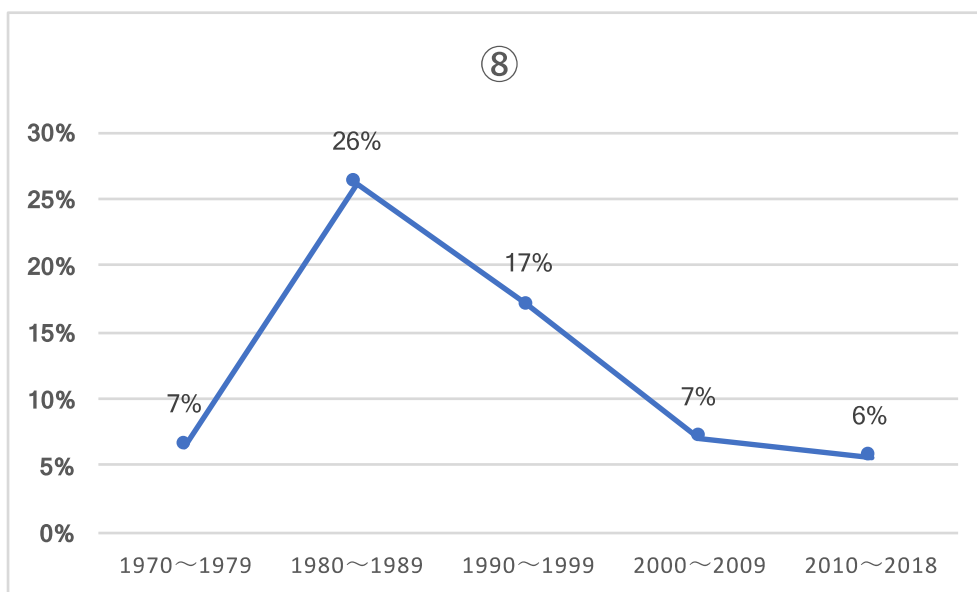
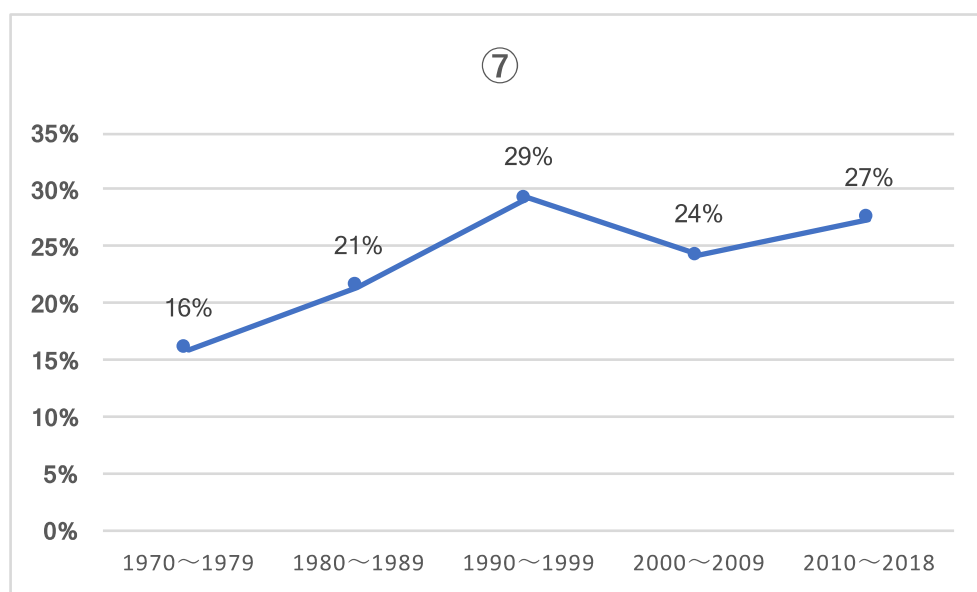
読売新聞	①		②		③		④		⑤	
1970～1979	1601	130	8%	0	0%	0	0%	0	0%	
1980～1989	2468	101	4%	1	1%	0	0%	0	0%	
1990～1999	2040	304	15%	80	26%	5	2%	0	0%	
2000～2009	3414	1101	32%	312	28%	80	7%	74	7%	
2010～2018	2812	635	23%	134	21%	58	9%	29	5%	





・ 医師不足に関連するもの

読売新聞	⑥	⑦	⑧
1970～1979	138	22	9
1980～1989	42	9	11
1990～1999	41	12	7
2000～2009	3871	938	273
2010～2018	1900	521	107



平成 28 年度～平成 31 年度 科学研究費基盤研究 (B) (一般)

「わが国の医学部における入学者選抜の妥当性と改善策に関する総合的国際共同研究」

研究代表者： 大滝純司 北海道大学・医学研究院・教授

研究分担者： 渡邊洋子 新潟大学人文社会科学系 (創生学部)・教授

研究分担者： 柴原真知子 京都大学・医学研究科・特定助教  
イギリスケンブリッジ大学 博士後期課程 院生

《関連情報・データ資料集》

医学部入試の実際に関するウェブ・資料調査

平成 28 年度～平成 31 年度 科学研究費基盤研究 (B) (一般)

「わが国の医学部における入学者選抜の妥当性と改善策に関する総合的国際共同研究」(研究代表者 大滝純司)

編集 渡邊洋子

印刷 新潟大学生生活協同組合

2019 年 3 月 15 日発行

